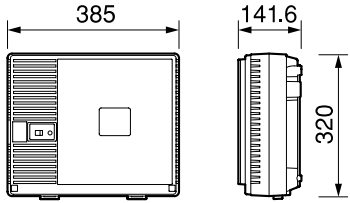
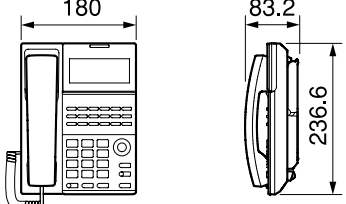
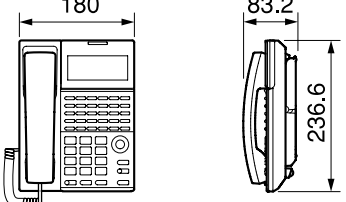
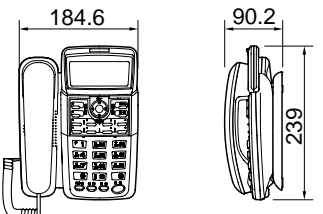
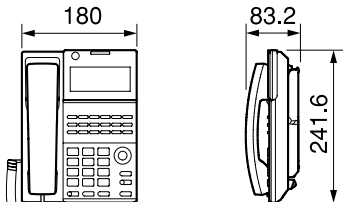
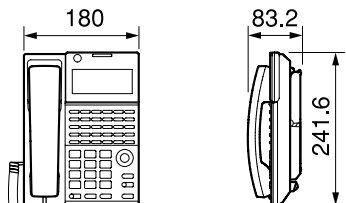


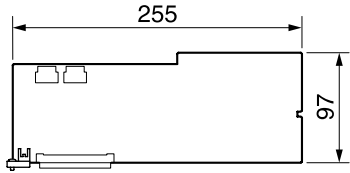
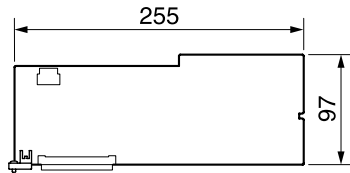
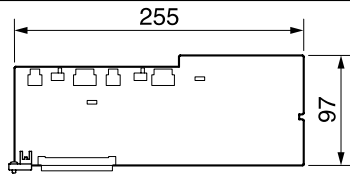
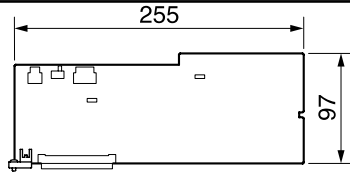
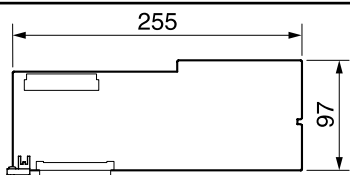
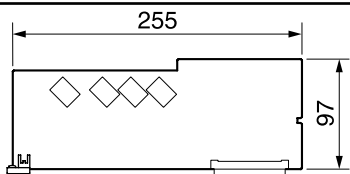
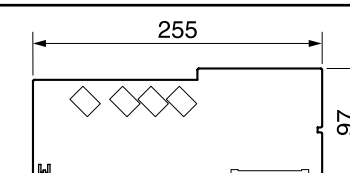
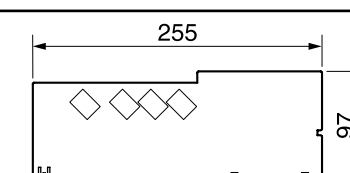
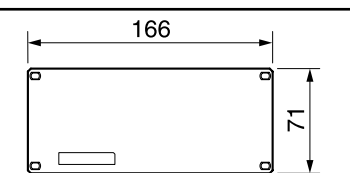
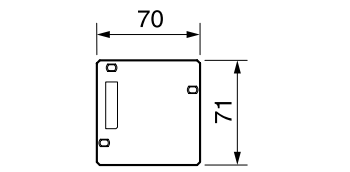
# GT500Std編

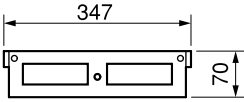
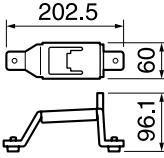
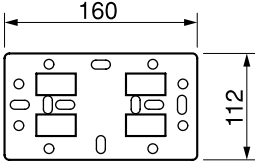
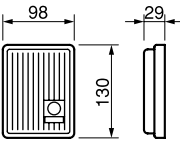
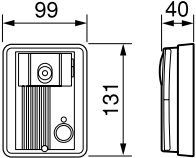
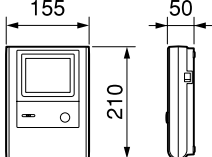
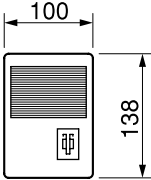
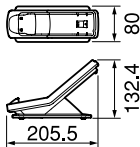
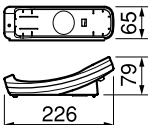


1 構成部品

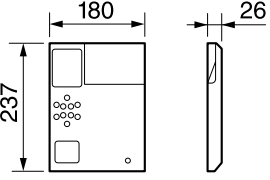
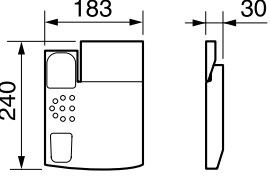
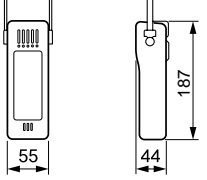
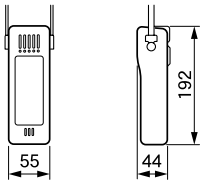
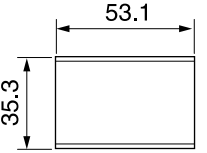
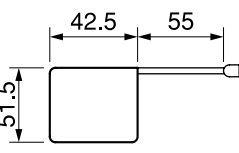
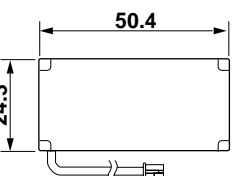
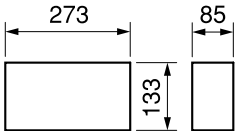
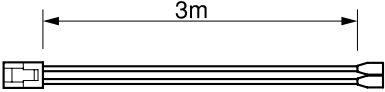
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
GT500Std主装置 (GT500Std ME)	 <p style="text-align: right;">約 3.5kg</p>	1	<p>初実装は専用電話機8台、(実装番号01~08)、単独電話機2台までと外部保留音源装置(またはBGM音源装置)が実装できる。また、増設可能な録音ユニット1チャンネルとメロディユニットも搭載している。</p> <p><b>付属品</b>          取扱説明書 ..... 1          保証書 ..... 1          操作早見表 ..... 1          ステッカ ..... 1          ご愛用者シート ..... 1          お問い合わせ窓口のご案内 ..... 1          設備管理シート ..... 1          壁掛取付用紙 ..... 1          テンプレートST ..... 1          ケーブルタイ ..... 2              ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 11(ブルー)          木ネジ(4.1×25) ..... 4          木ネジ(3.8×28) ..... 8          バッテリー交換ラベル ..... 1          ソケットは、第一電子工業株式会社製です。</p>
電話機の種類	TD510 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.9kg</p>	<p>表示付・ハンズフリー通話電話機</p> <p><b>付属品</b>          電話機コード(2m) ..... 1</p>
	TD520 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.92kg</p>	<p>表示付・ハンズフリー通話電話機</p> <p><b>付属品</b>          電話機コード(2m) ..... 1</p>
	LD500 電話機	 <p style="text-align: right;">約 0.9kg</p>	<p>バックライト付き・ハンズフリー通話電話機</p> <p><b>付属品</b>          電話機コード(2m) ..... 1          カード ..... 1          ステッカ ..... 1          カバー ..... 1</p>
	SS510 電話機	 <p style="text-align: right;">約0.97kg</p>	<p>人感センサ付・ハンズフリー通話電話機</p> <p><b>付属品</b>          電話機コード(2m) ..... 1</p>
	SS520 電話機	 <p style="text-align: right;">約1.0kg</p>	<p>人感センサ付・ハンズフリー通話電話機</p> <p><b>付属品</b>          電話機コード(2m) ..... 1</p>
		最大合計 8	

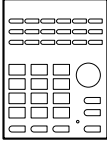
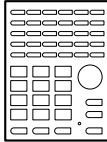



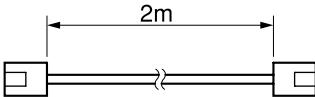
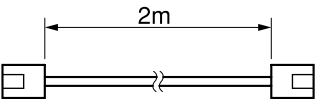
	品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
電話機の種類	PF500 電話機	<p>停電用切替BOX</p> <p>約1.0kg      約0.06kg</p>	最大 2	<p>表示付・ハンズフリー通話停電電話機</p> <p><b>付属品</b></p> <p>電話機コード(2m) .....1                      停電用切替BOX .....1                      停電表示ラベル .....1                      ケーブルタイ PLT1M .....1                      ケーブルタイ PRT-4S .....1                      FGケーブルASSY .....1</p>
	CL510 電話機	<p>約0.91kg</p>	最大 4	<p>カールコードレス電話機</p> <p><b>付属品</b></p> <p>電池パック (BP3711L-A) .....1                      注意シート .....1                      ステッカ (WS500) .....1                      電話機コード(2m) .....1                      電池カバー .....1</p>
	WS510 電話機	<p>WS510子機      WS510親機      充電器</p> <p>約0.15kg      約0.14kg      約0.15kg</p>	最大 合計 8	<p>Bluetooth コードレス電話機</p> <p><b>付属品</b></p> <p>電池パック(BP3711L-A) .....1                      ACアダプタ(SK-920L) .....1                      注意シート .....1                      ステッカ(WS500) .....1                      電話機コード(2m) .....1                      ストップ .....4                      電池カバー .....1</p>
	WS240 電話機	<p>WS240子機      WS240親機      充電器</p> <p>約0.25kg      約0.4kg      約0.14kg</p>	最大 4	<p>小電力コードレス子機</p> <p><b>付属品</b></p> <p>電話機コード(2m) .....1                      ステッカ(WS) .....1                      ACアダプタ(TP-920L) .....1                      ストップ .....4                      注意シート .....1                      木ネジ(3.5×16) .....4                      電池パック(BP366N-A) .....1                      WS240電話機の接続について .....1</p>
	DC230 電話機	<p>接続装置      DC子機</p> <p>約0.31kg      約0.07kg</p> <p>充電器</p> <p>約0.03kg</p>	最大 7	<p>デジタルコードレス電話機</p> <p><b>付属品</b></p> <p>ハンドストラップ .....1                      電池パック(BP366N-A) .....1                      ACアダプタ (TE-815L) .....1                      電話機コード (2m) .....1                      注意シート .....1                      木ネジ(4.1×25) .....2</p>

品名	外觀寸法 (mm)	数量	備考	
オプション (別売品)	アナログ 局線ユニット 【4CO500(B)】		1	1枚でアナログ回線を4回線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 4 (ブルー)
	アナログ 局線ユニット 【2CO500(B)】		最大 2	1枚でアナログ回線を2回線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 2 (ブルー)
	デジタル 局線ユニット 【2DDO500(B)】		1	1枚でデジタル局線を2局線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 2 (ブルー) ソケット(232D-02S1A2-DA5) ..... 2 (ブラック)
	デジタル 局線ユニット 【DDO500(B)】		最大 2	1枚でデジタル局線を1局線収容可能 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 1 (ブルー) ソケット(232D-02S1A2-DA5) ..... 1 (ブラック)
	ドア ページング ユニット 【DRPG500(B)】		1	ドアホン(DR71)、カラーテレビドアホ(DR63C)の 接続用(合計3台) 構内放送設備(コントロール信号付)、電気錠が合計 2台まで接続できる 付属品 ソケット(232D-02S1B-DA5) ..... 7 (ブルー)
	インターネット 接続ユニット 【IPR500(A)】		1	付属品 LANケーブル ..... 1本(40cm)
	ルータ機能内蔵 VoIPユニット 【IPFU500(A)】		1	1枚でIP電話チャンネルを2ch(ルータスイッチON時) もしくは8ch(ルータスイッチOFF時)収容可能 付属品 LANケーブル ..... 1本(40cm)
	ルータ機能内蔵 VoIPユニット 【IPNT500(A)】		1	1枚でIP電話チャンネルを2ch(ルータスイッチON時) もしくは4ch(ルータスイッチOFF時)収容可能 付属品 LANケーブル ..... 1本(40cm)
	録音増設ユニット 【REC500(+)]		1	
メロディ増設 ユニット 【MLB500(+)]		1		

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
主装置 壁掛用品		1	主装置の壁掛用 付属品 木ネジ(4.1×25) ..... 5
主装置 据置用品 SU02		1	主装置の据置用 2個入り 付属品 取付ネジ ..... 2
壁掛用品 WU-08		必要数	電話機をスイッチボックスや柱に取り付けるときに使用する 付属品 ストッパ ..... 2 ゴム足 ..... 4 木ネジ(3.5×20) ..... 2 取扱説明書 ..... 1
ドアホン (DR71)		最大 3	標準タイプ (600 型) 付属品 ネジ(4×25) ..... 2 木ネジ(4.1×15) ..... 2
カラー テレビドアホン (DR63C)		最大 3	カラーモニタユニット(TM-23)と組み合わせる 付属品 ネジ(4×25) ..... 2 木ネジ(4.1×15) ..... 2
カラーモニタ ユニット (TM-23)		最大 3	カラーテレビドアホン(DR63C)と組み合わせる 付属品 ネジ(4×25) ..... 4 木ネジ(4.1×15) ..... 4
アンプ・ブザー (AMP・BZ-01)		必要数 アンプ アダプタ 用	TD・LD・CL・SS電話機に接続するとスピーカから出る音が拡声される(アンプアダプタ) 「アンプアダプタ」と「高音量ブザー」との兼用タイプ。 アンプ・ブザー1台で同時に使用できない。 付属品 工事マニュアル ..... 1 ACアダプタ(TM-1260N/TK-1260N) ..... 1 ネジ(4×25) ..... 2 木ネジ(4.1×20) ..... 2
充電器セット BC510		必要数	CL510子機、WS510子機用 付属品 ACアダプタ(SK-920L) ..... 1 ストッパ ..... 2
充電器セット BC200		必要数	WS240子機用 付属品 ACアダプタ(TP-920L) ..... 1 ストッパ ..... 2 木ネジ(3.5×16) ..... 2

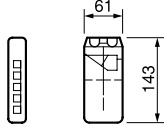
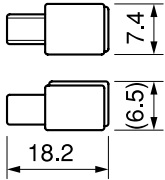
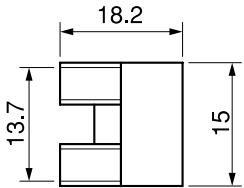
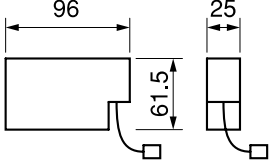
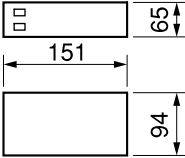
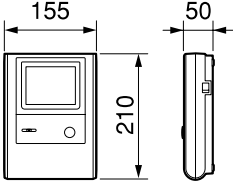
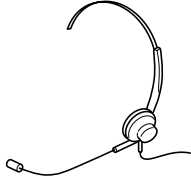
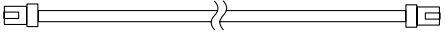
オプション別売品

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
<b>TD510電話機 防塵カバー</b>		必要数	TD510、TD520、PF500電話機用 1袋3枚入り SS510、SS520電話機には使用しないでください。
<b>LD500電話機 防塵カバー</b>		必要数	LD500電話機用 1袋3枚入り SS510、SS520電話機には使用しないでください。
<b>キャリアリング ケース (CC500)</b>		必要数	WS510子機の持ち運び用
<b>キャリアリング ケース(CC10)</b>		必要数	WS240子機の持ち運び用
<b>CL500 電池パック (Li-ion電池 BP3711L-A)</b>		必要数	CL510子機・WS510子機用
<b>WS200 電池パック (Ni-Cd電池 BP366N-A)</b>		必要数	WS240子機用
<b>DC200 電池パック (Li-ion電池 BP3742L-A)</b>		必要数	DC子機用
<b>電源 キャビネット</b>		1	停電用電源（外付けタイプ）の収納ケース(2個入り) 電源キャビネット1個で停電用電源を1個収納 日本電気株式会社製 付属品 ケーブル(1m) ..... 1 コードブッシュ ..... 1 ネジ(4×6) ..... 4 木ネジ(4.1×16) ..... 4
<b>ケーブル(3m)</b>		1	停電用電源（外付けタイプ）と主装置の間の接続 ケーブル(2本入り) 1本：停電用電源1個を接続

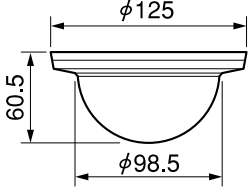
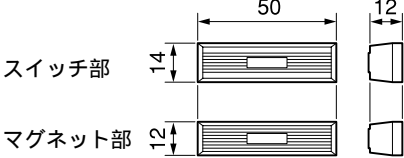
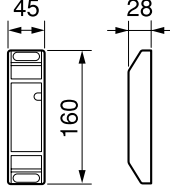
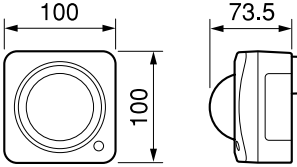
品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
<b>TD510用 プリンタシート</b>		<b>必要数</b>	TD510・PF500・SS510電話機用 1袋10枚入り
<b>TD520用 プリンタシート</b>		<b>必要数</b>	TD520・SS520・CL510電話機用 1袋10枚入り
<b>端子箱 MJ-4S(M)</b>		<b>必要数</b>	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
<b>端子箱 MJ-1PS-66</b>		<b>必要数</b>	色：白色 1個用ネジ端子・モジュラー
<b>端子箱 MJ-8SR-MG</b>		<b>必要数</b>	色：白色 1個用ネジ端子・8芯モジュラー
<b>ラインコード 6-6</b>		<b>必要数</b>	6芯モジュラーコード
<b>ラインコード 8-4</b>		<b>必要数</b>	8芯モジュラーコード

オプション  
(別売品)

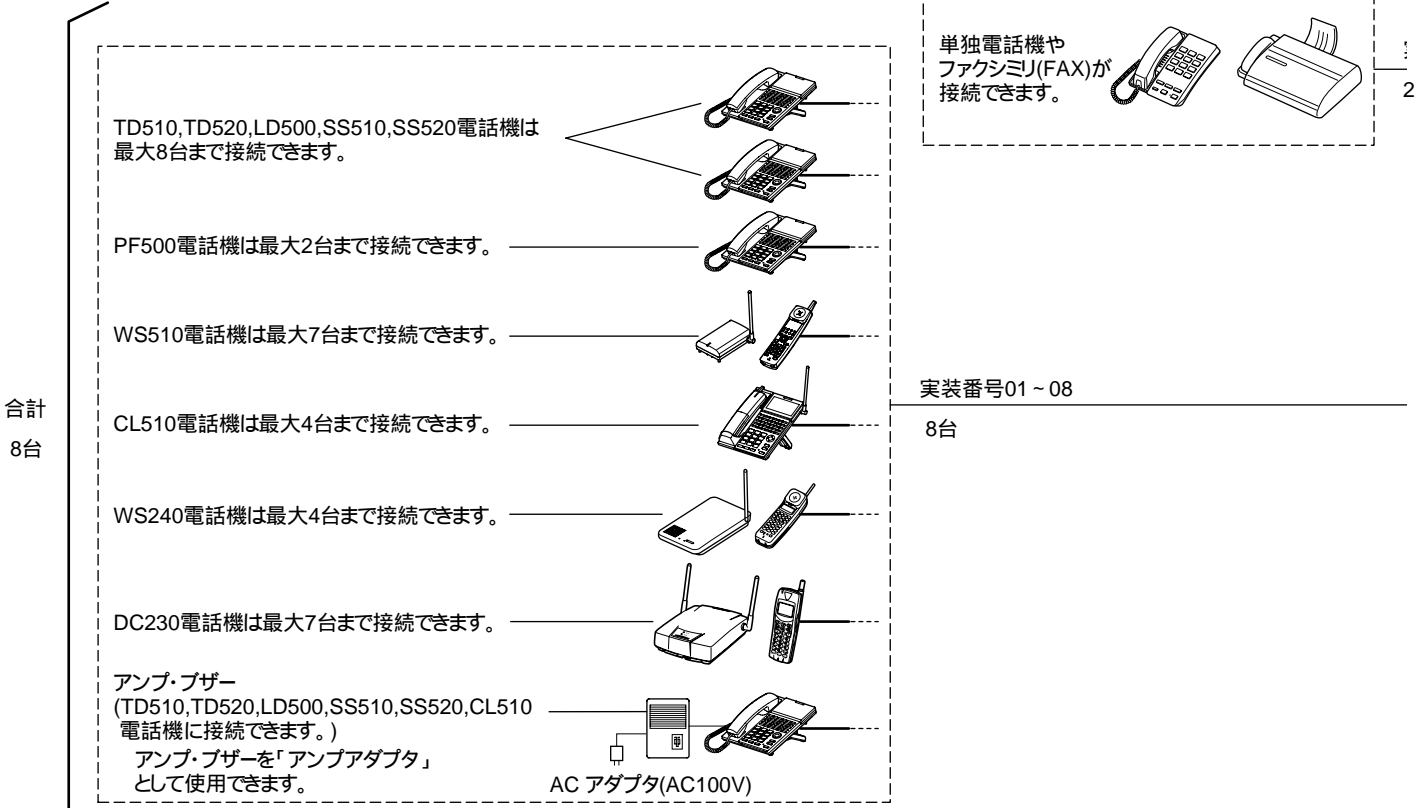
# 推奨品一覧表

品名	外觀寸法 (mm)	数量	備考
端子箱		必要数	5個用クリップ端子・モジュラー 色：ワームグレー ヒロセ電機株式会社製の端子箱 (CTB-20TB-M5) をご使用ください。
ソケット	 ( )の寸法は、 圧縮後の寸法を示す。	必要数	電話機および各機器接続用 色：ブルー 第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1B-DA5) をご使用ください。
ソケット		必要数	デジタル回線接続用 色：ブラック 第一電子工業株式会社製のソケット (232D-02S1A2-DA5) をご使用ください。
停電用電源		2	主装置内蔵タイプ 使用可能時間：約20分 (エコモード時は約45分) 下記のどちらかを2個をご使用ください。 ・古河電池株式会社製のFML1208 ・ユアサコーポレーション製のNP0.8-12 ・ジー・エス・バッテリー株式会社製のPE12V0.8W3
		2	主装置外付けタイプ 使用可能時間：約6時間30分 (エコモード時は約9時間) 下記のどちらか2個をご使用ください。 ・古河電池株式会社製の12m 7.2B ・ユアサコーポレーション製のNP7-12 ・ジー・エス・バッテリー株式会社製のPE12V7F1
増設カラーモニタ ユニット (JB-HU)		最大 2	カラーモニタユニット(TM-23)の増設用として使用する アイホン株式会社製の増設カラーモニタユニット (JB-HU) をご使用ください。 ACコードは添付されておりませんので販売店様でご用意願います。
ヘッドセット		必要数	TD510、TD520、PF500・LD500・SS510・SS520 電話機接続用 下記のいずれか1つをご使用ください。 ・PLANTRONICS製(住商エレクトロニクス販売) スーパネットモジュラー H51N-M12 ・ジーエヌネットコム製 GN2120-NC-APJ PACK GN9120 Flex (ワイヤレス タイプ)
LANケーブル (CAT5)		1	初実装基板(SSC)のLANコネクタと接続するケーブル パソコンと直接接続する場合は、クロスケーブル、 ハブを介して接続する場合は、クロスもしくはストレートケーブルを使用します。

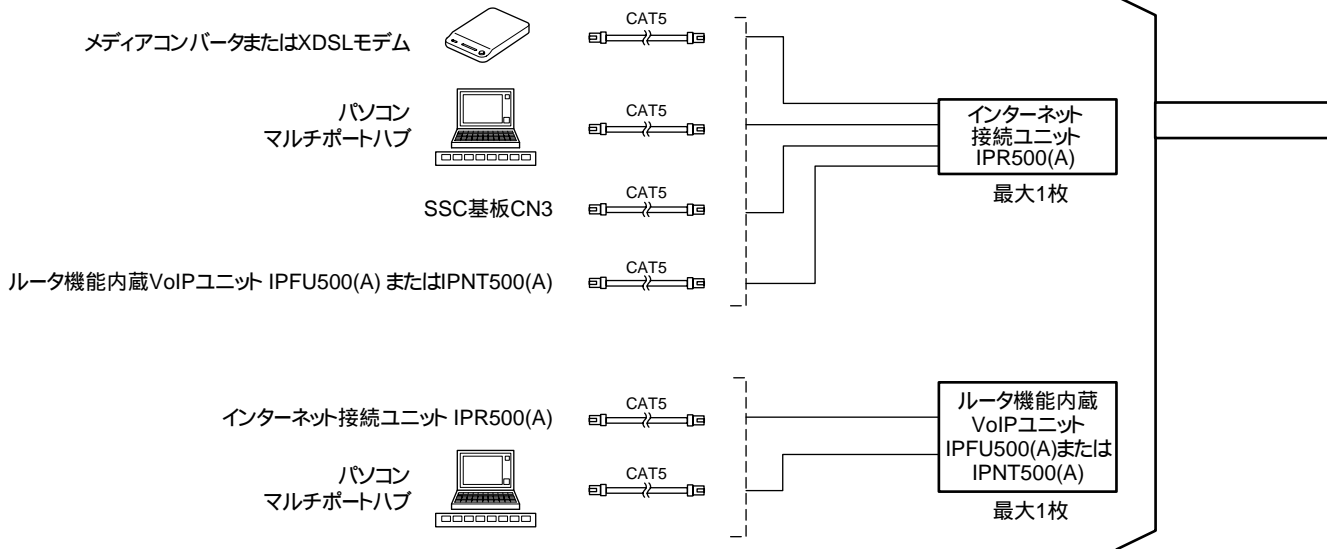
# 推奨品一覧表

品名	外観寸法 (mm)	数量	備考
<b>パッシブセンサ</b> (PA-6612)		必要数	外部センサ用 パッシブセンサまたはマグネットスイッチのどちらかを使用します。 竹中エンジニアリング株式会社製です。
<b>マグネットスイッチ</b> (MG-103S)		必要数	外部センサ用 マグネットスイッチまたはパッシブセンサのどちらかを使用します。 竹中エンジニアリング株式会社製です。
<b>電源ユニット</b> (DC-200 (DC12V200mA))		必要数	パッシブセンサ用 外部センサとしてパッシブセンサをご利用の際、使用します。 竹中エンジニアリング株式会社製です。
<b>ネットワークカメラ</b> BB-HCM311		必要数	セーフティ用 パナソニックコミュニケーションズ株式会社製です。

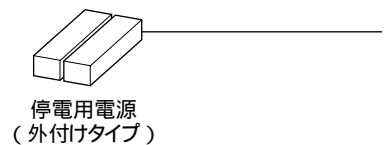
# 2 システム構成図



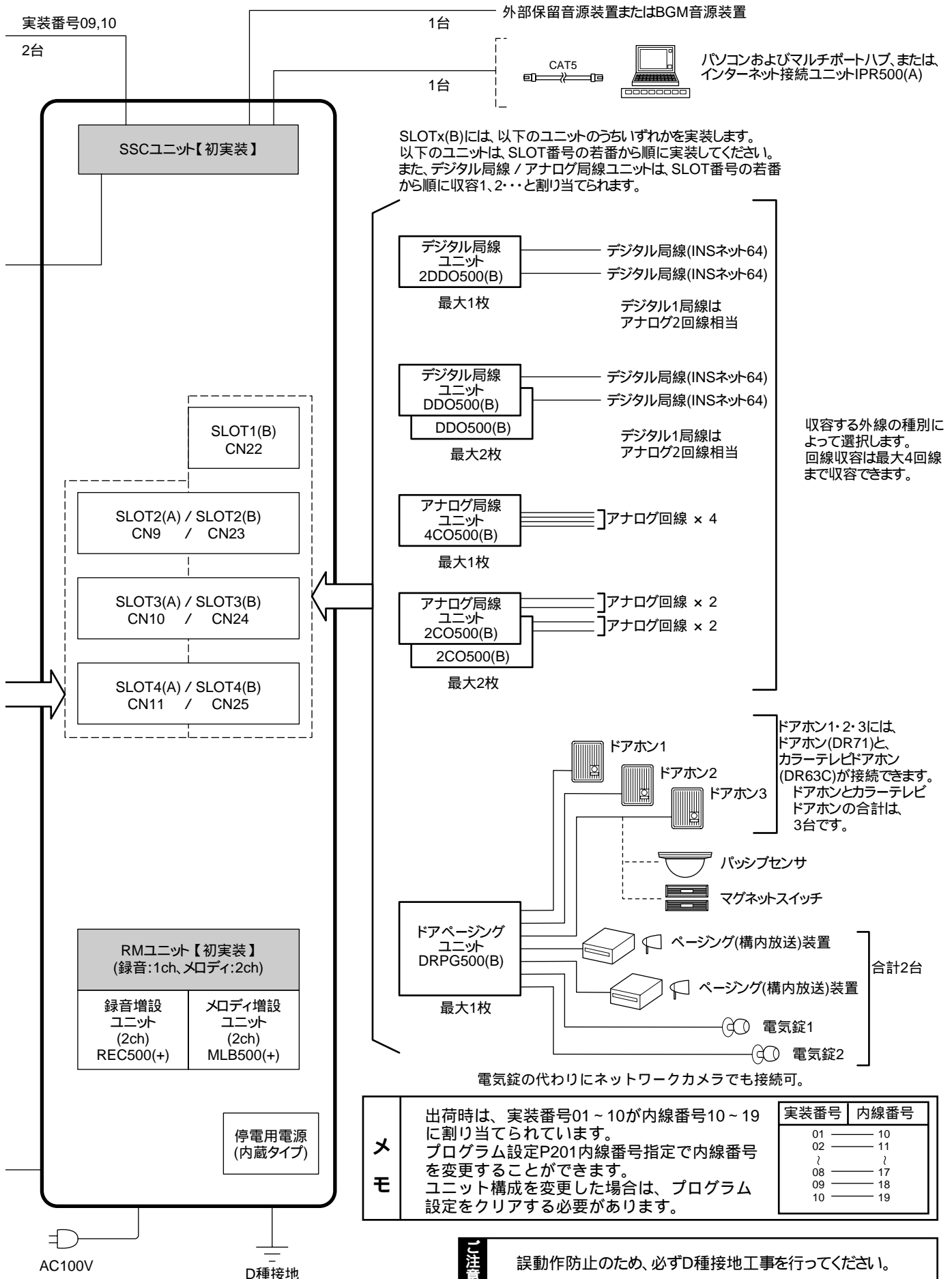
SLOTx(A)には、以下のユニットのうちいずれかを実装します。  
以下のユニットは、SLOT番号の老番から順に実装してください。



停電用電源は内蔵タイプ(約20分用)または外付けタイプ(約6時間30分用)のどちらかを接続できます。  
停電対応動作をエコモードに設定時は、内蔵タイプ約45分、外付けタイプ約9時間使用できます。  
(実装番号01、02の電話機のみ使用可)  
停電用電源(内蔵タイプ)は、古河電池株式会社製のFML1208、株式会社ユアサコーポレーション製のNP0.8-12、およびジー・エス・バッテリー株式会社製のPE12V0.8W3をご利用ください。  
停電用電源(外付けタイプ)は、古河電池株式会社製の12m7.2B、株式会社ユアサコーポレーション製のNP7-12、およびジー・エス・バッテリー株式会社製のPE12V7F1をご利用ください。  
(電源キャビネットに収容して、ご利用ください)



GT500Std 主装置



# 3 主装置の工事と各ユニットの接続

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事してください。

## ⚠ 警告

- ⊗ プロパンガス・ガソリン等の引火性ガスが発生する場所には設置しないでください。

## ⚠ 注意

- ❗ 壁掛けとして設置する場合は、重さに耐えうる適正な取り付けをしてください。落下し、装置の破損ばかりでなく、けがの原因になります。
- ⊗ 油煙や湯気の当たる場所あるいは湿気やホコリの多い場所には設置しないでください。
- ⊗ 直射日光の当たる場所への設置はしないでください。
- ❗ 装置の通風孔をふさがないように、周囲スペースを充分確保してください。
- ⊗ 振動の多い場所や不安定な台の上などには設置しないでください。

## ▶ (1) 主装置の壁掛取付方法

### 取付方法1（テンプレートを使用する場合）

テンプレートを壁に貼り付けます。

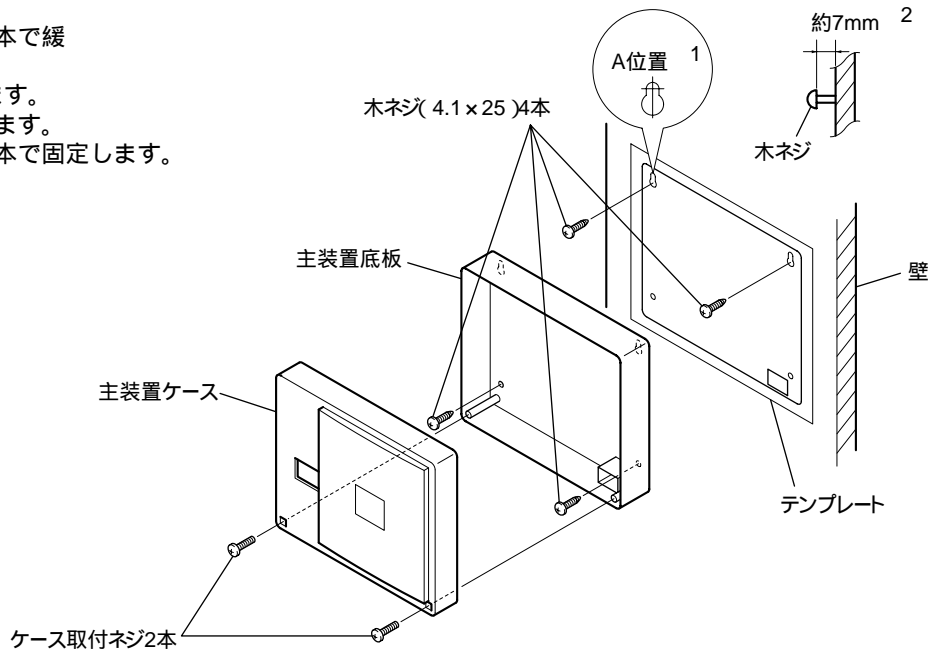
テンプレートA位置 1に付属の木ネジ（4.1×25）2本を取り付けます。そのとき、木ネジの首下を壁より約7mm<sup>2</sup>残してください。

主装置ケースをケース取付ネジ2本で緩めて取り外します。

主装置底板を木ネジにはめ込みます。

主装置底板を木ネジ4本で固定します。

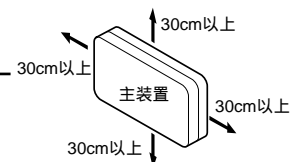
主装置ケースをケース取付ネジ2本で固定します。



## ご注意

土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。  
（誤動作の原因となります）



## 取付方法2（別売品の主装置壁掛用品を使用する場合）

主装置は、主装置壁掛用品より両側に約2cm<sup>1</sup>外側に出来ます。

主装置壁掛用品取り付け時、注意してください。

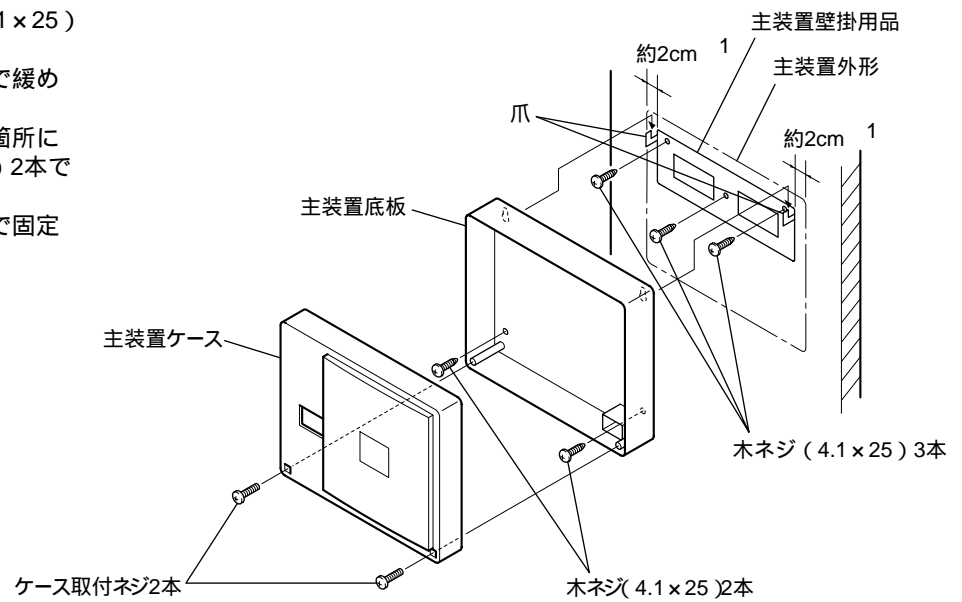
主装置壁掛用品を付属の木ネジ（4.1×25）

3本で壁に取り付けます。

主装置ケースをケース取付ネジ2本で緩めて取り外します。

主装置底板を主装置壁掛用品の爪2箇所  
に引掛けて、下側を木ネジ（4.1×25）2本で  
固定します。

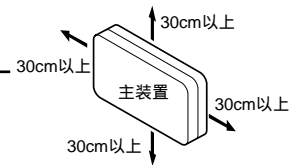
主装置ケースをケース取付ネジ2本で固定  
します。



### ご注意

土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。  
（誤動作の原因となります）

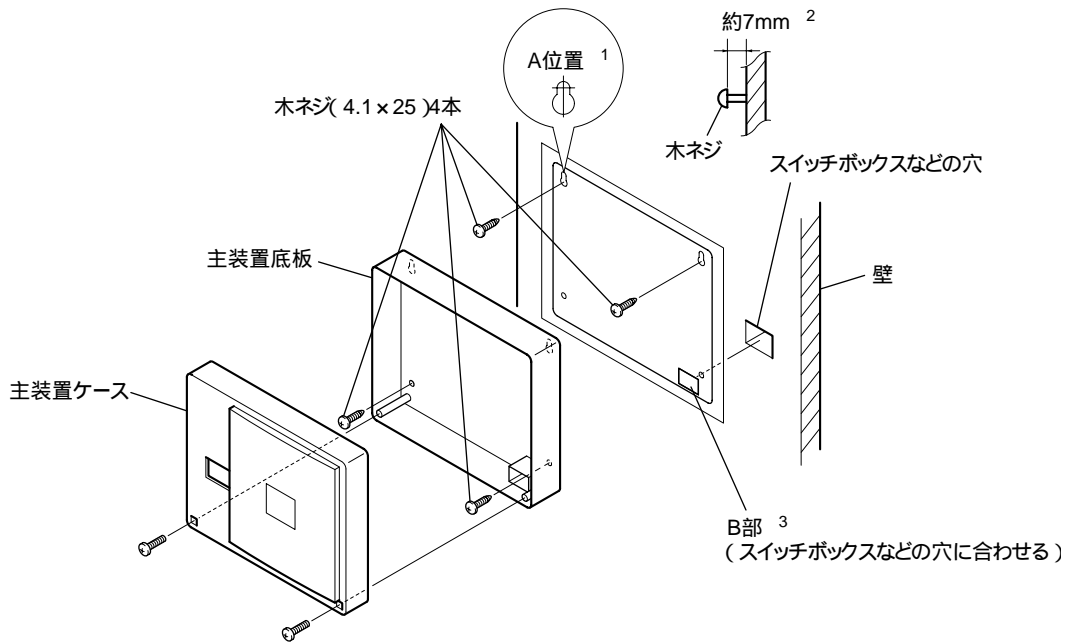
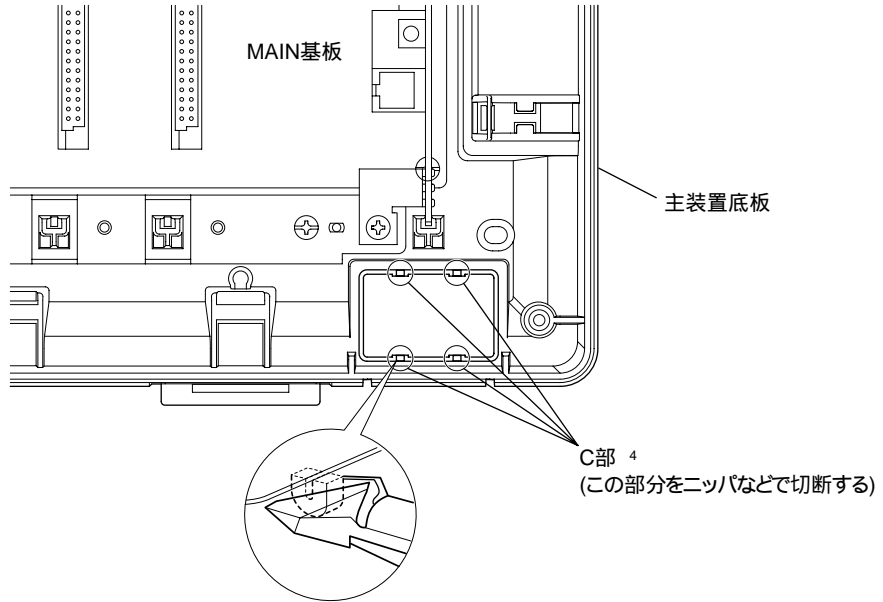


### 取付方法3 (スイッチボックスなどの穴を利用する場合)

主装置のC部<sup>4</sup>をニッパなどで切断し、配線ケーブルを通して配線してください。

テンプレートを壁に貼り付けます。そのとき、B部<sup>3</sup>とスイッチボックスなどの穴の位置を合わせます。  
 テンプレートA位置<sup>1</sup>に付属の木ネジ(4.1×25)2本を取り付けます。そのとき、木ネジの首下を壁より約7mm<sup>2</sup>残してください。

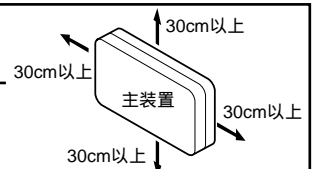
- 主装置ケースをケース取付ネジ2本を緩めて取り外します。
- 主装置底板のC部<sup>4</sup>をニッパなどで切断します。
- 主装置底板を木ネジにはめ込みます。
- 主装置底板を木ネジ4本で固定します。
- 主装置ケースをケース取付ネジ2本で固定します。



## ご注意

土壁・ボードなどへの取り付けは、主装置が落下しやすいのでおやめください。

主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。  
 (誤動作の原因となります)



## ▶(2) 主装置の据置方法

### 据置方法（別売の主装置据置用品を使用する場合）

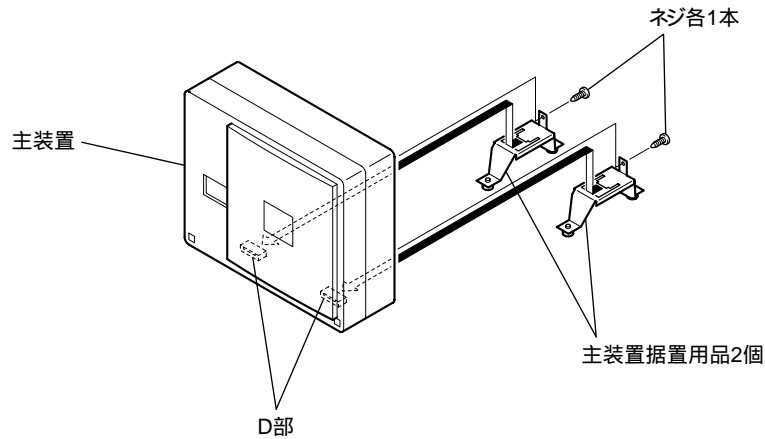
主装置据置用品の取り付けは、主装置への配線工事終了後行ってください。

主装置ケースをケース取付ネジ2本を緩めて取り外します。

主装置への配線工事を行います。

主装置ケースをケース取付ネジ2本で固定します。

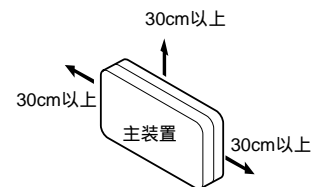
主装置底板および主装置ケースのD部に主装置据置用品2個を取り付けネジ（各1個）にて固定します。



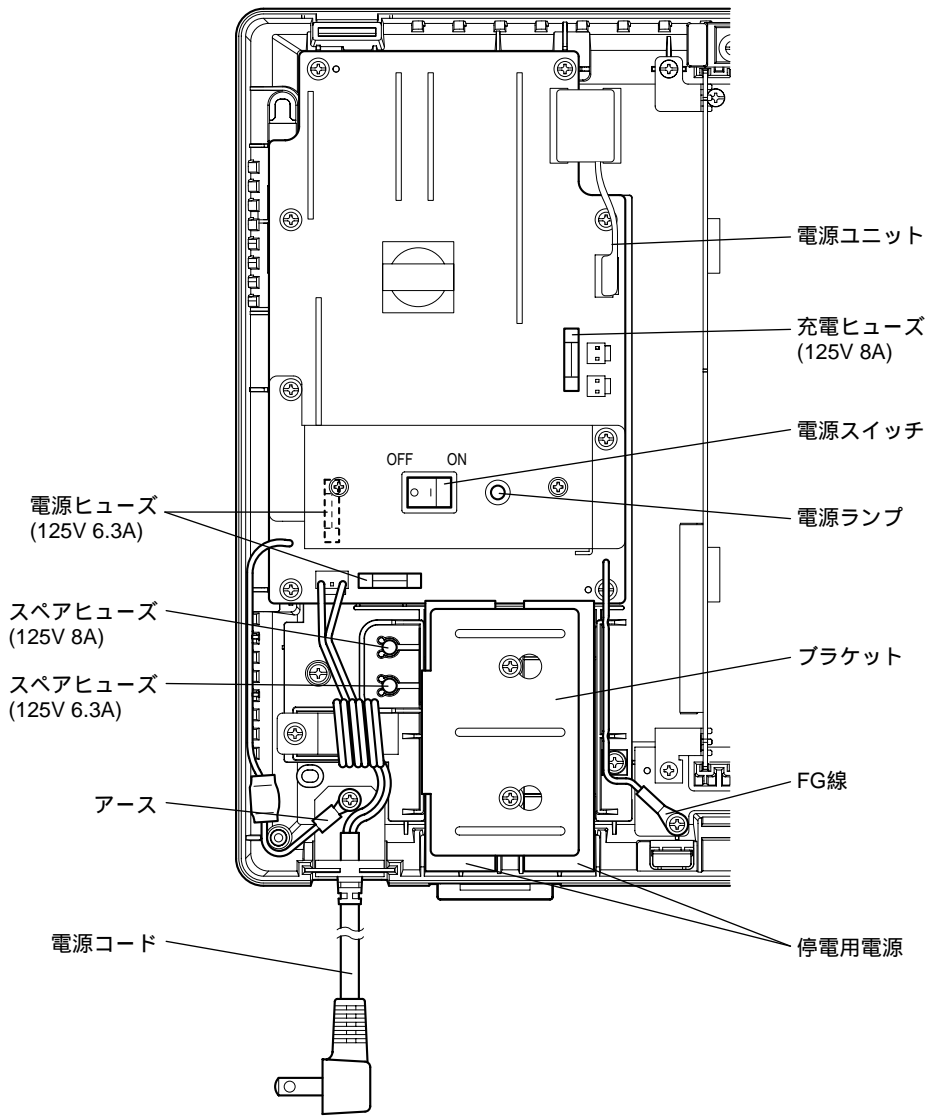
### ご注意

主装置は、放熱のため周囲30cmに、物を置かないでください。  
（誤動作の原因となります）

据置用品取付後、再工事をする場合は、一度主装置を倒した状態で工事をしてください。（転倒のおそれがあります）



主装置



電源配線  
主装置本体と電源  
配線は約50cm以上  
離してください。

各ユニットの詳細は、下記のページをご覧ください。

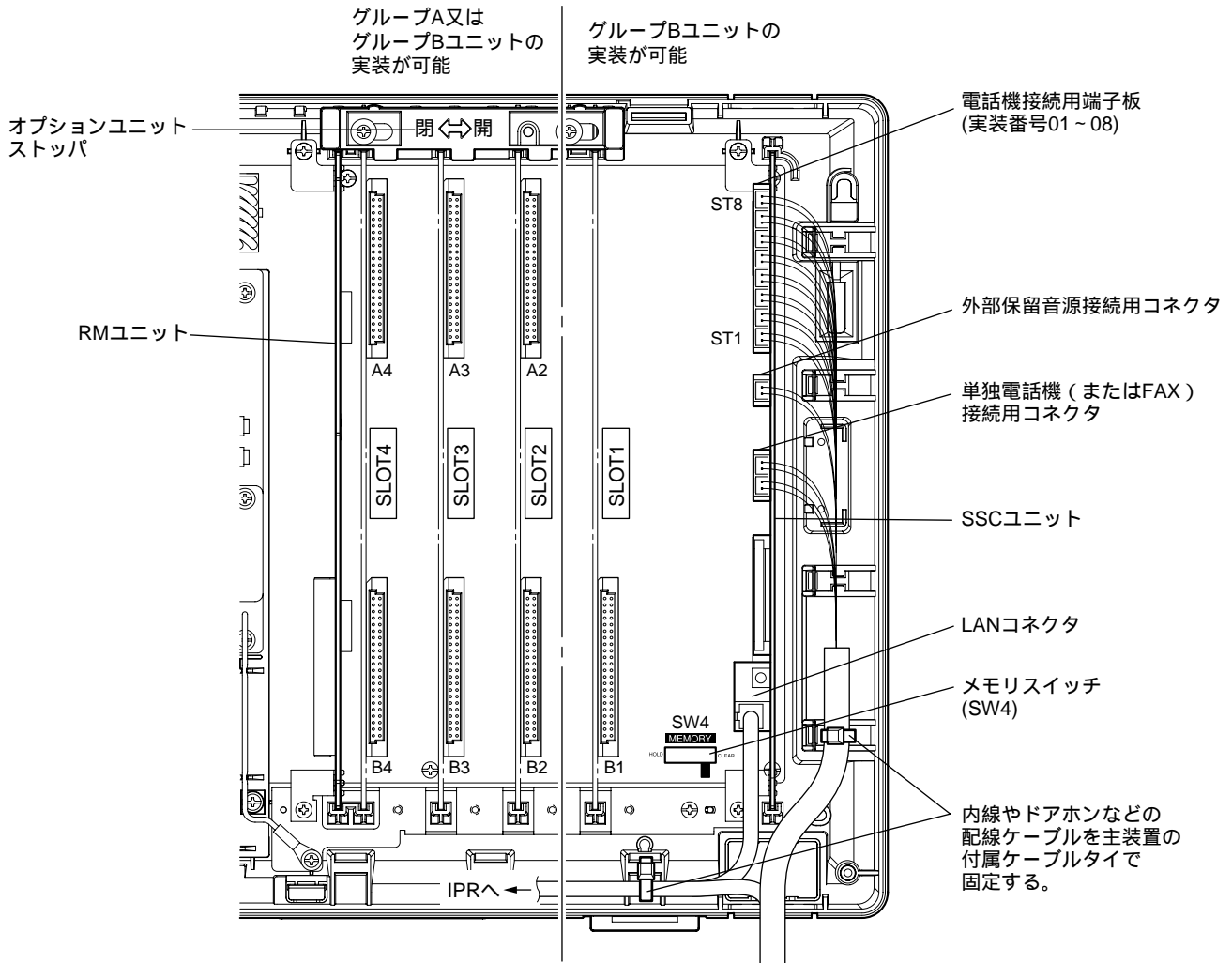
IPFU500(A) / IPNT500(A)	: ルータ機能内蔵VoIPユニット	(Std-26ページ)
IPR500(A)	: インターネット接続ユニット	(Std-59ページ)
DDO500(B) / 2DDO500(B)	: デジタル局線ユニット	(Std-69ページ)
2CO500(B) / 4CO500(B)	: アナログ局線ユニット	(Std-71ページ)
DRPG500(B)	: ドアページングユニット	(Std-73ページ)
REC500(+)	: 録音増設ユニット	(Std-75ページ)
MLB500(+)	: メロディ増設ユニット	(Std-77ページ)

注意

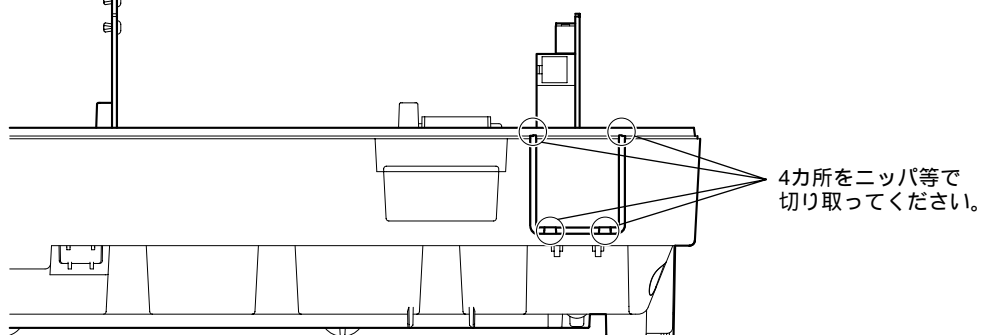
誤動作防止のため、D種接地工事を行ってください。  
AC電源投入時、約20秒間は不安定な動作をしますが故障ではありません。  
主装置の各ユニット（基板）の脱着は、必ず電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、行ってください。  
（感電・故障の原因となります）  
電源ランプは、電源スイッチONから約3秒後に点灯します。  
電源スイッチをONし3秒以上経過しても、電源ランプが点灯しない、またはすぐに消灯してしまう場合、電源ユニットの保護回路が動作している可能性があります。電源スイッチを「OFF」に切り替え原因を取り除き約2分間放置後、電源スイッチを「ON」に切り替えてください。（放置時間が短いと立ち上がりません）  
電源の再投入は、1分以上の間隔を取って行ってください。

グループAユニット ... ルータ機能内蔵VoIPユニット、インターネット接続ユニット

グループBユニット ... デジタル局線ユニット、アナログ局線ユニット  
ドアページングユニット



LANケーブルを固定する場合は無理にケーブルを曲げたり、強く締めすぎないように注意してください。



## 主装置のメモリスイッチ

SW4は出荷時、「CLEAR」側に設定してあります。

電源コードをAC100Vコンセントに差し込み、電源スイッチを「ON」にしてから30秒以上経過後に「HOLD」側に切り替えます。

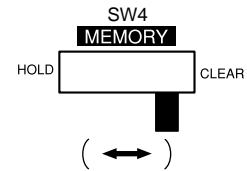
メモリクリアが必要な場合は、下記の手順で行います。

電源スイッチを「OFF」にします。

SW4を「CLEAR」側に切り替えます。

電源スイッチを「ON」にします。

30秒以上経過後に、SW4を「HOLD」側に切り替えます。



### ご注意

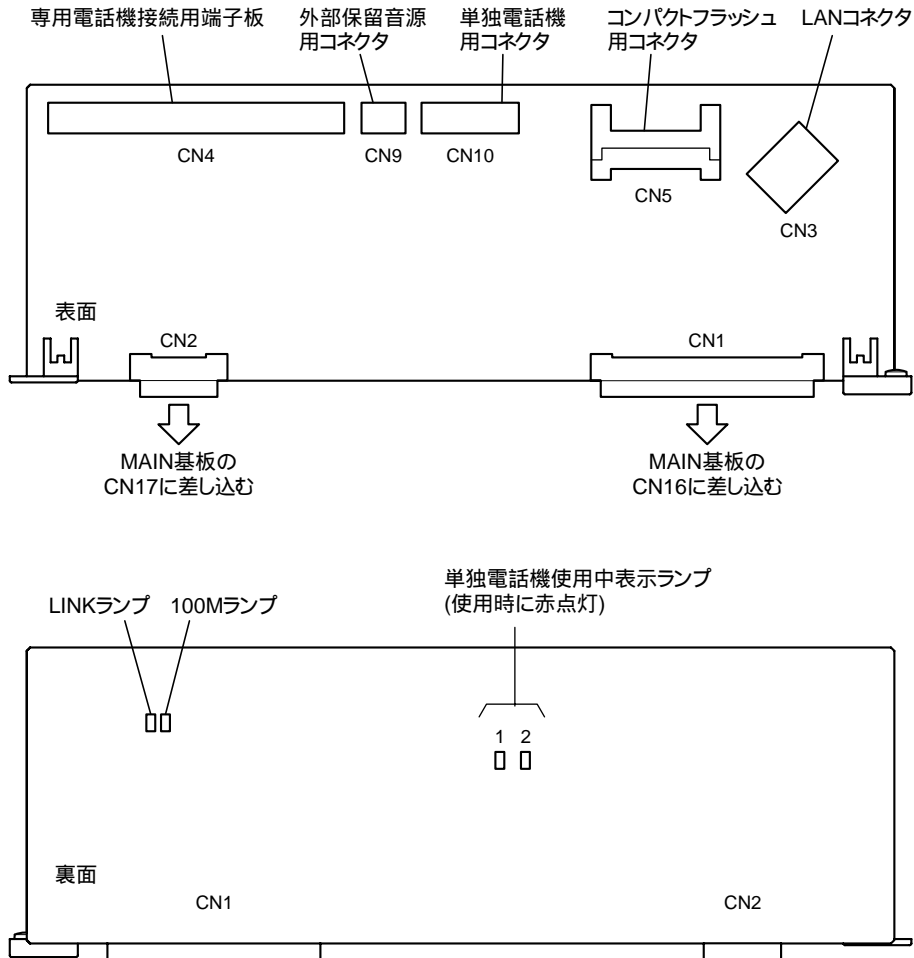
「CLEAR」側のままにしておくと、停電時にプログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて初期に戻り、消えてしまいます。  
必ず「HOLD」側に切り替えてください。

# 初実装SSCユニット【GT500Std SSC】

本ユニットは初実装のユニットです。

本ユニット1枚で下記のことを接続することができます。

- ・ 専用電話機：8台（実装番号01～08）
- ・ 外部保留音源またはBGM音源装置：1台
- ・ 単独電話機またはFAX：2台（実装番号09、10）
- ・ パソコンおよびマルチポートハブ、またはインターネット接続ユニット（LANコネクタ）



## ランプの点灯条件

ランプ状態		動作状態
LINKランプ	100Mランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-Tで通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TXで通信している。
点滅	-	データの送受信を行っている。

本ユニットのLANコネクタ (CN3) にパソコンおよびマルチポートハブを接続した際には、下記の機能を使用することができます。

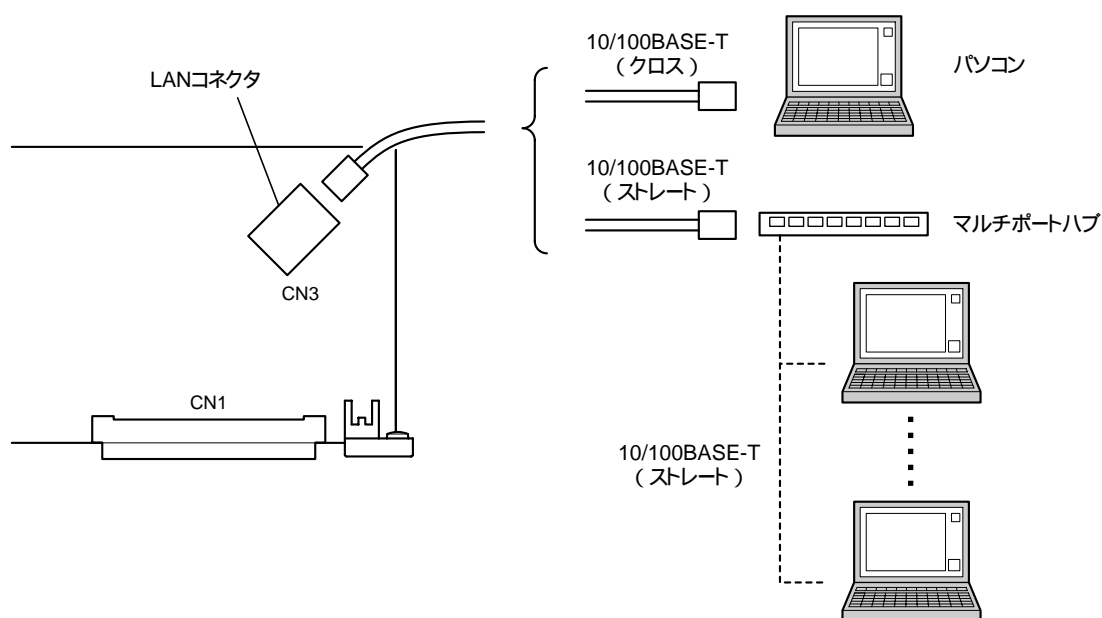
- ・ オンサイトメンテナンス  
LANを介してパソコンを接続することで、主装置の設定データの変更などを行います。
- ・ CTI機能  
LANを介してパソコンを接続することで、CTI環境を構築することができます。

**必要な機器**

- ・ パソコン  
Windows Me / 2000 / XP で動作しているパソコン
- ・ ソフトウェア  
オンサイトメンテナンス … Webブラウザ (インターネットエクスプローラ6)  
CTI機能 …………… CTI用アプリケーション各種

**接続**

- ・ LANコネクタとパソコンを直接接続する場合はクロスケーブルを使用してください。マルチポートハブを介してパソコンに接続する場合はストレートケーブルを使用してください。



**操作方法**

- ・ オンサイトメンテナンス操作方法については、サクサホームページ内(<http://www.saxa.co.jp>)から操作資料をダウンロードのうえ、ご確認ください
- ・ CTI操作方法については、CTI用アプリケーションに添付の資料をご確認ください。

## ユニットの取付 / 取外し

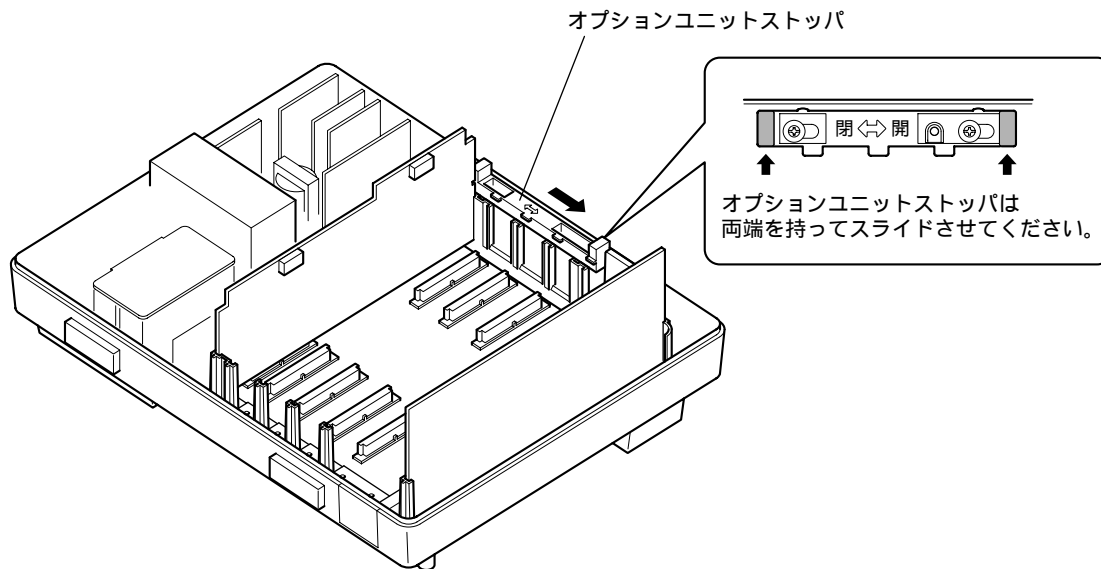
注意

ユニットの取り付けや取り外しは、主装置の電源がOFFの状態で行ってください。

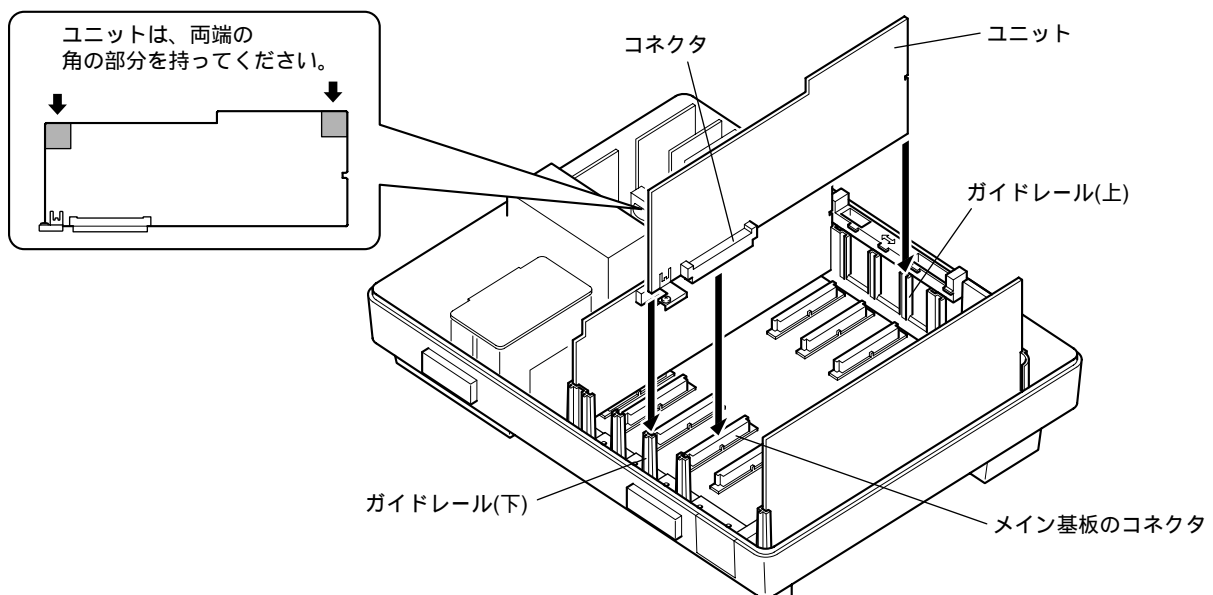
### (1) ユニットの取付

ユニットは、スイッチ設定などの調整を行ってから、主装置のスロットに取り付けます。

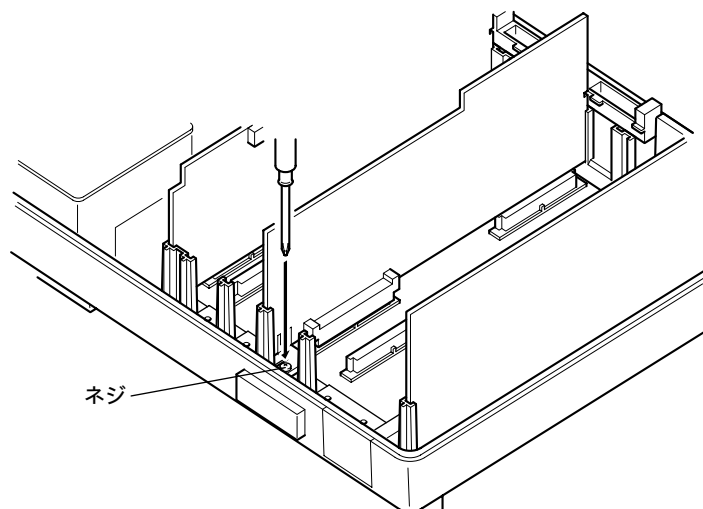
オプションユニットストップを、“カチッ”と音がするまで右方向にスライドさせます。  
オプションユニットストップのネジはゆるめないでください。



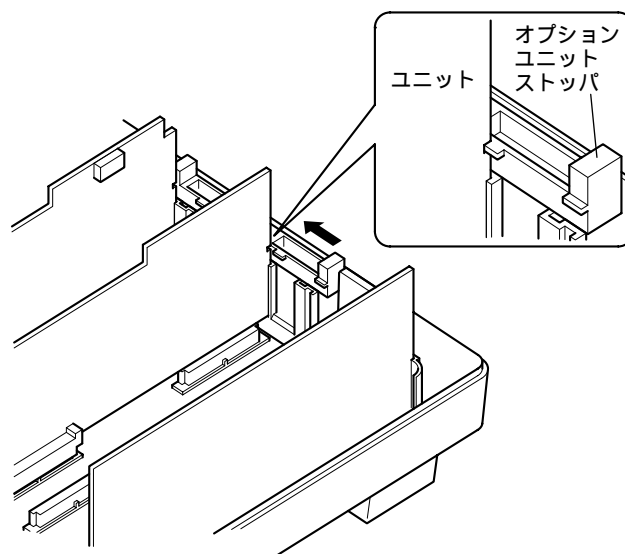
ユニットをガイドレールに沿って挿入し、ユニットのコネクタをメイン基板のコネクタにしっかり差し込みます。



ユニットに付いているネジで、ユニットを主装置内部のFGブラケットに固定します。



ユニットを全て取り付けした後、オプションユニットストップの両端を持って、左方向に“カチッ”と音がするまでスライドさせます。  
オプションユニットストップがユニットの切り欠きに入り、ユニットが固定されます。



オプションユニットストップが完全にロックされていないと主装置ケースが取り付けられません。

以上で、ユニットの取り付けは完了です。

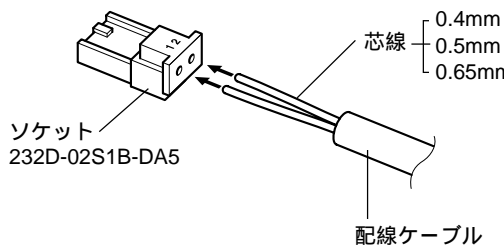
## (2)ユニットの取外し

ユニットの取外し手順は、取り付け手順を逆に行ってください。

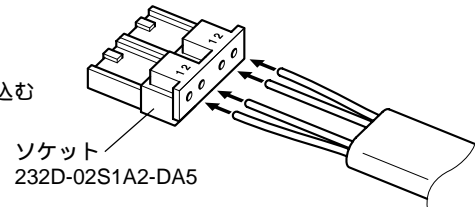
## ソケットのカシメ作業

ソケットは第一電子工業株式会社製の 232D-02S1B-DA5(ブルー)、232D-02S1A2-DA5(ブラック)を使用します。

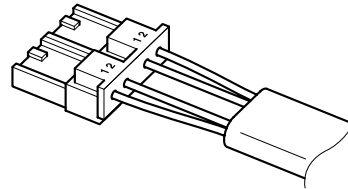
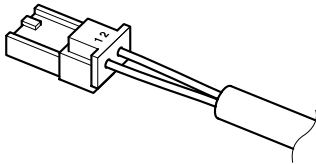
- ① ソケットに芯線の先端をそろえて差し込みます。



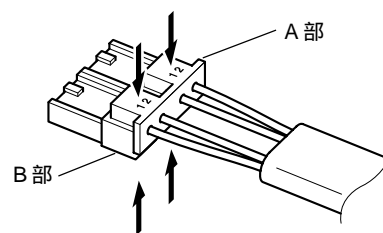
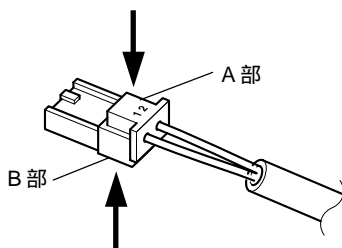
被覆をむいてから差し込む



- ② 芯線を奥まで、押し込みます。



- ③ ペンチなどでソケットA・B部をはさんで、強く押し込んでください。

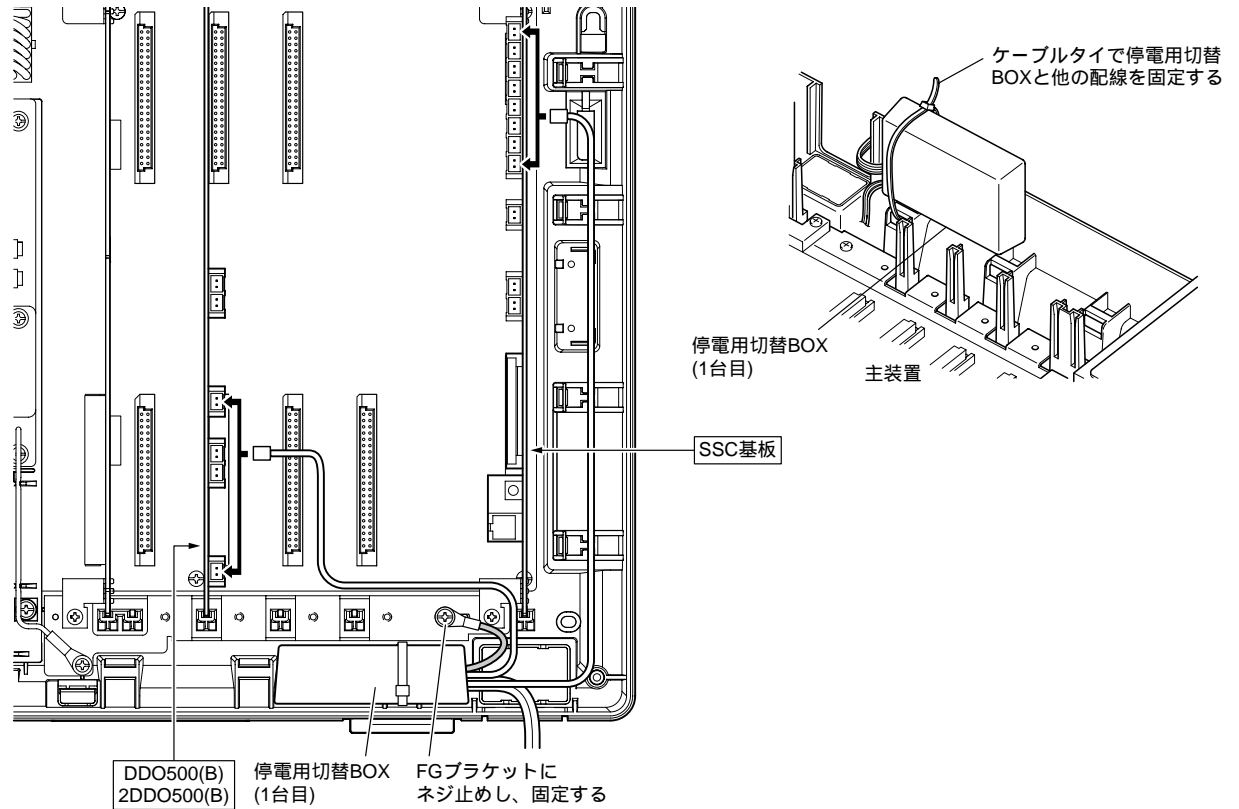


## 注意

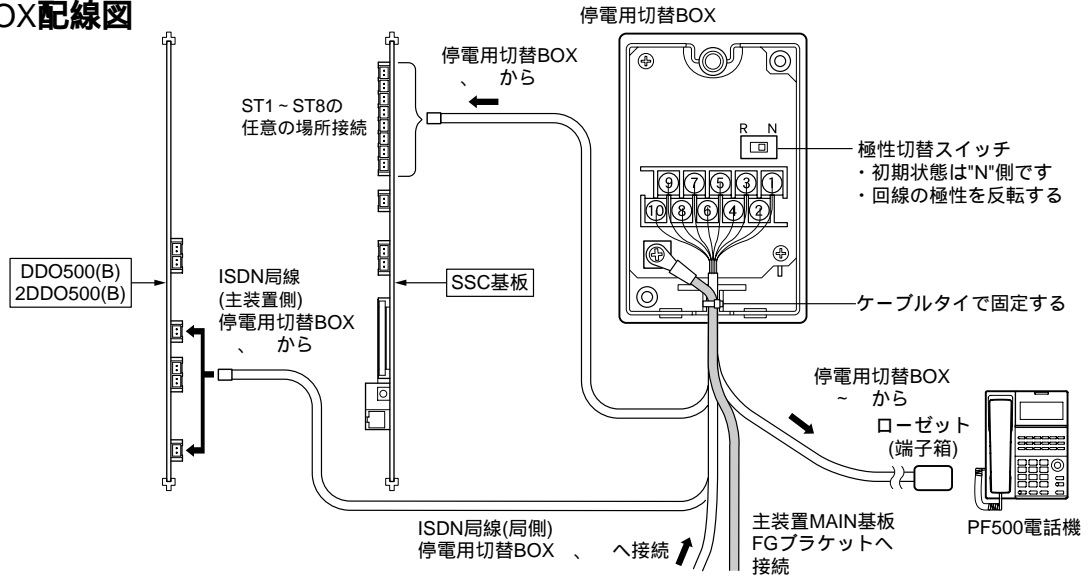
ソケットの再カシメ(再使用)はしないでください。(接触不良の原因になります)  
ソケットを各ユニットから抜くときは、ユニットを押さえながら、ソケットをペンチなどで、はさんで抜いてください。(芯線を持って抜くと接触不良などの原因になります)

▶(3) PF500 (停電用) 電話機の接続方法

PF500電話機 (1台接続の場合)

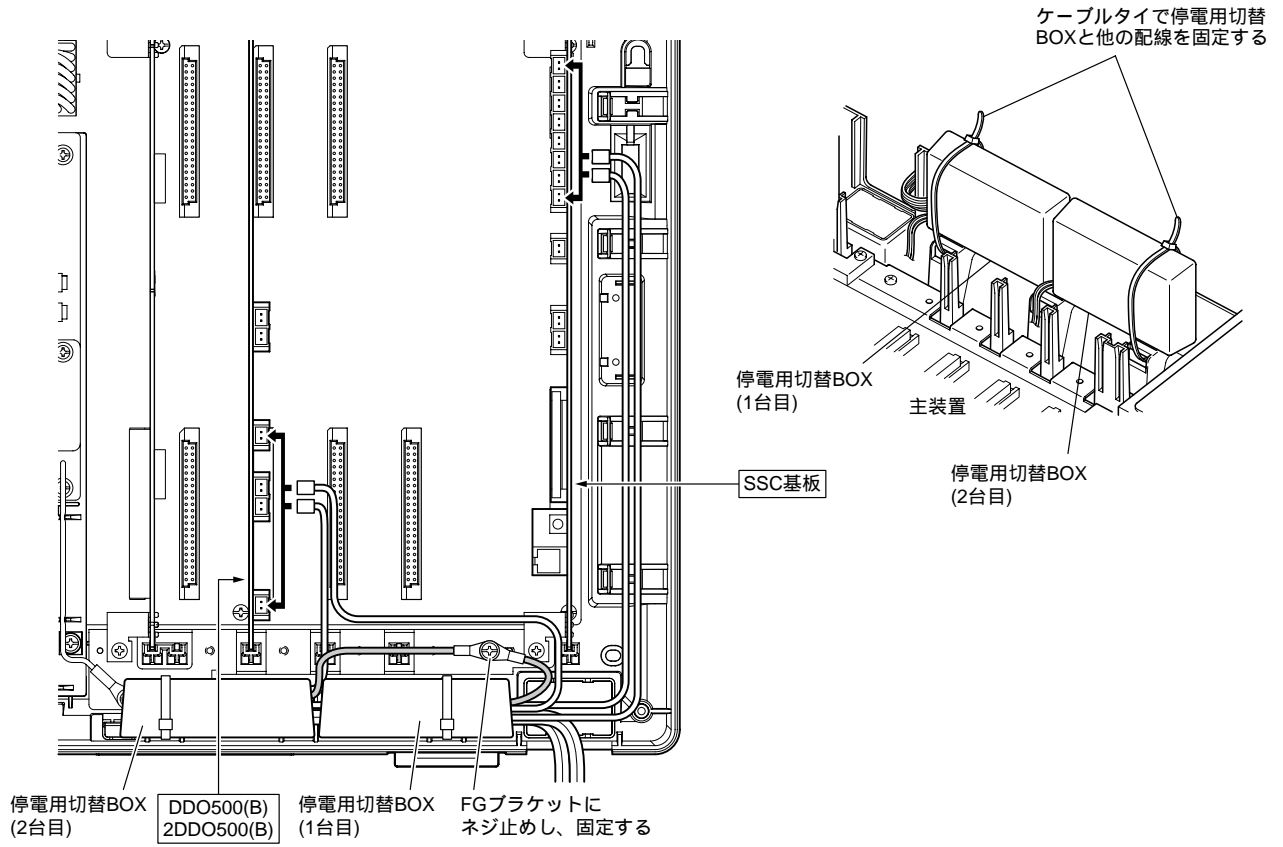


停電用切替BOX配線図



停電用切替BOXの端子番号	停電用切替BOXからの接続先	
	L1	PF500電話機ローゼット
	L2	
	L3	
	L4	
	DDO500(B)/2DDO500(B)のISDN局線接続用端子 (DIGITAL)	
	SSC基板の電話機接続用端子 (ST1~ST8)	
	ISDN局線	

PF500電話機 (2台接続の場合)

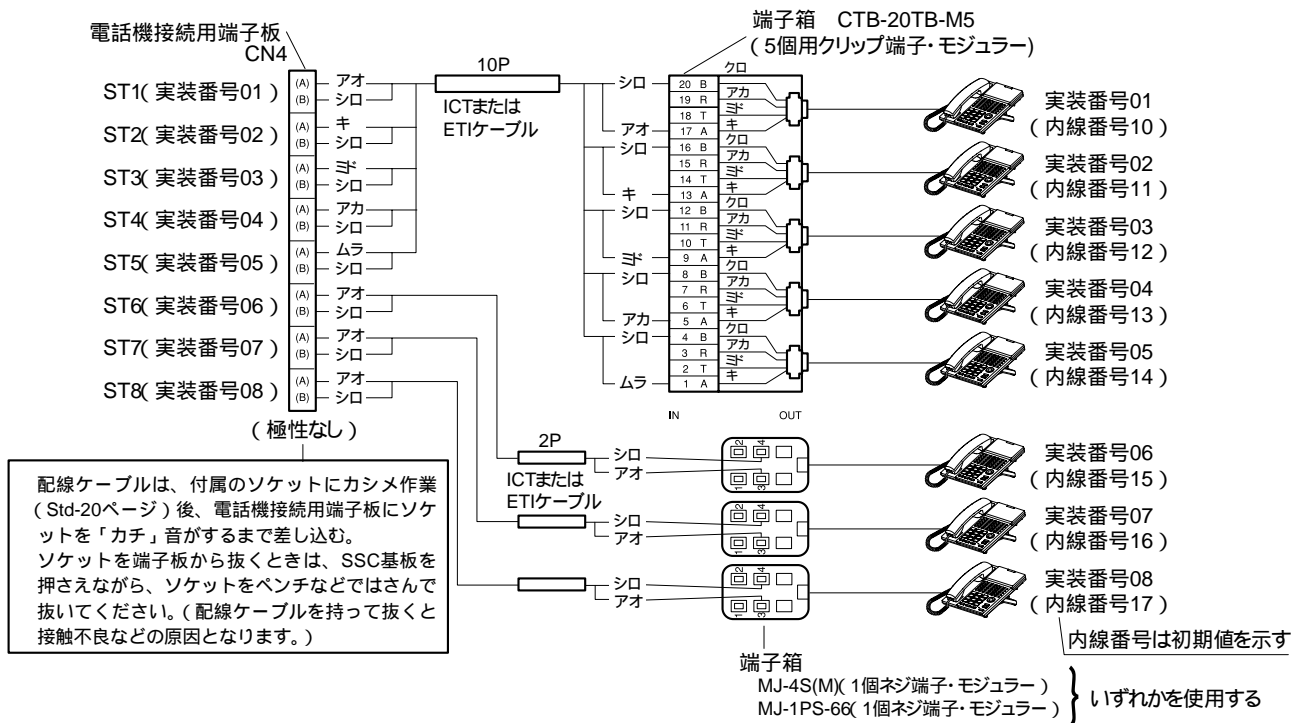


## ▶(4) 電話機接続用端子板

初実装SSC基板の電話機接続用端子板の配線図を表します。

5個用端子箱は、ヒロセ電機株式会社製の端子箱 (CTB-20TB-M5) をご利用ください。

### 主装置初実装 SSCユニット



### 電話機接続用端子板と端子箱の配線

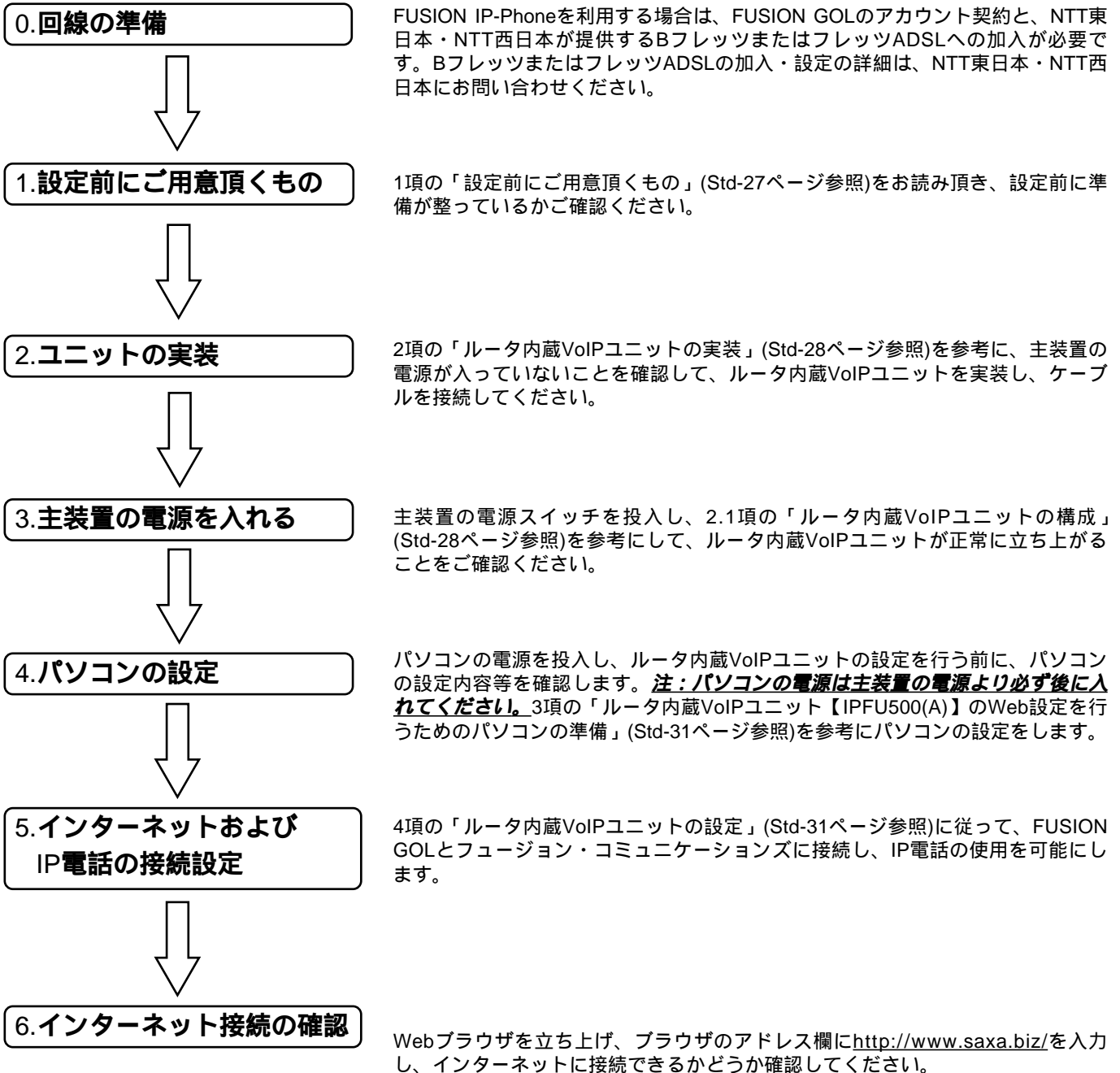
電話機接続用端子板	端子箱		備考
	5個用	1個用	
CN4 (A) (極性なし)	A	L3	通電動作 端子電圧 約-28V
(B)	B	L4	

## ▶(5) ルータ機能内蔵VoIPユニット【IPFU500(A)】

ルータ機能内蔵VoIPユニット（以降ルータ内蔵VoIPユニットと表記）は、ルータ内蔵VoIPユニット基板と添付のカテゴリ-5のLANケーブルで構成されます。

ルータ内蔵VoIPユニットを使用する場合に必要な設定を、FUSION IP-Phoneを利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。詳細および最新の情報は「IPFU500(A)取扱説明書」を参照ください。

### FUSION GOLを例としたルータ内蔵VoIPユニットの設定例



## 1. 設定前にご用意頂くもの

FUSION IP-Phoneを利用してルータ内蔵VoIPユニットでIP電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

パソコン：Windows® 98se/Me/2000/XPのOSを搭載したもの、およびパソコンとルータ内蔵VoIPユニットを接続するための  
カテゴリ-5のLANケーブル

Webブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver6.0（以降IE6.0）以上

ルータ内蔵VoIPユニット、および添付のカテゴリ-5のLANケーブル

FUSION GOLから通知された「接続用ID・パスワード」が記載された用紙

フュージョン・コミュニケーションズから通知された「SIPプロキシサーバ・SIPドメイン」、「IP電話番号・アカウント・パスワード」が記載された用紙

## 2. ルータ内蔵VoIPユニットの実装

### 2.1 ルータ内蔵VoIPユニットの構成

LIVE LEDは電源投入で表2-1の矢印の順番通り点灯 消灯 点灯を繰り返し立ち上がります。

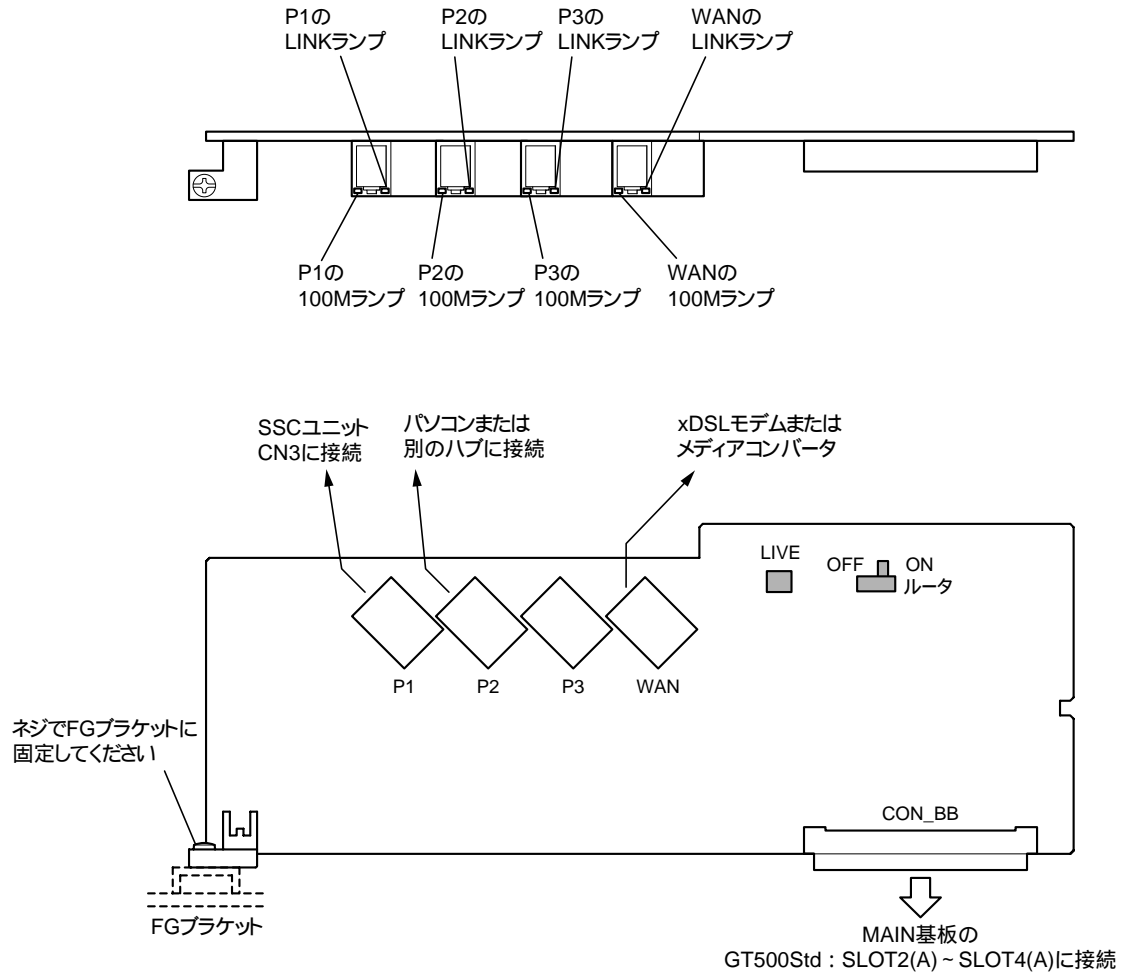


表2-1 LIVE LEDの点灯について

電源投入直後	↓	点灯
初期化中		消灯
正常起動中		点灯
異常動作		点滅

表2-2 P1, P2, P3,WANコネクタのLAN関連のランプについて

ランプ状態		動作状態
LINKランプ	100Mランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-Tで通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TXで通信している。
点滅	-	データの送受信を行っている。

2.2 ルータ内蔵VoIPユニットの取付

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

主装置のメイン基板のSLOT2(A)～SLOT4(A)のいずれかのコネクタに、Std-20の「ユニットの取付/取外し」を参考にルータ内蔵VoIPユニットを取り付けます。

ルータON/OFFスイッチ

ルータ機能のON/OFFを設定します。

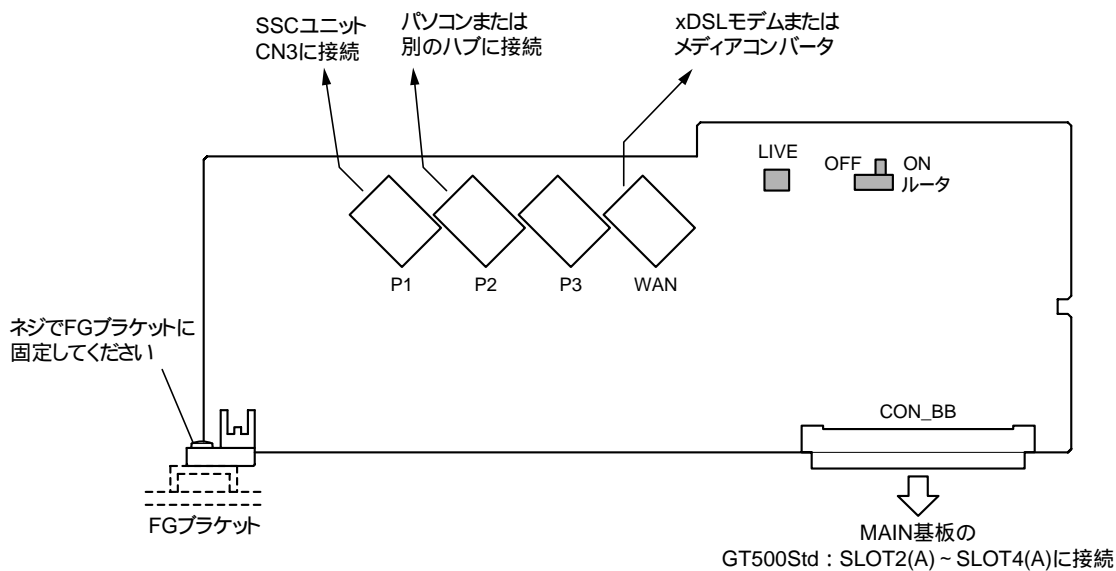
出荷時はON側です。

スイッチの設定は電源投入前に行い、電源投入中はON/OFFを切り替えないでください。

ルータスイッチ切り替え後は、初期設定を行ってください。

表2-3 スイッチの動作について

	ルータスイッチON時	ルータスイッチOFF時
使用可能IP電話チャンネル数	2ch	8ch
ルータ機能	使用可	使用不可
収容外線	外線5,6	外線5～12



**注意** 誤動作防止のため必ずルータ内蔵VoIPユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

**危険**

⚠ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

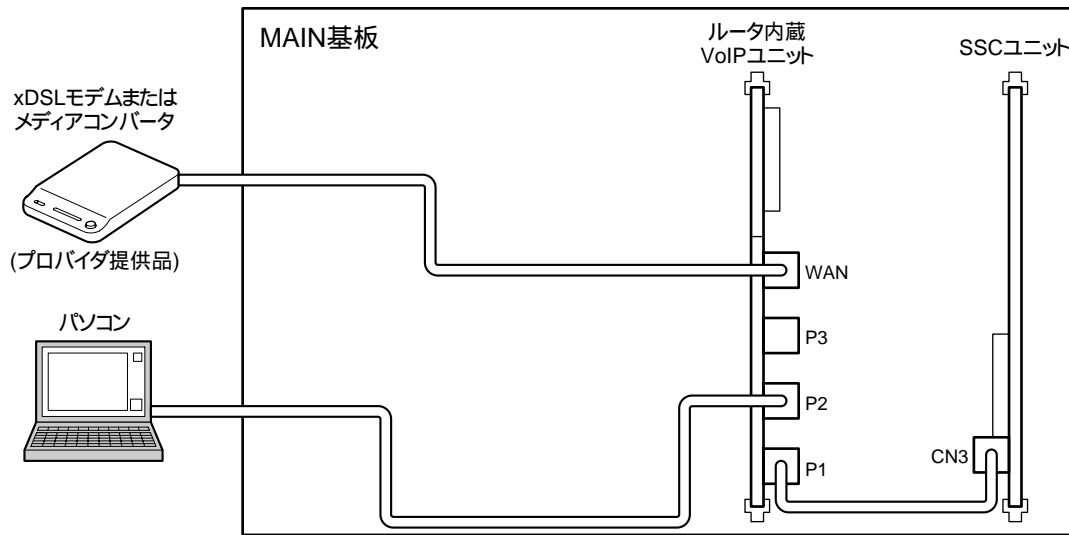
**注意**

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

### 2.3 LANケーブルの接続

LANケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。

#### 2.3.1 ルータスイッチON時



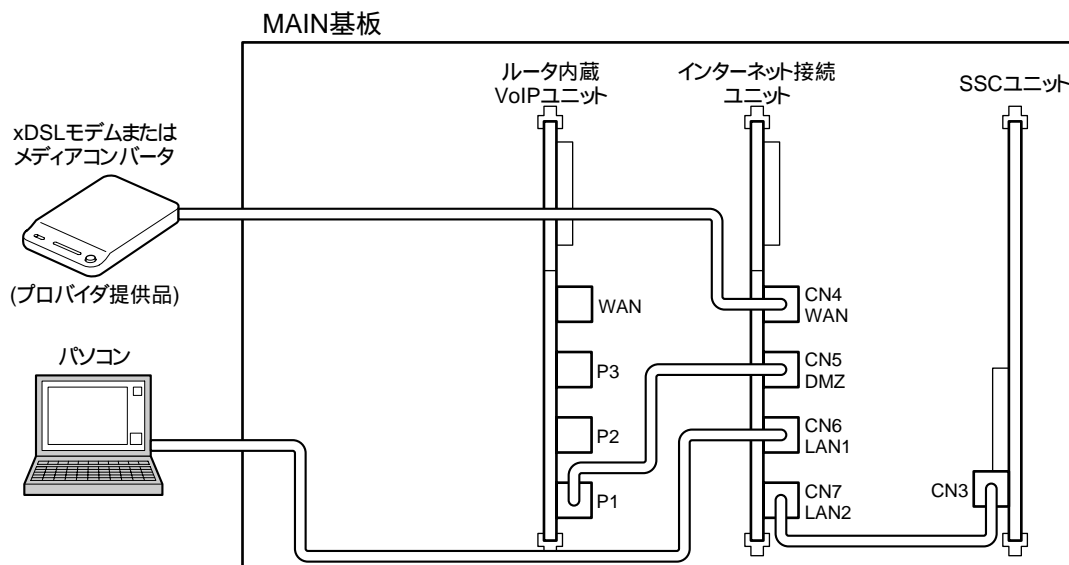
ルータ内蔵VoIPユニットを実装する場合の接続図

SSCユニットとルータ内蔵VoIPユニットとの接続には、ルータ内蔵VoIPユニットに添付のカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

パソコンとルータ内蔵VoIPユニットとの接続にはカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

xDSLモデムまたはメディアコンバータとルータ内蔵VoIPユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

#### 2.3.2 ルータスイッチOFF時



インターネット接続ユニットとVoIPユニットを実装する場合の接続図

SSCユニットとインターネット接続ユニットとの接続には、インターネット接続ユニットに添付のカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

パソコンとインターネット接続ユニットとの接続にはカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

インターネット接続ユニットとVoIPユニットとの接続には、VoIPユニットに添付のカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

xDSLモデムまたはメディアコンバータとインターネット接続ユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

### 3. ルータ内蔵VoIPユニット【IPFU500(A)】のWeb設定を行うためのパソコンの準備

ルータ内蔵VoIPユニットの設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

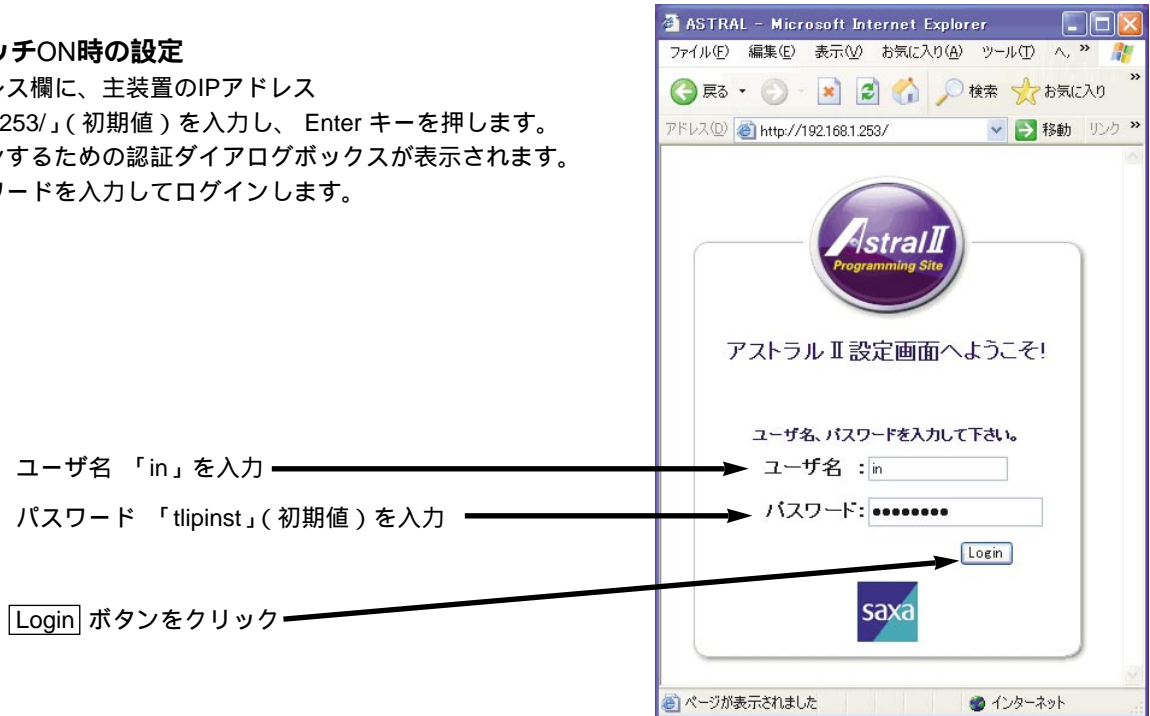
- LANアダプタが正常に動作すること。
- TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- IPアドレスを自動的に取得するように設定していること。
- Webブラウザがインストールされていること。
- ブラウザの設定で、プロキシを設定していないこと。

### 4. ルータ内蔵VoIPユニットの設定

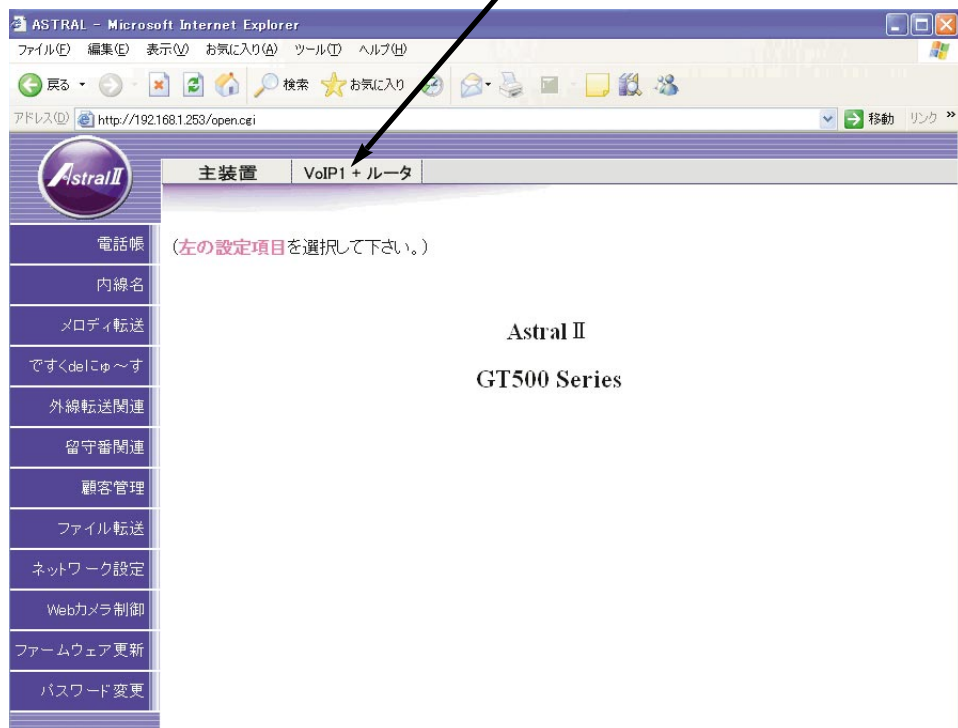
前項の準備が終了した後、Webブラウザを起動します。以降の画面はブラウザがIE6.0の場合です。

#### 4.1.1 ルータスイッチON時の設定

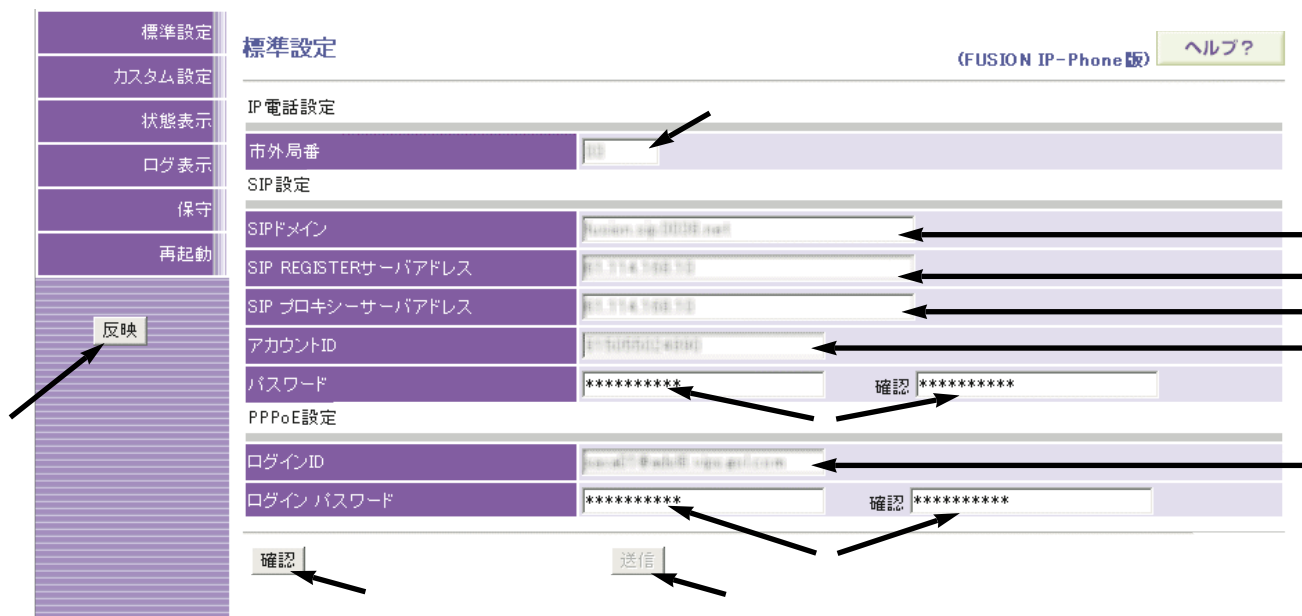
- (1) ブラウザのアドレス欄に、主装置のIPアドレス  
「http://192.168.1.253/」(初期値)を入力し、Enterキーを押します。
- (2) 主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。
- (3) ユーザ名とパスワードを入力してログインします。



- (4) 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている **VoIP1+ルータ** をクリックします。

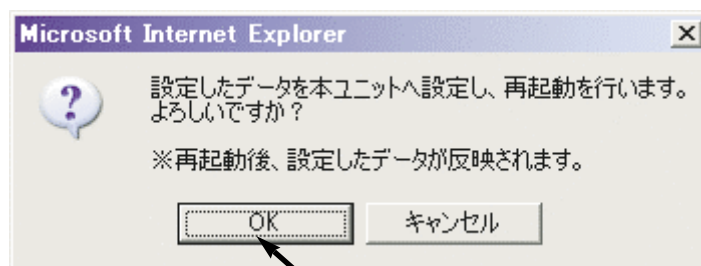


(5) ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。



IP電話設定	
市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例) 東京：03、横浜：045
SIP設定（フュージョン・コミュニケーションズからの通知内容を設定します）	
SIPドメイン	通知されたSIPドメインを入力します。
SIP REGISTERサーバアドレス	SIP REGISTERサーバアドレスを入力します。 (通知された SIPプロキシサーバアドレスと同じ内容です)
SIP プロキシサーバアドレス	通知されたSIPプロキシサーバアドレスを入力します。
アカウントID	通知されたアカウントIDを入力します。
パスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。
PPPoE設定（FUSION GOLからの通知内容を設定します）	
ログインID	通知された接続用IDを入力します。(例) XXXXX...@XXXXX.svips.gol.com
ログインパスワード	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。

- (6) 全ての項目を入力したら、**確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。その後 **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。
- (7) **送信** ボタンが選択できない状態に戻るまで待って **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。
- (8) 確認画面で **OK** ボタン をクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



(9)ユニットの再起動が終了すると、自動的に標準設定画面（(5)の画面）に戻ります。

左のメニューから **状態表示** を選択して、動作状態項目の **PPPoE状態** が「正常」に、**VoIP（1）回線状態** と **VoIP（2）回線状態** が「通話可能」になっていることを確認します。

状態表示

(FUSION IP-Phone版) ヘルプ?

バージョン

プログラムバージョン 1.00.00.0000

動作状態

ルータスイッチ	ON
DSP状態	正常
VoIP(1)回線状態	通話可能
VoIP(2)回線状態	通話可能
VoIP(3)回線状態	通話不可
VoIP(4)回線状態	通話不可
VoIP(5)回線状態	通話不可
VoIP(6)回線状態	通話不可
VoIP(7)回線状態	通話不可
VoIP(8)回線状態	通話不可
DHCP状態	未使用
PPPoE状態	正常

ポート状態

P1状態	接続
P2状態	接続
P3状態	未接続
WAN状態	接続

MACアドレス

LAN側 MACアドレス	00:02:25:ad:5a:e3
WAN側 MACアドレス	00:02:25:ad:5a:e3

ネットワーク

LAN側 IPアドレス	192.168.1.254
LAN側 サブネットマスク	255.255.255.0
WAN側 IPアドレス	192.168.1.254

ログインIDまたはパスワードに誤りがある場合、**PPPoE状態** が「異常」と表示されます。

また、IP電話設定項目またはSIP設定項目に誤りがある場合、**VoIP（1）回線状態** と **VoIP（2）回線状態** が「通話不可」と表示されます。

**確認事項**

以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ルータ内蔵VoIPユニットのLIVE LEDは点灯していますか。  
 点灯していない ユニットをSLOTにきちんと挿入してください。
- ルータ内蔵VoIPユニットのLINKランプは点灯していますか。  
 点灯していない ケーブルの接続を確認し直してください。
- FUSION GOLから通知された接続用ID・パスワードは正しく設定されていますか。  
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。
- フュージョン・コミュニケーションズから通知されたSIP設定の内容は正しく設定されていますか。  
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。

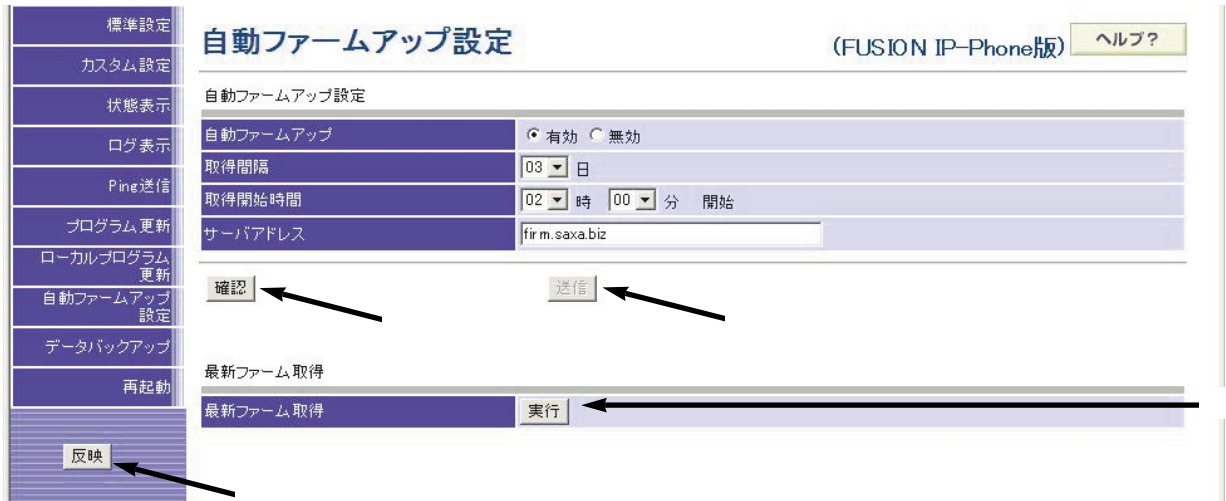
## 4.1.2 自動ファームアップの設定

サーバ上のルータ内蔵VoIPユニットのファームウェアが更新されたとき、自動でバージョンアップを行うよう設定できます。

(1)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面を表示します。左のメニューから **保守** をクリックしてください。

(2)画面左に保守の詳細メニューが表示されます。メニューから **自動ファームアップ設定** をクリックしてください。

(3)自動ファームアップ設定画面が表示されます。



自動ファームアップ設定	
自動ファームアップ	自動ファームアップ機能を使用する場合は有効、使用しない場合は無効を選択してください。
取得間隔	サーバにファームアップの問い合わせを行う日にちの間隔を入力してください。
取得開始時間	サーバにファームアップの問い合わせを行う時刻を入力してください。
サーバアドレス	自動ファームアップ機能を行う相手先サーバアドレスを入力します。

設定の変更をする場合は、必要な項目を変更後 **確認** ボタン、 **送信** ボタン、 **反映** ボタンの順にボタンをクリックして、実際の設定に反映させてから(4)の動作を行ってください。

(4)設置時は必ず **実行** ボタン をクリックして、最新ファームの取得を行ってください。

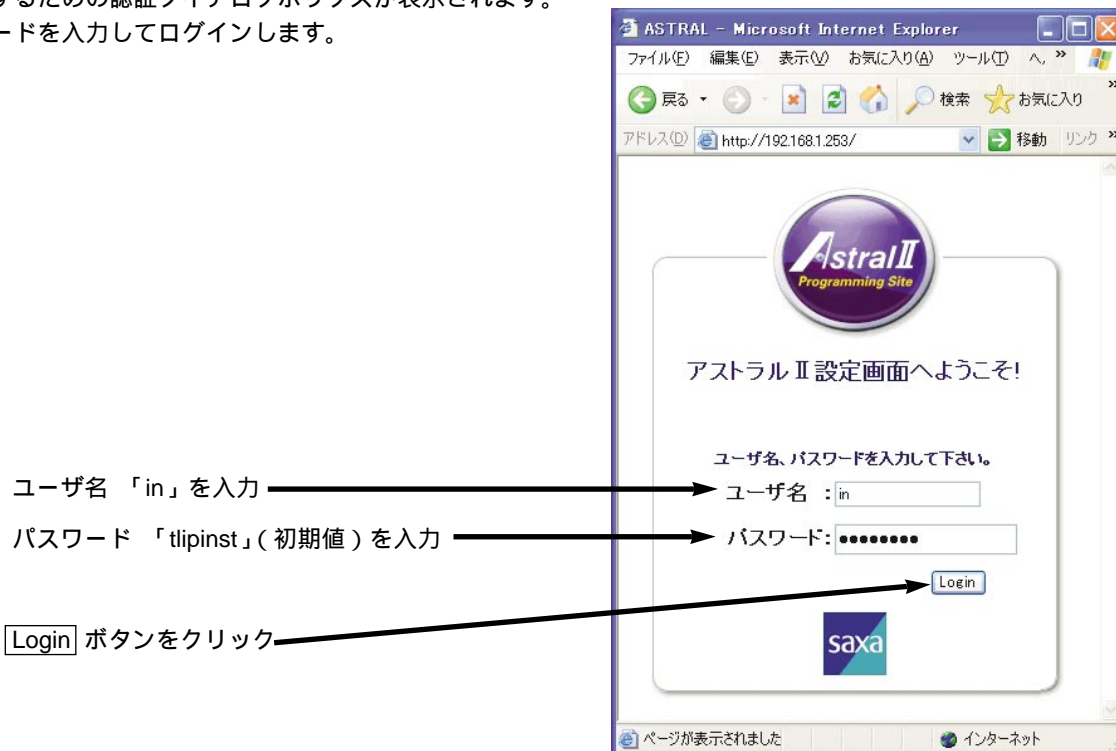
自動ファームアップは、設定された取得開始時間から2時間以内に実行されます。

毎日主装置の電源をOFFにするユーザの場合

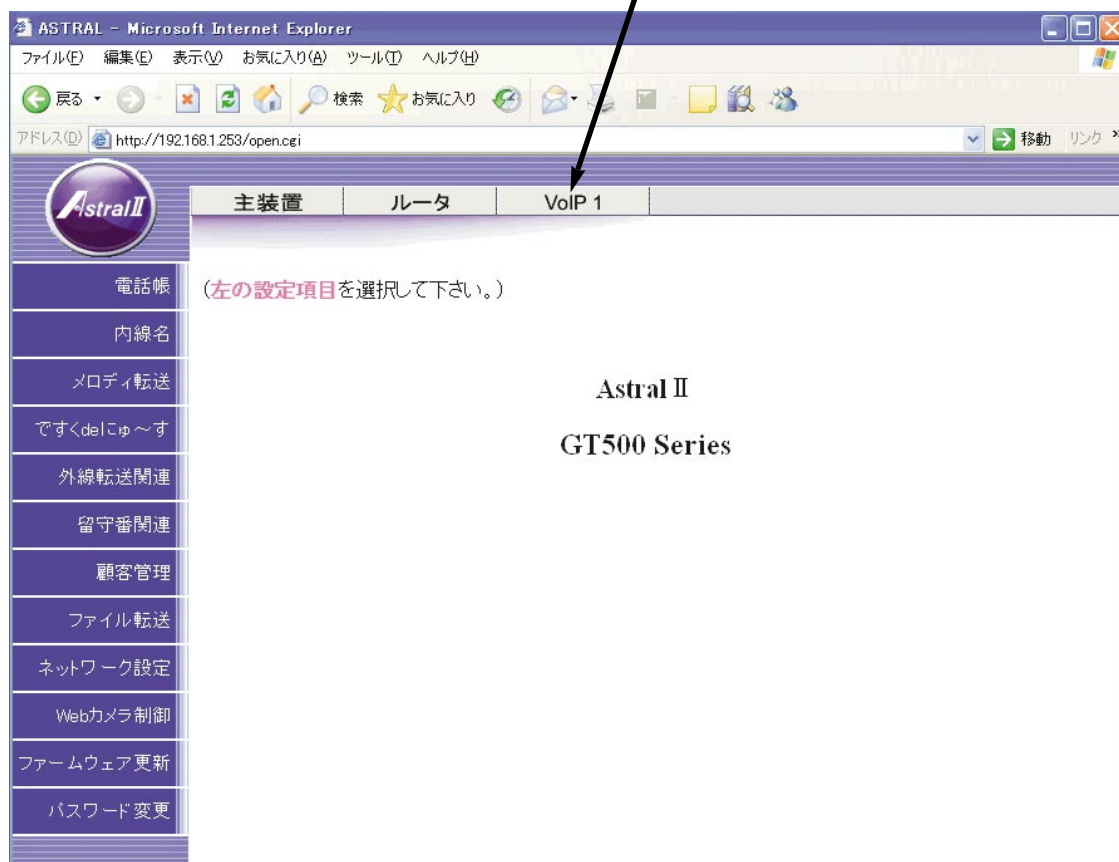
- ・取得間隔は、「1 日」に設定してください。
- ・取得開始時間は、主装置の電源をOFFにする2時間以上前に設定してください。

## 4.2.1 ルータスイッチOFF時の設定

- (1) ブラウザのアドレス欄に、主装置のIPアドレス「http://192.168.1.253/」(初期値)を入力し、**[Enter]**キーを押します。
- (2) 主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。
- (3) ユーザー名とパスワードを入力してログインします。



- (4) 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている **VoIP1** をクリックします。インターネット接続ユニットのWeb設定を行ってください。



(5)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面（ネットワーク設定）が表示されます。

「動作モード」が「DHCP」に、「グローバルIPアドレス」が「UPnP CP有効」になっていることを確認し、左のメニューから「IP電話設定」を選択します。  
 正しく設定されていない場合は、「動作モード」を「DHCP」に、「グローバルIPアドレス」を「UPnP CP有効」に選択し直し、「確認」ボタンをクリックして、「送信」ボタンが選択できるようになるまで待ちます。その後「送信」ボタンをクリックすると設定内容を仮登録した状態になります。そして最後に、左のメニューから「IP電話設定」を選択します。

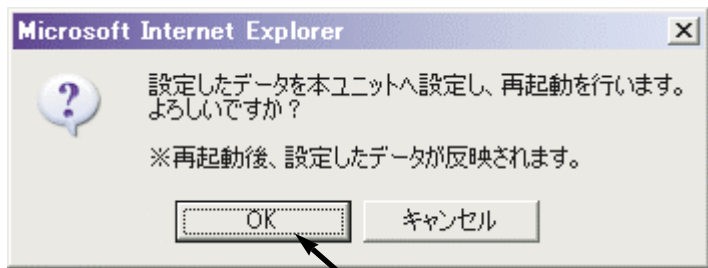


(6)IP電話設定画面では、フュージョン・コミュニケーションズから通知された内容に従って、下記の項目を入力してください。  
アカウントID・パスワードは使用回線数分（最大8回線）入力する必要があります。

The screenshot shows the 'IP電話設定' (IP Phone Settings) page. On the left is a navigation menu with items like 'ネットワーク設定', 'IP電話設定', 'カスタム設定', '状態表示', 'ログ表示', '保守', and '再起動'. The main area is titled 'IP電話設定' and includes a '(FUSION IP-Phone版) ヘルプ?' link. The settings are organized into sections: 'IP電話設定' (with '市外局番' field), 'SIP設定' (with 'SIPドメイン', 'SIP REGISTERサーバアドレス', 'SIP プロキシサーバアドレス', and 8 account ID/password pairs), and 'SIPポート番号設定' (with '自装置ポート番号' and 'RTPポート番号(UDP受信開始)'). There is also a 'セッションタイム機能設定' section with a 'セッションタイム' dropdown set to '無効'. At the bottom are '確認' and '送信' buttons. Black arrows point to the '市外局番', 'SIPドメイン', 'SIP REGISTERサーバアドレス', 'SIP プロキシサーバアドレス', 'アカウントID 1', 'パスワード 1', and '確認' fields.

IP電話設定	
市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例) 東京：03、横浜：045
<b>SIP設定（フュージョン・コミュニケーションズからの通知内容を設定します）</b>	
SIPドメイン	通知されたSIPドメインを入力します。
SIP REGISTER サーバアドレス	SIP REGISTERサーバアドレスを入力します。 (通知された SIPプロキシサーバアドレスと同じ内容です)
SIP プロキシ サーバアドレス	通知されたSIPプロキシサーバアドレスを入力します。
アカウントID1～8	通知されたアカウントIDを入力します。
パスワード1～8	通知されたパスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。

- (7)全ての項目を入力したら、**確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。  
その後 **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。
- (8)**送信** ボタンが選択できない状態になるまで待って **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。
- (9)確認画面で **OK** ボタンをクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



- (10)ユニットの再起動が終了すると、自動的にネットワーク設定画面（(5)の画面）に戻ります。  
左のメニューから **状態表示** を選択して、**VoIP (1~8) 回線状態** が「通話可能」になっていることを確認します。

バージョン	
プログラムバージョン	1.4.0.0000
動作状態	
ルータスイッチ	OFF
DSP 状態	正常
VoIP (1) 回線状態	通話可能
VoIP (2) 回線状態	通話可能
VoIP (3) 回線状態	通話可能
VoIP (4) 回線状態	通話可能
VoIP (5) 回線状態	通話可能
VoIP (6) 回線状態	通話可能
VoIP (7) 回線状態	通話可能
VoIP (8) 回線状態	通話可能
UPnP CP 状態	正常
DHCP 状態	正常
ポート状態	
P1 状態	接続
P2 状態	未接続
P3 状態	未接続
WAN 状態	未接続
MACアドレス	
LAN側 MACアドレス	00:02:26:40:1a:06
WAN側 MACアドレス	00:02:26:40:1a:70
ネットワーク	
LAN側 IPアドレス	192.168.2.1
LAN側 サブネットマスク	255.255.255.0
グローバルIPアドレス	202.219.21.10
DNSサーバアドレス	192.168.2.254
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.254
REGISTERサーバアドレス	63.158.148.10
DHCPサーバアドレス	192.168.2.254

IP電話設定項目またはSIP設定項目に誤りがある場合、**VoIP (1~8) 回線状態** が「通話不可」と表示されます。

## 確認事項

以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ・ ルータ内蔵VoIPユニットのLIVE LEDは点灯していますか。  
 点灯していない ユニットをSLOTにきちんと挿入してください。
- ・ ルータ内蔵VoIPユニットのLINKランプは点灯していますか。  
 点灯していない ケーブルの接続を確認し直してください。
- ・ フュージョン・コミュニケーションズから通知されたSIP設定の内容は正しく設定されていますか。  
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。

### 4.2.2 自動ファームアップの設定

サーバ上のルータ内蔵VoIPユニットのファームウェアが更新されたとき、自動でバージョンアップを行うよう設定できます。

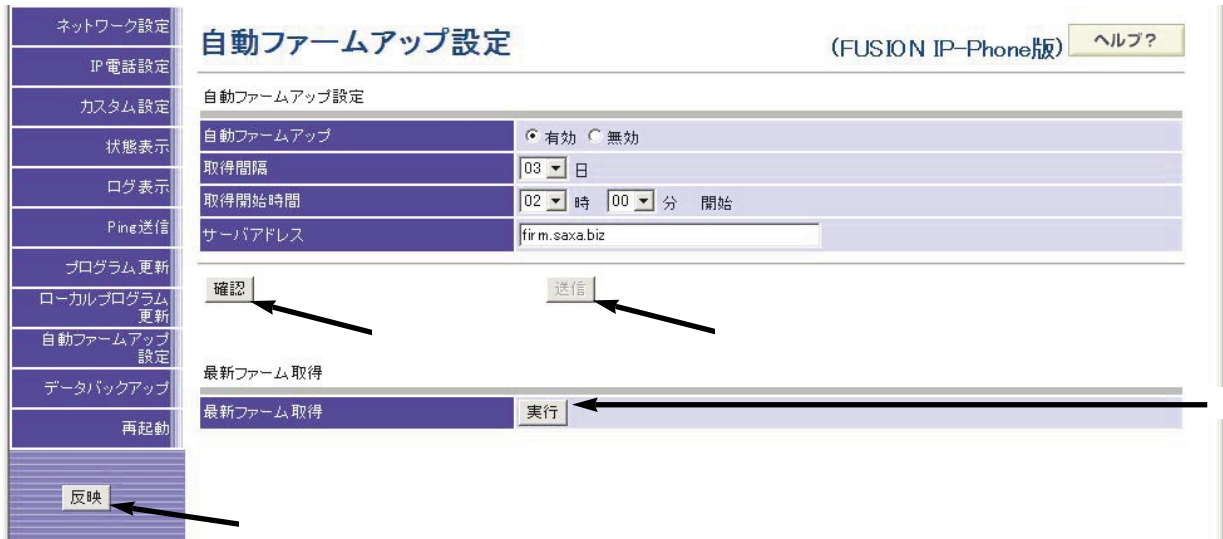
(1)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面を表示します。左のメニューから **保守**をクリックしてください。



(2)画面左に保守の詳細メニューが表示されます。メニューから **自動ファームアップ設定** をクリックしてください。



(3)自動ファームアップ設定画面が表示されます。



自動ファームアップ設定	
自動ファームアップ	自動ファームアップ機能を使用する場合は有効、使用しない場合は無効を選択してください。
取得間隔	サーバにファームアップの問い合わせを行う日にちの間隔を入力してください。
取得開始時間	サーバにファームアップの問い合わせを行う時刻を入力してください。
サーバアドレス	自動ファームアップ機能を行う相手先サーバアドレスを入力します。

設定の変更をする場合は、必要な項目を変更後 **確認** ボタン、 **送信** ボタン、 **反映** ボタンの順にボタンをクリックして、実際の設定に反映させてから(4)の動作を行ってください。

(4)設置時は必ず **実行** ボタンをクリックして、最新ファームの取得を行ってください。

自動ファームアップは、設定された取得開始時間から2時間以内に実行されます。

毎日主装置の電源をOFFにするユーザの場合

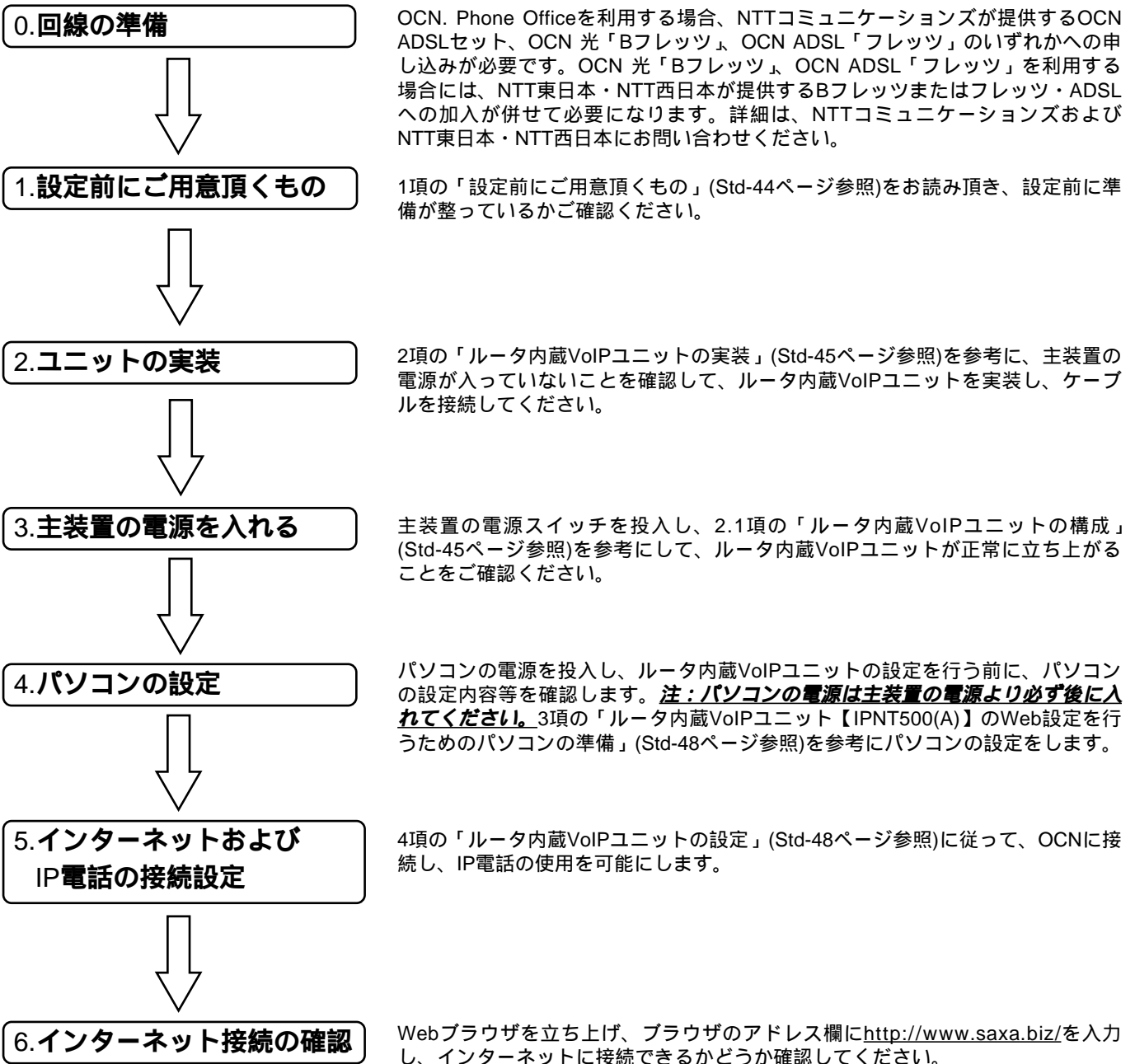
- ・取得間隔は、「1日」に設定してください。
- ・取得開始時間は、主装置の電源をOFFにする2時間以上前に設定してください。

## ▶(6) ルータ機能内蔵VoIPユニット【IPNT500(A)】

ルータ機能内蔵VoIPユニット（以降ルータ内蔵VoIPユニットと表記）は、ルータ内蔵VoIPユニット基板と添付のカテゴリー5のLANケーブルで構成されます。

ルータ内蔵VoIPユニットを使用する場合に必要な設定を、OCN .Phone Officeを利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。詳細および最新の情報は「IPNT500(A)取扱説明書」を参照ください。

### OCNを例としたルータ内蔵VoIPユニットの設定例



「050」と「03」の番号併用サービスを利用するには

- ・ 主装置の設定で、「03」番号のダイヤルイン設定が必要です。
- ・ サービス利用時には、発信者番号は「050」番号で相手側に通知されます。

プログラム設定のVoIP通知音指定（P615-2.3）で“鳴動する”に設定している場合、IP回線からIP端末に発信しても相手端末によって“ビビッ”と鳴動する場合があります。

## 1. 設定前にご用意頂くもの

OCN .Phone Officeを利用してルータ内蔵VoIPユニットでIP電話をご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

パソコン：Windows® 98se/Me/2000/XPのOSを搭載したもの、およびパソコンとルータ内蔵VoIPユニットを接続するためのカテゴリ-5のLANケーブル

Webブラウザ：Microsoft Internet Explorer® Ver6.0（以降IE6.0）以上

ルータ内蔵VoIPユニット、および添付のカテゴリ-5のLANケーブル

OCNから通知された「認証用ID・パスワード」が記載された用紙

OCNから通知された「ホスト名・メタドメイン」、「IP電話番号・ユーザID・パスワード」が記載された用紙

## 2. ルータ内蔵VoIPユニットの実装

### 2.1 ルータ内蔵VoIPユニットの構成

LIVE LEDは電源投入で表2-1の矢印の順番通り点灯 消灯 点灯を繰り返し立ち上がります。

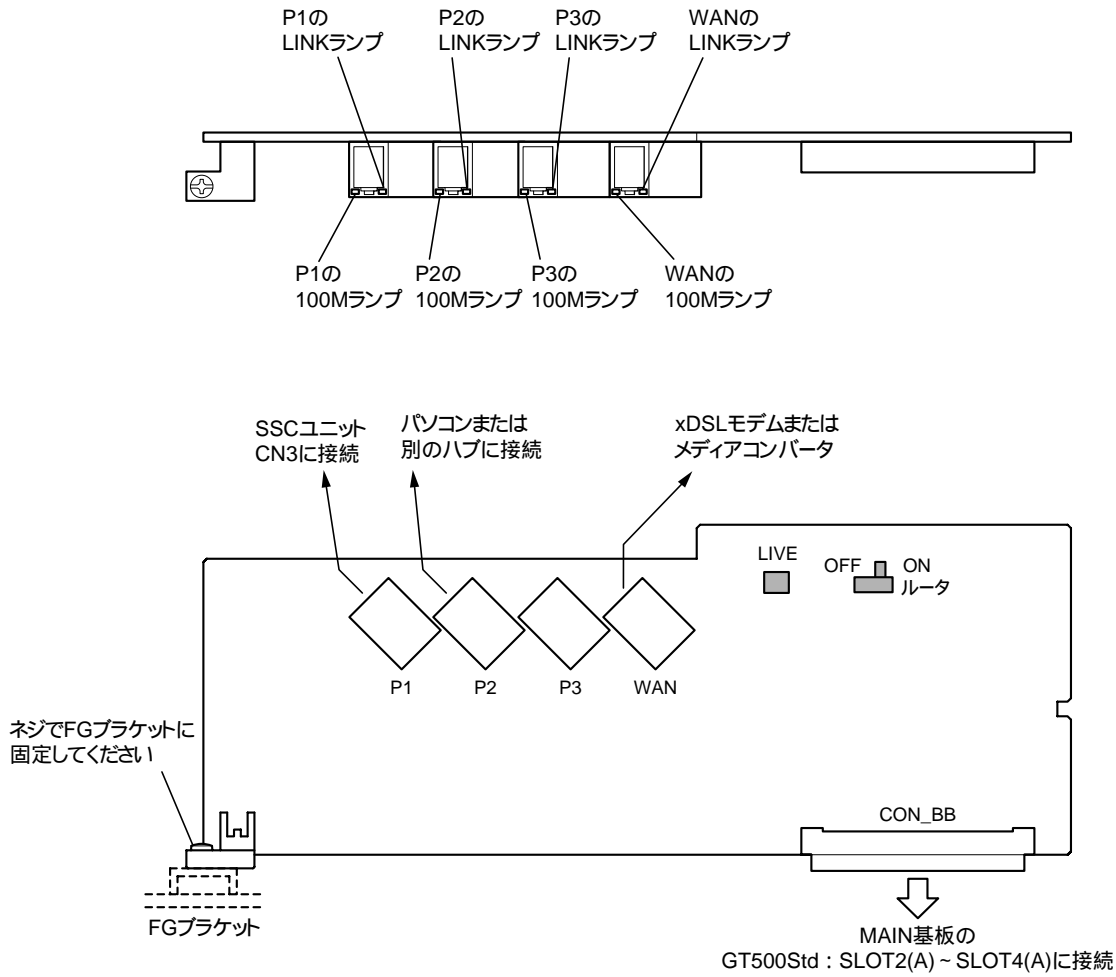


表2-1 LIVE LEDの点灯について

電源投入直後	↓	点灯
初期化中		消灯
正常起動中		点灯
異常動作		点滅

表2-2 P1, P2, P3, WANコネクタのLAN関連のランプについて

ランプ状態		動作状態
LINKランプ	100Mランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-Tで通信している。
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TXで通信している。
点滅	-	データの送受信を行っている。

2.2 ルータ内蔵VoIPユニットの取付

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセントから抜いてください。

主装置のメイン基板のSLOT2 (A) ~ SLOT4 (A) のいずれかのコネクタに、Std-20の「ユニットの取付 / 取外し」を参考にルータ内蔵VoIPユニットを取り付けます。

ルータON/OFFスイッチ

ルータ機能のON/OFFを設定します。

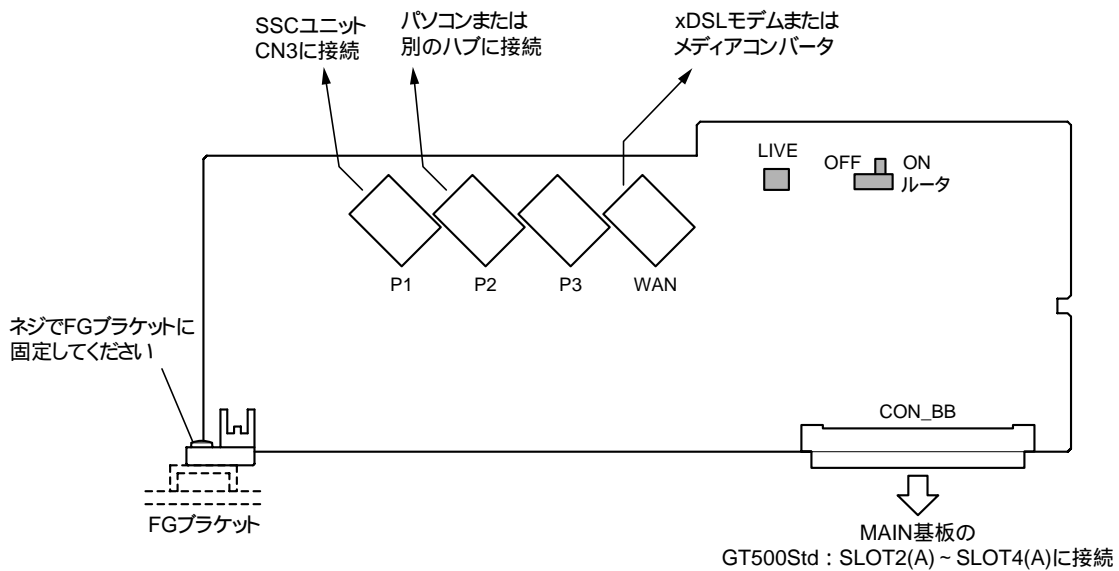
出荷時はON側です。

スイッチの設定は電源投入前に行い、電源投入中はON/OFFを切り替えないでください。

ルータスイッチ切り替え後は初期設定を行ってください。

表2-3 スwitchの動作について

	ルータスイッチON時	ルータスイッチOFF時
使用可能IP電話チャンネル数	2ch	4ch
ルータ機能	使用可	使用不可
収容外線	外線5,6	外線5 ~ 8



注意

誤動作防止のため必ずルータ内蔵VoIPユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

危険

⚠ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

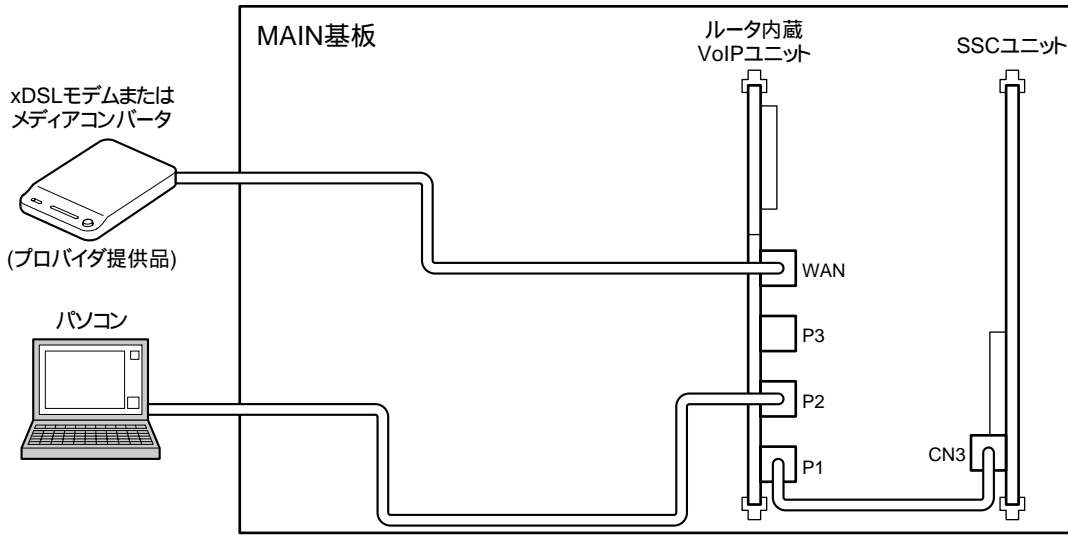
注意

⚠ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

## 2.3 LANケーブルの接続

LANケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。

### 2.3.1 ルータスイッチON時



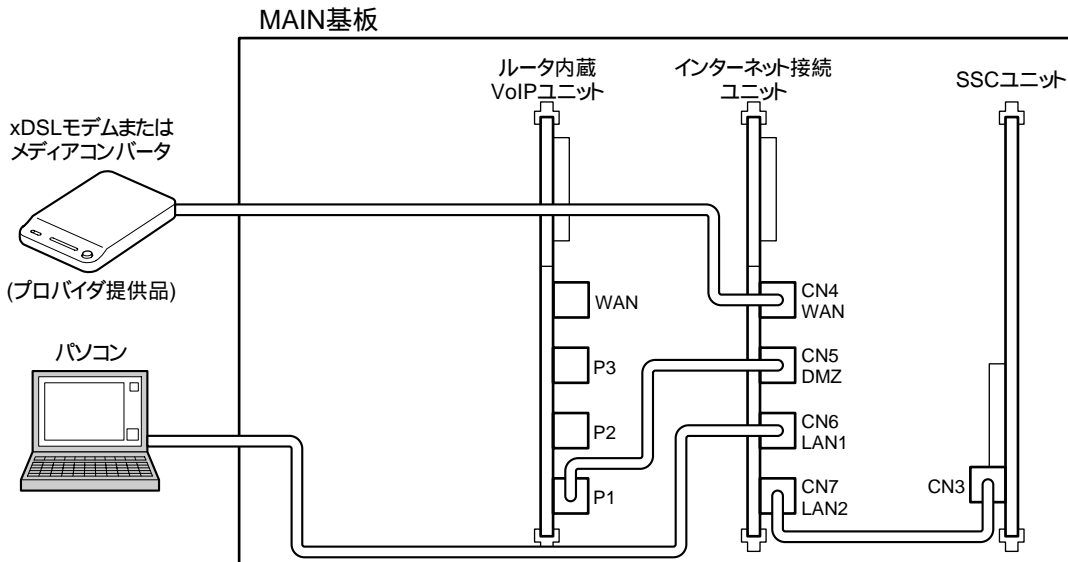
#### ルータ内蔵VoIPユニットを実装する場合の接続図

SSCユニットとルータ内蔵VoIPユニットとの接続には、ルータ内蔵VoIPユニットに添付の 카테고리5のLANケーブルをご使用ください。

パソコンとルータ内蔵VoIPユニットとの接続にはカテゴリ5のLANケーブルをご使用ください。

xDSLモデムまたはメディアコンバータとルータ内蔵VoIPユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

### 2.3.2 ルータスイッチOFF時



#### インターネット接続ユニットとVoIPユニットを実装する場合の接続図

SSCユニットとインターネット接続ユニットとの接続には、インターネット接続ユニットに添付の 카테고리5のLANケーブルをご使用ください。

パソコンとインターネット接続ユニットとの接続にはカテゴリ5のLANケーブルをご使用ください。

インターネット接続ユニットとVoIPユニットの接続には、VoIPユニットに添付の 카테고리5のLANケーブルをご使用ください。

xDSLモデムまたはメディアコンバータとインターネット接続ユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

### 3. ルータ内蔵VoIPユニット【IPNT500(A)】のWeb設定を行うためのパソコンの準備

ルータ内蔵VoIPユニットの設定を行う前に、パソコンの設定内容を確認します。

- LANアダプタが正常に動作すること。
- TCP/IPプロトコルがインストールされていること。
- IPアドレスを自動的に取得するように設定していること。
- Webブラウザがインストールされていること。
- ブラウザの設定で、プロキシを設定していないこと。

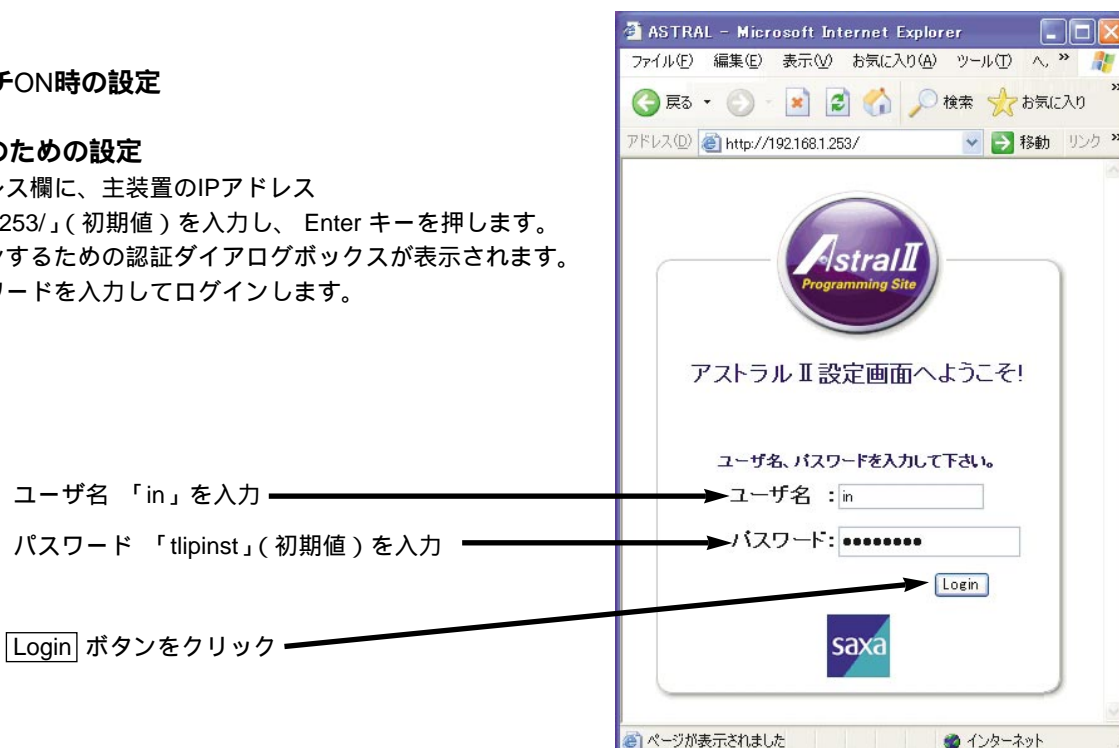
### 4. ルータ内蔵VoIPユニットの設定

前項の準備が終了した後、Webブラウザを起動します。以降の画面はブラウザがIE6.0の場合です。

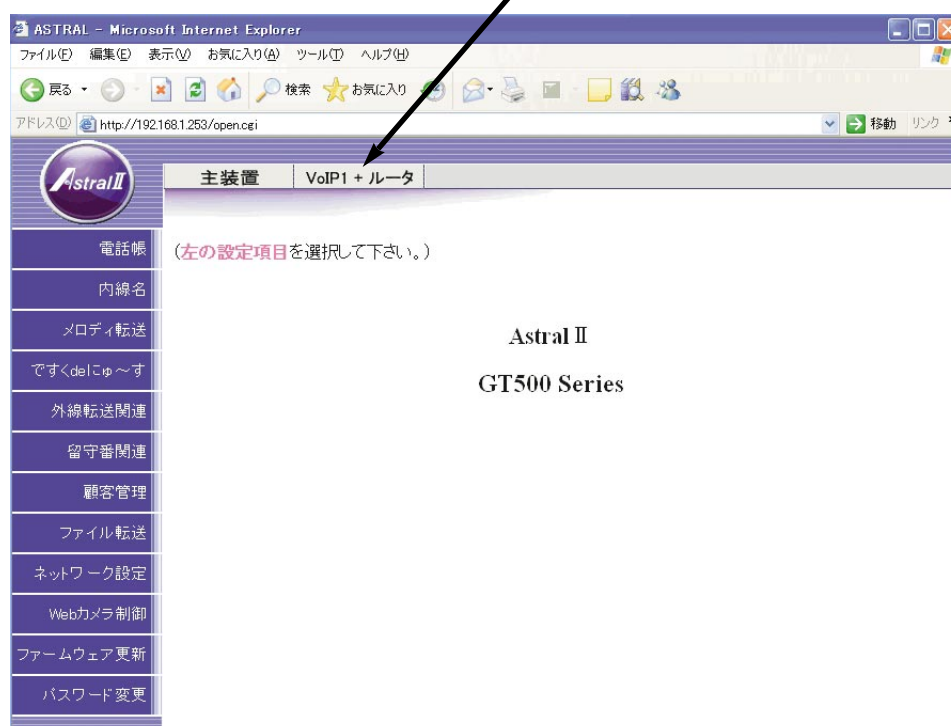
#### 4.1 ルータスイッチON時の設定

##### 4.1.1 IP電話利用のための設定

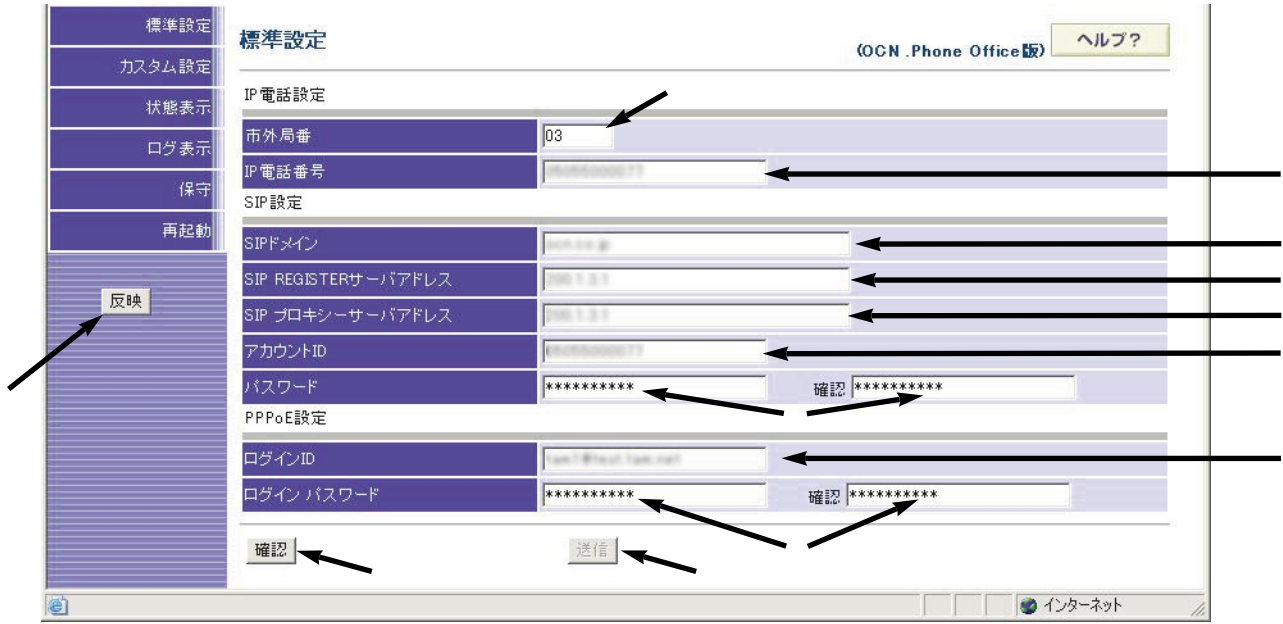
- (1) ブラウザのアドレス欄に、主装置のIPアドレス  
「http://192.168.1.253/」(初期値)を入力し、Enterキーを押します。
- (2) 主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。
- (3) ユーザ名とパスワードを入力してログインします。



- (4) 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されている **VoIP1+ルータ** をクリックします。



(5)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面（標準設定）が表示されます。下記の項目を入力してください。



IP電話設定	
市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例)東京:03、横浜:045
IP電話番号	設置するIP電話の電話番号を入力します。
SIP設定 (OCNからの通知内容を設定します)	
SIPドメイン	通知された「メタドメイン」(サービスドメイン)を入力します。
SIP REGISTERサーバアドレス	「ホスト名」(VoIPサーバ)を入力します。
SIPプロキシサーバアドレス	通知された「ホスト名」(VoIPサーバ)を入力します。
アカウントID	通知された「ユーザID」(VoIPユーザID)を入力します。
パスワード	通知された「パスワード」(VoIPユーザパスワード)を入力します。 「パスワード」(VoIPユーザパスワード)は右の確認欄にも入力してください。
PPPoE設定 (OCNからの通知内容を設定します)	
ログインID	通知された認証用IDを入力します。
ログインパスワード	通知された認証パスワードを入力します。パスワードは右の確認欄にも入力してください。

(6)全ての項目を入力したら、**確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。

その後 **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。

(7) **送信** ボタンが選択できない状態に戻るまで待って **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。

(8)確認画面で **OK** ボタン をクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



(9)ユニットの再起動が終了すると、自動的に標準設定画面（(5)の画面）に戻ります。

左のメニューから **状態表示** を選択して、動作状態項目の **PPPoE状態** が「正常」に、**VoIP (1) 回線状態** と **VoIP (2) 回線状態** が「通話可能」になっていることを確認します。



ログインIDまたはパスワードに誤りがある場合、**PPPoE状態** が「異常」と表示されます。

また、IP電話設定項目またはSIP設定項目に誤りがある場合、**VoIP (1) 回線状態** と **VoIP (2) 回線状態** が「通話不可」と表示されます。

#### 確認事項

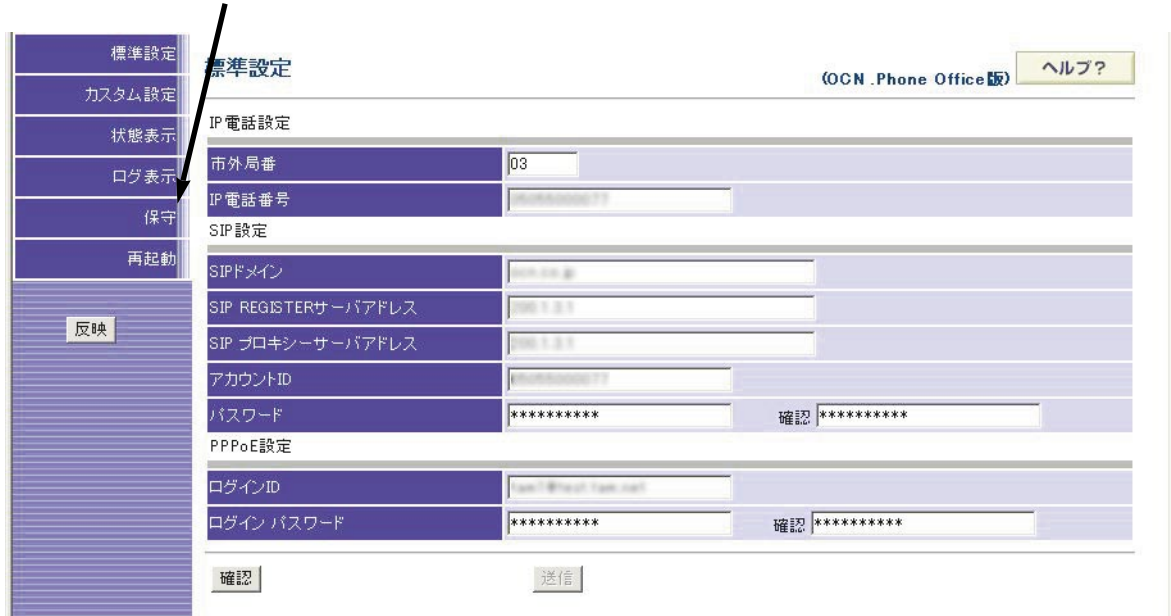
以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ルータ内蔵VoIPユニットのLIVE LEDは点灯していますか。  
 点灯していない ユニットをSLOTにきちんと挿入してください。
- ルータ内蔵VoIPユニットのLINKランプは点灯していますか。  
 点灯していない ケーブルの接続を確認し直してください。
- OCNから通知された接続用ID・パスワードは正しく設定されていますか。  
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。
- OCNから通知されたSIP設定の内容は正しく設定されていますか。  
 正しく設定されていない 再度入力し直してください。

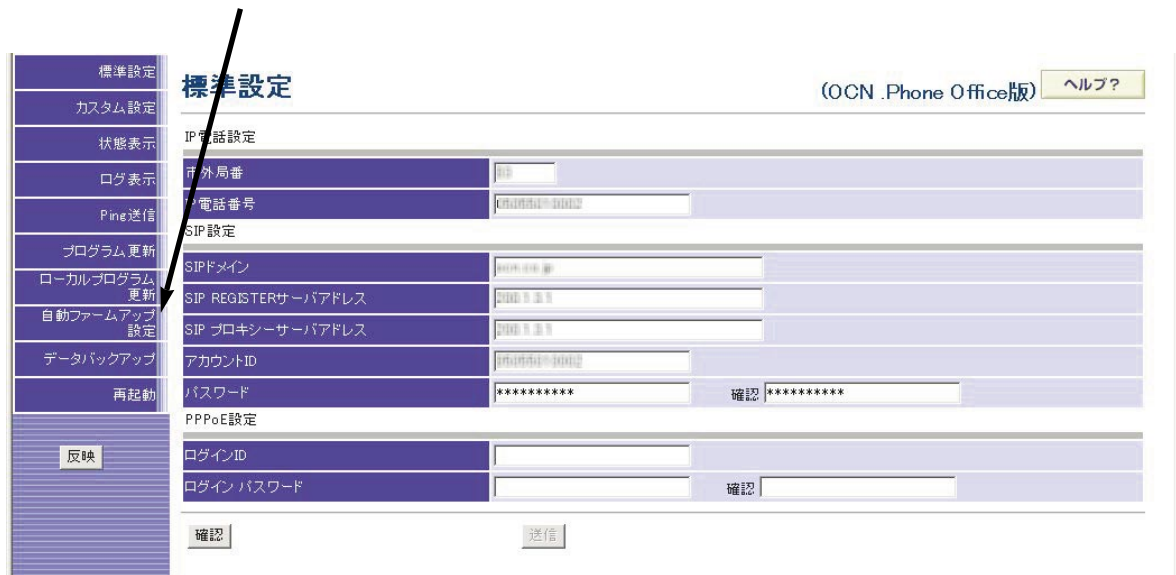
### 4.1.2 自動ファームアップの設定

サーバ上のルータ内蔵VoIPユニットのファームウェアが更新されたとき、自動でバージョンアップを行うよう設定できます。

(1)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面を表示します。左のメニューから **保守** をクリックしてください。



(2)画面左に保守の詳細メニューが表示されます。メニューから **自動ファームアップ設定** をクリックしてください。



(3)自動ファームアップ設定画面が表示されます。

自動ファームアップ設定	
自動ファームアップ	自動ファームアップ機能を使用する場合は有効、使用しない場合は無効を選択してください。
取得間隔	サーバにファームアップの問い合わせを行う日にちの間隔を選択してください。
取得開始時間	サーバにファームアップの問い合わせを行う時刻を選択してください。
サーバアドレス	自動ファームアップ機能を行う相手先サーバアドレスを入力します。

設定の変更をする場合は、必要な項目を変更後 **確認** ボタン、 **送信** ボタン、 **反映** ボタンの順にボタンをクリックして、実際の設定に反映させてから(4)の動作を行ってください。

(4)設置時は必ず **実行** ボタンをクリックして、最新ファームの取得を行ってください。

自動ファームアップは、設定された取得開始時間から2時間以内に実行されます。

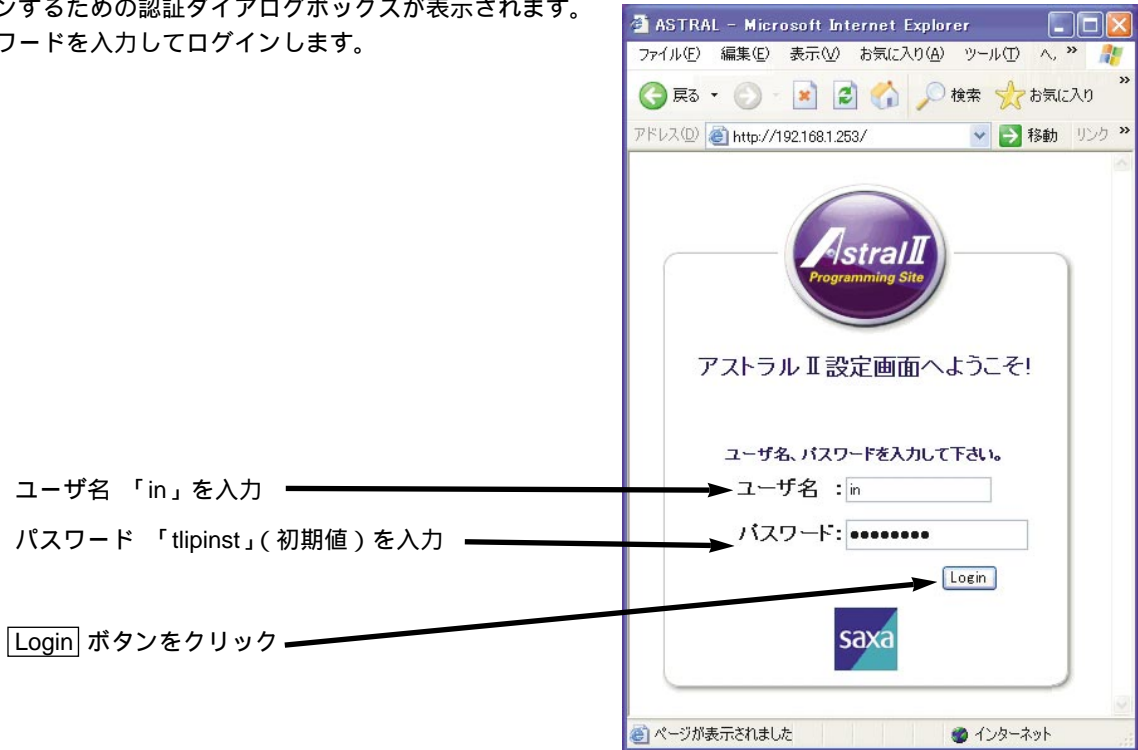
毎日主装置の電源をOFFにするユーザの場合

- ・取得間隔は、「1日」に設定してください。
- ・取得開始時間は、主装置の電源をOFFにする2時間以上前に設定してください。

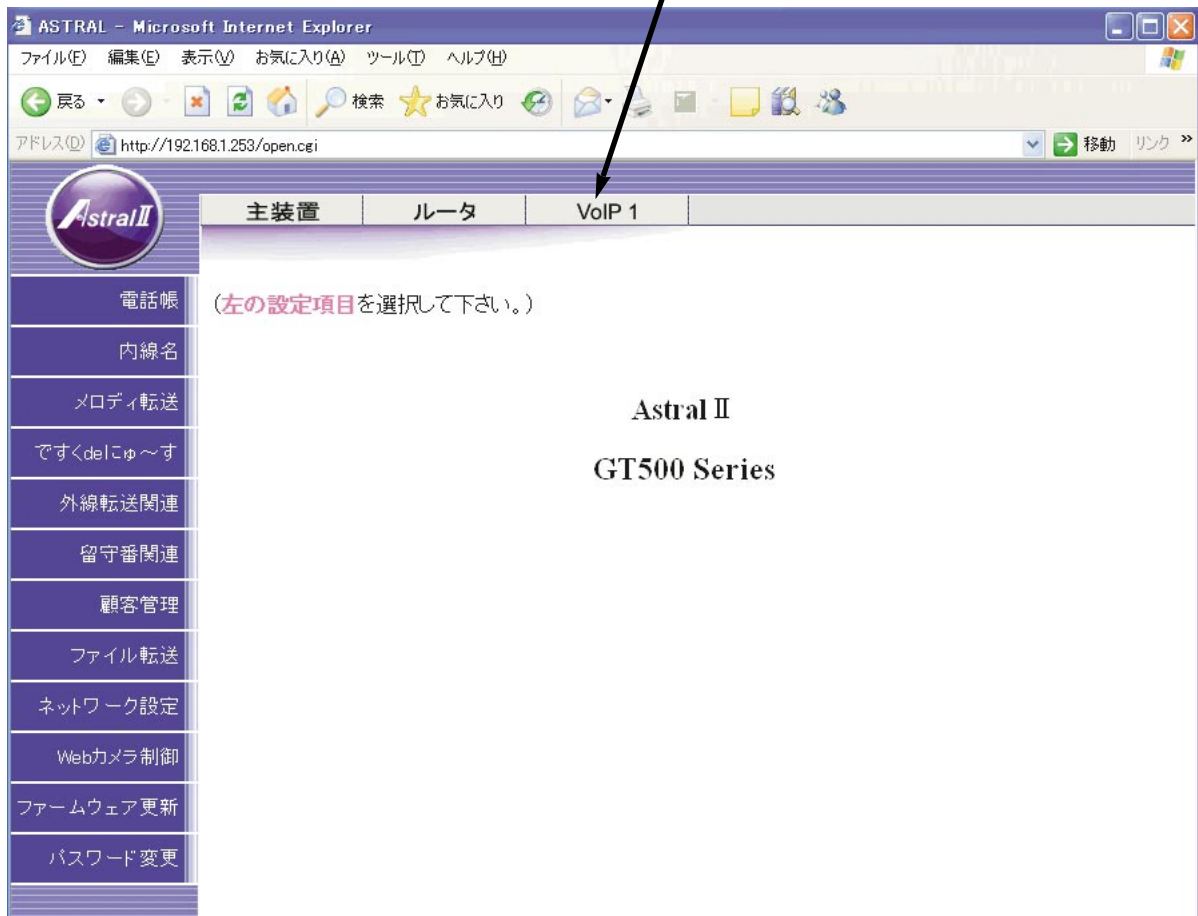
4.2 ルータスイッチOFF時の設定

4.2.1 IP電話利用のための設定

- (1)ブラウザのアドレス欄に、主装置のIPアドレス「http://192.168.1.253/」(初期値)を入力し、**Enter**キーを押します。
- (2)主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。
- (3)ユーザ名とパスワードを入力してログインします。



- (4) 主装置の初期設定画面が表示されます。画面上に表示されているインターネット接続ユニットのWeb設定を行ってください。



(5) ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面（ネットワーク設定）が表示されます。

**動作モード**が「DHCP」に、**グローバルIPアドレス**が「UPnP CP有効」になっていることを確認し、左のメニューから**SIP設定**を選択します。

正しく設定されていない場合は、**動作モード**を「DHCP」に、**グローバルIPアドレス**を「UPnP CP有効」に選択し直し、**確認**ボタンをクリックして、**送信**ボタンが選択できるようになるまで待ちます。その後**送信**ボタンをクリックすると設定内容を仮登録した状態になります。そして最後に、左のメニューから**SIP設定**を選択します。

ネットワーク設定

SIP設定

カスタム設定

状態表示

ログ表示

保守

再起動

反映

ネットワーク設定 (OCN .Phone Office版) ヘルプ?

動作モード設定

動作モード DHCP

IPアドレス設定

LAN側 IPアドレス 192.168.1.252

LAN側 サブネットマスク 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

グローバルIPアドレス  UPnP CP有効  UPnP CP無効

DNSサーバアドレス

ポート設定

LAN ポート1 自動認識

LAN ポート2 自動認識

LAN ポート3 自動認識

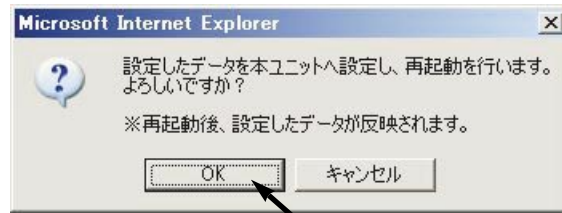
確認 送信

(6)SIP設定画面では、OCNから通知された内容に従って、下記の項目を入力してください。アカウントID・パスワードは使用回線数分（最大4回線）入力する必要があります。

The screenshot shows the 'SIP設定' (SIP Settings) page. On the left is a navigation menu with items like 'ネットワーク設定', 'SIP設定', 'カスタム設定', etc. The main area contains several sections: 'IP電話設定' (IP Phone Settings) with a '市外局番' (Area Code) field set to '03'; 'SIP設定' (SIP Settings) with fields for 'URL種別' (SIP-URL selected), 'SIPドメイン', 'SIP REGISTERサーバアドレス', and 'SIP プロキシサーバアドレス'; and 'SIPポート番号設定' (SIP Port Number Settings) with fields for '自装置ポート番号' (5060), 'RTPポート番号' (49152), and 'セッションタイム' (有効). There are also four sets of fields for multiple accounts (1-4), each with 'IP電話番号', 'アカウントID', and 'パスワード' fields, plus confirmation fields. A '反映' (Apply) button is on the left, and '確認' (Confirm) and '送信' (Send) buttons are at the bottom.

IP電話設定	
市外局番	設置するお客様電話番号の市外局番を入力します。(例)東京：03、横浜：045
SIP設定 (OCNからの通知内容を設定します)	
SIPドメイン	通知された「メタドメイン」(サービスドメイン)を入力します。
SIP REGISTER サーバアドレス	「ホスト名」(VoIPサーバ)を入力します。
SIP プロキシ サーバアドレス	「ホスト名」(VoIPサーバ)を入力します。
IP電話番号1~4	設置するIP電話の電話番号を入力します。
アカウントID1~4	通知された「ユーザID」(VoIPユーザID)を入力します。
パスワード1~4	通知された「パスワード」(VoIPユーザパスワード)を入力します。 「パスワード」(VoIPユーザパスワード)は右の確認欄にも入力してください。

- (7)全ての項目を入力したら、**確認** ボタンをクリックし、**送信** ボタンが選択できるようになるまで待ちます。  
その後 **送信** ボタンをクリックすると、設定内容を仮登録した状態になります。
- (8)**送信** ボタンが選択できない状態になるまで待つて **反映** ボタンをクリックすると、下の確認画面を表示します。
- (9)確認画面で **OK** ボタンをクリックすると、ユニットが再起動され、仮登録した設定内容が実際の設定に反映されます。



- (10)ユニットの再起動が終了すると、自動的にネットワーク設定画面 (5)の画面) に戻ります。  
左のメニューから②**状態表示**を選択して、**VoIP (1~4) 回線状態**が「通話可能」になっていることを確認します。

動作状態	
ルータスイッチ	OFF
DSP 状態	正常
VoIP (1) 回線状態	通話可能
VoIP (2) 回線状態	通話可能
VoIP (3) 回線状態	通話可能
VoIP (4) 回線状態	通話可能
UPnP OP 状態	正常
DHCP 状態	正常

ポート状態	
P1 状態	接続
P2 状態	未接続
P3 状態	未接続
WAN 状態	未接続

ネットワーク	
LAN側 IPアドレス	192.168.2.2
LAN側 サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.2.254
グローバルIPアドレス	200.1.3.99
DNSサーバアドレス	192.168.2.254
REGISTERサーバアドレス	200.1.3.1
DHCPサーバアドレス	192.168.2.254

IP電話設定項目またはSIP設定項目に誤りがある場合、**VoIP (1~4) 回線状態**が「通話不可」と表示されます。

#### 確認事項

以下の確認事項をチェックし、当てはまる項目があれば再度設定をやり直してください。

- ルータ内蔵VoIPユニットのLIVE LEDは点灯していますか。  
**点灯していない** ユニートをSLOTにきちんと挿入してください。
- ルータ内蔵VoIPユニットのLINKランプは点灯していますか。  
**点灯していない** ケーブルの接続を確認し直してください。
- OCNから通知されたSIP設定の内容は正しく設定されていますか。  
**正しく設定されていない** 再度入力し直してください。

### 4.2.2 自動ファームアップの設定

サーバ上のルータ内蔵VoIPユニットのファームウェアが更新されたとき、自動でバージョンアップを行うよう設定できます。

(1)ルータ内蔵VoIPユニットの初期設定画面を表示します。左のメニューから **保守** をクリックしてください。

The screenshot shows the 'ネットワーク設定' (Network Settings) page. On the left sidebar, the '保守' (Maintenance) menu item is highlighted with a blue background and a white arrow pointing to it. The main content area is titled 'ネットワーク設定' and includes a '(OCN .Phone Office版) ヘルプ?' link. The settings are organized into sections: '動作モード設定' (Operation Mode Setting) with '動作モード' set to 'DHCP'; 'IPアドレス設定' (IP Address Setting) with fields for LAN側 IPアドレス (192.168.1.252), LAN側 サブネットマスク (255.255.255.0), デフォルトゲートウェイ, グローバルIPアドレス (with radio buttons for UPnP CP有効 and UPnP CP無効), and DNSサーバアドレス; and 'ポート設定' (Port Setting) with three LAN ports (LANポート1, 2, 3) all set to '自動認識' (Automatic Detection). At the bottom, there are '確認' (Check) and '送信' (Send) buttons.

(2)画面左に保守の詳細メニューが表示されます。メニューから **自動ファームアップ設定** をクリックしてください。

This screenshot is similar to the previous one, showing the 'ネットワーク設定' page. In this view, the left sidebar menu is expanded, and '自動ファームアップ設定' (Automatic Firmware Update Setting) is highlighted with a blue background and a white arrow. The rest of the page content, including the settings for operation mode, IP addresses, and ports, remains the same as in the previous screenshot.

(3)自動ファームアップ設定画面が表示されます。

自動ファームアップ設定 (OCN .Phone Office版) ヘルプ?

自動ファームアップ設定

自動ファームアップ  有効  無効

取得間隔 03 日

取得開始時間 02 時 00 分 開始

サーバアドレス fir.m.saxa.biz

確認 送信

最新ファーム取得

最新ファーム取得 実行

反映

自動ファームアップ設定	
自動ファームアップ	自動ファームアップ機能を使用する場合は有効、使用しない場合は無効を選択してください。
取得間隔	サーバにファームアップの問い合わせを行う日にちの間隔を選択してください。
取得開始時間	サーバにファームアップの問い合わせを行う時刻を選択してください。
サーバアドレス	自動ファームアップ機能を行う相手先サーバアドレスを入力します。

設定の変更をする場合は、必要な項目を変更後 **確認** ボタン、 **送信** ボタン、 **反映** ボタンの順にボタンをクリックして、実際の設定に反映させてから(4)の動作を行ってください。

(4)設置時は必ず **実行** ボタンをクリックして、最新ファームの取得を行ってください。

自動ファームアップは、設定された取得開始時間から2時間以内に実行されます。

毎日主装置の電源をOFFにするユーザの場合

- ・取得間隔は、「1日」に設定してください。
- ・取得開始時間は、主装置の電源をOFFにする2時間以上前に設定してください。

## ▶(7) インターネット接続ユニット【IPR500(A)】

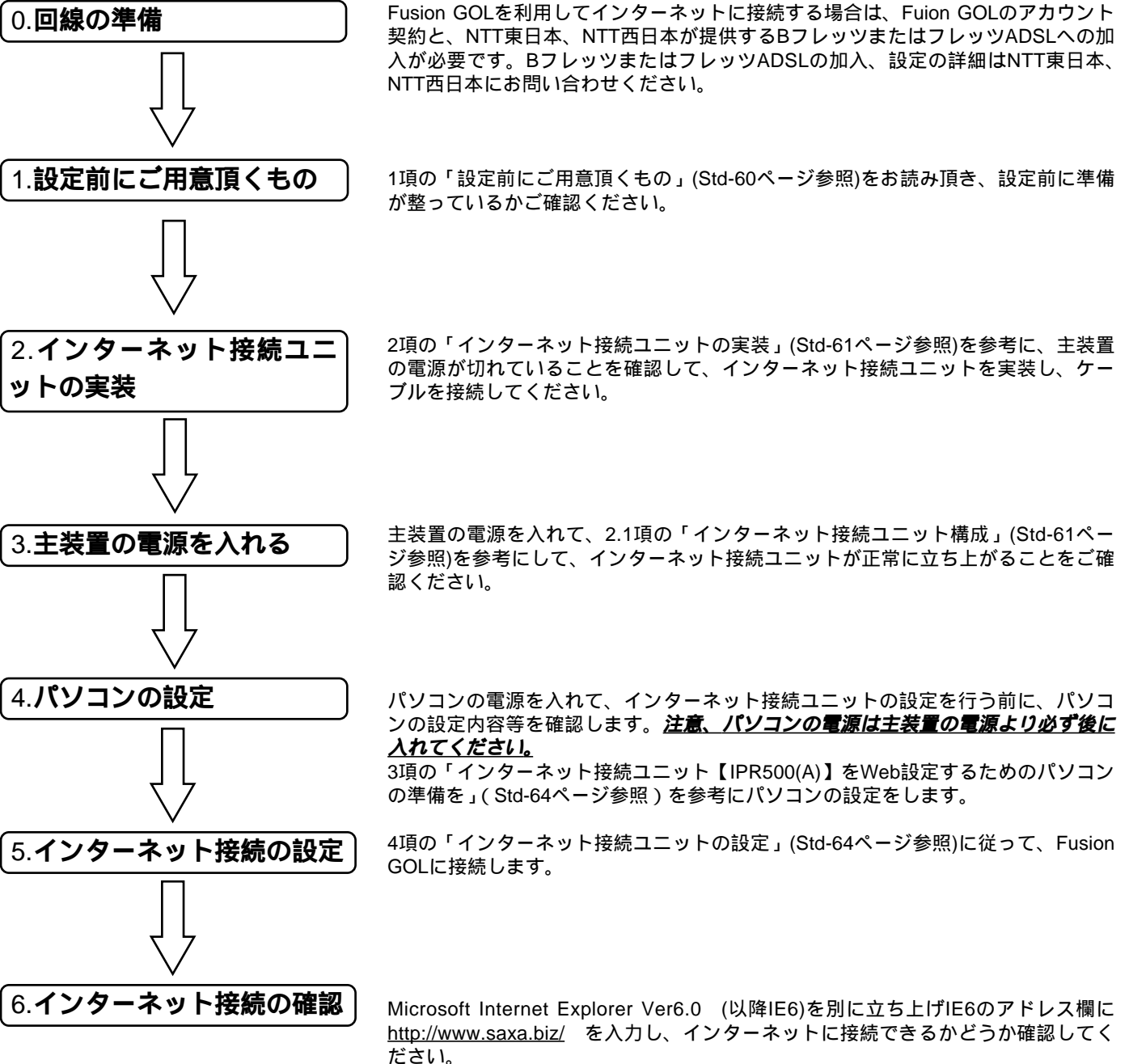
インターネット接続ユニットは、カテゴリ-5のLANケーブルが添付されます。

インターネット接続ユニットを使用することにより、プロバイダに接続してホームページの閲覧などのインターネットが利用できるようになります。(ただし、別途回線契約、プロバイダ契約が必要になります。)詳細は「インターネット接続ユニット利用手引」を参照ください。

インターネット接続ユニットは主装置に1枚のみ追加可能です。

インターネット接続ユニットを使用する場合に必要な設定をFusion GOLを利用する場合を例として本工事マニュアルで解説しておりますが、予告なく変更する場合があります。インターネット接続ユニットを使用する場合に必要な機器、接続、設定はプロバイダ毎に異なりますので、プロバイダが提供する取扱説明書および「インターネット接続ユニット利用手引」を参照ください。

### Fusion GOLを例としたインターネット接続ユニットの設定例



## 1. 設定前にご用意頂くもの

Fusion GOLを利用してインターネット接続ユニットでインターネットをご利用になるには、以下のものをご用意頂く必要があります。

パソコン： Windows® 98se /Me /2000 /XPのOSを搭載したものおよびパソコンとインターネット接続ユニットを接続するためのカテゴリ-5のLANケーブル

設定ソフト： Microsoft Internet Explorer® (Ver. 6.0以上)

インターネット接続ユニットおよび添付のカテゴリ-5のLANケーブル

Fusion GOLから通知された「接続用ID、パスワード」が記載された用紙

## 2. インターネット接続ユニットの実装

### 2.1 インターネット接続ユニット構成

LIVE LEDは電源投入で表2-1の矢印の順番通り消灯 点灯で立ち上がります。

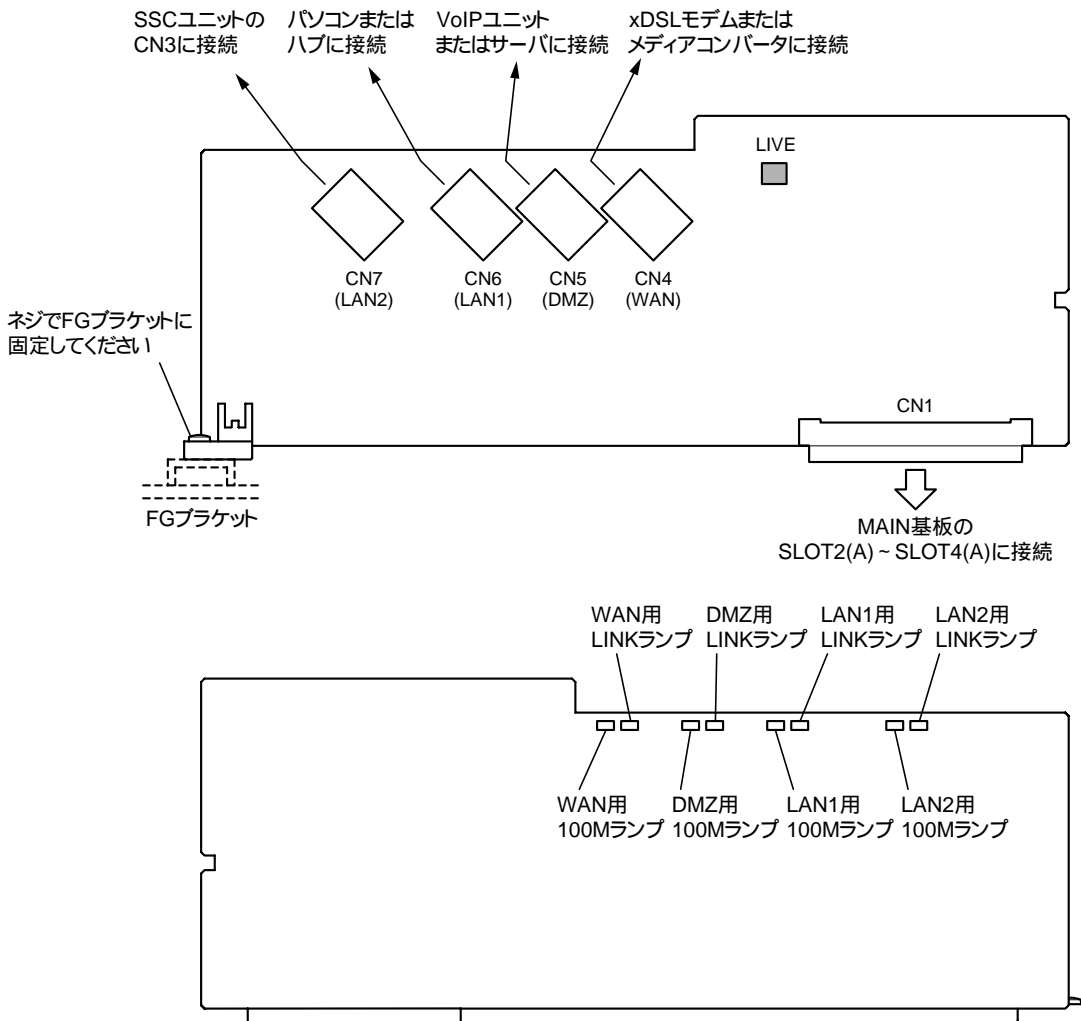


表2-1 LIVE LEDの点灯について

電源投入直後	↓	消灯
初期化中		消灯
正常起動中		点灯
異常動作		点滅

表2-2 CN4, CN5, CN6, CN7コネクタのLAN関連のランプについて

ランプ状態		動作状態
LINKランプ	100Mランプ	
消灯	消灯	ケーブルが接続されていない。 電源が投入されていない。 装置が正常に動作していない。
点灯	消灯	装置が正常に動作している。 10BASE-Tで通信している。 <sup>注1</sup>
点灯	点灯	装置が正常に動作している。 100BASE-TXで通信している。
点滅	-	データの送受信を行っている。

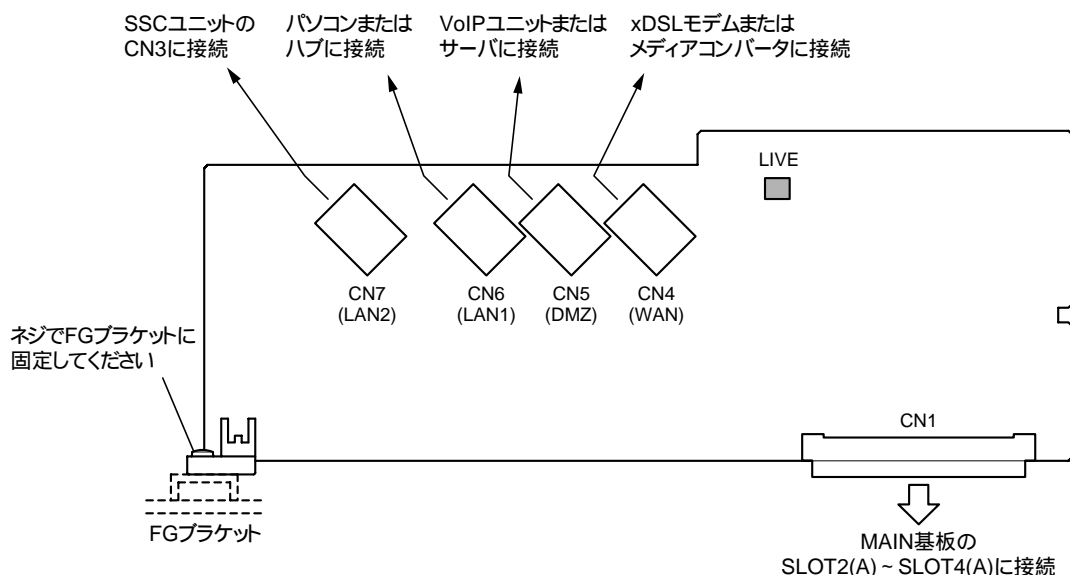
\*注1……CN4が10BASE-T通信の場合は、IP電話の音声品質は保証されません。xDSLモデムもしくはメディアコンバータとインターネット接続ユニット間にオート・ネゴシエーション有りの100Mハブを設置してください。

## 2.2 インターネット接続ユニットの実装

Fusion IP-Phone®を利用してVoIPユニットでIP電話をご利用になるには、VoIPユニットとインターネット接続ユニットをセットで使用する必要があります。

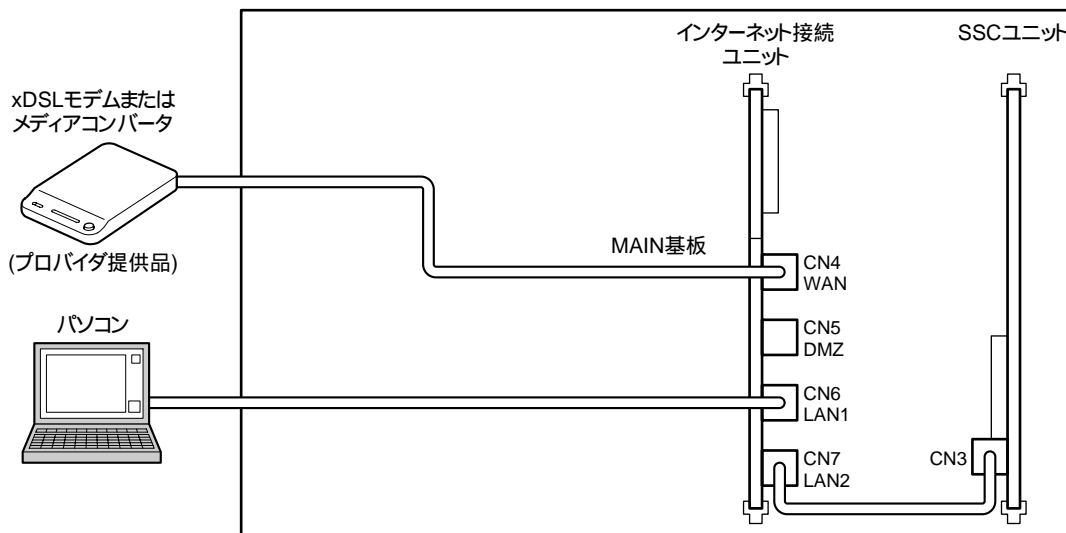
### 2.2.1 インターネット接続ユニットの取付

主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセントから抜いてください。  
 主装置のメイン基板のSLOT2 (A)、SLOT3 (A)、SLOT4 (A) のいずれかのコネクタに、Std-20ページの「ユニットの取付 / 取外し」を参考にインターネット接続ユニットを取り付けます。

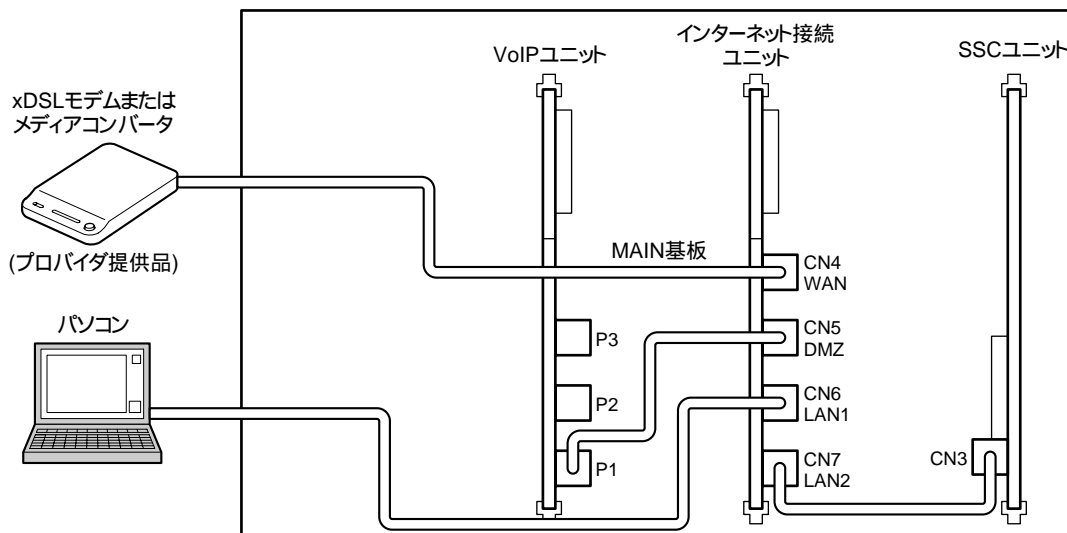


## 2.2.2 LANケーブルの接続

LANケーブルの結線を以下の接続図に従って行ってください。



a. インターネット接続ユニットのみ実装する場合の接続図



b. インターネット接続ユニットとVoIPユニットを実装する場合の接続図

SSC基板とインターネット接続ユニットとの接続には、インターネット接続ユニットに添付のカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

インターネット接続ユニットとVoIPユニットの接続には、VoIPユニットに添付しているカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。

パソコンとインターネット接続ユニットとの接続にはカテゴリ-5のLANケーブルをご使用ください。(ストレート/クロス可)  
xDSLモデムまたはメディアコンバータとインターネット接続ユニットの接続にはカテゴリ-5のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。(CN4のLINKランプが点灯しない場合は、xDSLモデムなどのMDI/MDI-X切替スイッチを確認してください)

xDSLモデムまたはメディアコンバータとインターネット接続ユニットとの間に10Mハブを接続した場合、IP電話の音声に劣化が発生する場合がありますので接続しないでください。

外部の装置(パソコン、ハブ、xDSLモデム、メディアコンバータ等)とインターネット接続ユニットをつなぐ際は、電源ケーブルと離して敷設してください。通信エラーを引き起こす原因となります。

### 3. インターネット接続ユニット【IPR500(A)】をWeb設定するためのパソコンの準備

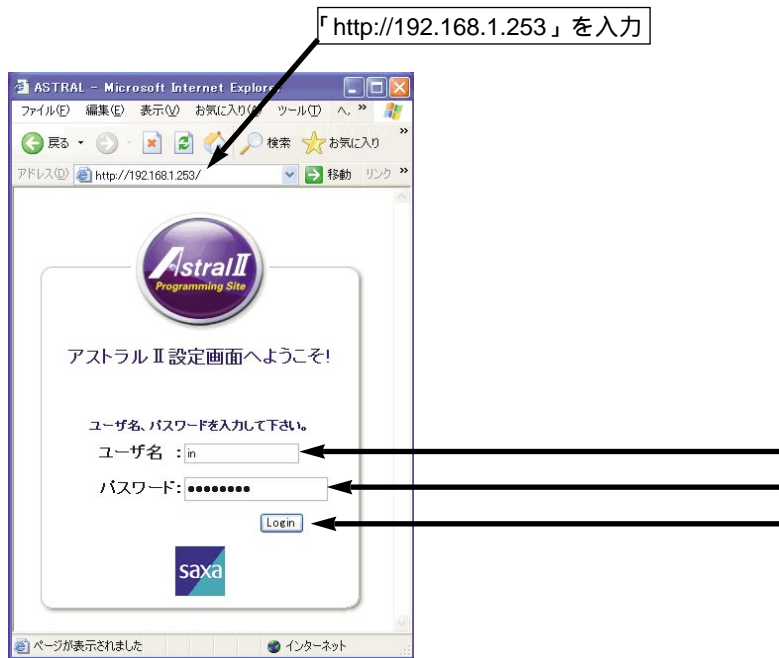
インターネット接続ユニットをWeb設定する前に、パソコンの設定内容を確認します。

- LANアダプタが正常に動作する。
- TCP/IPプロトコルがインストールされている。
- IPアドレスが自動取得に設定されている。
- ブラウザ（IE6）がインストールされている。
- IE6の設定で、プロキシを設定していないこと。

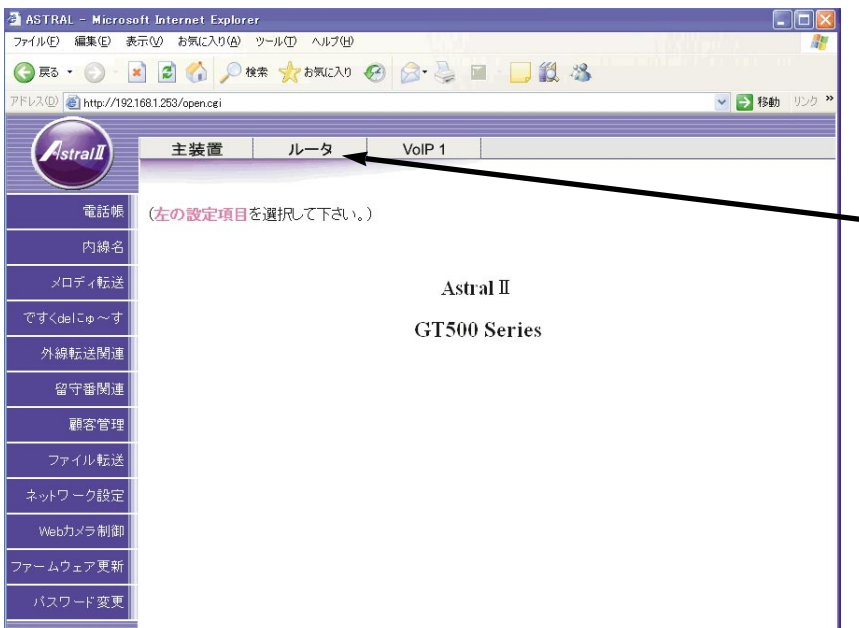
### 4. インターネット接続ユニットの設定

3項の準備が終了した後、ブラウザ（IE6）を起動してください。

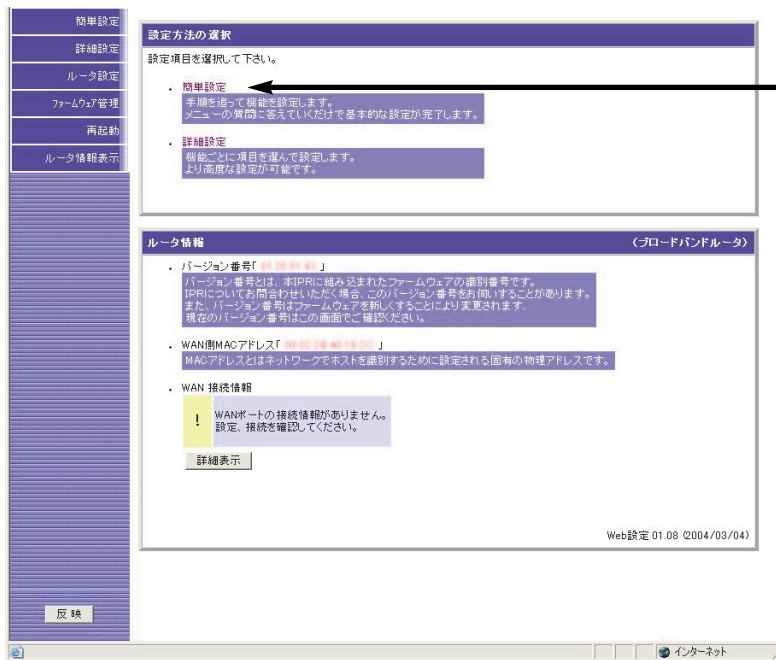
- (1) IE6のアドレスを入力する欄に主装置のデフォルトIPアドレス「<http://192.168.1.253>」を入力し、**[Enter]**キーを押してください。
- (2) 主装置にログインするための認証ダイアログボックスが表示されます。



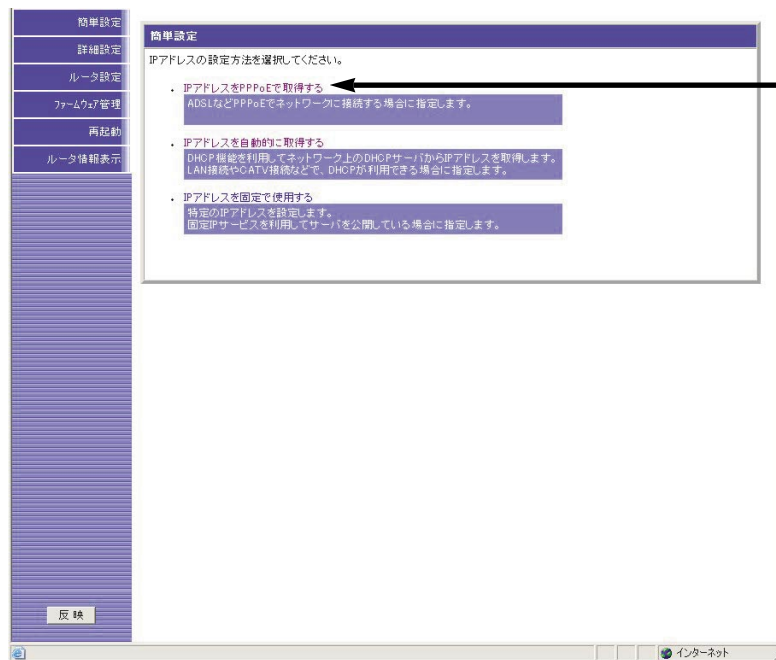
- (3) **[ユーザー名]**「in」、**[パスワード]**「tlipinst」を入力して、**[Login]**ボタンをクリックしてください。
- (4) 主装置のWeb設定画面が表示されます。さらに主装置のWeb設定画面から **[ルータ]**をクリックしてください。



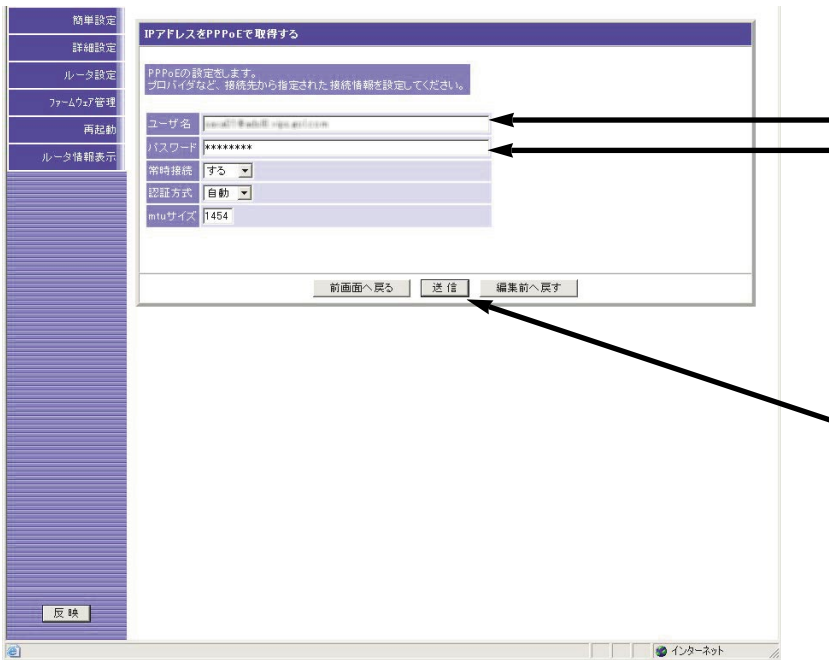
(5) インターネット接続ユニットのweb設定画面が表示されます。さらに **簡単設定** をクリックしてください。



(6) インターネット接続ユニットの簡単設定画面が表示されます。さらに、**IPアドレスをPPPoEで取得する** をクリックしてください。



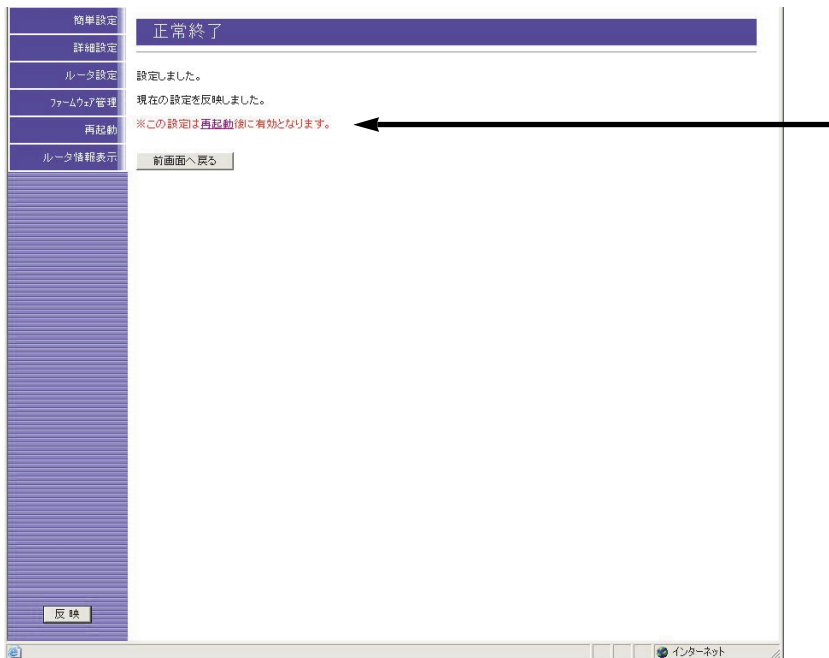
(7) IPアドレスをPPPoEで取得する画面が表示されます。



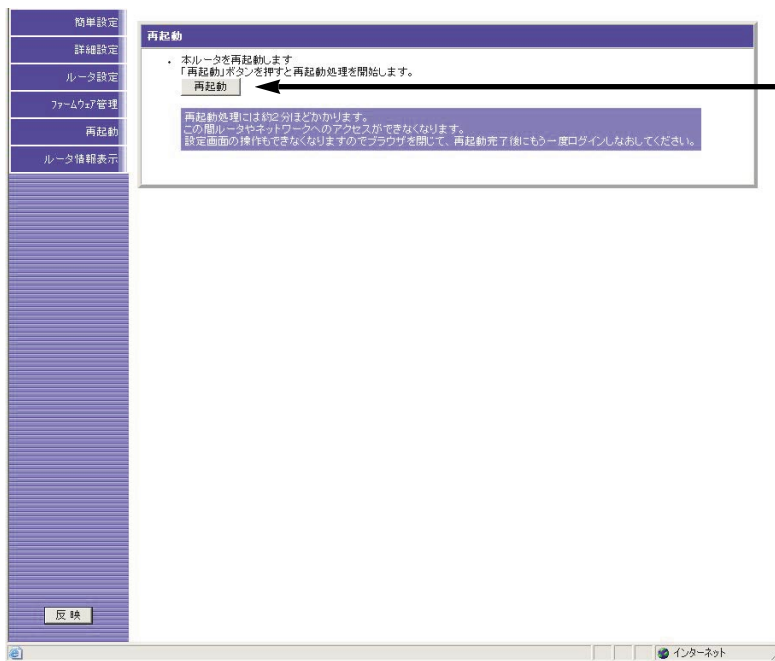
(8) **ユーザ名**、**パスワード** にFusion GOLから通知された接続用ID、パスワードを入力し、**送信** ボタン をクリックします。

(例) 接続用ID: XXXXX...@XXXXX.svips.gol.com

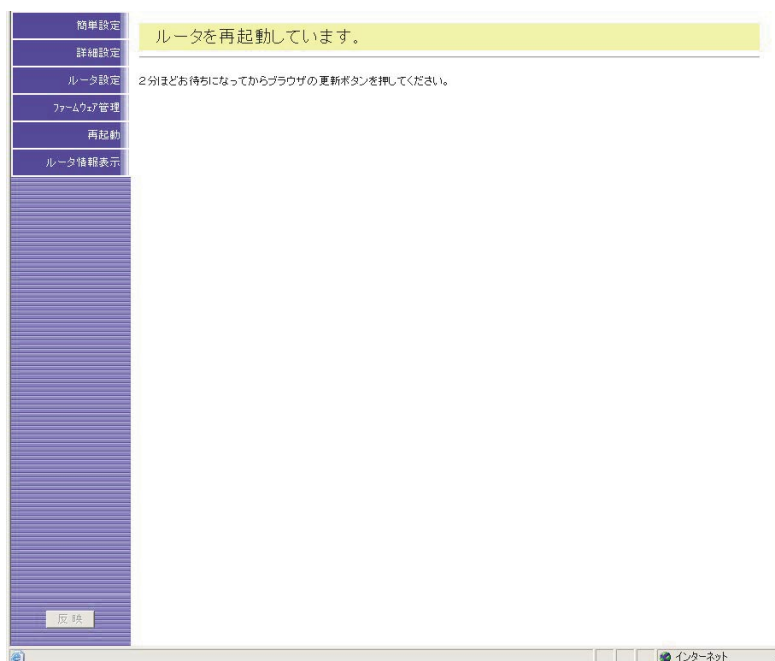
(9) 設定完了画面を確認し、**再起動** をクリックします。



(10) 再起動確認画面を確認し、**再起動** ボタンをクリックします。



(11) インターネット接続ユニットが再起動されます。



(12) IE6の更新をクリックし、**ルータ**をクリックします。



**PPPoE接続情報**が正しく表示されることを確認します。

**接続できない場合：**

接続ID、パスワードが誤っている場合、「WANポートの接続情報がありません。設定、接続を確認してください。」のメッセージが出ます。

**確認事項：**

以下の確認事項をチェックし、再度やり直してください。

- ・ インターネット接続ユニットのLIVE LEDは点灯していますか。 **点灯していない** => ユニットをSLOTにきちんと挿入してください。
- ・ インターネット接続ユニットのLINKランプは点灯していますか。 **点灯していない** => ケーブルの接続を確認し直してください。
- ・ Fusion GOLから通知された接続用ID、パスワードは合っていますか。 **合っていない** => 再度、入力し直してください。



↑注意

誤動作防止のため必ずデジタル局線ユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

## ⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

## ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

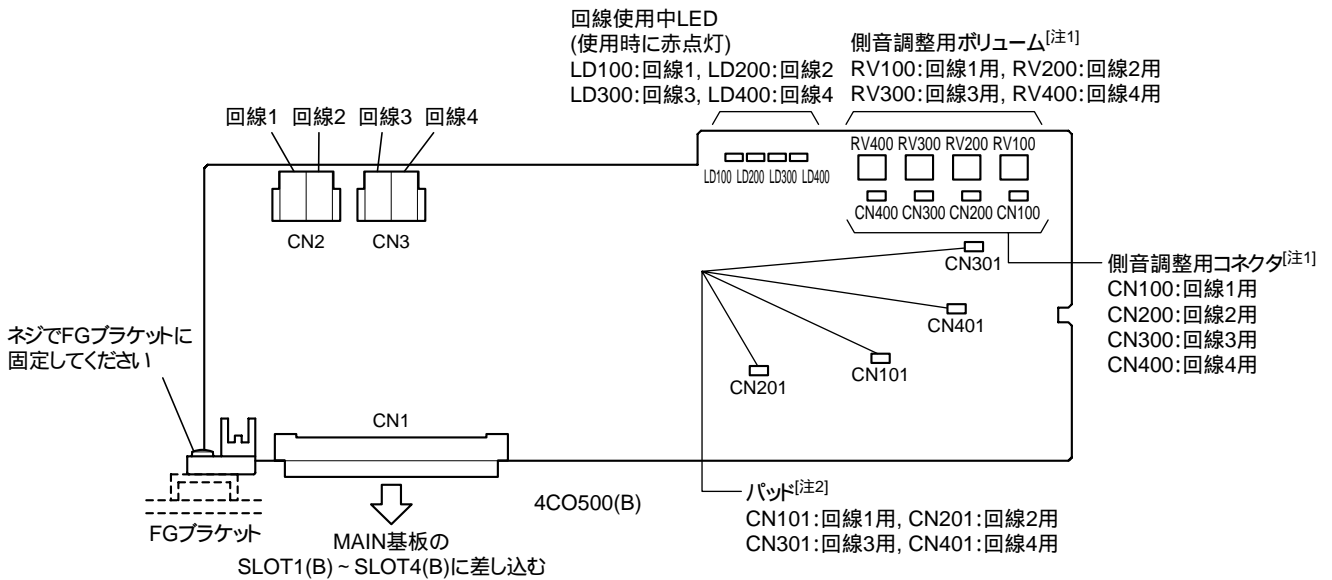
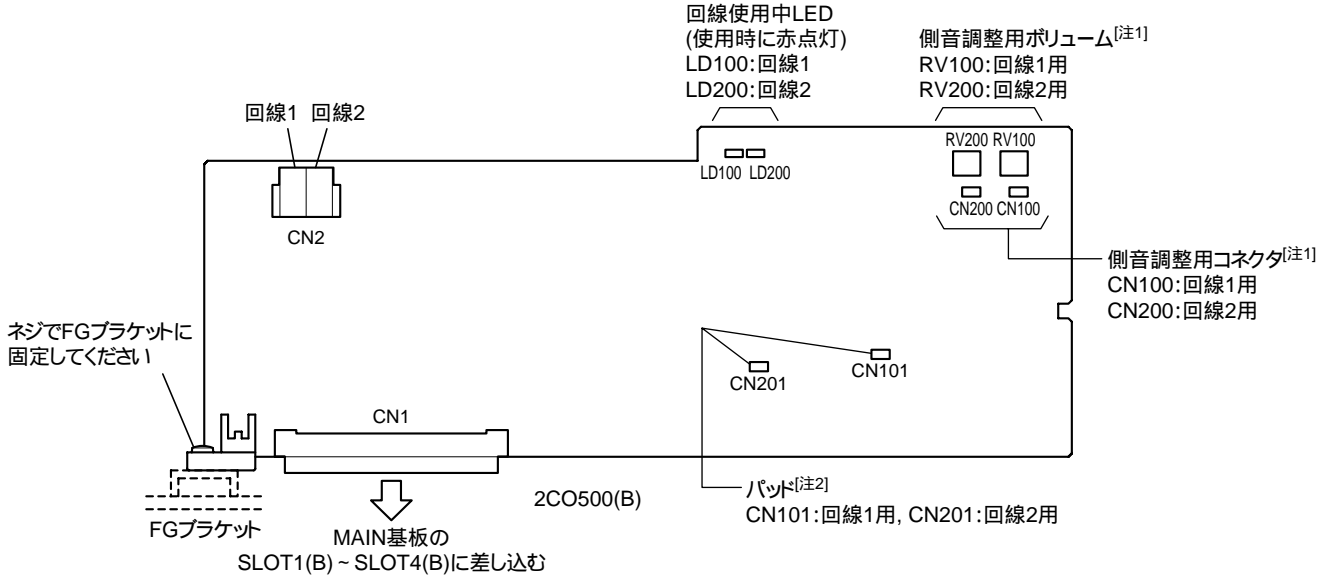
## ▶(9) アナログ局線ユニット【2CO500(B)/4CO500(B)】

アナログ局線ユニット[2CO500(B)]1枚でアナログ回線2本(2外線相当)、アナログ局線ユニット[4CO500(B)]1枚でアナログ回線4本(4外線相当)を収容することができます。

デジタル局線ユニットと合わせて4外線相当まで収容できます。

電話機外線ボタンへの局線の割付は、主装置メモリースイッチがCLEAR(出荷時設定)の場合、デジタル局線ユニットと合わせてSLOT番号の若番からになります。

配線ケーブルは、付属のソケットをカシメ作業 (Std-22ページ) 後CN2およびCN3に接続します。



[注1] 各回線の側音調整方法は、Std-72ページをご覧ください。

[注2] 各回線のパッド切替方法は、Std-72ページをご覧ください。

注意

誤動作防止のため必ずアナログ局線ユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

### 危険

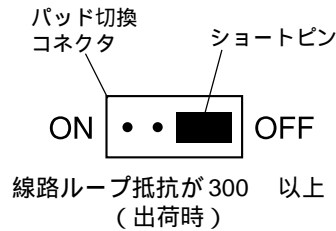
⚠ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

### 注意

⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因となります。

## ▶ パッドの切替

PBX 内線、または局線の線路ループ抵抗が 300 Ω 以下（線路損失約 3dB 以下）のときは、各回線に対応したパッドのショートピンを「ON」側に差し替えてください。  
出荷時は、「OFF」側です。



メモ

線路ループ抵抗が 300 Ω 以上のときでも、側音が気になる場合はパッドを「ON」に切り替えると側音が小さくなります。

## ▶ 良好な側音調整の方法

最小の側音を必要とする場合、各回線ごとに調整します。  
周囲騒音が非常に大きい場合（工場など）は、下記の側音調整を行ってから使用してください。

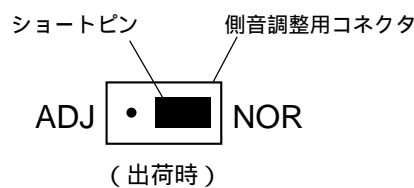
メモ

側音とは通話中のとき、送話器に入った音声や騒音が電話機内の回路を通り受話器から自分の耳に入ってくる音のことです。

### 側音調整方法

- 側音調整は各回線で通話中（受話器を耳に当てた状態）のときに行います。

- 側音調整用コネクタのショートピンを「ADJ」側に切り替える。  
出荷時は、「NOR」側です。

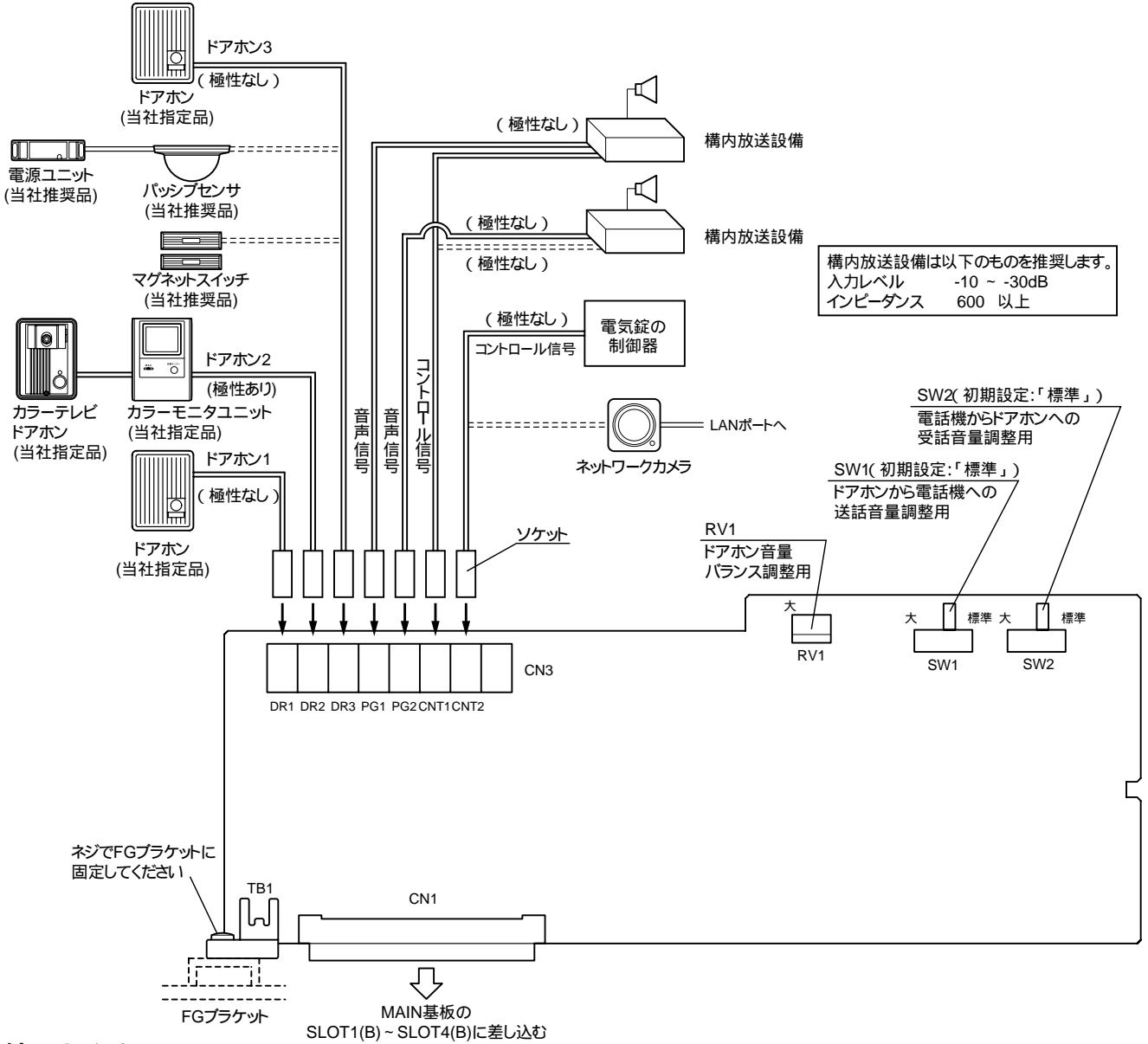


- 側音調整用ボリュームを左・右に ⊕ ドライバで回しながら良好な位置に調整する。

## ▶(10) ドアページングユニット【DRPG500(B)】

ドアホン（DR71）とカラーテレビドアホン（DR63C）を合わせて3台接続できます。  
 構内放送設備（コントロール信号付）、電気錠を合わせて2台接続できます。（電気錠の代わりにネットワークカメラでも接続可）  
 ドアホン3（DR3）のポートには外部センサを接続することができます。  
 外部センサとして、パッシブセンサはPA-6612（竹中エンジニアリング製）、マグネットスイッチはMG-103S（竹中エンジニアリング製）を推奨しています。

配線ケーブルのカシメ作業についてはStd-22ページをご覧ください。  
 パッシブセンサ、マグネットスイッチの接続は、共通編「セーフティ機能」をご覧ください。



### 接続のしかた

#### 構内放送設備の接続

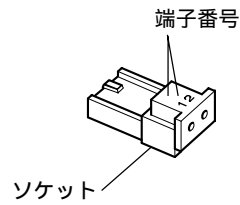
- ・ 構内放送設備を接続するときは、プログラム設定P035リレー制御指定を「外部スピーカ1」または「外部スピーカ2」に変更します。
- ・ 構内放送設備からBGMを送出するときは、プログラム設定P031-1外部スピーカ1のBGM送、P031-2外部スピーカ2のBGM送を「送」に変更します。
- ・ 構内放送時、予告音を流す場合はプログラム設定P032ドアホン着信音および外部スピーカ呼び出し時の予告音種別指定を設定します。

#### 電気錠の接続

- ・ 電気錠を接続するときは、プログラム設定P035リレー制御指定を「電気錠1」「電気錠2」または「電気錠3」のいずれかに変更します。
- ドアホン通話中のドアロック解除が可能な組み合わせは、次の通りです。
- ・ ドアホン1通話中は、プログラム設定P035リレー制御指定の「電気錠1」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。
  - ・ ドアホン2通話中は、プログラム設定P035リレー制御指定の「電気錠2」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。
  - ・ ドアホン3通話中は、プログラム設定P035リレー制御指定の「電気錠3」に指定された電気錠のみ、ドアロック解除が可能。

テレビドアホン接続時のみ、極性があります。(それ以外は極性なし)

ドアページングユニットへ テレビドアホンを接続するとき	
TM-22の 端子名	ソケットの 端子番号
D1	1
E	2



共通編14ページ参照

### 良好な調整方法

#### 通話調整方法

周囲雑音が大きい場合

- ・ 電話機側の周囲雑音が大きい場合はSW1を「大」側に切り替えてください。
- ・ ドアホン側の周囲雑音大きい場合はSW2を「大」側に切り替えてください。

ハウリングが発生する場合

- ・ 設置後、ドアホンがハウリングを起こす場合はドアページングユニットのRV1を左・右に⊕ドライバで回しながら良好な位置に調整してください。

### 注意

誤動作防止のため必ずドアページングユニットは、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

### ⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

### ⚠ 注意

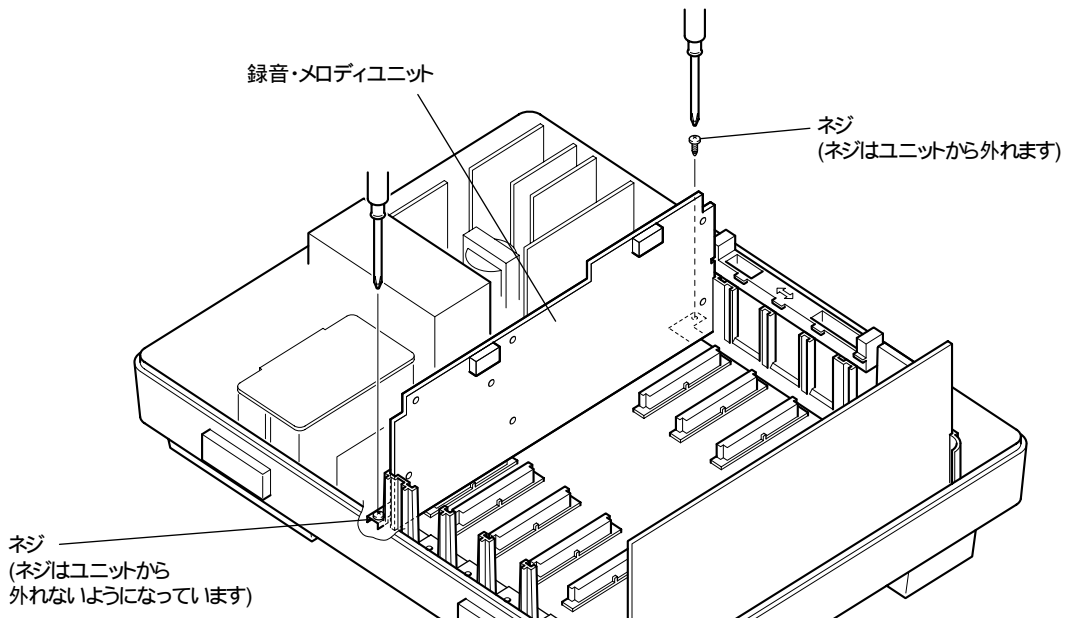
- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

## ▶(11) 録音増設ユニット【REC500(+)

録音再生時間と同時利用チャンネル数を増やすことができます。  
 約40分2chまたは約80分1chとして利用することができます。初実装の約20分1chと合わせて利用することができます。  
 録音時間は目安です。音声の状態により異なります。  
 録音再生機能は「留守番機能」「通話録音」「お待たせメッセージ」「非通知着信拒否メッセージ」などで利用されます。

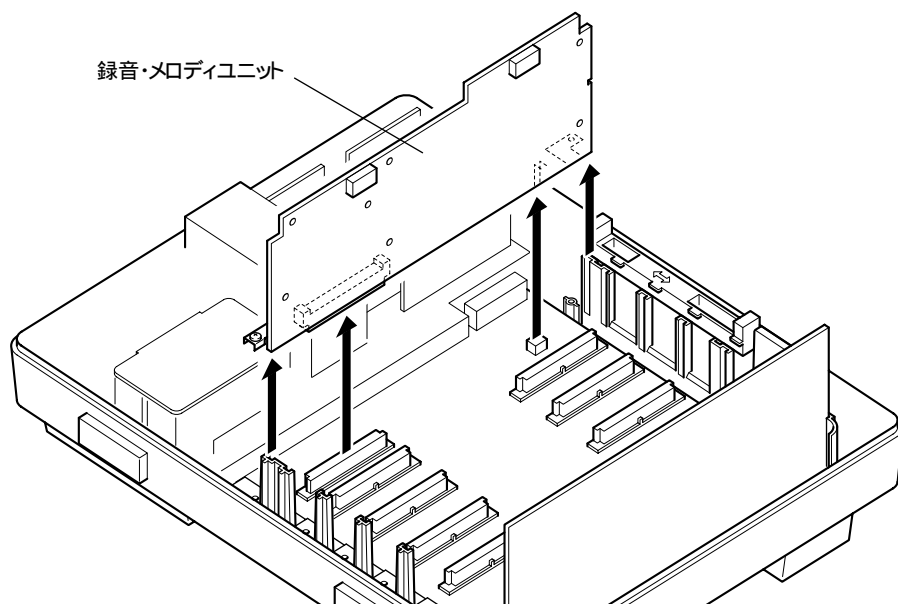
### 1. 録音増設ユニットの実装方法

録音・メロディユニット(初実装)についているネジをゆるめます。



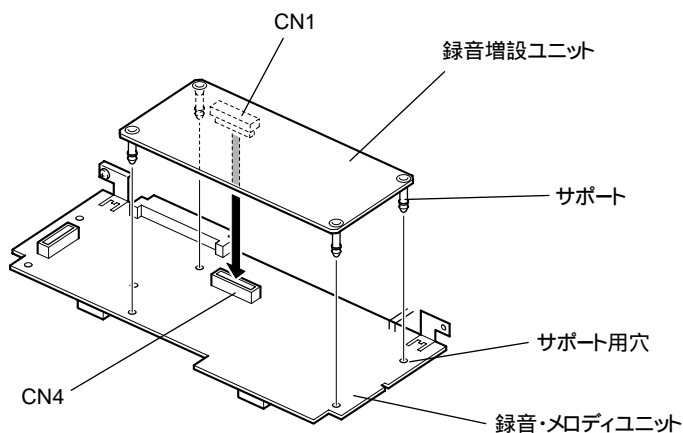
録音・メロディユニット(初実装)を静かに引き出して取り外します。

ユニットの両端を持って引き出してください。



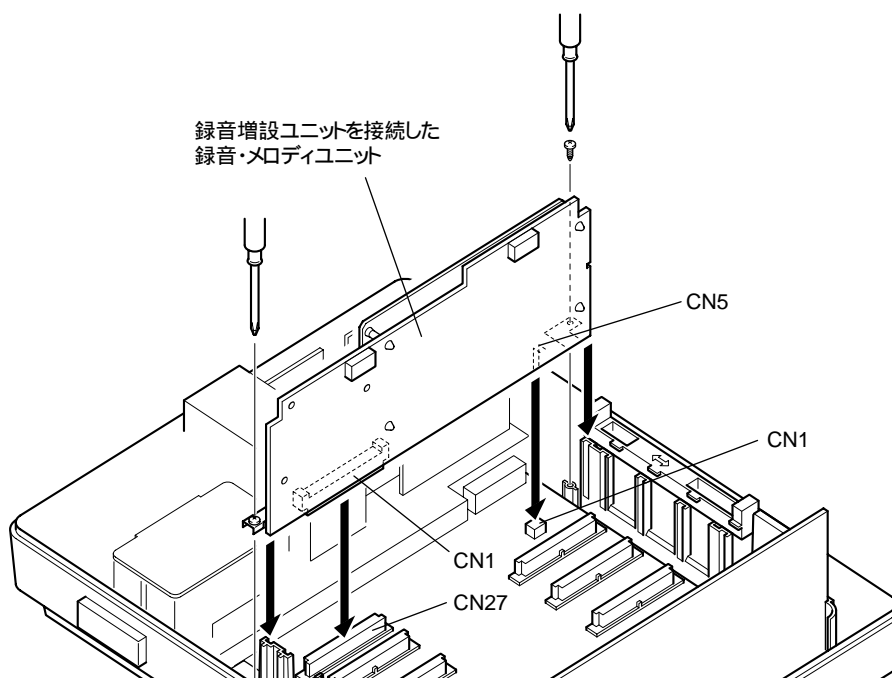
録音・メロディユニット(初実装)への接続。

録音増設ユニットのCN1とプラスチックサポート4本を、それぞれ録音・メロディユニットのCN4とサポート用穴の上にのせ、しっかり結合してください。



録音・メロディユニット(初実装)をメイン基板へ取り付けます。

録音・メロディユニットのCN1とCN5をそれぞれメイン基板のCN27とCN1に接続し、ネジで固定してください。  
録音増設ユニットが録音・メロディユニットに接続されている場合、CN5が見つらなくなるため、注意して接続してください。



**注意**

誤動作防止のため必ず録音・メロディユニット(初実装)は、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

**危険**

⚠ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

**注意**

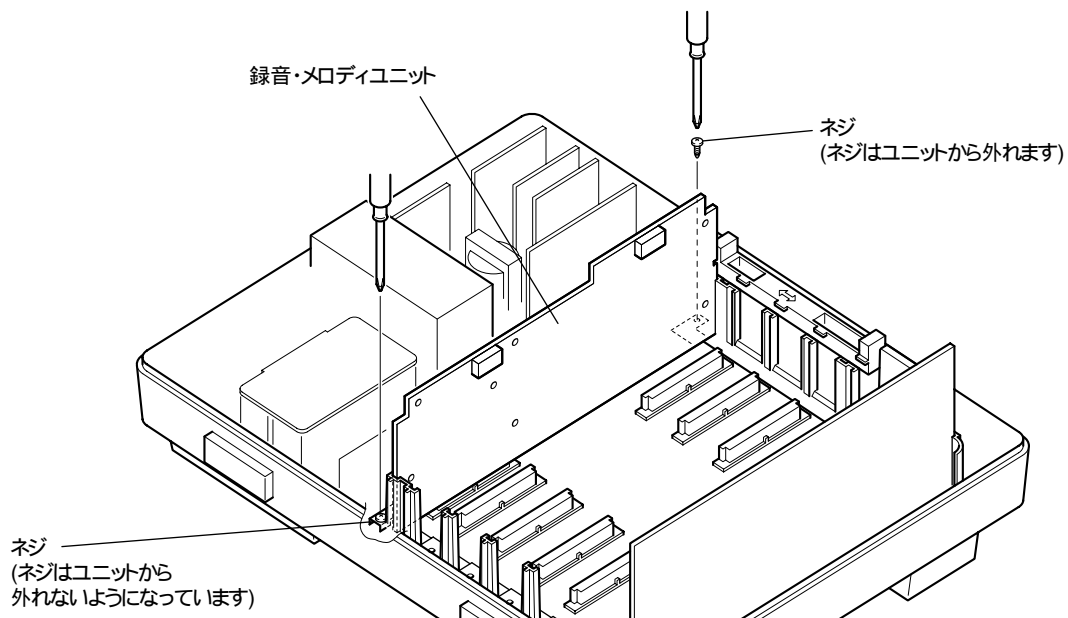
⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

## ▶(12) メロディ増設ユニット【MLB500(+)

着信メロディの同時再生チャンネル数を2ch増やすことができます。(曲目を増やすことはできません)

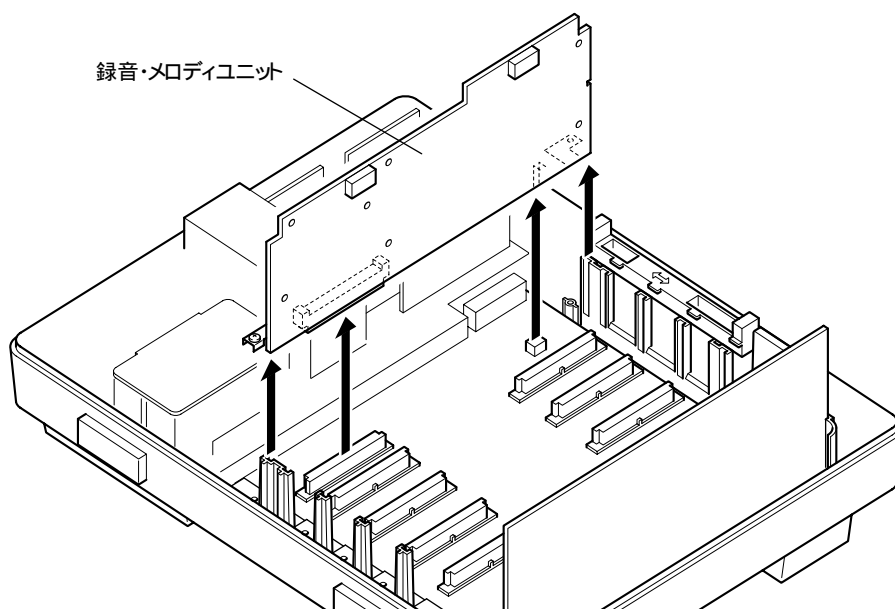
### 1. メロディ増設ユニットの実装方法

録音・メロディユニット(初実装)についているネジをゆるめます。



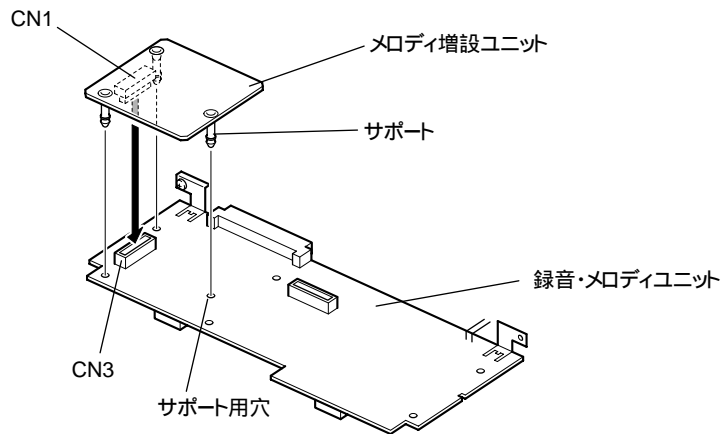
録音・メロディユニット(初実装)を静かに引き出して取り外します。

ユニットの両端を持って引き出してください。



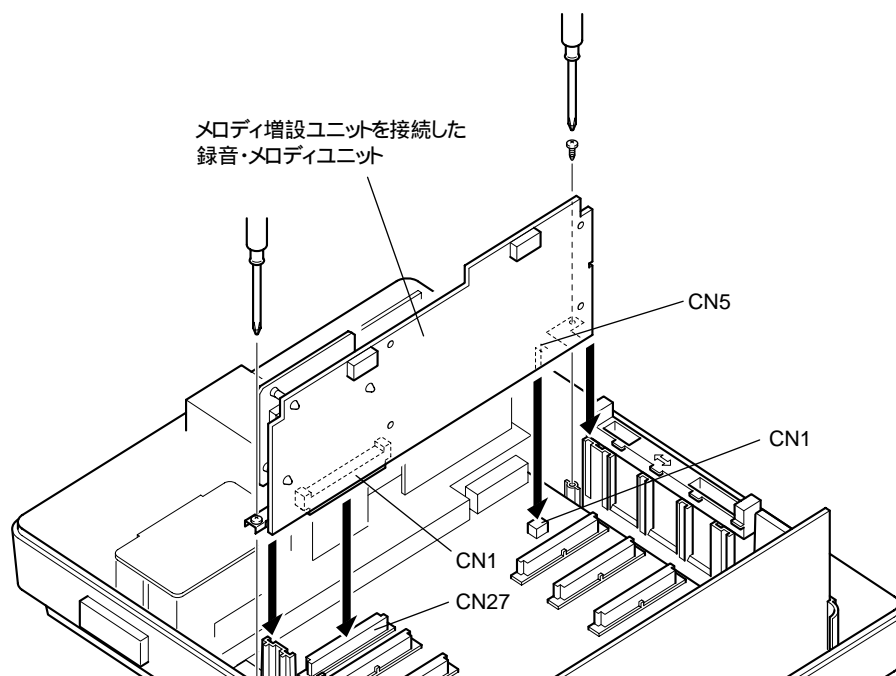
録音・メロディユニット(初実装)への接続。

メロディ増設ユニットのCN1とプラスチックサポート3本を、それぞれ録音・メロディユニットのCN3とサポート用穴の上におせ、しっかり結合してください。



録音・メロディユニット(初実装)をメイン基板へ取り付けます。

録音・メロディユニットのCN1とCN5をそれぞれメイン基板のCN27とCN1に接続し、ネジで固定してください。  
録音増設ユニットが録音・メロディユニットに接続されている場合、CN5が見つらなくなるため、注意して接続してください。



1. 注意

誤動作防止のため必ず録音・メロディユニット(初実装)は、ネジでFGブラケットに固定し、主装置を接地してください。

## ⚠ 危険

- ❗ オプションユニットの取り付け・配線工事は必ず主装置の電源スイッチをOFFにし、電源コードを電源コンセントから抜いた状態で行ってください。感電・故障の原因となります。

## ⚠ 注意

- ⊘ オプションユニットの取り付け・取り外しの際には、直接半田面に手を触れないでください。けがや故障の原因になります。

# 4

## 停電用電源の接続

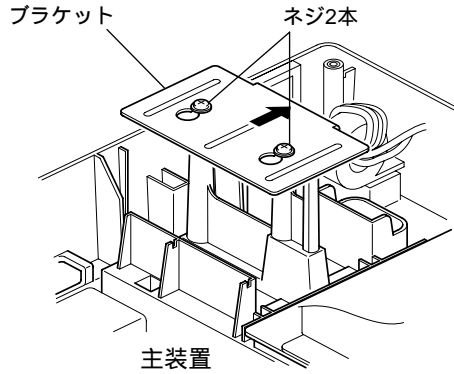
主装置の電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを電源コンセント（AC100V）から抜いて工事をしてください。  
 停電用電源は、Std-82ページ「停電用電源仕様」に記載のバッテリーをご利用ください。  
 停電用電源の交換は、2個同時に行ってください。（新・旧1個ずつの接続は不可）

### ▶ (1) 主装置に内蔵タイプ

接続は、下記の手順で行います。

接続する停電用電源（FML1208、PE12V0.8W3またはNP0.8-12）は、同一メーカーのものを使用してください。  
 停電用電源は、必ず2個接続してください。

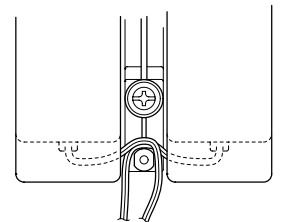
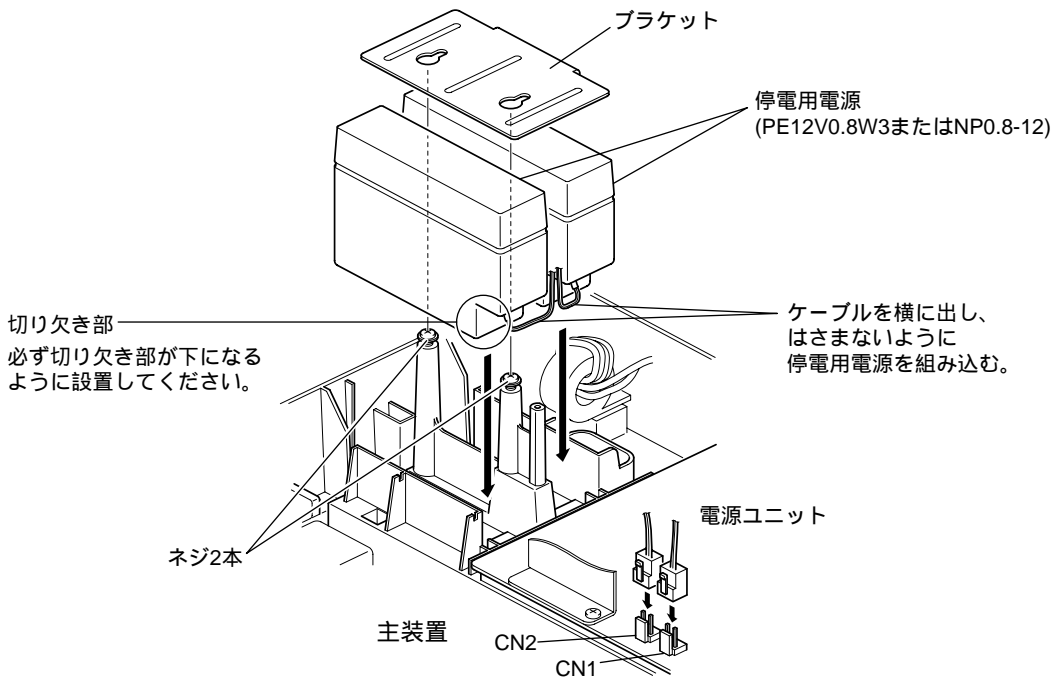
① ブラケット固定用のネジ2本を緩め、ブラケットを矢印の方向にスライドさせてから外します。



② 停電用電源のケーブルを電源ユニットのCN101、CN102に接続します。

③ 停電用電源を主装置に組み込みます。

④ ブラケットをネジ2本で元の位置に固定します。



ケーブルの取り回し

注意

停電用電源は、天地を逆に設置しないでください。  
 （停電用電源が劣化します）

### ⚠ 危険

- ⊘ 停電用電源は絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ⚡ 停電用電源の極性・配列を間違えないように設置してください。誤った接続をした場合、爆発・発火の危険があります。

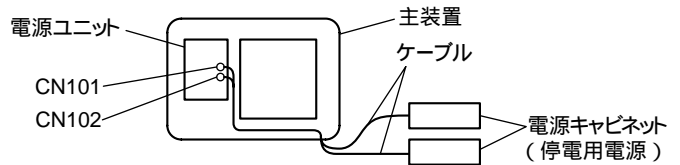
## ▶ (2) 主装置に外付けタイプ

停電用電源（PE12V7F1、NP7-12または12m7.2B）は、電源キャビネットに収納し、ご利用ください。

停電用電源は、必ず2個接続してください。

電源キャビネット1個で停電用電源を1個収納できます。

電源キャビネットのケーブルを電源ユニットのCN101、CN102に接続します。

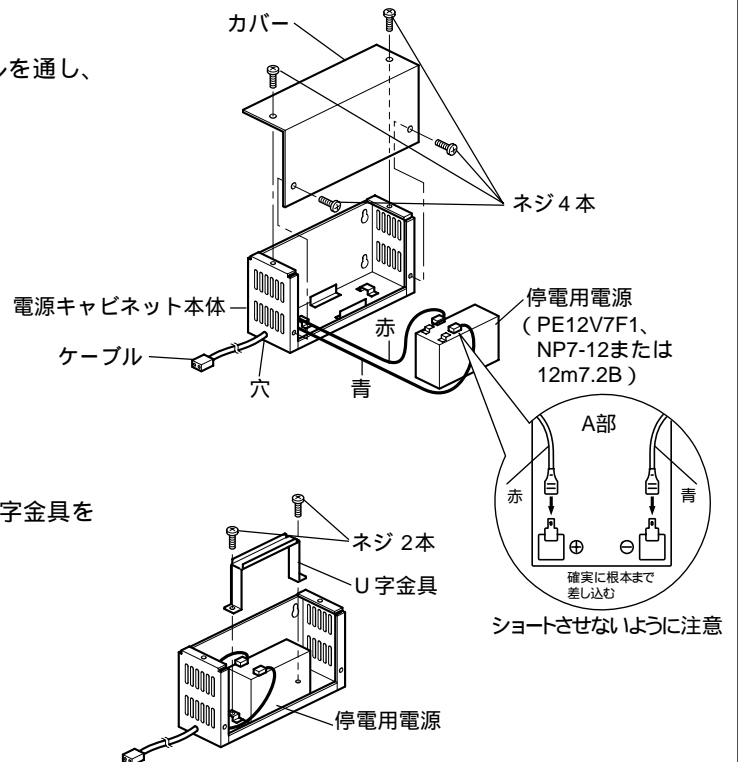


電源キャビネットに付属のケーブルが短い場合は別売品のケーブル（3m）をご利用ください。

### 電源キャビネットへの収納方法

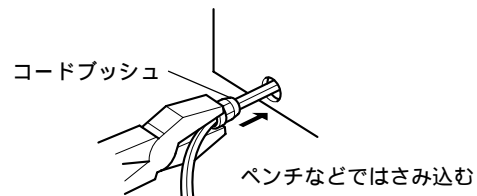
- ① カバーのネジ4本を外し、カバーを外します。
- ② 電源キャビネット本体左側の穴から付属のケーブルを通し、停電用電源に接続します。  
接続は、極性にご注意ください。

停電用電源	ケーブル色
(+)	赤
極性	
(-)	青



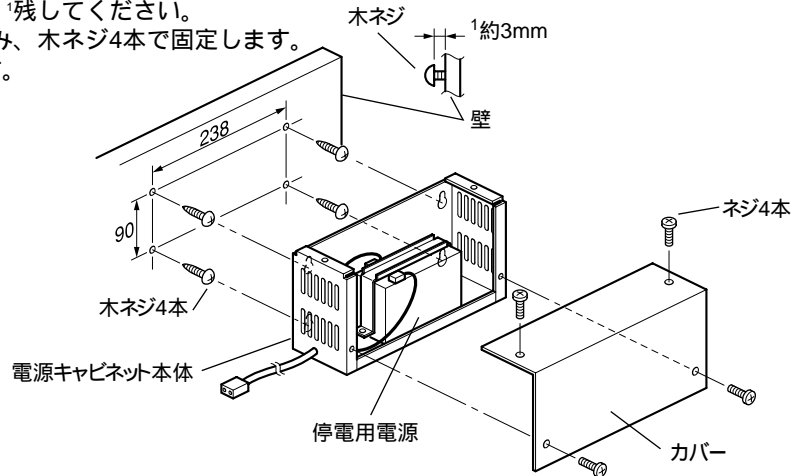
- ③ 停電用電源を電源キャビネット本体に組み込み、U字金具をネジ2本で固定します。

- ④ 付属のコードブッシュで、ケーブルを固定します。
- ⑤ カバーをネジ4本で固定します。



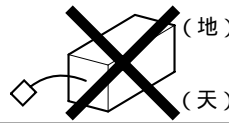
壁掛用として使用するときは、電源キャビネットに付属の木ネジ4本で壁に取り付けます。  
土壁、ボードへの取り付けは、電源キャビネットが落下しやすいのでおやめください。

壁に付属の木ネジ4本を取り付けます。  
そのとき、木ネジの首下を壁より約3mm 残してください。  
電源キャビネット本体を木ネジにはめ込み、木ネジ4本で固定します。  
カバーをネジ4本で元の位置に固定します。



注意

停電用電源は、天地を逆に設置しないでください。  
(停電用電源が劣化します)

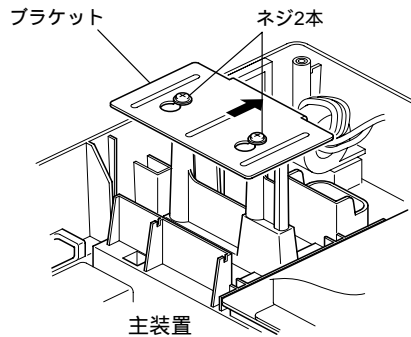


### 危険

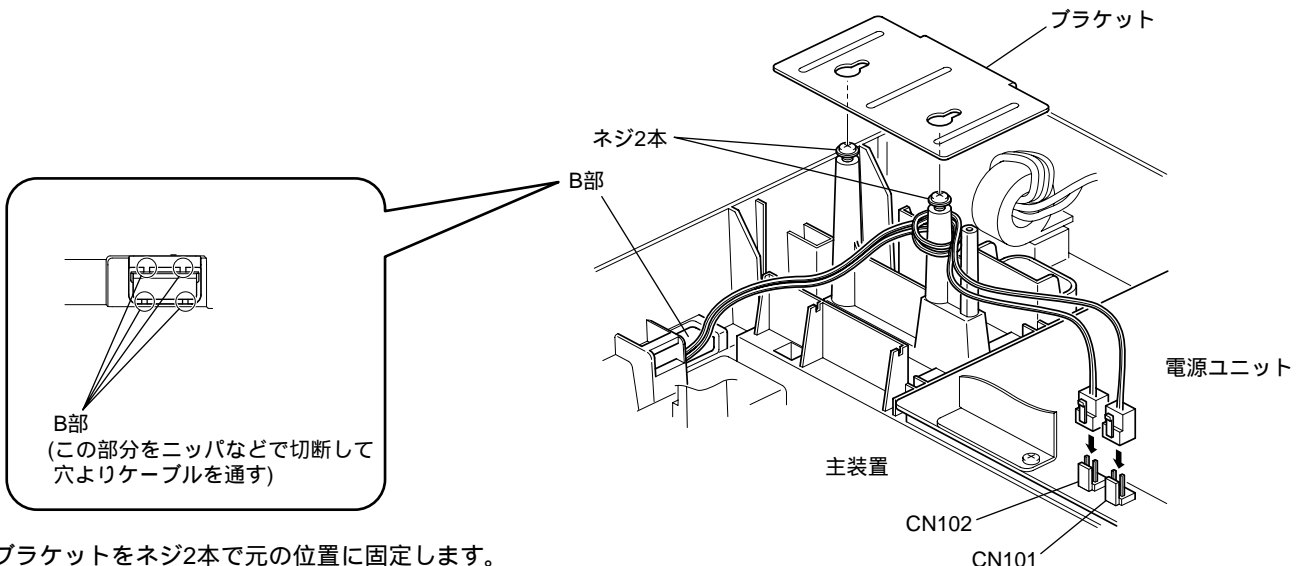
- ⊘ 停電用電源は絶対にショートさせないでください。爆発・発火の危険があります。
- ⚠ 停電用電源の極性・配列を間違えないように設置してください。誤った接続をした場合、爆発・発火の危険があります。

### 主装置への接続方法

ブラケット固定用のネジ2本を緩め、ブラケットを矢印の方向にスライドさせてから外します。



B部からケーブルを通し、ボスに2~3回巻き付け電源ユニットのCN101、CN102に接続します。



ブラケットをネジ2本で元の位置に固定します。

## 5 停電時の動作

### ▶ 停電用電源がある場合

停電用電源が接続してあると、停電になっても通常と同様に全電話機が使用できます。  
インターネット接続ユニット[IPR500(A)]とルータ機能内蔵VoIPユニット[IPFU500(A)/IPNT500(A)]は使用できません。  
プログラム設定で、エコモードに設定できます。(実装番号01、02の電話機のみ使用できます。ただし、通話中の電話機は通話終了まで使用できます。)  
エコモード設定時は、実装番号01、02にTD、PF電話機などの有線電話機を接続してください。

### 停電用電源仕様

電源の型番	電源の種類	満充電時間	使用可能時間	寿命による交換 時期の目安	収納方法	使用個数
FML1208(古河電池)	鉛蓄電池	約20時間	約20分 (エコモード約45分)	約3年	主装置に内蔵	いずれか を2個
NP0.8-12(YUASA)						
PE12V0.8W3(GS)		約80時間	約6時間30分 (エコモード約9時間)	約2年	主装置に外付け	
12m7.2B(古河電池)						
NP7-12(YUASA)						
PE12V7F1(GS)						

内蔵タイプの停電用電源と外付けタイプの停電用電源を同時に接続することはできません。

### ▶ 停電用電源がない場合、停電用電源の残量がない場合

#### 停電になると

デジタル回線、アナログ回線使用中の全電話機の通話が切れます。

#### 停電中は

デジタル回線に接続されているPF500電話機（デジタル回線用停電電話機）のみ使用できます。  
電話をかけるとき（発信）  
受話器を上げて、発信音「ツー」を確認してからダイヤルします。  
電話を受けるとき（着信）  
着信音が鳴ったら、受話器をあげて通話します。

#### 停電復旧すると

システムは自動的に復旧します。  
PF500電話機で通話中のとき、停電が復旧すると通話は切れてしまいます。

# 6 プログラム設定

プログラムの登録はメモリスイッチが「HOLD」側のときのみ設定できます。  
 プログラムの登録、確認、および変更は、実装番号1～8に接続されたTD・PF・LD・CL（親機）・SS電話機から設定します。  
 また、外線通話中でも設定できます。  
 プログラムの登録、更新は、設定方法による操作で仮登録され、すべての電話機が使用されていないときに本登録されます。  
 したがって、仮登録では旧データのままで動作します。  
 プログラムの登録・確認・変更中でも、他の電話機の機能はすべて使用できます。

注意

プログラム設定の前にメモリスイッチを「HOLD」側に切り替えてください。  
 TD・PF・LD・CL（親機）・SS電話機に「プログラム設定データ エラー」が表示された場合、プログラム設定に異常が発生しています。この場合、プログラム設定を確認してください。  
 プログラム設定確認後も「プログラム設定データ エラー」表示が消えない場合はメモリクリアを行ってください。（プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容がすべて「初期設定」に戻ります）  
 外来ノイズを受けて電話機が正しく動作しない場合は、主装置の電源スイッチを「OFF」に切り替えた後、1分以上経過後「ON」に戻してください。  
 プログラム設定や短縮ダイヤルなどの登録内容は、保持されます。

## ▶ 設定項目

本装置は、出荷時（初期設定）次のように設定されています。

- 全電話機が、すべての外線に対し発着信ができます。
- すべての外線からの着信に対し、全電話機が着信音鳴動します。
- すべての外線からの着信に対し、受話器をあげるだけで着信応答できます。（ダイヤルイン、i・ナンバー、VoIP着信を除く）
- 発信者番号通知は、回線の申し込みによります。
- 初期設定のままでよい場合は、プログラムを変更する必要はありません。

プログラムは、次のように区分けされています。

プログラム区分	プログラム番号
システム対応	P001～P082
収容外線対応	P101～P108
電話機対応	P201～P229
メニュープログラミング対応	P301～P327
テナント対応	P401～P450
携帯ACR対応	P501～P503

本装置のユニット構成を変更した場合は、下記メッセージが表示されます。

ユニット構成が変更されました。  
 【更新】【確定】【キャンセル】電源OFF  
 更新する場合は、プログラム設定の見直しが必要です。

実装番号1～8に接続されたTD・PF・LD・CL（親機）・SS電話機に表示されます。

## プログラム設定一覧

## システム対応

プログラム番号	内容	
P001	システム設定 その1	1 内線呼出優先順位指定
		2 一斉/グループ呼出指定
		3 共通短縮ダイヤル発信規制解除指定
		4 強制転送指定
		5 自動転送指定
		6 オンフック転送指定
		7 ワンタッチ発信機能指定
		8 未使用
		9 外線自動選局順位指定
		0 自動PB信号切り替え指定
P002	システム設定 その2	1 ポーズ時間指定
		2 未使用
		3 外線発信規制指定-100番(準特甲、甲)
		4 外線発信規制指定-110番、119番(PBX内準甲)
		5 一般電話機(保留/フッキング)指定
		6 バッテリパワーセーブ指定
		7 SLI1切断信号送出指定
		8 SLI2切断信号送出指定
		9 FAXコールバック着信応答時のFAX解放指定
		0 通話料金表示フォーマット指定
P003	システム設定 その3	1 個別着信(DIT)の着信拒否指定
		2 個別着信(DIT)動作指定
		3 外部保留音指定
		4 BGM指定
		5 ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定
		6 着信履歴表示指定(着歴ボタン)
		7 システム着信履歴表示指定(メニュー)
		8 アナログ外線の発信電話番号切替指定
		9 未使用
		0 未使用

## システム対応

プログラム番号	内容	
P004	保留警報タイマ指定	
P005	オートリピートタイマ指定(呼出/待ち/回数)	
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	
P007	オートリピート発信指定	
P009	コード0選局指定	
P010	発信選局指定	
P011	PBX外線発信コード指定	
P012	外線通話表示指定	
P013	課金係数指定	
P014	1××特番登録指定	
P015	1××特番ポーズ指定	
P016	特定市外発信番号指定 (準特甲の電話機に対してのみ適用する)	
P017	外線発信規制番号指定 (特甲以外の電話機に対して適用する)	
P018	留守番在宅自動応答時間指定	
P019	外線転送自動応答時間指定	
P020	NTT強制接続コード指定	
P021	外線転送システム設定	1 外線転送1通知音(転送先)指定
		2 外線転送2通知音(転送先)指定
		3 外線転送3通知音(転送先)指定
		4 外線転送4通知音(転送先)指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P022	外線自動転送の起動時間指定	
P023	外線転送転送先不応答切断タイマ指定	
P024	外線転送終話時コールバック時間指定	
P025	外線転送最大通話時間指定	
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	
P027	RECシステム設定	1 用件自動消去指定
		2 通話メモ再生指定
		3 未使用
		4 未使用
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用

## システム対応

プログラム番号	内容	
P028	REC1～4用途指定	
P029	留守番機能指定	
P030	RECお待たせコールバック時間指定	
P031	D R ・ P G シ ス テ ム 設 定	1 外部スピーカ1へのBGM送出指定
		2 外部スピーカ2へのBGM送出指定
		3 予告音鳴動中の音声同時送出指定
		4 未使用
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P032	ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定	
P033	ドアホン通話ゲイン指定(送話/受話)	
P034	ドアホン着信音周期指定	
P035	リレー制御指定(リレー1、2)	
P036	外部スピーカゲイン指定 (外線着信音量、音声音量、BGM音量)	
P037 [D]	I S D N シ ス テ ム 設 定	1 無効サブアドレス指定
		2 発サブアドレス通知指定
		3 経過表示指定
		4 理由表示指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P038 [D]	ISDN契約者回線番号指定	
P039	ダイヤルイン番号指定	
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	
P042 [D]	グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定	
P043	ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定	
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定	
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	
P046 [D]	グローバル着信疑似コールウェイティング指定	
P047	ダイヤルイン着信疑似コールウェイティング指定	
P048 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(昼)	
P049 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(夜間A)	
P050 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(夜間B)	
P051 [D]	グローバル個別着信(DIT)の遅延応答時間指定	

## システム対応

プログラム番号	内容	
P052	ダイヤルイン個別着信(DIT)指定(昼)	
P053	ダイヤルイン個別着信(DIT)指定(夜間A)	
P054	ダイヤルイン個別着信(DIT)指定(夜間B)	
P055	ダイヤルイン個別着信(DIT)の遅延応答時間指定	
P056	識別グループ着信時の動作指定	
P057	内線個別信号呼出音種別指定	
P058	グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定	
P059	VOIP外線自動選局禁止番号指定	
P060	VOIP外線アクセス表示指定	
P061	内線番号桁数指定	
P062	PB信号送出パターン指定(送出/ポーズ)	
P063	話中/不応答転送タイマ指定	
P064	IP電話自動交換グループ指定	
P065	外部スピーカ ドアホン着信鳴動テナント指定	
P072	セ ー フ テ ィ シ ス テ ム 設 定	1 威嚇警報の音量指定
		2 通報先終話時の威嚇継続指定
		3 リレー出力タイミング指定
		4 外部スピーカ威嚇鳴動指定
		5 未使用
		6 未使用
		7 未使用
		8 未使用
		9 未使用
		0 未使用
P073	モードセット遅延時間指定	
P074	威嚇遅延時間指定	
P075	威嚇警報音鳴動時間指定	
P076	ドアホン3ポート接続指定	
P077	外部センサ応答グループ指定	
P078	通報発信外線強制切断指定	
P079	センサ入力信号ON確定時間指定	
P080	センサ入力信号OFF確定時間指定	
P081	センサON連続検出回数指定	
P082	センサOFF確定時間指定	

## 収容外線対応

プログラム番号	内容	
P101	外線収容および外線種別指定	
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	
P103	NCC回線指定	
P104 [A]	FAXコールバック外線指定	
P105 [A]	アナログ外線NTT付加サービス指定	
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	
P107	外線通話ゲイン指定	
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	

## 電話機対応

プログラム番号	内容
P201	内線番号指定
P202	内線代表番号指定
P203	電話機グループ呼出指定
P204	サービスクラス指定
P205	話中着信指定
P206	外線通話割込指定
P207	通話警告音鳴動指定
P208	ハンズフリー通話制御指定
P209	ヘッドセット接続指定
P210	留守番電話機指定 ( R E C 1 ~ 4 )
P211	オフフック発信指定
P212	発信優先モード指定
P213	一般電話機の種別指定
P214	ドアホン着信自動応答指定
P215	ドアホン着信音鳴動指定 ( 昼 )
P216	ドアホン着信音鳴動指定 ( 夜間 A )
P217	ドアホン着信音鳴動指定 ( 夜間 B )
P218 [D]	発信者番号選択指定
P219	発信者番号表示指定
P220	着信順次分配グループ内線番号指定
P221	着信順次分配グループ代表番号指定
P222	通話メモ使用 R E C 指定
P223	ドアホン着信指定
P224	着信履歴指定
P225	内線ホットライン指定
P226	セーフティグループ指定
P228	音声威嚇電話機指定
P229	センサ動作指定

## メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容
P301 [D]	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定 ( 昼 )
P303	着信音鳴動指定 ( 夜間 A )
P304	着信音鳴動指定 ( 夜間 B )
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 昼 )
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 A )
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 B )
P309	発信規制指定 ( 昼 )
P310	発信規制指定 ( 夜間 A )
P311	発信規制指定 ( 夜間 B )
P312	コールバック着信音鳴動指定
P313	自動選局指定 ( 発信 )
P314	自動選局指定 ( 応答 )
P315	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 昼 )
P316	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 A )
P317	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 B )
P318	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 昼 )
P319	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 A )
P320	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定 ( 夜間 B )
P321	ドアホン着信メロディ指定
P322	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定 ( 昼 )
P323	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定 ( 夜間 A )
P324	外部スピーカ1 ドアホン着信音指定 ( 夜間 B )
P325	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定 ( 昼 )
P326	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定 ( 夜間 A )
P327	外部スピーカ2 ドアホン着信音指定 ( 夜間 B )

## テナント対応

プログラム番号	内容
P401	電話機の所属テナント指定
P402	テナント外線ボタン割付指定
P403	テナント1外線発信時の収容外線指定
P404	テナント2外線発信時の収容外線指定
P405	テナント3外線発信時の収容外線指定
P406	テナント4外線発信時の収容外線指定
P407 [A]	テナント1アナログ着信 着信外線指定
P408 [A]	テナント2アナログ着信 着信外線指定
P409 [A]	テナント3アナログ着信 着信外線指定
P410 [A]	テナント4アナログ着信 着信外線指定
P411 [D]	テナント1グローバル着信 着信外線指定
P412 [D]	テナント2グローバル着信 着信外線指定
P413 [D]	テナント3グローバル着信 着信外線指定
P414 [D]	テナント4グローバル着信 着信外線指定
P415	テナント1ダイヤルイン着信 着信外線指定
P416	テナント2ダイヤルイン着信 着信外線指定
P417	テナント3ダイヤルイン着信 着信外線指定
P418	テナント4ダイヤルイン着信 着信外線指定
P419	外線捕捉時 / 発信者番号指定
P420 [D]	発信者番号通知指定
P421	外線着信音周期指定
P422	着信音種別指定
P423	非通知着信音周期指定
P424	非通知着信音種別指定
P425	外線転送テナント(自動/手動)指定
P426	外線自動転送(発信側)指定
P427	外線自動転送(着信側)指定
P428	留守番自動応答指定
P429	テナント1発信許可 / 規制ダイヤル指定
P430	テナント2発信許可 / 規制ダイヤル指定
P431	テナント3発信許可 / 規制ダイヤル指定
P432	テナント4発信許可 / 規制ダイヤル指定
P433	テナント1発信許可 / 規制指定
P434	テナント2発信許可 / 規制指定
P435	テナント3発信許可 / 規制指定
P436	テナント4発信許可 / 規制指定
P437 [A]	個別着信(DIT)指定(昼)
P438 [A]	個別着信(DIT)指定(夜間A)
P439 [A]	個別着信(DIT)指定(夜間B)
P440 [A]	個別着信(DIT)の遅延応答時間指定
P441	外部スピーカ1 着信音鳴動指定(昼)
P442	外部スピーカ1 着信音鳴動指定(夜間A)
P443	外部スピーカ1 着信音鳴動指定(夜間B)
P444	外部スピーカ2 着信音鳴動指定(昼)
P445	外部スピーカ2 着信音鳴動指定(夜間A)
P446	外部スピーカ2 着信音鳴動指定(夜間B)
P447	外部スピーカ1 コールバック着信鳴動指定
P448	外部スピーカ2 コールバック着信鳴動指定
P449	通報発信外線テナント指定
P450	通報発信外線指定

## 携帯ACR対応

プログラム番号	内容
P501	キャリアアクセスコード指定
P502	キャリア選択識別番号指定
P503	キャリアアクセス表示指定

## システム対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P001 システム設定その1	1 内線呼出優先順位指定	音声呼	信号呼	設定に関係なく、呼出先が一般電話機、DC子機の場合は信号音での呼び出しになる。
	2 一斉/グループ呼出指定	音声呼	信号呼	
	3 共通短縮ダイヤル発信規制解除指定	解除しない(規制する)	解除する(規制しない)	P204サービスクラス指定で「準特甲」、「甲」に設定された電話機に対して適用する。
	4 強制転送指定 強制転送: 外線保留後、内線呼出操作により直接転送する	可	不可	設定に関係なく一般電話機への転送はできる。
	5 自動転送指定 自動転送: 外線保留中の通話を内線通話後に自動的に転送する	可	不可	設定に関係なく一般電話機への転送はできる。
	6 オンフック転送指定	可	不可	可: 強制転送、自動転送時に受話器を置き通話を転送する 不可: 強制転送、自動転送時に【フラッシュ】を押し通話を転送する。
	7 ワンタッチ発信機能指定	不可	可	オートダイヤルに外線の電話番号が登録されているとき、オンフック状態でオートダイヤルボタンを押した場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。
	8 未使用	-	-	
	9 外線自動選局順位指定	老番から	若番から	自動選局発信機能など、ボタン操作のみで外線を自動的に捕捉する場合の、捕捉外線の順位を指定する。 老番から: 空き外線の老番から捕捉 若番から: 空き外線の若番から捕捉
	0 自動PB信号切替指定 <sup>※1</sup>	有	無	有: アナログ回線において外線発信後の相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。

注1・本装置と電話回線の間にはFAX、電話/FAX自動切替装置などの機器を接続するときは、「無」に変更してください。本装置からの外線発信や通話中のFAX転送が出来ないことがあります。

- ・「有」(初期設定)時に、ダイヤル回線で通話中にDPダイヤルの送出が必要なときは、【リダイヤル】を押してください。その通話に限りDPダイヤルが送出されます。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考	
P002	システム設定その2	1 ポーズ時間指定	3.0秒	1.0秒	短縮ダイヤル・オートダイヤル登録時のダイヤル桁間のポーズ時間およびPBX外線発信コードのポーズ時間を指定する。
		2 未使用	-	-	
		3 外線発信規制指定-100番(準特甲、甲)	規制あり	規制なし	規制なし：P204サービスクラス指定で「準特甲」と「甲」に設定された電話機から100番へ発信を可とする。
		4 外線発信規制指定-110番、119番(PBX内準甲)	規制なし	規制あり	規制なし：P204サービスクラス指定で「PBX内準甲」に指定された電話機からはダイヤルできない番号110番、119番へ発信を可とする。
		5 一般電話機(保留/フッキング)指定	保留	フッキング	一般電話機が外線通話中にフッキングした場合、外線を保留するか、外線にフックフラッシュ信号を送出するかを指定する。
		6 バッテリパワーセーブ指定	全電話機動作する	実装番号1、2番の電話機のみ動作する	バッテリー動作時に動作させる電話機を制限する(エコモード)か否かを指定する。
		7 SLI 1 切断信号送出指定	送出不しい	送出する	SLI1に接続された一般電話機がISDN回線で着信応答通話中に通話相手が終話した場合、一般電話機に切断信号を送出するか否かを指定する。
		8 SLI 2 切断信号送出指定	送出不しい	送出する	SLI2に接続された一般電話機がISDN回線で着信応答通話中に通話相手が終話した場合、一般電話機に切断信号を送出するか否かを指定する。
		9 FAXコールバック着信応答時のFAX解放指定	解放する	解放しない	FAXからのコールバック着信に応答した場合、FAXを解放して着信外線で通話を行うかFAX経由で通話を行うかを指定する。
		0 通話料金表示フォーマット指定	小数点以下は表示しない	小数点第1位まで表示する	通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定する。
P003	システム設定その3	1 個別着信(DIT)の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする	電話機に個別着信(DIT)が入るように設定していて、電話機が待機状態でないときに個別着信が入った場合、着信を拒否するか一斉着信にするかを指定する。
		2 個別着信(DIT)動作指定	一斉着信から個別着信	個別着信から一斉着信	個別着信(DIT)の動作を一斉着信から個別着信とするか、個別着信から一斉着信とするかを指定する。
		3 外部保留音指定 <sup>※2</sup>	未接続	接続	保留音源として外部保留音源を接続しているか否かを指定する。
		4 BGM指定	未接続	接続	BGM音源を接続しているか否かを指定する。
		5 ナンバー・ディスプレイ着信履歴指定	記録する	記録しない	非通知理由情報を含む着信を着信履歴に記録するか否かを指定する。

注2：外線保留音源を接続されていない状態で「接続」に設定すると、保留音が流れなくなります。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考																				
P003	システム設定その3	6 着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の履歴のみ表示する	「着歴」ボタン押下時、システム全体の着信履歴を表示するか、自子機の着信履歴を表示するかを指定する。																			
		7 システム着信履歴表示指定 (メニュー)	すべて表示する	着信応答した履歴を除いて表示	メニュー操作から「システム着信履歴」を選択したときに、システム全体の着信履歴を表示するか、着信応答した履歴を除いて着信履歴を表示するかを指定する。																			
		8 アナログ外線の発信電話番号切替指定	利用する	利用しない	アナログ外線捕捉時の発信電話番号切替機能を利用するか否かを指定する。 アナログキャッチホンを利用する場合は、「利用しない」に設定する。ただし、SLIではキャッチホンは利用できない。																			
		9 未使用	-	-																				
		0 未使用	-	-																				
P004	保留警報タイマ指定	2 (3分)	0~4	外線保留から警告音が出されるまでの時間を指定する。 0:1分 1:2分 2:3分 3:4分 4:無制限 「無制限」設定時は、警告音が鳴らない。																				
P005	オートリピートタイマ指定 (呼出/待ち/回数)	0 (120秒/3秒/15回)	0~3	オートリピート (自動再発信) 時の呼び出し時間、待ち時間、回数を指定する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>呼出時間</th> <th>待ち時間</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>120秒</td> <td>3秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>120秒</td> <td>10秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>120秒</td> <td>30秒</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>120秒</td> <td>60秒</td> <td>100回</td> </tr> </tbody> </table>		呼出時間	待ち時間	回数	0	120秒	3秒	15回	1	120秒	10秒	15回	2	120秒	30秒	15回	3	120秒	60秒	100回
	呼出時間	待ち時間	回数																					
0	120秒	3秒	15回																					
1	120秒	10秒	15回																					
2	120秒	30秒	15回																					
3	120秒	60秒	100回																					
P006 [A]	フックフラッシュ時間指定	6 (800ms)	3~9	電話機のフラッシュキーを押したとき、または一般電話機でフッキングしたときに捕捉中のアナログ外線に送出するフックフラッシュ信号 (外線直流ループの瞬断) の瞬断時間を指定する。 0: (設定不可) 1: (設定不可) 2: (設定不可) 3: 200ms 4: 400ms 5: 600ms 6: 800ms 7: 1.0s 8: 1.5s 9: 2.0s																				
P007	オートリピート発信指定	オートリピートするもの: ワンタッチダイヤル、 確かめダイヤル オートリピートしないもの: プリセットダイヤル、 ワンタッチオートダイヤル	各々オートリピートする/しない	ワンタッチリダイヤル発信、確かめダイヤル発信、プリセット発信、ワンタッチオートダイヤル発信時に、オートリピート動作を許可するか規制するかを指定する。																				
P009	コード0選局指定	1 (局線&ISDN)	0~2	内線捕捉状態でダイヤル「0」を押したときに自動捕捉する外線の種別を指定する。 0:未使用 1:局線&ISDN 2:PBX内線 「未使用」設定時は、自動捕捉しない。																				

注3: 構内交換機 (PBX) の外線発信コードと設定値が異なる場合、P101外線収容および外線種別指定で「PBX内線」に設定された外線からの外線発信の際に、サービスクラスなどの機能が正常に働かなくなります。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考								
P010	発信選局指定	1 (局線 & ISDN)	0~2	<p>発信、メニュー操作からの短縮発信、リダイヤル、オートダイヤルを押したときに自動捕捉する外線の種類を指定する。</p> <p>0:未使用 1:局線&amp;ISDN 2:PBX内線</p> <p>リダイヤルはリダイヤルボタンを作成する必要がある。</p> <p>「未使用」設定時は、自動捕捉しない。</p>								
P011	PBX外線発信コード指定 <sup>※3</sup>	0P (ポーズ)	PBX外線発信コードとポーズを指定	<p>外線としてPBX内線が收容されている場合、外線発信をするために、PBXでの外線発信コードをポーズと共に指定する。ポーズは、PBX外線発信コードをダイヤルした後に自動的に設けられる。</p> <p>ポーズ時間は、P002-1ポーズ時間指定で変更可能。(初期値3.0秒)</p>								
P012	外線通話表示指定	2 (時間、料金)	0~2	<p>デジタル回線の料金情報サービスによる通話料金表示の有無を指定する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0:時間</td> <td>通話時間を表示</td> </tr> <tr> <td>1:料金</td> <td>通話料金を表示</td> </tr> <tr> <td>2:時間、料金</td> <td>通話時間と通話料金を表示</td> </tr> </tbody> </table> <p>・通話料金は発信通話終了後に表示します。</p>	設定	内容	0:時間	通話時間を表示	1:料金	通話料金を表示	2:時間、料金	通話時間と通話料金を表示
設定	内容											
0:時間	通話時間を表示											
1:料金	通話料金を表示											
2:時間、料金	通話時間と通話料金を表示											
P013	課金係数指定	10 (1倍)	01~99	<p>単位通話料金に対する課金の割合を指定する。</p> <p>1は0.1倍で99は9.9倍になる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>プログラム設定</th> <th>通話料金表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10(1倍)</td> <td>10円</td> </tr> <tr> <td>15(1.5倍)</td> <td>15円</td> </tr> </tbody> </table> <p>1度数当たりの通話料を10円とした場合</p>	プログラム設定	通話料金表示	10(1倍)	10円	15(1.5倍)	15円		
プログラム設定	通話料金表示											
10(1倍)	10円											
15(1.5倍)	15円											
P014	1XX特番登録指定	1:184 2:186 3:122 4~10:指定なし	特番を指定 (最大10桁)	<p>発信時にダイヤル判定の対象外となる番号(最大10桁)を指定する。登録は10個までできる。</p>								
P015	1XX特番ポーズ指定	00 (0秒)	00~99	<p>1XX特番ダイヤル送出力後の第2ダイヤルトーンまでのポーズ(待ち)時間を指定する。</p> <p>設定値01は0.5秒待ちを表す。</p>								
P016	特定市外発信番号指定(準特甲の電話機に対してのみ適用する)	指定なし	市外局番を指定 (最大4桁)	<p>P204サービスクラス指定で「準特甲」に設定された電話機から発信を可とする市外局番を20カ所まで指定可能。</p> <p>設定は、市外局番の上1桁目の「0」を除いて最大4桁</p> <p>例 東京03 3 を設定 横浜045 45 を設定</p>								
P017	外線発信規制番号指定(特甲以外の電話機に対して適用する)	指定なし	電話番号を指定 (最大4桁)	<p>P204サービスクラス指定で「特甲」以外に指定された電話機で、発信を規制する電話番号を最大20カ所、最大4桁まで指定可能。</p>								
P018	留守番在宅自動応答時間指定	045 (45秒)	000~180	<p>留守番セットされていないときに主装置が自動応答するまでの時間を指定する。</p> <p>「000」設定時は、自動応答しない。</p> <p>P428留守番自動応答で「自動応答」に設定された外線に適用。</p>								

プログラム番	内容	初期設定	設定変更	備考		
P019	外線転送自動応答時間指定	042 (42秒)	000 ~ 180	外線自動転送の自動着信リモコンを行う場合に、主装置が自動応答するまでの着信時間を指定する。 「000」設定時は、自動応答しない。 P426外線自動転送（発信側）指定で設定された外線に適用。		
P020	NTT強制接続コード指定	0000	0000 ~ 9999	ACR稼動中に強制的にNTTを選択させるためのコードを指定する。		
P021	外線転送システム設定	1	外線転送1 通知音（転送先）指定	鳴動なし	鳴動あり	外線転送1の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピピピピピピピピ」(高い音)を鳴動させる。
		2	外線転送2 通知音（転送先）指定	鳴動なし	鳴動あり	外線転送2の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(中位の音)を鳴動させる。
		3	外線転送3 通知音（転送先）指定	鳴動なし	鳴動あり	外線転送3の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ポー」(低い音)を鳴動させる。
		4	外線転送4 通知音（転送先）指定	鳴動なし	鳴動あり	外線転送4の自動転送時、転送先が応答した時に転送音「ピー」(高い音)を鳴動させる。
		5	未使用	-	-	
		6	未使用	-	-	
		7	未使用	-	-	
		8	未使用	-	-	
		9	未使用	-	-	
		0	未使用	-	-	
P022	外線自動転送の起動時間指定	0 (0秒)	0 ~ 9	何秒後に転送先へ発信するかを指定する。 0 : 0秒 1 : 3秒 2 : 6秒 3 : 9秒 4 : 12秒 5 : 15秒 6 : 18秒 7 : 21秒 8 : 24秒 9 : 27秒		
P023	外線転送転送先不応答切断 タイマ指定	2 (60秒)	0 ~ 5	外線転送の1次応答で、転送先が応答しない場合、外線切断するまでの時間を指定する。 0 : 20秒 1 : 40秒 2 : 60秒 3 : 80秒 4 : 100秒 5 : 120秒		
P024	外線転送終話時コールバック 時間指定	外線手動転送 : 2 (2秒) 外線自動転送 : 0(コールバックしない)	0 ~ 6	外線転送（手動/自動）の終話時に発信元が終話し、転送先が待機状態の時、発信外線が着信状態になるまでの時間を転送種別（手動/自動）ごとに指定する。 0 : コールバックしない 1 : 1秒 2 : 2秒 3 : 3秒 4 : 4秒 5 : 5秒 6 : 6秒		
P025	外線転送最大通話時間指定	2 (2時間)	0 ~ 3	外線手動/自動転送をしたときの最大通話時間を指定する。 0 : 30分 1 : 1時間 2 : 2時間 3 : 3時間 設定時間になると「ピー」音を出し、30秒後に自動的に終話する。		
P026	外線自動転送中の着信音鳴動指定	2 (鳴動する)	0 ~ 2	ダイレクト自動転送（一次応答なし）の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合、着信音を鳴動させるか否かを指定する。 0 : すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1 : 自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2 : 鳴動する		

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考		
P027	R E C シ ス テ ム 設 定	1	用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし	留守応答モードセット時に再生済みの用件を自動的に消去するか否かを指定する。
		2	通話メモ再生指定	REC1~4ごとに共通	電話機個別	通話メモの再生をREC1~4ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。
		3	未使用	-	-	
		4	未使用	-	-	
		5	未使用	-	-	
		6	未使用	-	-	
		7	未使用	-	-	
		8	未使用	-	-	
		9	未使用	-	-	
		0	未使用	-	-	
P028	REC1~4用途指定	REC1 : 1 (留守) REC2 : - (使用不可) REC3、4 : 0 (未使用)	0~7	REC1~4ごとに使用する機能を指定する。 0 : 未使用 1 : 留守 / お待たせ / 一次応答 2 : 留守拡張 (REC3のみ) 3 : 非通知拒否 4 : 迷惑電話拒否 5 : 通話メモ 6 : 通話メモ拡張 (REC3のみ) 7 : 非通知拒否 / 迷惑電話拒否 REC2は使用できません。 REC3のみ拡張モードが指定できます。 (録音時間が倍に増えます。) REC3を拡張モードに指定した場合、自動的にREC4は“-”(使用不可)になります。		
P029	留守番機能指定	0 (応答録音のみ可)	0~2	REC1~4ごとに留守番機能のうち応答録音と応答専用の使用可否を指定する。 0 : 応答録音のみ可 1 : 応答専用のみ可 2 : 両方可		
P030	RECお待たせコールバック時間指定	3 (3分)	0~4	RECお待たせメッセージ送出完了後の外線に応答しない場合、その外線を着信状態にするまでの時間を指定する。 0 : コールバックしない 1 : 1分 2 : 2分 3 : 3分 4 : 4分		
P031	D R ・ P G シ ス テ ム 設 定	1	外部スピーカ1へのBGM送出指定	送出しない	送出する	外部スピーカ1からBGMを送出するか否かを指定する。
		2	外部スピーカ2へのBGM送出指定	送出しない	送出する	外部スピーカ2からBGMを送出するか否かを指定する。
		3	予告音鳴動中の音声同時送出指定	送出しない	送出する	外部スピーカ呼出時の予告音鳴動中に音声も同時に送出するか否かを指定する。
		4	未使用	-	-	
		5	未使用	-	-	
		6	未使用	-	-	
		7	未使用	-	-	
		8	未使用	-	-	
		9	未使用	-	-	
		0	未使用	-	-	

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P032	ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定	ドアホン1: 1 ドアホン2: 2 ドアホン3: 3 外部スピーカ1: 4 外部スピーカ2: 4	0 ~ 4	ドアホンごとにドアホン着信時に鳴動させる着信音を指定する。また、外部スピーカ呼出を行ったときに、外部スピーカから送出する予告音の種別を外部スピーカごとに指定する。 0: 送出しない 1: ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン 2: ピンポーン・パンポーン 3: ピンポン・ピンポン・・・・・・・・ 4: ピン・ポン・パン・ポーン ドアホンに「0: 送出しない」は、指定できない
P033	ドアホン通話ゲイン指定 (送話 / 受話)	送話: 4 受話: 4 (0dB)	0 ~ 8	ドアホンごとにドアホン通話における送話および受話の音量 (ゲイン) を指定する。 0: - 12dB 1: - 9dB 2: - 6dB 3: - 3dB 4: 0dB 5: + 3dB 6: + 6dB 7: + 9dB 8: + 12dB
P034	ドアホン着信音周期指定	繰り返し	1回 (約4秒)	ドアホンごとにドアホン着信時に鳴動する着信音の周期を1回 (約4秒) とするか、繰り返し鳴動させるかを指定する。 「繰り返し」を指定した場合は、ドアホン着信が停止するまで繰り返し鳴動する。 WS240電話機の着信音周期は、1回のみで設定変更できません。
P035	リレー制御指定 (リレー1、2) <sup>注4</sup>	0	0 ~ 9	各リレーにどの外部機器 (電気錠、外部スピーカ、外部保留音源 (BGM)、Webカメラ) を接続しているかを指定する。 0: 未使用 1: 電気錠1 (ドアホン1) 2: 電気錠2 (ドアホン2) 3: 電気錠3 (ドアホン3) 4: 外部スピーカ1 5: 外部スピーカ2 6: 外部保留音源 & BGM 7: Webカメラ (セーフティAに連動) 8: Webカメラ (セーフティBに連動) 9: Webカメラ (セーフティA・Bの両方に連動)

**注4:** 電気錠を接続し、ドアホン1と通話中にドアロック開錠を行う場合は「電気錠1」に、ドアホン2と通話中にドアロック開錠を行う場合は「電気錠2」に、ドアホン3と通話中にドアロック開錠を行う場合は「電気錠3」に設定してください。Webカメラを接続する場合は、「Webカメラ (セーフティAに連動)」「Webカメラ (セーフティBに連動)」または「WebカメラA・Bの両方に連動)」に設定してください。P072-3でリレー出力タイミングを指定できます。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考	
P036	外部スピーカゲイン指定 (外線着信音量、音声音量、BGM音量、威嚇音量)	外線着信音量 / 音声音量 / BGM音量 / 威嚇音量 4 (0dB)	0 ~ 8	外部スピーカから送出する外線着信音の音量、音声の音量、BGMの音量、および威嚇音量 (ゲイン) を指定する。 0 : -12dB 1 : -9dB 2 : -6dB 3 : -3dB 4 : 0dB 5 : +3dB 6 : +6dB 7 : +9dB 8 : +12dB	
P037 [D]	ISDNシステム設定	1 無効サブアドレス指定	着信拒否する	一斉着信にする	着サブアドレスが無効番号の時、「着信拒否する」か「一斉着信にする」かを指定する。
		2 発サブアドレス通知指定	通知しない	通知する	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発サブアドレス情報要素を含めるか否かを指定する。
		3 経過表示指定	表示しない	表示する	ISDN回線からアナログ網へ発信またはアナログ網を経由した発信を行った場合、LCD表示を行うか否かを指定する。
		4 理由表示指定	表示しない	表示する	発信先ビジーや回線異常等により電話がかかけられない場合、その理由を表示させるか否かを指定する。
		5 未使用	-		
		6 未使用	-		
		7 未使用	-		
		8 未使用	-		
		9 未使用	-		
		0 未使用	-		
P038 [D]	ISDN契約者回線番号指定	指定なし	ISDN1~2の契約者回線番号を指定する	ISDN回線ごとに契約者回線番号を登録する。 最大13桁で契約者回線番号を登録する。	
P039	ダイヤルイン番号指定	指定なし	ダイヤルイン01~32の番号を指定	ダイヤルイン番号ごとにダイヤルインの追加番号を登録する。 最大13桁でダイヤルイン番号を登録する。	
P040	ダイヤルイン着信音周期指定	01 (着信音A)	01~12	ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。 01 : 着信音A      02 : 着信音B 03 : 着信音C      04 : 着信音D 05 : 着信音E      06 : 着信音F 07 : 着信音G      08 : 着信音H 09 : 保留メロディ   10 : 着信メロディ1 11 : 着信メロディ2   12 : 着信メロディ3 アナログ回線への着信またはグローバル着信はP421参照。	

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P041	ダイヤルイン着信音種別指定	0 (低)	0~2	ダイヤルイン番号ごとに鳴動する着信音の音程を指定する。 0:低 1:中 2:高 P040で01~04(着信音A~D)を設定した場合に限ります。 アナログ回線への着信またはグローバル着信は、P422参照
P042	グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定	転送可	転送不可	グローバル着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをISDN回線ごとに指定する。
P043	ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定	転送可	転送不可	ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P044 [D]	グローバル着信ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	グローバル着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かをISDN回線ごとに指定する。
P045	ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	ダイヤルイン着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P046 [D]	グローバル着信擬似コールウェイト指定	指定しない	指定する	グローバル着信時に擬似コールウェイト機能を使用するか否かを指定する。
P047	ダイヤルイン着信擬似コールウェイト指定	指定しない	指定する	ダイヤルイン着信時に擬似コールウェイト機能を使用するか否かを指定する。
P048 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(昼)	指定なし	内線番号 10~89	ISDN回線ごとに昼間モードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899
P049 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(夜間A)	指定なし	内線番号 10~89	ISDN回線ごとに夜間Aモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899
P050 [D]	グローバル個別着信(DIT)指定(夜間B)	指定なし	内線番号 10~89	ISDN回線ごとに夜間Bモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899
P051 [D]	グローバル個別着信(DIT)の遅延応答時間指定	0 (0秒)	0~7	ISDN回線ごとにグローバル個別着信(DIT)指定のある外線に着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0:0秒 1:5秒 2:10秒 3:20秒 4:30秒 5:40秒 6:50秒 7:60秒
P052	ダイヤルイン個別着信(DIT)指定(昼)	指定なし	内線番号 10~89	ダイヤルイン番号ごとに昼間モードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899。
P053	ダイヤルイン個別着信(DIT)指定(夜間A)	指定なし	内線番号 10~89	ダイヤルイン番号ごとに夜間Aモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P054	ダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)	指定なし	内線番号 10~89	ダイヤルイン番号ごとに夜間Bモードの時、直接呼び出せる電話機の内線番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100~899。
P055	ダイヤルイン個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定	0 (0秒)	0~7	ダイヤルイン番号ごとにダイヤルイン個別着信 (DIT) 指定のある外線に着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0:0秒 1:5秒 2:10秒 3:20秒 4:30秒 5:40秒 6:50秒 7:60秒
P056	識別グループ着信時の動作指定	留守番応答 : 指定する 外線自動転送 : 指定する	各々指定 しない	識別グループ着信時に留守番応答および外線自動転送を行なう識別グループを指定する。 留守番リモコンの自動応答には適用しない。
P057	外線個別信号呼出音種別指定	0 (着信音1)	0~3	外線個別信号呼出時の着信音の種類を指定する。 0:着信音1 2:着信音3 1:着信音2 3:単音
P058	グループ呼出時の外部スピーカ呼出指定	呼び出さない	呼び出す	グループ呼出時に外部スピーカごとに呼び出すか否かを指定する。
P059	VoIP外線自動選局禁止番号指定	1~31: 指定あり 32~80: 指定なし	電話番号を 指定	VoIP外線自動選局発信時、VoIP外線を自動選局しない番号をシステムで80個、最大12桁まで指定できる。ただし、1XY特番、#ABCD番号はVoIP外線を自動選局しないため登録する必要はありません。
P060	VoIP外線アクセス表示指定	IP電話サービス アクセス	表示する 内容を指定	VoIP外線を自動選局捕捉したときに電話機に表示する内容を最大全角16桁で指定する。
P061	外線番号桁数指定	2 (2桁)	2~3	外線番号の桁数を2桁もしくは3桁から指定する。桁数変更時、外線番号で指定されている設定および電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。 2:2桁 (10~89) 3:3桁 (100~899)
P062	PB信号送出パターン指定 (送出 / ポーズ)	1 (100ms/80ms)	0~4	外線の種別をPBと指定した場合、またはDP外線でPB信号切替時、PB信号の送出時間と次の信号を送出するまでの時間を指定する。 0:80ms/60ms 3:600ms/100ms 1:100ms/80ms 4:900ms/200ms 2:400ms/100ms
P063	話中 / 不応答転送タイマ指定	0 (10秒)	0~9	話中 / 不応答転送を設定している場合、個別着信時 (内線着信、外線個別(DIT)着信、サブアドレス着信)、不応答のときに転送先へ転送する時間を指定する。 0:10秒 1:15秒 2:20秒 3:25秒 4:30秒 5:35秒 6:40秒 7:45秒 8:50秒 9:55秒
P064	IP電話自動交換グループ指定	0 (指定なし)	0~9	IP電話自動交換機能のシステム電話番号を登録する電話帳グループを指定する。
P065	外部スピーカドアホン着信鳴動テナント指定	1 (テナント1の夜間モードに従う)	1~4	外部スピーカからドアホン着信音を鳴動させる場合、どのテナントのモード (昼 / 夜間A / 夜間B) に従うかを指定する。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P072	1 威嚇警報音の音量指定	大	小	威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定する。
	2 通報終話時の威嚇継続指定	威嚇を継続する	威嚇を終了する	通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰（継続）するか否かを指定する。
	3 リレー出力タイミング指定	センサ検知時	威嚇開始時	Webカメラに設定されたコントロール端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定する。
	4 外部スピーカ威嚇音鳴動指定	鳴動あり	鳴動なし	外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。 外部スピーカ1、2両方から鳴動する。 セーフティA、B共通。
	5 未使用	—	—	
	6 未使用	—	—	
	7 未使用	—	—	
	8 未使用	—	—	
	9 未使用	—	—	
	0 未使用	—	—	
P073	モードセット遅延時間指定	060 (60秒)	001 ~ 600	セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定する。
P074	威嚇遅延時間指定	060 (60秒)	001 ~ 600	セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定する。
P075	威嚇警報音鳴動時間指定	20 (20分)	01 ~ 60	威嚇警報音の鳴動時間を指定する。
P076	ドアホン3ポート接続指定	0 (ドアホン)	0 ~ 3	ドアホン3ポートにドアホン、外部センサのうち、どれを接続するのかを指定する。 0 : ドアホン 1 : 外部センサ（ブレーク） 2 : 外部センサ（メーク） 3 : 外部センサ (ワンショット：メーク)
P077	外部センサ対応グループ指定	1 (グループA)	1 ~ 2	外部センサ反応時に威嚇&通知および通報を行うセーフティグループを指定する。 1 : グループA 2 : グループB
P078	通報発信外線強制切断指定	強制切断しない	強制切断する	セーフティグループごとに通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中的のときに、その通話を強制的に切断するか否かを指定する。
P079	センサ入力信号ON確定時間指定	04 (50.0ms)	01 ~ 16	センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要なON時間の長さを設定する。設定時間よりも短い検出信号は無視される。 01 : 12.5ms      09 : 112.5ms 02 : 25.0ms      10 : 125.0ms 03 : 37.5ms      11 : 137.5ms 04 : 50.0ms      12 : 150.0ms 05 : 62.5ms      13 : 162.5ms 06 : 75.0ms      14 : 175.0ms 07 : 87.5ms      15 : 187.5ms 08 : 100.0ms     16 : 200.0ms

プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P080	センサ入力信号OFF確定時間指定	02 (25.0ms)	01 ~ 16	センサからの入力信号がONからOFFに変化してから、OFFと認めるまでの時間を設定する。 01 : 12.5ms            09 : 112.5ms 02 : 25.0ms           10 : 125.0ms 03 : 37.5ms           11 : 137.5ms 04 : 50.0ms           12 : 150.0ms 05 : 62.5ms           13 : 162.5ms 06 : 75.0ms           14 : 175.0ms 07 : 87.5ms           15 : 187.5ms 08 : 100.0ms          16 : 200.0ms
P081	センサON連続検出回数指定	1 (1回)	1 ~ 8	システムが検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のカウント数を指定する。
P082	センサOFF確定時間指定	14 (2000.0ms)	01 ~ 32	センサからの入力信号がONからOFFに変化してからセンサ入力が無くなったと認めるまでの時間を設定する。 01 : 50.0ms            17 : 2600.0ms 02 : 75.0ms            18 : 2800.0ms 03 : 100.0ms           19 : 3000.0ms 04 : 150.0ms           20 : 3200.0ms 05 : 200.0ms           21 : 3400.0ms 06 : 400.0ms           22 : 3600.0ms 07 : 600.0ms           23 : 3800.0ms 08 : 800.0ms           24 : 4000.0ms 09 : 1000.0ms          25 : 4200.0ms 10 : 1200.0ms          26 : 4400.0ms 11 : 1400.0ms          27 : 4600.0ms 12 : 1600.0ms          28 : 4800.0ms 13 : 1800.0ms          29 : 5000.0ms 14 : 2000.0ms          30 : 5500.0ms 15 : 2200.0ms          31 : 6000.0ms 16 : 2400.0ms          32 : 6500.0ms

## 収容外線対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P101	外線収容および外線種別指定	1 (局線&ISDN)	0~3	収容外線ごとに種別を指定する。 0: 未収容 1: 局線&ISDN 2: PBX内線 3: VoIP(外付け) 未収容外線は、必ず「未収容」に設定してください。自動選局発信機能などの外線自動捕捉時に、未収容外線も捕捉してしまいます。
P102 [A]	アナログ外線ダイヤル種別指定	1 (20PPS)	0~2	収容外線(アナログ回線)ごとにダイヤル種別を指定する。 0: DP(10PPS) 1: DP(20PPS) 2: PB
P103	NCC回線指定	収容外線1~4: NCC回線 収容外線5~20: NTT回線	NTT回線	収容外線ごとにNTT回線/NCC回線の種別を指定する。
P104 [A]	FAXコールバック外線指定	0 (指定なし)	アナログ収容外線を指定する	SLIに接続したFAXが自動応答後、CNG検出できなかった場合にFAXからのコールバック着信を受ける収容外線(アナログ回線)を指定する。
P105 [A]	アナログ外線NTT付加サービス指定	利用しない	利用する	収容外線(アナログ回線)ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。
P106 [A]	アナログ外線ダイレクトリモコン指定	指定しない	指定する	収容外線(アナログ回線)ごとに発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行なうか否かを指定する。
P107	外線通話ゲイン指定	送話: 4 受話: 4 (0dB)	0~8	収容外線ごとに外線通話における送話および受話の音量(ゲイン)を指定する。 0: -12dB 1: -9dB 2: -6dB 3: -3dB 4: 0dB 5: +3dB 6: +6dB 7: +9dB 8: +12dB
P108 [A]	アナログ外線発信電話番号の通知状態指定	通常通知	通常非通知	収容外線(アナログ回線)ごとに発信電話番号の通知状態(通常通知/通常非通知)を指定する。

## 電話機対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P201	内線番号指定	2桁の場合 実装番号01～10が内線番号 10～19に対応 3桁の場合 実装番号01～10が内線番号 100～109に対応	2桁のとき 10～89 3桁のとき 100～899 の範囲で任意に指定	実装番号ごとに、内線番号を変更できる。 SLI1、SLI2を含む。
P202	内線代表番号指定	指定なし	2桁のとき 10～89 3桁のとき 100～899 の範囲で任意に指定	実装番号ごとに、内線代表呼び出しされたときに話中の場合、次に呼び出す電話機の内線番号を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P203	電話機グループ呼出指定	1 (グループA)	0～4	電話機グループごとに呼出時のグループに所属する電話機を実装番号ごとに指定する。 0：無所属 1：グループA 2：グループB 3：グループC 4：グループD SLI1、SLI2を含む。
P204	サービスクラス指定 <sup>※5</sup>	0 (特甲)	0～4	電話機ごとにサービスクラスを指定する。 0：特甲 1：準特甲 2：甲 3：準甲 4：PBX内準甲
P205	話中着信指定	鳴動あり	鳴動なし	鳴動あり：P302～304およびP306～P308で「鳴動あり」と指定された電話機で、通話中にその外線からの着信に対し、話中着信音を鳴らす。 プログラムP215～217ドアホン着信音指定で「鳴動あり」に設定された電話機で内線・外線通話中のドアホンからの呼出にも適用。
P206	外線通話割込指定	割り込み不可	割り込み可	割込可：外線通話中の他の電話機への割り込みを可とする。 割り込みできるのは、外線1本に対して電話機1台のみ。
P207	通話警告音鳴動指定	鳴動なし	鳴動あり	外線発信通話中に3分通話警告音の有無を指定する。
P208	ハンズフリー通話制御指定 <sup>※6</sup>	指定なし	指定あり	指定する：ハンズフリー通話が可能。
P209	ヘッドセット接続指定	接続なし	接続あり	ヘッドセットを電話機に接続しているか否かを指定する。

注5： サービスクラスと外線発信規制は次の表の通りです。

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	全ての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
PBX内準甲	全ての外線が発信不可能(PBX内線および内線のみ可)
準甲	全ての外線が発信不可能(内線のみ可)

1： P016特定市外発信番号指定（準特甲）で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

注6： ハンズフリー通話制御を指定すると、内線通話中や外線通話中もハンズフリー通話ができます。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考																
P210	留守番電話機指定 (REC1~4)	REC1 : 1 (実装番号01) REC3~4 : 0 (指定なし)	0~8	留守番電話として動作させる電話機を指定する。 0は指定なし。 REC2は変更できない																
P211	オフフック発信指定	指定なし	指定あり	プリセットダイヤルのダイヤル入力後、およびダイヤル確認表示中にオフフックした場合、ダイヤル発信を行うか否かを指定する。																
P212	発信優先モード指定	実装番号 01~08 : 内線優先モード 実装番号09、10 (SLI) : 外線優先モード	外線優先モード	電話機ごとに発信優先モードを指定する。 SLI1、SLI2を含む。																
P213	一般電話機の種別指定	PB	DP	SLI1、SLI2に接続する一般電話機などのダイヤル種別を指定する。																
P214	ドアホン着信自動応答指定	有	無	ドアホンから着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できるかどうかをドアホンごとに指定する。																
P215	ドアホン着信音指定 (昼)	鳴動あり	鳴動なし	SLI1、SLI2も含む																
P216	ドアホン着信音指定 (夜間A)	鳴動あり	鳴動なし	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電話機種別</th> <th>ドアホン1</th> <th>ドアホン2</th> <th>ドアホン3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>有線電話機</td> <td>ピンポン3回</td> <td>ピンポン・パンポン</td> <td>(遠い)ピンポン</td> </tr> <tr> <td>WS240子機</td> <td>ビーポー</td> <td>ビーポー2回</td> <td>ビーポー2回</td> </tr> <tr> <td>DC子機</td> <td>ピンピン</td> <td>ピンピン2回</td> <td>ピンピン2回</td> </tr> </tbody> </table>	電話機種別	ドアホン1	ドアホン2	ドアホン3	有線電話機	ピンポン3回	ピンポン・パンポン	(遠い)ピンポン	WS240子機	ビーポー	ビーポー2回	ビーポー2回	DC子機	ピンピン	ピンピン2回	ピンピン2回
電話機種別	ドアホン1	ドアホン2	ドアホン3																	
有線電話機	ピンポン3回	ピンポン・パンポン	(遠い)ピンポン																	
WS240子機	ビーポー	ビーポー2回	ビーポー2回																	
DC子機	ピンピン	ピンピン2回	ピンピン2回																	
P217	ドアホン着信音指定 (夜間B)	鳴動あり	鳴動なし	SLI1、SLI2は、ドアホン1~3とも同じ呼び出し音。																
P218 [D]	発信者番号選択指定	00 (捕捉した外線の電話番号を通知する)	00~34	ISDN回線で発信する場合、呼設定メッセージに発アドレス情報要素を含める番号を捕捉した外線の電話番号とするか特定の番号とするかを指定する。 00 : 外線捕捉時に表示される内容 (P419) で発信者番号通知 01~02 : P038で指定したISDN1~2の内容で発信者番号通知。 03~34 : P039で指定したダイヤルイン 01~32の内容で発信者番号通知。 発信する収容回線と関係ない番号を指定した場合は、契約回線または、代表回線の電話番号が通知される。 SLI1、SLI2、ユーザー登録を含む。																
P219	発信者番号表示指定	表示する (名前と番号)	表示しない	外線着信時、発信者番号、ナンバー・ディスプレイ・ネームディスプレイを表示するか否かを指定する。																
P220	着信順次分配グループ内線番号指定	指定なし	グループ番号 1~4 内線番号 10~89	登録テーブル番号 (01~16) ごとに分配グループ (1~4) と内線番号 (10~89または100~899) を指定する。 内線番号の重複登録はできません。																

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P221	着信順次分配グループ代表番号指定	指定なし	内線番号 10～89	着信順次分配グループ(1～4)ごとに代表番号を指定する。 内線3桁モードの場合、内線100～899
P222	通話メモ使用REC指定	0 (指定なし)	0,1,3,4	電話機ごとに通話メモ機能を使用するREC番号(REC1～4)を指定する。 0:指定なし 1:REC1 3:REC3 4:REC4
P223	ドアホン着信指定	指定する	指定しない	ドアホンごとにドアホン着信表示する電話機を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P224	着信履歴指定	残す	残さない	電話機ごとに、外線着信応答した着信履歴を残すか残さないかを指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P225	内線ホットライン指定	指定なし	2桁のとき 10～89 3桁のとき 100～899 の範囲で 任意に指定	受話器を上げたときに呼び出す電話機を内線番号で指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P226	セーフティグループ指定	0 (指定なし)	0～2	電話機ごとにセーフティグループを設定する。 0:指定なし 1:グループA 2:グループB
P228	音声威嚇電話機指定	グループA:0 (指定なし) (最大3台) グループB:0 (指定なし) (最大3台)	0～8	通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする電話機を指定する。 0は指定なし。 セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を設定する。 音声威嚇に指定できる電話機は、TD・PF・LD・CL・SS電話機です。 P226で同じグループに属する電話機のみ指定可。
P229	センサ動作指定	許可する	許可しない	電話機(SS510/SS520電話機)ごとにセンサ検出を許可するか否かを指定する。

## メニュープログラミング対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P301 [D]	通常着信指定	指定する	指定しない	デジタル外線に通常着信（グローバル着信含む）時の着信外線を電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P302	着信音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし	昼間モードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P303	着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動あり （実装番号01、02のみ）	鳴動なし	夜間Aモードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P304	着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動あり （実装番号01、02のみ）	鳴動なし	夜間Bモードのときに外線からの着信に対し、着信音の鳴る外線を電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P305	ダイヤルイン着信指定	指定する	指定しない	ダイヤルインの着信に対し、着信できる電話機を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）	鳴動あり	鳴動なし	昼間モードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動あり （実装番号01、02のみ）	鳴動なし	夜間Aモードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動あり （実装番号01、02のみ）	鳴動なし	夜間Bモードのときにダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。 SLI1、SLI2を含む。
P309	発信規制指定（昼）	発信可	発信不可	昼間モードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2、ユーザー登録を含む。
P310	発信規制指定（夜間A）	発信可	発信不可	夜間Aモードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2、ユーザー登録を含む。
P311	発信規制指定（夜間B）	発信可	発信不可	夜間Bモードのとき、各外線ごとに外線発信「可」とするか「不可」とするかを、電話機ごとに指定する。 SLI1、SLI2、ユーザー登録を含む。
P312	コールバック着信鳴動指定	鳴動あり （実装番号01～08のみ）	鳴動なし	外線転送コールバックならびにREC手動応答コールバック時に着信鳴動する電話機を外線ごとに指定する。 SLI1、SLI2を含む

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P313	自動選局指定（発信） <sup>注7</sup>	自動選局する	自動選局しない	自動選局する：外線発信時、 <b>発信</b> 、メニュー操作からの短縮発信、 <b>リダイヤル</b> 、 <b>オートダイヤル</b> 、ダイヤルアクセス <b>0</b> を押すことにより、自動的に空き外線を捕捉する。 <b>リダイヤル</b> はリダイヤルボタンを作成する必要がある。 SLI1、SLI2を含む。
P314	自動選局指定（応答）	応答可	応答不可	応答可：外線からの着信に対し受話器を上げるだけで、着信応答が可。（初期設定で応答プリセットが設定されている） 一般電話機は、本設定に関係なく着信音が鳴っている電話機で受話器を上げると着信応答できる。
P315	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P316	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動なし	鳴動あり	夜間Aモードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P317	外部スピーカ1 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動なし	鳴動あり	夜間Bモードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P318	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P319	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）	鳴動なし	鳴動あり	夜間Aモードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P320	外部スピーカ2 ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）	鳴動なし	鳴動あり	夜間Bモードのときにダイヤルイン番号に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。
P321	ドアホン着信メロディ指定	0 (指定なし)	0~4	ドアホン着信時、電話機から鳴動させるメロディを指定する。 (0を設定したときは、P032の内容に従う)

- 注7 ・ **発信**、メニュー操作からの短縮発信、**リダイヤル**、**オートダイヤル**、ダイヤルアクセス**0**を押したときに、自動捕捉する外線は、P010発信選局指定およびP001-9外線自動選局順位指定で設定した空き外線(老番または若番)を捕捉します。
- ・ WS240子機の「クイック通話」による捕捉外線および一般電話機などが、外線発信時に自動捕捉する外線に対しても適用します。
  - ・ 内線捕捉状態でダイヤル**0**を押したときに自動捕捉する外線は、P009コード0選局指定およびP001-9外線自動選局順位指定で設定した外線を捕捉します。（一般電話機を含む）
  - ・ 未収容外線は、P101外線収容および外線種別指定で「未収容」に設定してください。  
設定しない場合は、上記による外線自動捕捉時に未収容外線も捕捉します。
  - ・ プログラム設定P309~P311発信規制指定で「発信不可」に設定した外線は、本プログラム設定に関係なく、上記による外線自動捕捉時に、捕捉しません。

プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P322	外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定 ( 昼 )	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。
P323	外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定 ( 夜間 A )	鳴動なし	鳴動あり	夜間 A モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。
P324	外部スピーカ 1 ドアホン着信音指定 ( 夜間 B )	鳴動なし	鳴動あり	夜間 B モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 1 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。
P325	外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定 ( 昼 )	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。
P326	外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定 ( 夜間 A )	鳴動なし	鳴動あり	夜間 A モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。
P327	外部スピーカ 2 ドアホン着信音指定 ( 夜間 B )	鳴動なし	鳴動あり	夜間 B モードのときにドアホン着信があった場合、外部スピーカ 2 から着信音を送出するか否かをドアホンごとに指定する。

## テナント対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P401	電話機の所属テナント指定	1 (全電話機 テナント1)	1~4	各電話機がどのテナントに所属するかを指定する。 1:テナント1 2:テナント2 3:テナント3 4:テナント4 SLI1、SLI2、ユーザー登録を含む
P402	テナント外線ボタン割付指定	1 (外線)	0~3	各テナントごとに、外線ボタンに割り付ける機能を指定する。 0:オートダイヤル 1:外線 2:VoIP(内蔵/外付けアダプタ) 3:PBX内線 初期: テナント1 01~04:外線 05~20:オートダイヤル テナント2~4 01~20:オートダイヤル
P403	テナント1外線発信時の 収容外線指定	許可する	許可しない	テナント1の外線ボタンごとに、その外線からの発信を許可する収容外線を指定する。 数字 : 許可しない - : 許可する 初期: 外線番号01 : 収容外線1のみ許可 外線番号02 : 収容外線2のみ許可 外線番号03 : 収容外線3のみ許可 外線番号04 : 収容外線4のみ許可 外線番号05~20:全収容外線許可しない 1つの外線ボタンに複数の収容外線を設定することができる。 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容外線1~4のみ設定できる。 P402でVoIPに設定されているボタンには収容外線1~4(VoIP外付けアダプタ) 収容外線5~20(内蔵VoIP)が設定できる。
P404	テナント2外線発信時の 収容外線指定	許可しない	許可する	テナント2の外線ボタンごとに、その外線から発信するときに、発信を許可する収容外線を指定する。 数字 : 許可しない - : 許可する 初期: 外線番号01~20 : 許可しない 1つの外線ボタンに複数の収容外線を設定することができる。 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容外線1~4のみ設定できる。 P402でVoIPに設定されているボタンには収容外線1~4(VoIP外付けアダプタ) 収容外線5~20(内蔵VoIP)が設定できる。

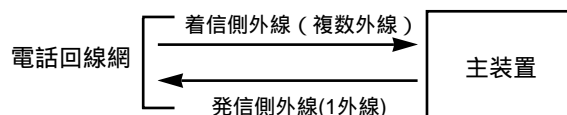
プログラム 番 号	内 容	初期設定	設定変更	備 考
P405	テナント3外線発信時の 収容外線指定	許可しない	許可する	テナント3の外線ボタンごとに、その外線から発信するときに、発信を許可する収容外線を指定する。 数字 : 許可しない - : 許可する 初期 : 外線番号01～20 : 許可しない 1つの外線ボタンに複数の収容外線を設定することができる。 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容外線1～4のみ設定できる。 P402でVoIPに設定されているボタンには収容外線1～4 (VoIP外付けアダプタ)、収容外線5～20 (内蔵VoIP) が設定できる。
P406	テナント4外線発信時の 収容外線指定	許可しない	許可する	テナント4の外線ボタンごとに、その外線から発信するときに、発信を許可する収容外線を指定する。 数字 : 許可しない - : 許可する 初期 : 外線番号01～20 : 許可しない 1つの外線ボタンに複数の収容外線を設定することができる。 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容外線1～4のみ設定できる。 P402でVoIPに設定されているボタンには収容外線1～4 (VoIP外付けアダプタ)、収容外線5～20 (内蔵VoIP) が設定できる。
P407 [A]	テナント1アナログ着信 着信外線指定	指定する	指定しない	収容外線 (アナログ回線) ごとに、その外線に着信したときのテナント1での着信外線番号を指定する。 数字 : 指定しない (着信しない) - : 指定する (着信する) 初期 : 収容外線1 : 外線番号01のみ指定する 収容外線2 : 外線番号02のみ指定する 収容外線3 : 外線番号03のみ指定する 収容外線4 : 外線番号04のみ指定する
P408 [A]	テナント2アナログ着信 着信外線指定	指定しない	指定する	収容外線 (アナログ回線) ごとに、その外線に着信したときのテナント2での着信外線番号を指定する。 数字 : 指定しない (着信しない) - : 指定する (着信する) 初期 : 収容外線1～4 : 全外線番号指定しない

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P409 [A]	テナント3アナログ着信着信外線指定	指定しない	指定する	収容外線（アナログ回線）ごとに、その外線に着信したときのテナント3での着信外線番号を指定する。 数字：指定しない（着信しない） -：指定する（着信する） 初期： 収容外線1～4：全外線番号指定しない
P410 [A]	テナント4アナログ着信着信外線指定	指定しない	指定する	収容外線（アナログ回線）ごとに、その外線に着信したときのテナント4での着信外線番号を指定する。 数字：指定しない（着信しない） -：指定する（着信する） 初期： 収容外線1～4：全外線番号指定しない
P411 [D]	テナント1グローバル着信着信外線指定	指定する	指定しない	指定する：ISDN回線に対するグローバル着信の着信する外線番号を指定する。 初期： グローバル1：外線番号01、02のみ指定する。 グローバル2：外線番号03、04のみ指定する。
P412 [D]	テナント2グローバル着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ISDN回線に対するグローバル着信の着信する外線番号を指定する。
P413 [D]	テナント3グローバル着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ISDN回線に対するグローバル着信の着信する外線番号を指定する。
P414 [D]	テナント4グローバル着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ISDN回線に対するグローバル着信の着信する外線番号を指定する。
P415	テナント1ダイヤルイン着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ダイヤルイン番号に対して着信する外線番号を指定する。
P416	テナント2ダイヤルイン着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ダイヤルイン番号に対して着信する外線番号を指定する。
P417	テナント3ダイヤルイン着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ダイヤルイン番号に対して着信する外線番号を指定する。
P418	テナント4ダイヤルイン着信着信外線指定	指定しない	指定する	指定する：ダイヤルイン番号に対して着信する外線番号を指定する。
P419	外線捕捉時 / 発信者番号指定	指定なし	電話番号を登録 (最大13桁)	電話番号を指定：各テナントごとに外線発信、捕捉した外線の電話番号を表示する。 ISDN回線で発信したときの発信者番号としても使用する。
P420 [D]	発信者番号通知指定	通知する	通知しない	外線ごとに外線発信時に発信者番号を通知するか否かを指定する。 外線捕捉後のボタン操作により切り替えることもできる。



プログラム番	内容	初期設定	設定変更	備考
P422	着信音種別指定	0 (低)	0~2	アナログ回線への着信またはグローバル着信の外線着信音の音程を指定する。 0：低 1：中 2：高 ダイヤルインについてはP041ダイヤルイン着信音種別指定を参照。 デジタルコードレス電話機は除く。 P421で、01~04(着信音A~D)を設定した場合に限り適用する。
P423	非通知着信音周期指定	00 (指定なし)	00~12	外線番号ごとに非通知着信音の鳴動パターンを指定する。 00：指定なし(アナログ回線への着信またはグローバル着信の場合P421に従う、ダイヤルイン着信の場合P040に従う) 01：着信音A 02：着信音B 03：着信音C 04：着信音D 05：着信音E 06：着信音F 07：着信音G 08：着信音H 09：保留メロディ 10：着信メロディ1 11：着信メロディ2 12：着信メロディ3
P424	非通知着信音種別指定	0 (低)	0~2	非通知外線着信音の音程を指定する。 0：低 1：中 2：高 P423で01~04(着信音A~D)を設定した場合に限り適用する。 P423で00(指定なし)を設定した場合、P422(アナログ回線への着信またはグローバル着信の場合)もしくはP041(ダイヤルイン着信の場合)に従う。 DC子機は除く。
P425	外線転送テナント(自動/手動)指定	1 (テナント1)	1~4	外線転送を利用するテナントを外線転送ごとに指定する。 1：テナント1 2：テナント2 3：テナント3 4：テナント4
P426	外線自動転送(発信側)指定 <sup>注9</sup>	00 (指定なし)	01~20	外線自動転送を使用する場合の発信側外線01~20を指定する。 アナログ回線を指定することはできません。ただし、VoIP外線は指定可能。 発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。

注9： 設定外線は、外線着信に対しP019外線転送自動応答時間指定で設定された着信時間で自動応答し、外線転送機能のリモコン操作が可能な状態になります。



プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P427	外線自動転送（着信側）指定	0 （指定しない）	0~8	各テナントに収容している外線ごとに外線自動転送を使用する場合の着信側外線を指定する。 0：指定しない 1：転送1D - D一次応答なし [D] 2：転送1D - D一次応答あり [D] 3：転送2D - D一次応答なし [D] 4：転送2D - D一次応答あり [D] 5：転送3D - D一次応答なし [D] 6：転送3D - D一次応答あり [D] 7：転送4D - D一次応答なし [D] 8：転送4D - D一次応答あり [D] アナログ回線およびアナログ収容のVoIP外線を指定することはできません。発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC1~4使途指定」で留守/お待たせ/一次応答または、留守拡張に設定する必要があります。
P428	留守番自動応答指定	0 （自動応答しない）	0,1,3,4	外線番号（01~20）ごとにREC（留守番電話）で応答するかしないかを指定する。 0：自動応答しない 1：REC1が自動応答 3：REC3が自動応答 4：REC4が自動応答
P429	テナント1発信許可/規制ダイヤル指定	指定なし	電話番号を登録	テナント1に収容している外線番号（01~20）ごとにダイヤルテーブル（01~40）に対して発信を許可または規制する番号を指定する。1テーブルあたり、最大12桁で指定する。 発信許可/規制するかはP433参照。
P430	テナント2発信許可/規制ダイヤル指定	指定なし	電話番号を登録	テナント2に収容している外線番号（01~20）ごとにダイヤルテーブル（01~40）に対して発信を許可または規制する番号を指定する。 発信許可/規制するかはP434参照。
P431	テナント3発信許可/規制ダイヤル指定	指定なし	電話番号を登録	テナント3に収容している外線番号（01~20）ごとにダイヤルテーブル（01~40）に対して発信を許可または規制する番号を指定する。 発信許可/規制するかはP435参照。
P432	テナント4発信許可/規制ダイヤル指定	指定なし	電話番号を登録	テナント4に収容している外線番号（01~20）ごとにダイヤルテーブル（01~40）に対して発信を許可または規制する番号を指定する。 発信許可/規制するかはP436参照。
P433	テナント1発信許可/規制指定	0 （未使用）	0~2	テナント1に収容している外線番号（01~20）ごとにダイヤルテーブル（01~40）に登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 0：未使用 1：許可する 2：規制する

プログラム番	内容	初期設定	設定変更	備考
P434	テナント2発信許可 / 規制指定	0 (未使用)	0~2	テナント2に収容している外線番号(01~20)ごとにダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
P435	テナント3発信許可 / 規制指定	0 (未使用)	0~2	テナント3に収容している外線番号(01~20)ごとにダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
P436	テナント4発信許可 / 規制指定	0 (未使用)	0~2	テナント4に収容している外線番号(01~20)ごとにダイヤルテーブルごとに登録したダイヤルの発信を許可するか規制するか、または未使用とするかを指定する。 0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
P437[A]	個別着信 (DIT) 指定 (昼)	指定なし	外線番号 10~89 または 100~899	外線番号ごとに昼間モード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定の秒数鳴動した後に、設定した電話機だけを呼び出す。(このとき他の電話機では、外線着信応答できない) P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。
P438[A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間A)	指定なし	外線番号 10~89 または 100~899	外線番号ごとに夜間Aモード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定の秒数鳴動した後に、設定した電話機だけを呼び出す。(このとき他の電話機では、外線着信応答できない) P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。
P439[A]	個別着信 (DIT) 指定 (夜間B)	指定なし	外線番号 10~89 または 100~899	外線番号ごとに夜間Bモード時、外線からのアナログ着信に対し直接呼び出す電話機の内線番号を指定する。 電話機の内線番号を設定した場合は、着信音がP440個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定の秒数鳴動した後に、設定した電話機だけを呼び出す。(このとき他の電話機では、外線着信応答できない) P003-2を変更した場合は、動作が逆になります。

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P440[A]	個別着信 (DIT) の遅延応答時間指定	2 (10秒)	0~7	外線番号ごとに個別着信 (DIT) 指定のある外線にアナログ着信したとき、個別着信を切替える時間を指定する。 0:0秒 1:5秒 2:10秒 3:20秒 4:30秒 5:40秒 6:50秒 7:60秒
P441	外部スピーカ1 着信音鳴動指定 (昼)	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P442	外部スピーカ1 着信音鳴動指定 (夜間A)	鳴動なし	鳴動あり	夜間Aモードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P443	外部スピーカ1 着信音鳴動指定 (夜間B)	鳴動なし	鳴動あり	夜間Bモードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P444	外部スピーカ2 着信音鳴動指定 (昼)	鳴動なし	鳴動あり	昼間モードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P445	外部スピーカ2 着信音鳴動指定 (夜間A)	鳴動なし	鳴動あり	夜間Aモードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P446	外部スピーカ2 着信音鳴動指定 (夜間B)	鳴動なし	鳴動あり	夜間Bモードのときに各テナントに収容している外線に着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P447	外部スピーカ1 コールバック着信音鳴動指定	鳴動なし	鳴動あり	各テナントに収容している外線に外線転送コールバックおよびREC手動応答コールバック着信があった場合、外部スピーカ1から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P448	外部スピーカ2 コールバック着信音鳴動指定	鳴動なし	鳴動あり	各テナントに収容している外線に外線転送コールバックおよびREC手動応答コールバック着信があった場合、外部スピーカ2から着信音を送出するか否かを外線ごとに指定する。
P449	通報発信外線テナント指定	グループA:1 (テナント1) グループB:1 (テナント1)	1~4	通報時に外線発信をするテナントをセーフティグループごとに指定する。 1:テナント1 3:テナント3 2:テナント2 4:テナント4
P450	通報発信外線指定	グループA:00 (指定なし) グループB:00 (指定なし)	00~20	通報時に発信外線として使用する外線をセーフティグループごとに指定する。 00は指定なし P402で1 (外線) を設定した場合に限り指定可。 外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。

## 携帯ACR対応

プログラム番号	内容	初期設定	設定変更	備考
P501	キャリアアクセスコード指定	指定なし	アクセスコードを最大12桁で指定する	外線発信時の電話番号がキャリア選択識別番号と一致したときに電話番号の前に自動的に付加する各事業者のサービスにアクセスするために必要な番号を指定する。
P502	キャリア選択識別番号指定	右記の通り	1番号最大8桁で指定する	外線発信時にキャリアを選択するための識別番号を指定する。 最大120番号まで登録できる。 1番号あたり最大8桁まで指定できる。 初期： 001：090 002：0801 003：0802 004：0803 005：0804 006：0805 007：0806 008：0807 009：0808 010：0809 011～120：指定なし
P503	キャリアアクセス表示指定	携帯ACRアクセス	最大16文字(全角文字のみ)で指定する	キャリアを選択したときの電話機に表示する内容を指定する。

# 7 プログラム設定方法

プログラム設定は、TD・PF・LD・CL（親機）・SS電話機から設定します。  
 [D]印のプログラムはデジタル回線接続時に有効です。  
 [A]印のプログラムはアナログ回線接続時に有効です。

受話器をおいたままで、**機能** **保留** **#** **0** **\*** のボタンを押す

「P001 システム設定1」表示

外線通話をしながら、プログラム設定を行う場合は、通話状態のままで**機能** **保留** **#** **0** **\*** のボタンを押してください。

項目番号を変更するときは、ダイヤルボタンを押す。  
 数字表示がー表示に、ー表示が数字表示に変わります。

次のプログラム番号に進むときは $\odot$ 、元に戻すときは $\ominus$ を押す。

**保留**を押すごとに、次のプログラム番号に進みます。

プログラム番号P001～P503の設定を行う。  
 特定のプログラムを設定したいときは**#**、プログラム番号を押します。

[例] P016の場合は **#** **0** **1** **6**を押す

$\odot$  を押すと2行目の値が増加します。

$\ominus$  を押すと2行目の値が減少します。

**発信**を押すと3行目の値が増加します。

**短縮**を押すと3行目の値が減少します。

指定内容を消去するときは、**\***を押します。

オフフック、オンフックを行うと仮登録になり、カレンダー・時計の表示に戻ります。すべての電話機が使用していないときに、自動的に本登録になります。

仮登録中は、「プログラム設定データ 登録中」の表示が出ます。

REC機能が留守番在宅モード以外で動作中に、下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定データ 登録中」が表示され、留守モードを在宅に切り替えるまで本登録は行われません。

P028 REC1～4使途指定

P029 留守番機能指定

P210 留守番電話機指定

P428 留守番自動応答指定

セーフティモード動作中に下記設定項目のいずれかを変更した場合、「プログラム設定 データ 登録中」が表示され、セーフティモードを解除するまで本登録は行われません。

P035 リレー制御指定

P072-1 威嚇警報音の音量指定

P072-2 通報先終話時の威嚇継続指定

P072-3 リレー出力タイミング指定

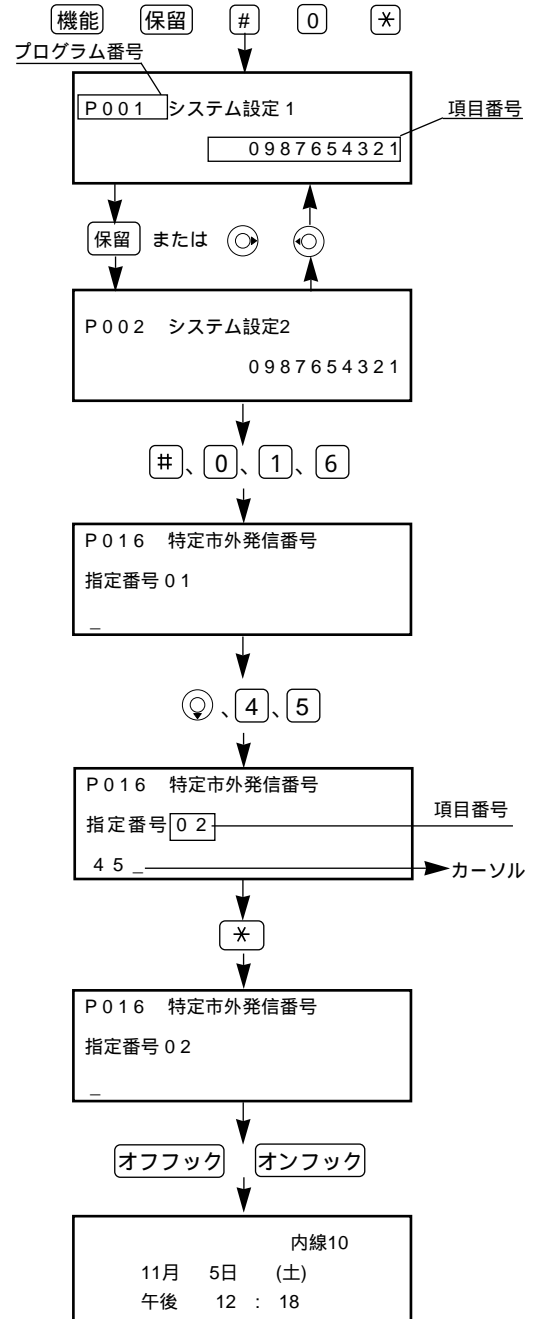
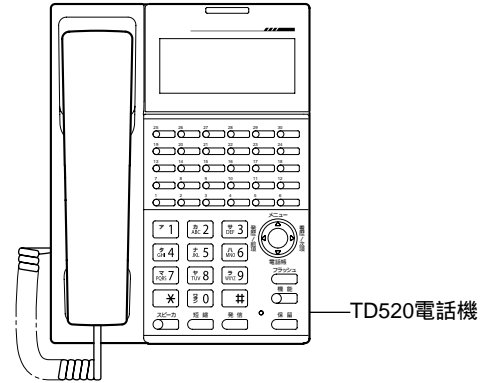
P072-4 外部スピーカ威嚇音鳴動指定

P073 モードセット遅延時間指定

P074 威嚇遅延時間指定

P075 威嚇警報音鳴動時間指定

P076 ドアホンポート接続指定



P077 外部センサ対応グループ指定  
P078 通報発信外線強制切断指定  
P079 センサ入力信号ON確定時間指定  
P080 センサ入力信号OFF確定時間指定  
P081 センサON連続検出回数指定  
P082 センサOFF確定時間指定  
P101 外線収容および外線種別指定  
P226 セーフティグループ指定  
P228 音声威嚇電話機指定  
P229 センサ動作指定  
P402 テナント外線ボタン割付指定  
P403 テナント1外線発信時の収容外線指定  
P404 テナント2外線発信時の収容外線指定  
P405 テナント3外線発信時の収容外線指定  
P406 テナント4外線発信時の収容外線指定  
P449 通報外線テナント指定  
P450 通報発信外線指定

プログラム設定中に`[確定]`を押すと、HELP画面へ移行します。(各設定の簡単な説明が表示されます。)

HELP画面表示中、4行目に  が表示されている場合、

を押すとHELP画面の続きを表示します。

HELP画面表示中に`[確定]`を押すと、設定画面に戻ります。

HELP画面表示中に  を押すと、次のプログラム番号に進みます。

“数字”と“-”を変更する設定において、`[フラッシュ]`を押すと、“数字”と“-”を一括で反転することが可能です。

## プログラム設定コピーモード

コピーモードは以下の設定データに対して適用します。  
 1対1および1対Nのコピーを可とします。  
 同一項目内（実装番号、外線番号）でのコピーを可とします。

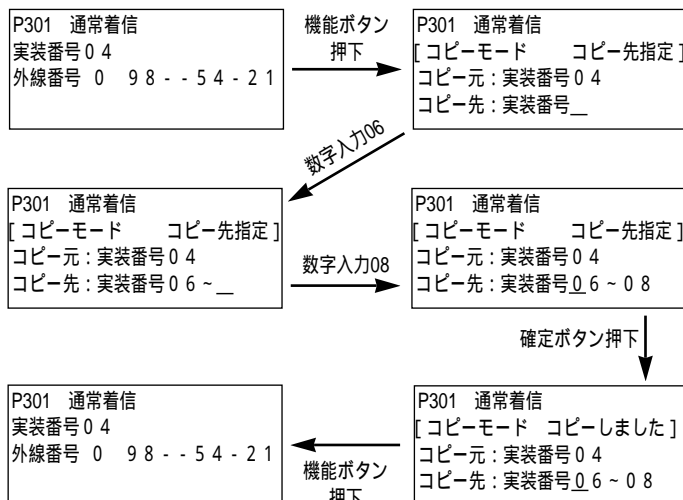
[メニュープログラミング対応]	
P301	通常着信指定
P302	着信音鳴動指定（昼）
P303	着信音鳴動指定（夜間A）
P304	着信音鳴動指定（夜間B）
P305	ダイヤルイン着信指定
P306	ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）
P307	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）
P308	ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間B）
P309	発信規制指定（昼）
P310	発信規制指定（夜間A）
P311	発信規制指定（夜間B）
P312	コールバック着信鳴動指定
P313	自動選局指定（発信）
P314	自動選局指定（応答）
[テナント対応]	
P429	テナント1 発信許可/規制ダイヤル指定
P430	テナント2 発信許可/規制ダイヤル指定
P431	テナント3 発信許可/規制ダイヤル指定
P432	テナント4 発信許可/規制ダイヤル指定
P433	テナント1 発信許可/規制指定
P434	テナント2 発信許可/規制指定
P435	テナント3 発信許可/規制指定
P436	テナント4 発信許可/規制指定

### 機能概要

2行目に表示されている項目番号（実装番号または外線番号）ごとに設定された3行目の設定内容（「数字」もしくは「-」）を、同じ設定内、他の2行目番号に表示されている項目番号にコピーすることが可能です。

例）P301の場合  
 実装番号04に設定された外線番号の「数字」もしくは「-」と同じ状態を、P301の実装番号06～08にコピーすることが可能である。

### 操作手順



## 入力を消去する場合

P301 通常着信  
 [コピーモード コピー先指定]  
 コピー元:実装番号 04  
 コピー先:実装番号 \_\_

※ を押下すると4行目入力済みの数字を消去します。

## コピー先の数字が確定する前に、確定ボタンを押下した場合。

P301 通常着信  
 [コピーモード 入力途中でです]  
 コピー元:実装番号 04  
 コピー先:実装番号 0 \_\_

数字入力中に確定ボタンを押下した場合、  
 [コピーモード 入力途中でです]の警告が表示されます。  
 数字の入力を完了した後、確定ボタンを押してください。

## コピー先に1つの番号のみ入力し、その後確定ボタンを押下した場合。

P301 通常着信  
 [コピーモード コピー先指定]  
 コピー元:実装番号 04  
 コピー先:実装番号 02 ~ \_\_

図1

数値要素が1つの場合その値（図1の場合、実装番号02）に対してのみコピーが行われます。

機能 保留 # 0 \* を押す

# システム対応

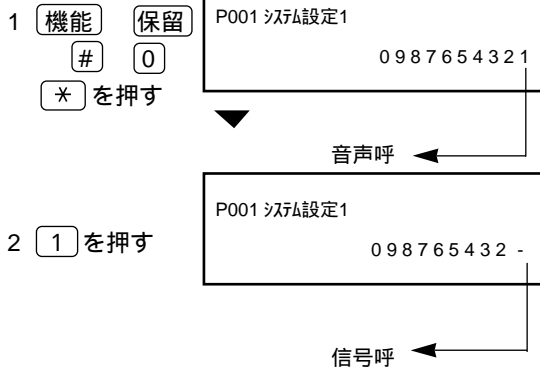
## P001 システム設定1

P001 システム設定1  
0987654321 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	内線呼出優先順位指定	音声呼	信号呼
2	一斉/グループ呼出指定	音声呼	信号呼
3	共通短縮ダイヤル 発信規制解除指定	解除しない (規制する)	解除する (規制しない)
4	強制転送指定	可	不可
5	自動転送指定	可	不可
6	オンフック転送指定	可	不可
7	ワンタッチ発信機能指定	不可	可
8	未使用	-	-
9	外線自動選局順位指定	老番から	若番から
0	自動PB信号切り替え指定	有	無

### P001 プログラム番号P001

[例]内線呼出方法を「音声呼」から「信号呼」へ変更する。



保留 を押す

## P002 システム設定2

P002 システム設定2  
0987654321 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ポーズ時間指定	3.0秒	1.0秒
2	未使用	-	-
3	外線発信規制指定-100番 (準特甲、甲)	規制あり	規制なし
4	外線発信規制指定-110番、 119番(PBX内準甲)	規制なし	規制あり
5	一般電話機 (保留/フッキング)指定	保留	フッキング
6	バッテリーパワーセーブ 指定	全電話機動作 する	実装番号1,2番の 電話機のみ動作する
7	SLI1切断信号送出指定	送出しない	送出する
8	SLI2切断信号送出指定	送出しない	送出する
9	FAXコールバック着信 応答時のFAX解放指定	解放する	解放しない
0	通話料金表示 フォーマット指定	小数点以下は 表示しない	小数点第1位 まで表示する

保留 を押す

## P003 システム設定3

P003 システム設定3  
0987654321 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	個別着信(DIT)の着信拒否指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	個別着信(DIT)動作指定	一斉着信から 個別着信	個別着信から 一斉着信
3	外部保留音指定	未接続	接続
4	BGM指定	未接続	接続
5	ナンバー・ディスプレイ 着信履歴指定	記録する	記録しない
6	着信履歴表示指定 (着歴ボタン)	すべて表示する	自子機の 履歴のみ表示
7	システム着信履歴表示指定 (メニュー)	すべて表示する	着信応答した 履歴を除いて表示
8	アナログ外線の発信電話番号 切替指定	利用する	利用しない
9	未使用	-	-
0	未使用	-	-

保留 を押す

### P004 保留警報タイマ指定

P004 保留警報タイマ  
2 <初期設定>

3分

初期値	設定変更
2	0:1分
	1:2分
	2:3分
	3:4分
	4:無制限

**保留** を押す

### P005 オートリピートタイマ指定

P005 オートリピートタイマ  
0 <初期設定>

120秒/3秒/15回

項目	内 容		
	呼出時間	待ち時間	回 数
0	120秒	3秒	15回
1	120秒	10秒	15回
2	120秒	30秒	15回
3	120秒	60秒	100回

**保留** を押す

### [A]P006 フックフラッシュ時間指定

P006 フックフラッシュ時間  
6 <初期設定>

800ms

項目	フラッシュ時間	項目	フラッシュ時間
0	(設定不可)	5	600ms
1	(設定不可)	6	800ms
2	(設定不可)	7	1.0s
3	200ms	8	1.5s
4	400ms	9	2.0s

**保留** を押す

### P007 オートリピート発信指定

P007 オートリピート発信  
オート/プリセット/確認ダイヤル - - 2 1 <初期設定>

初期設定

項目	内容	設定値	
		数字表示	- 表示
1	ワンタッチリダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
2	確かめダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
3	プリセットダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない
4	ワンタッチオートダイヤル	オートリピートする	オートリピートしない

**保留** を押す

### P009 コード0選局指定

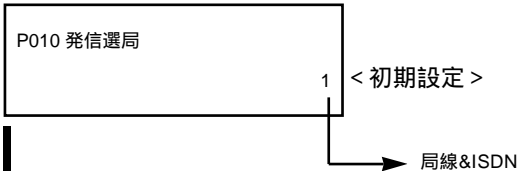
P009 コード0選局  
1 <初期設定>  
局線 & ISDN

初期値	設定値
1	0: 未使用
	1: 局線 & ISDN
	2: PBX内線

「未使用」に設定するとダイヤル(0)による外線自動捕捉ができなくなります。

**保留** を押す

### P010 発信選局指定



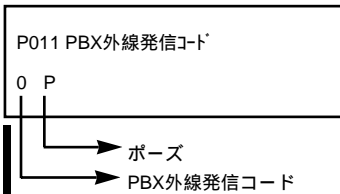
初期値	設定変更
1	0:未使用 1:局線&ISDN 2:PBX内線

「未使用」に設定すると「発信」、メニュー操作からの短縮発信、「リダイヤル」、「オートダイヤル」による外線自動捕捉ができなくなります。

「リダイヤル」はリダイヤルボタンを作成する必要があります。

**保留**を押す

### P011 PBX外線発信コード指定

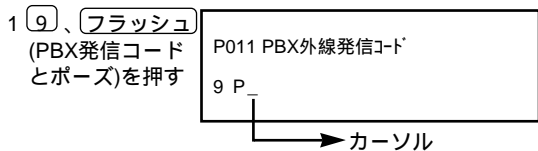


初期値	設定変更
0P	PBX外線発信コードとポーズを指定

数字とポーズを3桁ずつ、計6桁まで指定できます。数字は3桁まで連続指定できますが、「P」(ポーズ)は連続指定できません。1桁目に「P」は、指定できません。

#### P011 プログラム番号P011

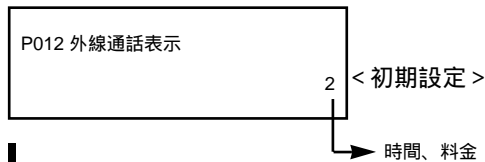
[例] PBX内線が收容されている場合の外線発信コード (PBXアクセスコード)が「9」の場合。



「フラッシュ」を押すと「P」(ポーズ)が表示されます。  
「\*」を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

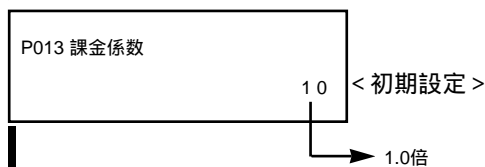
### P012 外線通話表示指定



初期値	設定値	備考
2	0: 時間 1: 料金 2: 時間、料金	「料金」は、デジタル回線の料金情報通知サービスによる。

**保留**を押す

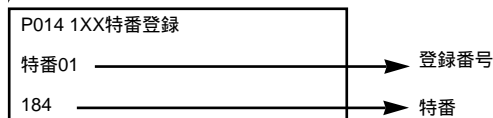
### P013 課金係数指定



初期値	設定値	備考
10	01 ~ 99	01 : 0.1倍 (1度数当たり1円) 10 : 1.0倍 (1度数当たり10円) 99 : 9.9倍 (1度数当たり99円) 料金は、1度数10円の場合。

**保留**を押す

### P014 1××特番登録指定



項目	内容	初期値	設定値
01	1XX特番登録指定 01	184	任意の番号を指定 (最大10桁)
02	1XX特番登録指定 02	186	
03	1XX特番登録指定 03	122	
04	1XX特番登録指定 04	指定なし	
1	1	1	
10	1XX特番登録指定10	指定なし	

各項目は最大10桁まで指定できます。

☉を押すごとに、次の項目番号に進みます。

✳を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

### P015 1××特番ポーズ指定

P015 1XX特番ポーズ  
00 <初期設定>

<初期設定>

0秒

初期値	設定値
00	00 ~ 99

01 = 0.5秒 [例] 04 = 2秒  
00 ~ 99の範囲で指定できます。

**保留** を押す

### P016 特定市外発信番号指定 (準特甲)

P016 特定市外発信番号  
指定番号01 <初期設定>

<初期設定>

項目番号

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番 (最大4桁)

特定市外発信番号の局番は20桁所まで指定可能。  
設定は、市外局番の上1桁目の「0」を省略し、2桁目から5桁目までを設定可能。

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

#### P016 プログラム番号P016

[例]サービスクラス「準特甲」に設定された電話機からの市外局番045、0471地区への市外局番を許可する場合。

1 4 5 を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号01  
45

2 0 を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号02

3 4 7 1 を押す

P016 特定市外発信番号  
指定番号02  
471

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

0 を押すごとに、次の項目番号に進みます。

**保留** を押す

### P017 外線発信規制番号指定

P017 外線発信規制番号  
規制番号01 <初期設定>

<初期設定>

項目番号

項目	初期値	設定値
01 ~ 20	指定なし	市外局番 (最大4桁)

外線発信規制番号は20ヶ所まで指定できます。  
電話番号は、市外局番を設定します。

「特甲」以外の電話機に対してのみ適用します。

0 を押すごとに、次の項目番号に進みます。

※ を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

### P018 留守番在宅自動応答時間指定

P018 留守番在宅自動応答時間  
045 <初期設定>

<初期設定>

45秒

初期値	設定値
045	000 ~ 180

000のときは自動応答しません。  
001で1秒です。

**保留** を押す

### P019 外線転送自動応答時間指定

P019 外線転送自動応答時間  
042 <初期設定>

<初期設定>

42秒

初期値	設定値
042	000 ~ 180

000のときは自動応答しません。  
001は1秒です。

**保留** を押す

### P020 NTT強制接続コード指定

P020 NTT強制接続コード  
0000 <初期設定>

初期値	設定値
0000	0000 ~ 9999

**保留** を押す

### P021 外線転送システム設定

P021 外線転送システム設定  
0987654321 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	外線転送1通知音(転送先)指定	鳴動なし	鳴動あり
2	外線転送2通知音(転送先)指定	鳴動なし	鳴動あり
3	外線転送3通知音(転送先)指定	鳴動なし	鳴動あり
4	外線転送4通知音(転送先)指定	鳴動なし	鳴動あり
5	未使用	—	—
6	未使用	—	—
7	未使用	—	—
8	未使用	—	—
9	未使用	—	—
0	未使用	—	—

**保留** を押す

### P022 外線自動転送の起動時間指定

P022 外線自動転送の起動時間  
転送4/3/2/1 0000 <初期設定>

初期値	設定値
0	0: 0秒
	1: 3秒
	2: 6秒
	3: 9秒
	4: 12秒
	5: 15秒
	6: 18秒
	7: 21秒
	8: 24秒
	9: 27秒

**保留** を押す

### P023 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

P023 外線転送先不応答切断タイマ  
2 <初期設定>  
→ 60秒

初期値	設定値
2	0: 20秒
	1: 40秒
	2: 60秒
	3: 80秒
	4: 100秒
5: 120秒	

**保留** を押す

### P024 外線転送 終話時コールバック時間設定

P024 外線転送終話時コールバック時間  
自動/手動

0 2 <初期設定>

- 外線手動転送：2秒
- 外線自動転送：コールバックしない

項目	内容	初期値	設定値
1	外線手動転送	2	0: コールバックしない 1: 1秒 2: 2秒 3: 3秒
2	外線自動転送	0	4: 4秒 5: 5秒 6: 6秒

**保留** を押す

### P025 外線転送 最大通話時間指定

P025 外線転送最大通話時間

2 <初期設定>

→ 2時間

初期値	設定値
2	0: 30分 1: 1時間 2: 2時間 3: 3時間

**保留** を押す

### P026 外線自動転送中の着信音鳴動指定

P026 外線自動転送中の着信音鳴動

2 <初期設定>

→ 鳴動する

初期値	設定値
2	0: すべての着信側外線の着信音を鳴動しない 1: 自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない 2: 鳴動する

**保留** を押す

### P027 RECシステム設定

P027 RECシステム設定

0987654321 <初期設定>

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	用件自動消去指定	自動消去あり	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	REC1~4ごとに共通	電話機個別
3	未使用		
4	未使用		
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

**保留** を押す

### P028 REC1～4使途指定

P028 REC1～4使途  
REC4/3/2/1      00-1 <初期設定>

REC1：留守

項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	1	0：未使用 1：留守/お待たせ/一次応答
2	REC2	-	2：留守拡張(REC3のみ)
3	REC3	0	3：非通知拒否
4	REC4		4：迷惑電話拒否 5：通話メモ 6：通話メモ拡張(REC3のみ) 7：非通知拒否 / 迷惑電話拒否

REC2は使用できません。  
REC3のみ拡張モードに指定できます。  
REC3を拡張モードに指定した場合、自動的にREC4は  
"- "(使用不可)になります。  
設定が"- "(使用不可)になっているRECは指定できま  
せん。  
使用不可から使用可能な状態になった場合、値は0(未使  
用)となります。

**保留** を押す

### P029 留守番機能指定

P029 留守番機能  
REC4/3/2/1      00-0 <初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	0	0：応答録音のみ可 1：応答専用のみ可 2：両方可
2	REC2	-	
3	REC3	0	
4	REC4		

**保留** を押す

### P030 RECお待たせコールバック 時間指定

P030 RECお待たせコールバック時間  
3 <初期設定>

3分

初期値	設定値
3	0：コールバックしない
	1：1分
	2：2分
	3：3分
	4：4分

**保留** を押す

### P031 DR・PGシステム設定

P031 DR・PGシステム設定  
0987654321 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	外部スピーカ1へのBGM送出指定	送出しない	送出する
2	外部スピーカ2へのBGM送出指定	送出しない	送出する
3	予告音鳴動中の音声同時送出指定	送出しない	送出する
4	未使用		
5	未使用		
6	未使用		
7	未使用		
8	未使用		
9	未使用		
0	未使用		

**保留** を押す

### P032 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定

P032 ドアホン&外部スピーカ呼出音種別  
スピーカ2/1ドアホン3/2/1 4 4 3 2 1 <初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	ドアホン 1	1	0: 送出しない
2	ドアホン 2	2	1: ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン
3	ドアホン 3	3	2: ピンポーン・パンポーン
4	外部スピーカ 1	4	3: ピンポン・ピンポン
5	外部スピーカ 2	4	4: ピンポンパンポーン

ドアホンに「0: 送出しない」は指定できません。

**保留** を押す

### P033 ドアホン通話ゲイン指定 (送話 / 受話)

P033 ドアホン通話ゲイン (送話/受話)  
送話音量  
ドアホン3/2/1 4 4 4 <初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	ドアホン1	送話4 受話4 (0dB)	0: - 12dB
2	ドアホン2		1: - 9dB
			2: - 6dB
3	ドアホン3		3: - 3dB
			4: 0dB
			5: + 3dB
			6: + 6dB
			7: + 9dB
		8: + 12dB	

🔊 キー押下により「送話音量」「受話音量」設定に移ります。

**保留** を押す

### P034 ドアホン着信音周期指定

P034 ドアホン着信音周期  
ドアホン3/2/1 3 2 1 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1	繰り返し	1回 (約4秒)
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

### P035 リレー制御指定 (リレー1、2)

P035 リレー制御(リレー1,2)  
リレー2/1 0 0 <初期設定>

リレー2: 未使用 ← 0 0 → リレー1: 未使用

項目	内 容	初期値	設定値
1	リレー1	0	0: 未使用
			1: 電気錠1 (ドアホン1)
			2: 電気錠2 (ドアホン2)
			3: 電気錠3 (ドアホン3)
			4: 外部スピーカ1
			5: 外部スピーカ2
2	リレー2	0	6: 外部保留音源 & BGM
			7: Webカメラ (セーフティAに連動)
			8: Webカメラ (セーフティBに連動)
			9: Webカメラ (セーフティA・Bの両方に連動)

同一の設定値が設定された場合は、リレー1に設定した方が、優先されます。

ドアホン1と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠1」に設定してください。  
 ドアホン2と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠2」に設定してください。  
 ドアホン3と通話中に電気錠の解錠を行う場合は、「電気錠3」に設定してください。

[D]P037 ISDNシステム設定

**P035 リレー制御指定 (リレー1,2)**

[例] リレー1を「外部スピーカ1」に変更する場合。

1 **1** (リレー1)を押す

P035 リレー制御 (リレー1,2)  
 リレー2/1 0 0

▼ カースル ←

2 **4** (外部スピーカ1)を押す

P035 リレー制御 (リレー1,2)  
 リレー2/1 0 4

リレー1: 外部スピーカ1 ←

**保留** を押す

**P036 外部スピーカゲイン指定 (外線着信音量、音声音量、BGM音量、威嚇音量)**

P036 外部スピーカゲイン  
 威嚇/BGM/音声/外着 4 4 4 4 <初期設定>

- 外線着信音量 : 0dB
- 音声音量 : 0dB
- BGM音量 : 0dB
- 威嚇音量 : 0dB

項目	内容	初期値	設定値
1	外線着信音量	4	0 : -12 dB 1 : -9 dB
2	音声音量		2 : -6 dB 3 : -3 dB
3	BGM音量		4 : 0 dB 5 : +3 dB
4	威嚇音量		6 : +6 dB 7 : +9 dB 8 : +12 dB

**保留** を押す

P037 ISDNシステム設定  
0987654321 <初期設定>

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	無効サブアドレス指定	着信拒否する	一斉着信にする
2	発サブアドレス通知指定	通知しない	通知する
3	経過表示指定	表示しない	表示する
4	理由表示指定	表示しない	表示する
5	未使用	-	-
6	未使用	-	-
7	未使用	-	-
8	未使用	-	-
9	未使用	-	-
0	未使用	-	-

**保留** を押す

[D]P038 ISDN契約者回線番号指定

P038 ISDN契約者回線番号  
 ISDN回線1 <初期設定>

項目	内容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	最大13桁まで、入力可能
2	ISDN2		

⊙ を押すと「ISDN回線」の番号が変わります。  
 \* を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

### P039 ダイヤルイン番号指定

P039 ダイヤルイン番号  
DI番号01 <初期設定>  
—

→ ダイヤルイン番号

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	最大13桁まで、入力可能。
⋮	⋮		
32	ダイヤルイン32		

⊙ を押すと「ダイヤルイン回線」の番号が変わります。  
 \* を押すと表示されている内容が消去されます。  
 市内局番から登録します。  
 050-XXXX-XXXXを登録する場合は、050を除いたXXXX-XXXX(8桁)を登録します。

**保留** を押す

### P040 ダイヤルイン着信音周期指定

P040 ダイヤルイン着信音周期  
DI番号01=鳴動周期01 <初期設定>  
—

→ ダイヤルイン番号01:着信音A

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン1	01	01:着信音A
⋮	⋮		02:着信音B
			03:着信音C
			04:着信音D
			05:着信音E
			06:着信音F
			07:着信音G
			08:着信音H
			09:保留メロディ
			10:着信メロディ1
			11:着信メロディ2
			12:着信メロディ3
32	ダイヤルイン32		

発信 を押すと、次のダイヤルイン番号に移動します。  
 短縮 を押すと、前のダイヤルイン番号に戻ります。

**保留** を押す

### P041 ダイヤルイン着信音種別指定

P041 ダイヤルイン着信音種別  
DI番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>  
—

→ ダイヤルイン番号01:低

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	0	0:低
⋮	⋮		1:中
32	ダイヤルイン32		2:高

P040で01~04(着信音A~D)に設定した場合に限り適用します。  
 発信 を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### [D]P042 グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定

P042 グローバル着信時D自動転送可否  
ISDN回線 2 1 <初期設定>  
—

→ ISDN回線1:転送可

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ISDN1	転送可	転送不可
2	ISDN2		

**保留** を押す

**P043 ダイヤルイン着信時の  
ダイレクト自動転送可否指定**

P043 ダイヤルイン着信時D自動転送可否  
DI番号 0 987654321 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：転送可

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン01	転送可	転送不可
?	?		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

**[D]P044 グローバル着信ダイレクト  
リモコン指定**

P044 グローバル着信ダイレクトリモコン  
ISDN回線 21 <初期設定>

ISDN回線1：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する
2	ISDN2		

**保留** を押す

**P045 ダイヤルイン着信  
ダイレクトリモコン指定**

P045 ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン  
DI番号 0 987654321 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	ダイヤルイン01	指定しない	指定する
?	?		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

**[D]P046 グローバル着信疑似コール  
ウェイトング指定**

P046 グローバル着信疑似コールウェイトング  
ISDN回線 21 <初期設定>

ISDN回線1：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ISDN1	指定しない	指定する
2	ISDN2		

**保留** を押す

### P047 ダイヤルイン着信疑似コール ウェイトング指定

P047 ダイヤルイン着信疑似コールウェイトング

DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

ダイヤルイン番号01：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
01	ダイヤルイン01	指定しない	指定する
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台  
10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### [D]P048 グローバル着信個別 着信(DIT)指定(昼)

P048 GL個別着信(DIT)(昼)

ISDN回線1 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「ISDN回線X = 内線 XXX」  
と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	数字表示	-表示
1	ISDN1	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合 (100~899)
2	ISDN2		

発信を押すと次のISDN回線に移動します。  
短縮を押すと前のISDN回線に戻ります。  
\*を押すと表示されている内容が消去されます。

P048 GL個別着信(DIT)(昼)

ISDN回線1 = 内線番号

発信を押すと次のISDN番号に進む  
(短縮を押すと前の番号に戻ります)

P048 GL個別着信(DIT)(昼)

ISDN回線2 = 内線番号

**保留** を押す

### [D]P049 グローバル着信個別着信 (DIT)指定(夜間A)

P049 GL個別着信(DIT)(夜間A)

ISDN回線1 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「ISDN回線X = 内線 XXX」  
と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
2	ISDN2		

発信を押すと次のISDN回線に移動します。  
短縮を押すと前のISDN回線に戻ります。  
\*を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

### [D]P050 グローバル着信個別着信 (DIT)指定(夜間B)

P050 GL個別着信(DIT)(夜間B)

ISDN回線1 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「ISDN回線X = 内線 XXX」  
と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
2	ISDN2		

発信を押すと次のISDN回線に移動します。  
短縮を押すと前のISDN回線に戻ります。  
\*を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

**[D]P051 グローバル個別着信(DIT)の遅延応答時間指定**

P051 GL個別着信DIT遅延応答時間  
ISDN回線 00 <初期設定>  
ISDN回線1:0秒

項目	内 容	初期値	設定値
1	ISDN1	0	0:0秒
			1:5秒
2:10秒			
3:15秒			
4:20秒			
2	ISDN2		5:30秒
			6:40秒
		7:60秒	

**保留**を押す

**P052 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(昼)**

P052 DI個別着信(DIT)(昼)  
DI番号01 = 内線番号  
内線番号桁数が3桁の場合、「DI番号XX = 内線 XXX」と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
?	?		
32	ダイヤルイン32		

**発信**を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。  
**短縮**を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。  
**\***を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

**P053 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(夜間A)**

P053 DI個別着信(DIT)(夜間A)  
DI番号01 = 内線番号  
内線番号桁数が3桁の場合、「DI番号XX = 内線 XXX」と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
?	?		
32	ダイヤルイン32		

**発信**を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。  
**短縮**を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。  
**\***を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

**P054 ダイヤルイン個別着信(DIT)の指定(夜間B)**

P054 DI個別着信(DIT)(夜間B)  
DI番号01 = 内線番号  
内線番号桁数が3桁の場合、「DI番号XX = 内線 XXX」と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
?	?		
32	ダイヤルイン32		

**発信**を押すと次のダイヤルイン番号に移動します。  
**短縮**を押すと前のダイヤルイン番号に戻ります。  
**\***を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

### P055 ダイヤルイン個別着信(DIT) 遅延応答時間指定

P055 DI個別着信DIT遅延応答時間

DI番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

ダイヤルイン番号01: 0秒

項目	内 容	初期値	設定値
01	ダイヤルイン01	0	0: 0秒
}	}		1: 5秒
			2: 10秒
			3: 20秒
			4: 30秒
			5: 40秒
6: 50秒			
32	ダイヤルイン32	7: 60秒	

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P056 識別グループ着信時の動作指定

P056 識別グループ着信時の動作

グループ0

自動転送/留守番応答 21 <初期設定>

項目	内 容	設定値		
		数字表示	-表示	
1	グループ0	留守番応答	指定する	指定しない
		自動転送		
}	}	}		
10	グループ9	自動転送		

を押しと「グループ」の番号が変わります。

**保留** を押す

### P057 内線個別信号 呼出音種別指定

P057 内線個別信号呼出音種別

0 <初期設定>

着信音1

初期値	設定値
0	0: 着信音1
	1: 着信音2
	2: 着信音3
	3: 単音

**保留** を押す

### P058 グループ呼出時の外部スピーカ呼出

P058 グループ呼出時の外部スピーカ呼出

グループA

外部スピーカ2/1

2 1 <初期設定>

呼び出さない

項目	内 容	設定値		
		数字表示	-表示	
1	グループA	外部スピーカ1	呼び出さない	呼び出す
		外部スピーカ2		
2	グループB	外部スピーカ1		
		外部スピーカ2		
3	グループC	外部スピーカ1		
		外部スピーカ2		
4	グループD	外部スピーカ1		
		外部スピーカ2		

を押しとグループが変わります。

**保留** を押す

## P059 VoIP外線自動選局 禁止番号指定

P059 VoIP外線自動選局禁止番号

禁止番号01

001

<初期設定>

項目	内容	初期値	設定値
01	VoIP外線自動選局禁止番号01	001	最大12桁のダイヤル番号
02	VoIP外線自動選局禁止番号02	003	
03	VoIP外線自動選局禁止番号03	004	
04	VoIP外線自動選局禁止番号04	005	
05	VoIP外線自動選局禁止番号05	006	
06	VoIP外線自動選局禁止番号06	007	
07	VoIP外線自動選局禁止番号07	008	
08	VoIP外線自動選局禁止番号08	0091	
09	VoIP外線自動選局禁止番号09	010800	
10	VoIP外線自動選局禁止番号10	0120	
11	VoIP外線自動選局禁止番号11	0170	
12	VoIP外線自動選局禁止番号12	0180	
13	VoIP外線自動選局禁止番号13	0190	
14	VoIP外線自動選局禁止番号14	020	
15	VoIP外線自動選局禁止番号15	0570	
16	VoIP外線自動選局禁止番号16	060	
17	VoIP外線自動選局禁止番号17	0800	
18	VoIP外線自動選局禁止番号18	0990	
19	VoIP外線自動選局禁止番号19	10	
20	VoIP外線自動選局禁止番号20	11	
21	VoIP外線自動選局禁止番号21	12	
22	VoIP外線自動選局禁止番号22	13	
23	VoIP外線自動選局禁止番号23	14	
24	VoIP外線自動選局禁止番号24	15	
25	VoIP外線自動選局禁止番号25	16	
26	VoIP外線自動選局禁止番号26	17	
27	VoIP外線自動選局禁止番号27	18	
28	VoIP外線自動選局禁止番号28	19	
29	VoIP外線自動選局禁止番号29	指定なし	
?	?	?	
80	VoIP外線自動選局禁止番号80	指定なし	

⓪を押すと、禁止番号が変わります。

✳️を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留**を押す

## P060 VoIP外線アクセス表示指定

P060 VoIP外線アクセス表示

IP電話サービス アクセス

<初期設定>

入力開始 = 発信 入力終了 = 確定

初期値	設定値
IP電話サービス アクセス	最大全角16桁

⓪を押下すると、入力を開始します。設定方法は、電話帳登録と同じです。ⓧを押すと、入力終了です。

**保留**を押す

## P061 内線番号桁数指定

P061 内線番号桁数

2

<初期設定>

内線番号：2桁

初期値	設定値
2	2：2桁（10～89） 3：3桁（100～899）

桁数を変更する場合、確認のメッセージが表示され、⓪を押すと変更されます。

桁数変更時、内線で指定されている設定および、電話帳、オートボタン、発信履歴、着信履歴は全て初期化されます。

**保留**を押す

## P062 PB信号送出パターン指定 (送出 / ポーズ)

P062 PB信号送出パターン(送出/ポーズ)

1

<初期設定>

100ms / 80ms

初期値	設定値
1	0：80ms / 60ms 1：100ms / 80ms 2：400ms / 100ms 3：600ms / 100ms 4：900ms / 200ms

**保留**を押す

### P063 話中 / 不応答転送タイマ指定

P063 話中/不応答転送タイマ  
 0 <初期設定>  
 10秒

初期値	設定値
0	0: 10秒
	1: 15秒
	2: 20秒
	3: 25秒
	4: 30秒
	5: 35秒
	6: 40秒
	7: 45秒
	8: 50秒
	9: 55秒

**保留** を押す

### P064 IP電話自動交換グループ指定

P064 IP電話自動交換グループ  
 0 <初期設定>  
 指定なし

初期値	設定値
0	0: 指定なし
	1: グループ1
	2: グループ2
	3: グループ3
	4: グループ4
	5: グループ5
	6: グループ6
	7: グループ7
	8: グループ8
	9: グループ9

**保留** を押す

### P065 外部スピーカドアホン 着信鳴動テナント指定

P065 外部SPD 着信鳴動テナント  
 1 <初期設定>  
 テナント1の夜間モードに従う

初期値	設定値
1	1: テナント1の夜間モードに従う
	2: テナント2の夜間モードに従う
	3: テナント3の夜間モードに従う
	4: テナント4の夜間モードに従う

**保留** を押す

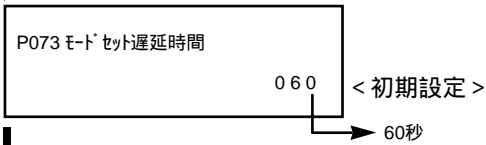
### P072 セーフティシステム設定

P072 セーフティシステム設定  
 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	威嚇警報音の音量指定	大	小
2	通報先終話時の威嚇継続指定	威嚇を継続する	威嚇を終了する
3	リレー出力タイミング指定	センサ検知時	威嚇開始時
4	外部スピーカ威嚇音鳴動指定	鳴動あり	鳴動なし
5	未使用	-	-
6	未使用	-	-
7	未使用	-	-
8	未使用	-	-
9	未使用	-	-
0	未使用	-	-

**保留** を押す

### P073 モードセット遅延時間指定

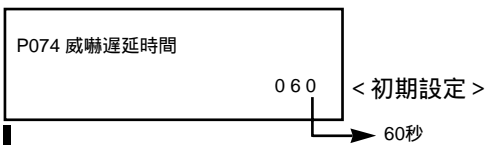


初期値	設定値
060	001 ~ 600

001=1秒 [例] 100=100秒  
1秒 ~ 600秒の範囲で指定できます。

**保留** を押す

### P074 威嚇遅延時間指定

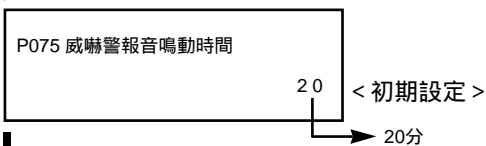


初期値	設定値
060	001 ~ 600

001=1秒 [例] 100=100秒  
1秒 ~ 600秒の範囲で指定できます。

**保留** を押す

### P075 威嚇警報音鳴動時間指定



初期値	設定値
20	01 ~ 60

01=1分 [例] 10=10分  
1分 ~ 60分の範囲で指定できます。

**保留** を押す

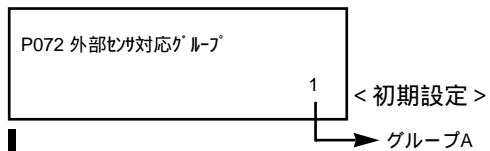
### P076 ドアホン3ポート接続指定



初期値	設定値
0	0: ドアホン 1: 外部センサ (ブレーク) 2: 外部センサ (メーク) 3: 外部センサ (ワンショット: メーク)

**保留** を押す

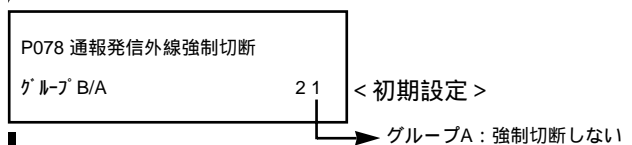
### P077 外部センサ対応グループ指定



初期値	設定値
1	1: グループA 2: グループB

**保留** を押す

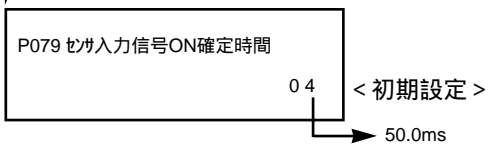
### P078 通報発信外線強制切断指定



項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	グループA	強制切断しない	強制切断する
2	グループB		

**保留** を押す

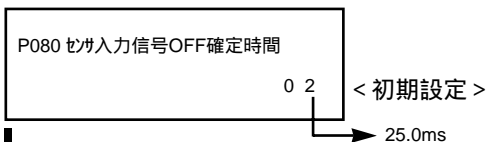
### P079 センサ入力信号ON確定時間指定



初期値	設定値
04	01: 12.5ms
	02: 25.0ms
	03: 37.5ms
	04: 50.0ms
	05: 62.5ms
	06: 75.0ms
	07: 87.5ms
	08: 100.0ms
	09: 112.5ms
	10: 125.0ms
	11: 137.5ms
	12: 150.0ms
	13: 162.5ms
	14: 175.0ms
	15: 187.5ms
	16: 200.0ms

保留 を押す

### P080 センサ入力信号OFF確定時間指定



初期値	設定値
02	01: 12.5ms
	02: 25.0ms
	03: 37.5ms
	04: 50.0ms
	05: 62.5ms
	06: 75.0ms
	07: 87.5ms
	08: 100.0ms
	09: 112.5ms
	10: 125.0ms
	11: 137.5ms
	12: 150.0ms
	13: 162.5ms
	14: 175.0ms
	15: 187.5ms
	16: 200.0ms

保留 を押す

### P081 センサON連続検出回数指定

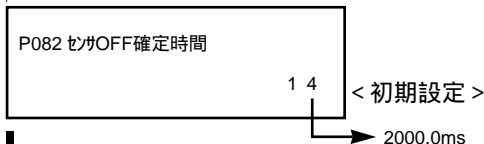


初期値	設定値
1	1~8

1回～8回の範囲で指定できます。

保留 を押す

### P082 センサOFF確定時間指定

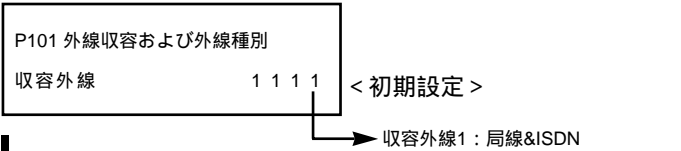


初期値	設定値	
14	01: 50.0ms	17: 2600.0ms
	02: 75.5ms	18: 2800.0ms
	03: 100.0ms	19: 3000.0ms
	04: 150.0ms	20: 3200.0ms
	05: 200.0ms	21: 3400.0ms
	06: 400.0ms	22: 3600.0ms
	07: 600.0ms	23: 3800.0ms
	08: 800.0ms	24: 4000.0ms
	09: 1000.0ms	25: 4200.0ms
	10: 1200.0ms	26: 4400.0ms
	11: 1400.0ms	27: 4600.0ms
	12: 1600.0ms	28: 4800.0ms
	13: 1800.0ms	29: 5000.0ms
	14: 2000.0ms	30: 5500.0ms
	15: 2200.0ms	31: 6000.0ms
	16: 2400.0ms	32: 6500.0ms

保留 を押す

# 収容外線対応

## P101 外線収容および外線種別指定

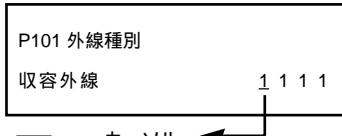


項目	内 容	初期値	設定値
1	収容外線1	1	0 : 未収容
2	収容外線2		1 : 局線 & ISDN
4	収容外線4		2 : PBX内線 3 : VoIP (外付け)

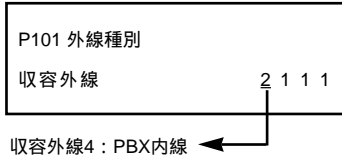
### P101 外線種別指定

[例]収容外線4を「PBX内線」にする場合。

1 **4** (収容外線4) を押す

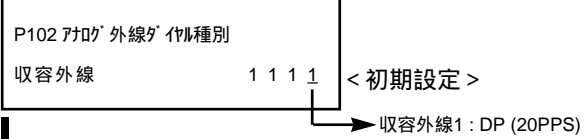


2 **2** (PBX内線) を押す



**保留** を押す

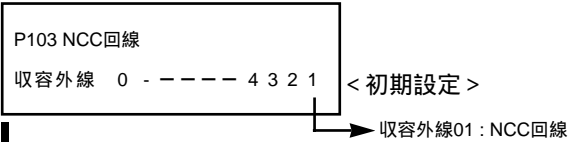
## [A]P102 アナログ外線ダイヤル種別指定



項目	内 容	初期値	設定値
1	収容外線1	1	0 : DP (10PPS)
2	収容外線2		1 : DP (20PPS)
4	収容外線4		2 : PB

**保留** を押す

## P103 NCC回線指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	収容外線01	NCC回線	NTT回線
2	収容外線2		
04	収容外線04	NCC回線	NTT回線
05	内蔵VoIP01		
20	内蔵VoIP16		

**発信** を押すごとに表示の収容外線番号が、01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

[A]P104 FAXコールバック外線指定

P104 FAXコールバック外線  
 0 <初期設定>  
 指定なし

初期値	設定値
0	0: 指定なし 1~4: 収容外線1~4

アナログ外線を指定します。

**保留** を押す

[A]P105 アナログ外線NTT付加サービス指定

P105 アナログ外線NTTサービス  
 収容外線 4 3 2 1 <初期設定>  
 収容外線1: 利用しない

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	利用しない	利用する
?	?		
4	収容外線4		

**保留** を押す

[A]P106 アナログ外線ダイレクトリモコン指定

P106 アナログ外線ダイレクトリモコン  
 収容外線 4 3 2 1 <初期設定>  
 外線1: 指定しない

項目	内容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	指定しない	指定する
?	?		
?	?		
4	収容外線4		

**保留** を押す

P107 外線通話ゲイン指定

P107 外線通話ゲイン  
 送話音量  
 収容外線 0 4 4 4 4 4 4 4 4 <初期設定>  
 収容外線1: 0 dB

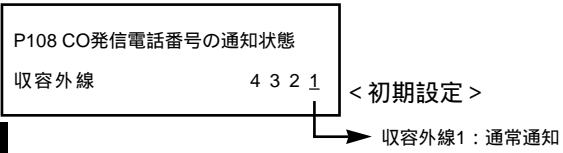
項目	内容	初期値	設定値	
1	送話音量	収容外線01	4	0: -12dB 1: -9dB 2: -6dB 3: -3dB 4: 0dB(送話/受話) 5: +3dB 6: +6dB 7: +9dB 8: +12dB
		?		
		収容外線04		
		収容外線05(内蔵VolP01)		
		?		
収容外線20(内蔵VolP16)				
2	受話音量	収容外線01		
		?		
		収容外線04		
		収容外線05(内蔵VolP01)		
		?		
収容外線20(内蔵VolP16)				

☎ キーを押すと「送話音量」、「受話音量」が交互に変わります。

発信を押すごとに表示の収容外線番号が、01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

[A]P108 アナログ外線発信電話番号の通知状態指定



項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	収容外線1	通常通知	通常非通知
2	2		
4	収容外線4		

**保留** を押す

# 電話機対応

## P201 内線番号指定

P201 内線番号  
実装番号 01 = 内線番号10

内線番号桁数が3桁の場合、  
「実装番号XX = 内線 XXX」  
と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	実装番号01	10	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
∧	∧	∧	
09	実装番号09 (SLI1)	18	
10	実装番号10 (SLI2)	19	

- [発信]を押すと、実装番号が1つ進みます。
- [短縮]を押すと、実装番号が1つ戻ります。
- [\*]を押すと入力番号が消去されます。

### P201 プログラム番号P201

[例]実装番号05の電話機を内線番号14(初期設定)から  
内線番号20に変更する場合。

- 1 [発信]を4回押し、  
実装番号を05に  
する。

P201 内線番号  
実装番号 05 = 内線番号 14

カーソル

- 2 [2][0](変更後の  
内線番号)を押す

P201 内線番号  
実装番号 05 = 内線番号 20

既に内線番号20に設定されている電話機が存在した場合、  
内線番号の入れ換えが行われ、その電話機の内線番号は14  
となります。

**保留** を押す

## P202 内線代表番号指定

P202 内線代表番号  
実装番号 01 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「実装番号XX = 内線 XXX」  
と表示されます。  
<初期設定>

項目	内 容	初期値	設定値
01	実装番号01	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
∧	∧		
09	実装番号09 (SLI1)		
10	実装番号10 (SLI2)		

実装番号01の内線番号が10で、本設定にて、実装番号  
01 = 11と設定すると、内線10番を呼び出したときに、内  
線10番が話中だと自動的に内線11番に着信がスライドし  
ます。

[発信]を押すと、次の実装番号が表示されます。

[短縮]を押すと、実装番号が1つ戻ります。

[\*]を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## P203 電話機グループ呼出指定

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 0 1111111111 <初期設定>

実装番号01: グループA

項目	内 容	初期値	設定値
01	実装番号01	1	0: 無所属
∧	∧		1: グループA
09	実装番号09(SLI1)		2: グループB
10	実装番号10(SLI2)		3: グループC
			4: グループD

[発信]を押すごとに表示の実装番号が、  
01番台 10番台 に変わります。

### P203 プログラム番号P203

[例] 実装番号01、10 をグループBに変更する場合。

1 **0** **1** (実装番号01)を押す

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1

▼

カーソル ←

2 **2** (グループB)を押す

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 0 1 1 1 1 1 1 1 1 2

▼

カーソル ←

3 **1** **0** (実装番号10)を押す  
(または **発信** を押し **1** **0** を押す)

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 1

▼

カーソル ←

1

4 **2** (グループB)を押す

P203 電話機グループ呼出  
実装番号 1

▼

実装番号01: グループB ←

2

**保留** を押す

### P204 サービスクラス指定

P204 サービス

実装番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

実装番号01: 特甲

項目	内容	初期値	設定値
01	実装番号01	0	0: 特甲
1	1		1: 準特甲
09	実装番号09(SLI1)		2: 甲
10	実装番号10(SLI2)		3: 準甲
			4: PBX内準甲

**発信** を押すごとに表示の実装番号が、01番台 10番台に変わります。

サービスクラス	外線発信規制の内容
特甲	すべての対地へ発信可能
準特甲	市内、特定市外 <sup>1</sup> のみ発信可能
甲	市内のみ発信可能
PBX内準甲	すべての外線が発信不可能 (PBX内線および内線のみ可)
準甲	すべての外線が発信不可能 (内線のみ可)

<sup>1</sup> P016特定市外発信番号指定(準特甲)で指定された市外局番のみ市外発信を可能とする。

**保留** を押す

### P205 話中着信指定

P205 話中着信

実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 鳴動する

項目	内容	設定値	
		数字表示	-表示
1	実装番号1	鳴動あり	鳴動なし
1	1		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P206 外線通話割込指定

P206 外線通話割込

実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 割込不可

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	割り込み不可	割り込み可
?	?		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P207 通話警告音鳴動指定

P207 通話警告音鳴動

実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	鳴動なし	鳴動あり
?	?		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P208 ハンズフリー通話制御指定

P208 ハンズフリー通話制御

実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	指定なし	指定あり
?	?		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P209 ヘッドセット接続指定

P209 ヘッドセット接続

実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1: 未接続

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	接続なし	接続あり
?	?		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P210 留守番電話機指定 (REC1 ~ 4)

P210 留守番電話機(REC1~4)

REC1 = 実装番号 1 <初期設定>

REC1: 実装番号1

項目	内 容	初期値	設定値
1	REC1	1	0: 指定なし 1~8: 実装番号
2	REC3	0	
3	REC4		

**発信** を押すと、REC番号が1つ進みます。

**短縮** を押すと、REC番号が1つ戻ります。

**保留** を押す

### P211 オフフック発信指定

P211 オフフック発信  
 実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1：指定しない

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	実装番号1	指定なし	指定あり
1	1		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P212 発信優先モード指定

P212 発信優先モード  
 実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01：内線優先モード  
 初期設定

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	実装番号01	内線優先モード	外線優先モード
1	1		
09	実装番号09(SLI1)	内線優先モード	外線優先モード
10	実装番号10(SLI2)		

**発信** を押すごとに表示の実装番号が、  
 0 1 番台 1 0 番台 に変わります。

**保留** を押す

### P213 一般電話機の種別指定

P213 一般電話機の種別  
 実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01：PB

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	実装番号01	PB	DP
1	1		
09	実装番号09(SLI1)		
10	実装番号10(SLI2)		

**発信** を押すごとに表示の実装番号が、  
 0 1 番台 1 0 番台 に変わります。

**保留** を押す

### P214 ドアホン着信自動応答指定

P214 ドアホン着信自動応答  
 ドアホン1  
 実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号1：有

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
1	ドアホン1 実装番号1~8	有	無
1	1		
3	ドアホン3 実装番号1~8		

**キー** を押すとドアホン番号が変わります。

**保留** を押す

### P215 ドアホン着信音指定

P215 ドアホン着信音鳴動 (昼)  
 ドアホン1  
 実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01: 鳴動あり

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ドアホン1	実装番号01~08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号09,10(SLI1,2)		
3	ドアホン3	実装番号01~08		
		実装番号09,10(SLI1,2)		

☎ キーを押すとドアホン番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の実装番号が、  
 01番台 10番台 に変わります。

**保留** を押す

### P216 ドアホン着信音指定 (夜間A)

P216 ドアホン着信音鳴動 (夜間A)  
 ドアホン1  
 実装番号 0 -----2 1 <初期設定>

実装番号01: 鳴動あり

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ドアホン1	実装番号01	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号02		
		実装番号03~08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号09,10(SLI1,2)		
3	ドアホン3	実装番号01	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号02		
		実装番号03~08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号09,10(SLI1,2)		

☎ キーを押すとドアホン番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の実装番号が、  
 01番台 10番台 に変わります。

**保留** を押す

### P217 ドアホン着信音指定 (夜間B)

P217 ドアホン着信音鳴動 (夜間B)  
 ドアホン1  
 実装番号 0 - - - - -2 1 <初期設定>

実装番号01: 鳴動あり

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ドアホン1	実装番号01	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号02		
		実装番号03~08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号09,10(SLI1,2)		
3	ドアホン3	実装番号01	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号02		
		実装番号03~08	鳴動あり	鳴動なし
		実装番号09,10(SLI1,2)		

☎ キーを押すとドアホン番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の実装番号が、  
 01番台 10番台 に変わります。

**保留** を押す

### [D]P218 発信者番号選択指定

P218 発信者番号選択  
 実装番号 0 1 = 発信者番号 0 0 <初期設定>

実装番号01: 捕捉した外線電話番号

項目	内 容	初期値	設定値
01	実装番号01	00	00: 捕捉した外線の電話番号 01~02: ISDN1~2 03~34: ダイヤルイン1~32
1	1		
09	実装番号09(SLI1)		
10	実装番号10(SLI2)		
11	実装番号11(ユーザー登録)		

発信を押すごとに表示が次の実装番号に変わります。

**保留** を押す

### P219 発信者番号表示指定

P219 発信者番号表示  
 実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>  
 実装番号1: 表示する(名前と番号)

項目	内 容	設定値	
		数字表示	- 表示
1	実装番号1	表示する (名前と番号)	表示しない
1	1		
8	実装番号8		

**保留** を押す

### P220 着信順次分配グループ内線番号指定

P220 着信順次分配グループ内線番号  
 テーブル01  
 グループ\_ : <初期設定>  
 内線番号: 指定なし  
 グループ番号: 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
01	登録テーブル01	グループ番号: 指定なし 内線番号: 指定なし	グループ番号: 1~4 内線番号: 10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
1	1		
16	登録テーブル16		

分配グループはシステムで最大4グループまでとします。  
 (1グループで16台でも4グループで合計16台でも可)  
 着信を振り分ける場合は登録テーブル番号の若番から順番に振り分けます。

⊙ キーを押すと、テーブル番号が変わります。

**保留** を押す

### P221 着信順次分配グループ代表番号指定

P221 着信順次分配グループ代表番号  
 グループ1: 内線番号\_ <初期設定>  
 内線番号桁数が3桁の場合、「グループX = 内線 XXX」と表示されます。  
 指定しない

項目	内 容	初期値	設定値
1	着信順位分配グループ1	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
2	着信順次分配グループ2		
3	着信順次分配グループ3		
4	着信順次分配グループ4		

代表番号は実装されていない内線番号を指定する。実装されている内線番号と重複した番号を指定した場合は内線番号を優先とし、着信順次分配グループへの着信とはならない。

本データは外線個別(DIT)着信に対して適用する。(内線個別着信およびISDNサブアドレス着信には適用しない)

**発信** を押すごとに表示のグループ番号が変わります。

**保留** を押す

### P222 通話メモ使用REC指定

P222 通話メモ使用REC  
 実装番号 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>  
 実装番号1: 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号1	0	0: 指定なし
1	1		1: REC1
8	実装番号8		3: REC3
			4: REC4

**保留** を押す

### P223 ドアホン着信指定

P223 ドアホン着信  
 ドアホン1  
 実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01: 指定する

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	実装番号01	指定する	指定しない
1	1		
09	実装番号09(SLI1)		
10	実装番号10(SLI2)		

🔊 キーを押すと、ドアホン番号が変わります。  
 [発信] を押すごとに表示の実装番号01番台 10番台に変わります。

**保留** を押す

### P224 着信履歴指定

P224 着信履歴  
 実装番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01: 残す

項目	内 容	設定値	
		数字表示	一表示
01	実装番号01	残す	残さない
1	1		
09	実装番号09(SLI1)		
10	実装番号10(SLI2)		

[発信] を押すごとに表示の実装番号01番台 10番台に変わります。

**保留** を押す

### P225 内線ホットライン指定

P225 内線ホットライン  
 実装番号01 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
 「実装番号XX = 内線 XXX」  
 と表示されます。  
 < 初期設定 >

項目	内 容	数字表示	一表示
01	実装番号01	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
1	1		
09	実装番号09(SLI1)		
10	実装番号10(SLI2)		

[発信] を押すと、実装番号が1つ進みます。  
 [短縮] を押すと、実装番号が1つ戻ります。  
 [\*] を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

### P226 セーフティグループ指定

P226 セーフティグループ  
 実装番号 0 0 0 0 0 0 0 0 < 初期設定 >

実装番号0: 指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	実装番号01	0	0: 指定なし
1	1		1: グループA
8	実装番号08		2: グループB

**保留** を押す

## P228 音声威嚇電話機指定

P228 音声威嚇電話機  
グループA  
音声威嚇電話1 = 実装番号 0

< 初期設定 >

グループA:  
音声威嚇電話機1: 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	グループA	音声威嚇電話機1	0	0: 指定なし 1~8: 実装番号
		音声威嚇電話機2		
		音声威嚇電話機3		
2	グループB	音声威嚇電話機1		
		音声威嚇電話機2		
		音声威嚇電話機3		

Ⓞ キーを押すごとにグループが変わります。  
 [発信] を押すごとに表示の音声威嚇電話機番号が変わります。  
 セーフティ機能を利用する場合は必ず音声威嚇電話機を設定してください。  
 音声威嚇に指定できる電話機はTD・PF・LD・CL・SS電話機です。  
 P226で同じグループに属する電話機のみ指定可。

**保留** を押す

## P229 センサ動作指定

P229 センサ動作  
実装番号 8 7 6 5 4 3 2 1 < 初期設定 >

実装番号1: 許可する

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	実装番号1	許可する	許可しない
7	7		
8	実装番号8		

**保留** を押す

# メニュープログラミング対応

## [D]P301 通常着信指定

P301 通常着信  
実装番号 0 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

→ 外線番号01: 指定する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01~20	指定する	指定しない
?	?	?		
09	実装番号09 (SLI1)	?		
10	実装番号10 (SLI2)	外線番号01~20		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信] を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

## P302 着信音鳴動指定(昼)

P302 着信音鳴動 (昼)  
実装番号 0 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

→ 外線番号01: 鳴動あり (全外線鳴動)

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
09	実装番号09 (SLI1)	?		
10	実装番号10 (SLI2)	外線番号01~20		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信] を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

## P303 着信音鳴動指定(夜間A)

P303 着信音鳴動 (夜間A)  
実装番号 0 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

→ 外線番号01: 鳴動あり  
(実装番号01,02のみ鳴動あり)

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01,02	実装番号01,02	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号03	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	外線番号01~20		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信] を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

## P304 着信音鳴動指定(夜間B)

P304 着信音鳴動 (夜間B)  
実装番号 0 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

→ 外線番号01: 鳴動あり  
(実装番号01,02のみ鳴動あり)

☐: 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01,02	実装番号01,02	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号03	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	外線番号01~20		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信] を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

### P305 ダイヤルイン着信指定

P305 ダイヤルイン着信  
実装番号 01  
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01のダイヤルイン01：指定する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	ダイヤルイン01~32	指定する	指定しない
?	?	?		
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	ダイヤルイン01~32		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信]を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P306 ダイヤルイン着信音 鳴動指定 (昼)

P306 ダイヤルイン着信音鳴動 (昼)  
実装番号 01  
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01のダイヤルイン01：鳴動あり

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	ダイヤルイン01~32		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信]を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P307 ダイヤルイン着信音 鳴動指定 (夜間A)

P307 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間A)  
実装番号 01  
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01のダイヤルイン01：鳴動あり  
(実装番号01,02は全鳴動)

☐：初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01,02	実装番号01,02	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号03	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	ダイヤルイン01~32		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信]を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P308 ダイヤルイン着信音 鳴動指定 (夜間B)

P308 ダイヤルイン着信音鳴動 (夜間B)  
実装番号 01  
DI番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

実装番号01のダイヤルイン01：鳴動あり  
(実装番号01,02は全鳴動)

☐：初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01,02	実装番号01,02	ダイヤルイン01~32	鳴動あり	鳴動なし
03	実装番号03	?	鳴動あり	鳴動なし
?	?			
09	実装番号09 (SLI1)			
10	実装番号10 (SLI2)	ダイヤルイン01~32		

⊙ キーを押すと、実装番号が変わります。  
[発信]を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P309 発信規制指定 (昼)

P309 発信規制 (昼)  
 実装番号 01  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01 ~ 20	発信可	発信不可
}	}	}		
09	実装番号09(SLI1)	}		
10	実装番号10(SLI2)	}		
11	実装番号11(ユーザー登録)	外線番号01 ~ 20		

☎ キーを押すと、実装番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P311 発信規制指定 (夜間B)

P311 発信規制 (夜間B)  
 実装番号 01  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01 ~ 20	発信可	発信不可
}	}	}		
09	実装番号09(SLI1)	}		
10	実装番号10(SLI2)	}		
11	実装番号11(ユーザー登録)	外線番号01 ~ 20		

☎ キーを押すと、実装番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P310 発信規制指定 (夜間A)

P310 発信規制 (夜間A)  
 実装番号 01  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01の外線01：発信可

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01 ~ 20	発信可	発信不可
}	}	}		
09	実装番号09(SLI1)	}		
10	実装番号10(SLI2)	}		
11	実装番号11(ユーザー登録)	外線番号01 ~ 20		

☎ キーを押すと、実装番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P312 コールバック着信鳴動指定

P312 コールバック着信鳴動  
 実装番号 01  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

実装番号01の外線01：鳴動あり  
 (実装番号8まで全て鳴動)

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	実装番号01	外線番号01 ~ 20	鳴動あり	鳴動なし
}	}	}		
09	実装番号09 (SLI1)	}		
10	実装番号10 (SLI2)	外線番号01 ~ 20	鳴動あり	鳴動なし

☎ キーを押すと、実装番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P313 自動選局指定（発信）

P313 自動選局（発信）  
 実装番号 01  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

実装番号01の外線01：自動選局する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	実装番号01	外線番号01～20	自動選局 する	自動選局 しない
?	?	?		
09	実装番号09（SL1）			
10	実装番号10（SL2）	外線番号01～20		

「自動選局しない」に設定した外線番号は、**発信**、メニュー操作からの短縮発信、**リダイヤル**、**オートダイヤル**、ダイヤルアクセス **0** による外線自動補捉において選択されなくなります。

**0** キーを押すと、実装番号が変わります。  
**発信** を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P314 自動選局指定（応答）

P314 自動選局（応答）  
 実装番号 1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

<初期設定>

実装番号1の外線01：自動応答する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
1	実装番号1	外線番号01～20	応答可	応答不可
?	?	?		
8	実装番号8	外線番号01～20		

**0** キーを押すと、実装番号が変わります。  
**発信** を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台に変わります。

**保留** を押す

### P315 外部スピーカ1ダイヤルイン着信音鳴動指定（昼）

P315 外部SP1 DI着信鳴動（昼）  
 DI番号 0 - - - - - <初期設定>

<初期設定>

ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし	
?	?			
32	ダイヤルイン32			

**発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
 01番台 10番台 20番台 30番台に変わります。

**保留** を押す

### P316 外部スピーカ1ダイヤルイン着信音鳴動指定（夜間A）

P316 外部SP1 DI着信鳴動（夜間A）  
 DI番号 0 - - - - - <初期設定>

<初期設定>

ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし	
?	?			
32	ダイヤルイン32			

**発信** を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
 01番台 10番台 20番台 30番台に変わります。

**保留** を押す

### P317 外部スピーカ1ダイヤルイン 着信音鳴動指定（夜間B）

P317 外部SP1 DI着信鳴動（夜間B）

DI番号 0 - - - - - <初期設定>

ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P318 外部スピーカ2ダイヤルイン 着信音鳴動指定（昼）

P318 外部SP2 DI着信鳴動（昼）

DI番号 0 - - - - - <初期設定>

ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P319 外部スピーカ2ダイヤルイン 着信音鳴動指定（夜間A）

P319 外部SP2 DI着信鳴動（夜間A）

DI番号 0 - - - - - <初期設定>

ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

### P320 外部スピーカ2ダイヤルイン 着信音鳴動指定（夜間B）

P320 外部SP2 DI着信鳴動（夜間B）

DI番号 0 - - - - - <初期設定>

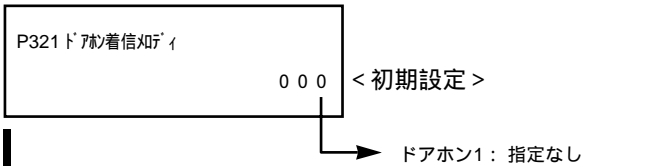
ダイヤルイン番号01：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
01	ダイヤルイン01	鳴動あり	鳴動なし
1	1		
32	ダイヤルイン32		

発信を押すごとに表示のダイヤルイン番号が、  
01番台 10番台 20番台 30番台 に変わります。

**保留** を押す

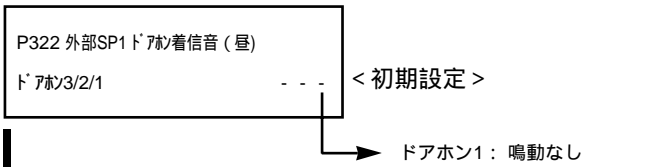
### P321 ドアホン着信メロディ指定



項目	内 容	初期値	設定値
1	ドアホン1	0	0: 指定なし(P032に従う)
2	ドアホン2		1: 保留メロディ
3	ドアホン3		2: 着信メロディ1 3: 着信メロディ2 4: 着信メロディ3

**保留** を押す

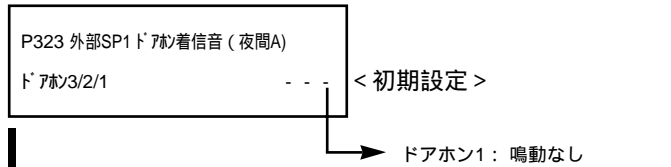
### P322 外部スピーカ1 ドアホン着信音指定 (昼)



項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

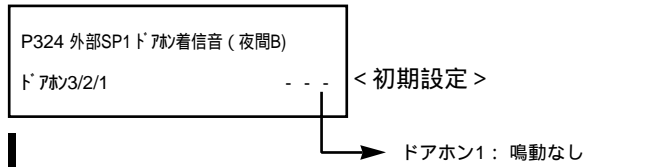
### P323 外部スピーカ1ドアホン 着信音指定 (夜間A)



項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

### P324 外部スピーカ1ドアホン 着信音指定 (夜間B)



項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

### P325 外部スピーカ2ドアホン 着信音指定（昼）

P325 外部SP2ドアホン着信音（昼）  
ドアホン3/2/1

--- <初期設定>

→ ドアホン1：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

### P326 外部スピーカ2ドアホン 着信音指定（夜間A）

P326 外部SP2ドアホン着信音（夜間A）  
ドアホン3/2/1

--- <初期設定>

→ ドアホン1：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

### P327 外部スピーカ2ドアホン 着信音指定（夜間B）

P327 外部SP2ドアホン着信音（夜間B）  
ドアホン3/2/1

--- <初期設定>

→ ドアホン1：鳴動なし

項目	内 容	設定値	
		数字表示	—表示
1	ドアホン1	鳴動あり	鳴動なし
2	ドアホン2		
3	ドアホン3		

**保留** を押す

# テナント対応

## P401 電話機の所属テナント指定

P401 電話機の所属テナント  
 実装番号 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 <初期設定>

実装番号 0 1 : テナント 1

項目	内 容	初期値	設定値
01	実装番号01	1	1 : テナント1
?	?		2 : テナント2
09	実装番号09 (SLI1)		3 : テナント3
10	実装番号10 (SLI2)		4 : テナント4
11	実装番号11 (ユーザー登録)		

[発信]を押すごとに表示の実装番号が、  
 01番台 10番台 と変わります。

**保留** を押す

## P402 テナント外線ボタン割付指定

P402 テナント外線ボタンの割付  
 テナント1  
 外線番号 0 0 0 0 0 1 1 1 1 <初期設定>

外線番号01 : 外線

項目	内 容	初期値	設定値
テナント1			
01	外線番号01	1	0 : オートダイヤル 1 : 外線 2 : VoIP(内蔵/外付けアダプタ) 3 : PBX内線
?	?		
04	外線番号04		
05	外線番号05	0	
?	?		
20	外線番号20		
テナント2~4			
01	外線番号01	0	
?	?		
20	外線番号20		

[保留]を押すとテナント番号が変わります。  
 [発信]を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

## P403 テナント1外線発信時の収容外線指定

P403 テナント1外線発信時の収容外線  
 外線番号 0 1  
 収容外線 4 3 2 - <初期設定>

<初期設定>

収容外線1 : 許可する

[保留] : 初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	外線番号01	収容外線01	許可しない	許可する
		収容外線02~04	許可しない	許可する
02	外線番号02	収容外線02	許可しない	許可する
		収容外線01、03~04	許可しない	許可する
03	外線番号03	収容外線03	許可しない	許可する
		収容外線01~02、04	許可しない	許可する
04	外線番号04	収容外線04	許可しない	許可する
		収容外線01~03	許可しない	許可する
05	外線番号05	収容外線01~04	許可しない	許可する
?	?	?	許可しない	許可する
20	外線番号20	収容外線01~04	許可しない	許可する

[保留]を押すと外線番号が変わります。  
 P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容1~4のみ設定可  
 P402でVoIPに設定されているボタンには収容1~4(外付けアダプタ)、収容5~20(内蔵)を設定することが可能です。  
 [発信]を押すごとに表示の収容外線が、  
 01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

### P404 テナント2外線発信時の 収容外線指定

P404 テナント2外線発信時の収容外線  
外線番号 0 1  
収容外線 4 3 2 1 <初期設定>

収容外線1：許可しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	外線番号01	収容外線1～4	許可しない	許可する
⋮	⋮	⋮		
20	外線番号20	収容外線1～4		

⊙ を押すと外線番号が変わります。

P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容1～4のみ設定可

P402でVoIPに設定されてるボタンには収容1～4（外付けアダプタ）、収容5～20（内蔵）を設定することが可能です。

発信を押すごとに表示の収容外線が、01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

### P405 テナント3外線発信時の 収容外線指定

P405 テナント3外線発信時の収容外線  
外線番号 0 1  
収容外線 4 3 2 1 <初期設定>

収容外線1：許可する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	外線番号01	収容外線1～4	許可しない	許可する
⋮	⋮	⋮		
20	外線番号20	収容外線1～4		

⊙ を押すと外線番号が変わります。

P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容1～4のみ設定可

P402でVoIPに設定されてるボタンには収容1～4（外付けアダプタ）、収容5～20（内蔵）を設定することが可能です。

発信を押すごとに表示の収容外線が、01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

### P406 テナント4外線発信時の 収容外線指定

P406 テナント4外線発信時の収容外線  
外線番号 0 1  
収容外線 4 3 2 1 <初期設定>

収容外線1：許可しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
01	外線番号01	収容外線1～4	許可しない	許可する
⋮	⋮	⋮		
20	外線番号20	収容外線1～4		

⊙ を押すと外線番号が変わります。

P402で外線もしくはPBX内線に設定されているボタンには収容1～4のみ設定可

P402でVoIPに設定されてるボタンには収容1～4（外付けアダプタ）、収容5～20（内蔵）を設定することが可能です。

発信を押すごとに表示の収容外線が、01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

### [A]P407 テナント1アナログ着信 着信外線指定

P407 テナント1アナログ着信 着信外線  
収容外線 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

外線番号01：指定する

項目	内 容		設定値	
			数字表示	－表示
1	収容外線1	外線番号01	指定しない	指定する
		外線番号02～20	指定しない	指定する
2	収容外線2	外線番号02	指定しない	指定する
		外線番号01、03～20	指定しない	指定する
3	収容外線3	外線番号03	指定しない	指定する
		外線番号01～02、04～20	指定しない	指定する
4	収容外線4	外線番号04	指定しない	指定する
		外線番号01～03、05～20	指定しない	指定する

⊙ を押すと収容外線が変わります。

発信を押すごとに表示の外線番号が、01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

[A]P408 テナント2アナログ着信  
着信外線指定

P408 テナント2アナログ着信 着信外線  
収容外線 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号01: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	収容外線1	外線番号01 ~ 20	指定しない	指定する
2	2	2		
4	収容外線4	外線番号01 ~ 20		

⊙ を押すと収容外線が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[A]P409 テナント3アナログ着信  
着信外線指定

P409 テナント3アナログ着信 着信外線  
収容外線 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号01: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	収容外線1	外線番号01 ~ 20	指定しない	指定する
2	2	2		
4	収容外線4	外線番号01 ~ 20		

⊙ を押すと収容外線が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[A]P410 テナント4アナログ着信  
着信外線指定

P410 テナント4アナログ着信 着信外線  
収容外線 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号01: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	収容外線1	外線番号01 ~ 20	指定しない	指定する
2	2	2		
4	収容外線4	外線番号01 ~ 20		

⊙ を押すと収容外線が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[D]P411 テナント1グローバル着信  
着信外線指定

P411 テナント1グローバル着信 着信外線  
ISDN 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - -

< 初期設定 >

外線番号01: 指定する

初期設定

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ISDN1	外線番号01、02	指定しない	指定する
		外線番号03 ~ 20	指定しない	指定する
2	ISDN2	外線番号03、04	指定しない	指定する
		外線番号01、02、05 ~ 20	指定しない	指定する

⊙ を押すとISDN番号が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[D]P412 テナント2グローバル着信  
着信外線指定

p412 テナント2グローバル着信 着信外線  
ISDN 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号1: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ISDN1	外線番号01~20	指定しない	指定する
2	ISDN2	外線番号01~20		

⊙ を押すとISDN番号が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[D]P413 テナント3グローバル着信  
着信外線指定

P413 テナント3グローバル着信 着信外線  
ISDN 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号1: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ISDN1	外線番号01~20	指定しない	指定する
2	ISDN2	外線番号01~20		

⊙ を押すとISDN番号が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

[D]P414 テナント4グローバル着信  
着信外線指定

P414 テナント4グローバル着信 着信外線  
ISDN 1  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号1: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	ISDN1	外線番号01~20	指定しない	指定する
2	ISDN2	外線番号01~20		

⊙ を押すとISDN番号が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

P415 テナント1ダイヤルイン着信  
着信外線指定

P415 テナント1ダイヤルイン着信 着信外線  
DI番号 01  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

< 初期設定 >

外線番号01: 指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号01	外線番号01~20	指定しない	指定する
1	1	1		
32	ダイヤルイン番号32	外線番号01~20		

⊙ を押すとダイヤルイン番号が変わります。  
発信 を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留 を押す

### P416 テナント2ダイヤルイン着信 着信外線指定

P416 テナント2ダイヤルイン着信 着信外線  
DI番号01  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

→ 外線番号01：指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号01	外線番号01~20	指定しない	指定する
?	?	?		
32	ダイヤルイン番号32	外線番号01~20		

⊙ を押すとダイヤルイン番号が変わります。  
 [発信] を押しごとの表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P417 テナント3ダイヤルイン着信 着信外線指定

P417 テナント3ダイヤルイン着信 着信外線  
DI番号01  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

→ 外線番号01：指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号01	外線番号01~20	指定しない	指定する
?	?	?		
32	ダイヤルイン番号32	外線番号01~20		

⊙ を押すとダイヤルイン番号が変わります。  
 [発信] を押しごとの表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P418 テナント4ダイヤルイン着信 着信外線指定

P418 テナント4ダイヤルイン着信 着信外線  
DI番号01  
外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

<初期設定>

→ 外線番号01：指定しない

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
01	ダイヤルイン番号01	外線番号01~20	指定しない	指定する
?	?	?		
32	ダイヤルイン番号32	外線番号01~20		

⊙ を押すとダイヤルイン番号が変わります。  
 [発信] を押しごとの表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P419 外線捕捉時表示 / 発信者 番号指定

P419 外線捕捉時/発信者番号  
テナント1  
外線番号 0 1 :

<初期設定>

項目	内 容		数字表示	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	指定なし	最大13桁のダイヤル番号
?	?	?		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
 [発信] を押しごとの表示の外線番号が変わります。

### P419 プログラム番号P419

[例]外線1の電話番号が0.-3493-5111の場合。

1            
  を押す

P419 外線捕捉時/発信者番号  
 テナント1  
 外線番号 0 1 : 03-3493-5111

カーソル ←

を押すと、「 - 」が表示されます。  
 を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

### [D]P420 発信者番号通知指定

P420 発信者番号通知  
 テナント1  
 外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 <初期設定>

→ 外線番号01 : 通知する

項目	内 容	設定値	
		数字表示	-表示
1	テナント1 外線番号01~20	通知する	通知しない
ゝ	ゝ		
4	テナント4 外線番号01~20		

を押すとテナント番号が変わります。  
 を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P421 外線着信音周期指定

P421 外線着信音周期  
 テナント1  
 外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 1 <初期設定>

→ 外線番号01 : 着信音 A

項目	内 容	初期値	設定値
1	テナント1 外線番号01-20	01	01 : 着信音A 02 : 着信音B 03 : 着信音C 04 : 着信音D 05 : 着信音E 06 : 着信音F 07 : 着信音G 08 : 着信音H 09 : 保留メロディ 10 : 着信メロディ1 11 : 着信メロディ2 12 : 着信メロディ3
ゝ	ゝ		
4	テナント4 外線番号01-20		

を押すとテナント番号が変わります。  
 を押すごとに表示の外線番号が変わります。

**保留** を押す

### P422 着信音種別指定

P422 着信音種別指定  
 テナント1  
 外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

→ 外線番号01 : 低

項目	内 容	初期値	設定値
1	テナント1 外線番号01~20	0	0 : 低 1 : 中 2 : 高
ゝ	ゝ		
4	テナント4 外線番号01~20		

P421で01~04 (着信音A~D) に設定した場合に限り適用する。

を押すとテナント番号が変わります。  
 を押すごとに表示の外線番号が、  
 01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P423 非通知着信音周期指定

P423 非通知着信音周期  
テナント 1  
外線番号 0 1 = 鳴動周期 0 0 <初期設定>

<初期設定>

外線番号01：指定なし(P421に従う)

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	00	00：指定なし(P421に従う)
				01：着信音A
				02：着信音B
				03：着信音C
			04：着信音D	
			05：着信音E	
			06：着信音F	
			07：着信音G	
			08：着信音H	
			09：保留メロディ	
			10：着信メロディ1	
			11：着信メロディ2	
4	テナント4	外線番号01~20		12：着信メロディ3

を押すとテナント番号が変わります。

発信を押すごとに表示の外線番号変わります。

保留を押す

### P424 非通知着信音種別指定

P424 非通知着信音種別  
テナント 1  
外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

<初期設定>

外線番号01：低

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	0	0：低
				1：中
				2：高
4	テナント4	外線番号01~20		

P423で01~04（着信音A~D）に設定した場合に限り適用する。

を押すとテナント番号が変わります。

発信を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台と変わります。

保留を押す

### P425 外線転送テナント (自動/手動)指定

P425 外線自動転送テナント

外線転送4/3/2/1 1 1 1 1 <初期設定>

テナント 1

項目	内 容		初期値	設定値
1	外線転送1		1	1：テナント1
2	外線転送2			2：テナント2
3	外線転送3			3：テナント3
4	外線転送4			4：テナント4

保留を押す

### P426 外線自動転送（発信側）指定

P426 外線自動転送（発信側）

外線転送1 = 外線番号 0 0 <初期設定>

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	外線転送1		00	00：指定なし
				01~20：外線番号01~20
4	外線転送4			

発信側外線に指定した外線は、着信側指定において「指定しない」に変更されます。

発信側外線にアナログ回線を指定することはできません（指定しても外線自動転送モードのセットができません）。ただし、VoIP外線は指定できます。

発信を押すごとに表示の外線転送番号が変わります。

保留を押す

### P427 外線自動転送（着信側）指定

P427 外線自動転送（着信側）  
 テナント1  
 外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

<初期設定>

指定しない

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	0	0: 指定しない 1: 転送1:D-D一次応答なし[D] 2: 転送1:D-D一次応答あり[D] 3: 転送2:D-D一次応答なし[D] 4: 転送2:D-D一次応答あり[D] 5: 転送3:D-D一次応答なし[D] 6: 転送3:D-D一次応答あり[D] 7: 転送4:D-D一次応答なし[D]
2	テナント2	外線番号01~20		
3	テナント3	外線番号01~20		
4	テナント4	外線番号01~20		8: 転送4:D-D一次応答あり[D]

☎ キーを押すと、テナント番号が変わります。

発信を押すごとに表示の外線番号が、01番台 10番台 20番台と変わります。アナログ回線およびアナログ収容のVoIP外線を指定することはできません。発信側外線に指定している外線は、着信側外線に指定することはできません。外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC1~4使途指定」で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。

**保留** を押す

### P428 留守番自動応答指定

P428 留守番自動応答  
 テナント1  
 外線番号 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>

<初期設定>

外線番号01: 自動応答しない

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	0	0: 自動応答しない 1: REC1が自動応答 3: REC3が自動応答
2	テナント2	外線番号01~20		
3	テナント3	外線番号01~20		
4	テナント4	外線番号01~20		4: REC4が自動応答

☎ キーを押すと、テナント番号が変わります。

発信を押すごとに表示の外線番号が、01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P429 テナント1発信許可 / 規制ダイヤル指定

P429 テナント1発信許可/規制ダイヤル  
 外線番号01  
 テーブル 0 1 :

<初期設定>

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		テーブル40		
		テーブル01		
20	外線番号20	テーブル01		
		テーブル40		
		テーブル40		

☎ を押すと外線番号が変わります。

発信を押すごとに表示のテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

### P430 テナント2発信許可 / 規制ダイヤル指定

P430 テナント2発信許可/規制ダイヤル  
 外線番号01  
 テーブル 0 1 :

<初期設定>

指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		テーブル40		
		テーブル01		
20	外線番号20	テーブル01		
		テーブル40		
		テーブル40		

☎ を押すと外線番号が変わります。

発信を押すごとに表示のテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

### P431 テナント3発信許可 / 規制 ダイヤル指定

P431 テナント3発信許可/規制ダイヤル  
外線番号01  
テーブル 0 1 : <初期設定>  
→ 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ	ゝ	ゝ		
		テーブル01		
		ゝ		
20	外線番号20	テーブル01		
		ゝ		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

### P432 テナント4発信許可 / 規制 ダイヤル指定

P432 テナント4発信許可/規制ダイヤル  
外線番号01  
テーブル 0 1 : <初期設定>  
→ 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	指定なし	最大12桁まで
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ	ゝ	ゝ		
		テーブル01		
		ゝ		
20	外線番号20	テーブル01		
		ゝ		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が変わります。

**保留** を押す

### P433 テナント1発信許可 / 規制 指定

P433 テナント1発信許可/規制  
外線番号01  
テーブル 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>  
→ 未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	0	0 : 未使用 1 : 許可する 2 : 規制する
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ	ゝ	ゝ		
		テーブル01		
		ゝ		
20	外線番号20	テーブル01		
		ゝ		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が  
01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わ  
ります。

**保留** を押す

### P434 テナント2発信許可 / 規制 指定

P434 テナント2発信許可/規制  
外線番号01  
テーブル 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 <初期設定>  
→ 未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	0	0 : 未使用 1 : 許可する 2 : 規制する
		ゝ		
		テーブル40		
ゝ	ゝ	ゝ		
		テーブル01		
		ゝ		
20	外線番号20	テーブル01		
		ゝ		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が  
01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わ  
ります。

**保留** を押す

### P435 テナント3発信許可 / 規制指定

P435 テナント3発信許可/規制  
外線番号01  
テーブル 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

< 初期設定 >

→ 未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		⋮		
		テーブル40		
⋮	⋮	⋮		
20	外線番号20	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		⋮		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が  
01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わ  
ります。

**保留** を押す

### P436 テナント4発信許可 / 規制指定

P436 テナント4発信許可/規制  
外線番号01  
テーブル 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

< 初期設定 >

→ 未使用

項目	内 容		初期値	設定値
01	外線番号01	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		⋮		
		テーブル40		
⋮	⋮	⋮		
20	外線番号20	テーブル01	0	0: 未使用 1: 許可する 2: 規制する
		⋮		
		テーブル40		

⊙ を押すと外線番号が変わります。  
発信を押すごとに表示のテーブル番号が  
01番台 10番台 20番台 30番台 40番台と変わ  
ります。

**保留** を押す

### [A]P437 個別着信(DIT)指定(昼)

P437 CO個別着信(DIT) (昼)  
テナント1  
外線番号 0 1 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「外線番号XX = 内線 XXX」  
と表示されます。  
< 初期設定 >

→ 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
⋮	⋮	⋮		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
\*を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

### [A]P438 個別着信(DIT)指定(夜間A)

P438 CO個別着信(DIT) (夜間A)  
テナント1  
外線番号 0 1 = 内線番号

内線番号桁数が3桁の場合、  
「外線番号XX = 内線 XXX」  
と表示されます。  
< 初期設定 >

→ 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
⋮	⋮	⋮		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
\*を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

**[A]P439 個別着信(DIT)指定(夜間B)**

P439 CO個別着信(DIT) (夜間B)  
 テナント1  
 外線番号 0 1 = 内線番号  
 <初期設定>  
 内線番号桁数が3桁の場合、「外線番号XX = 内線 XXX」と表示されます。  
 <初期設定>  
 指定なし

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	指定なし	内線番号10~89 内線3桁モードの場合(100~899)
?	?	?		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が変わります。  
 ✖ を押すと表示されている内容が消去されます

**保留** を押す

**[A]P440 個別着信(DIT)の遅延応答時間指定**

P440 CO個別着信DIT遅延応答時間  
 テナント1  
 外線番号 0 2 2 2 2 2 2 2 2 2  
 <初期設定>  
 10秒

項目	内 容		初期値	設定値
1	テナント1	外線番号01~20	2	0:0秒
?	?	?		1:5秒
?	?	?		2:10秒
?	?	?		3:20秒
4	テナント4	外線番号01~20		4:30秒
				5:40秒
				6:50秒
				7:60秒

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が  
 01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

**P441 外部スピーカ1 着信音鳴動指定(昼)**

P441 外部SP1 着信音鳴動(昼)  
 テナント1  
 外線番号 0 - - - - -  
 <初期設定>  
 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が  
 01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

**P442 外部スピーカ1 着信音鳴動指定(夜間A)**

P442 外部SP1 着信音鳴動(夜間A)  
 テナント1  
 外線番号 0 - - - - -  
 <初期設定>  
 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
?	?	?		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
 発信を押すごとに表示の外線番号が  
 01番台 10番台 20番台 と変わります。

**保留** を押す

### P443 外部スピーカ1 着信音 鳴動指定 (夜間B)

P443 外部SP1 着信音鳴動(夜間B)  
テナント1  
外線番号 0 ----- <初期設定>

→ 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	—表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	3	4		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が  
01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P444 外部スピーカ2 着信音 鳴動指定 (昼)

P444 外部SP2 着信音鳴動(昼)  
テナント1  
外線番号 0 ----- <初期設定>

→ 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	—表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	3	4		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が  
01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P445 外部スピーカ2 着信音 鳴動指定 (夜間A)

P445 外部SP2 着信音鳴動(夜間A)  
テナント1  
外線番号 0 ----- <初期設定>

→ 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	—表示
01	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	3	4		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が  
01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P446 外部スピーカ2 着信音 鳴動指定 (夜間B)

P446 外部SP2 着信音鳴動(夜間B)  
テナント1  
外線番号 0 ----- <初期設定>

→ 鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	—表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	3	4		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が  
01番台 10番台 20番台と変わります。

**保留** を押す

### P447 外部スピーカ1 コールバック着信音鳴動指定

P447 外部SP1 コールバック着信音鳴動  
テナント1  
外線番号 0 - - - - -

<初期設定>

外線番号01：鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	テナント2	外線番号01~20		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

### P448 外部スピーカ2 コールバック着信音鳴動指定

P448 外部SP2 コールバック着信音鳴動  
テナント1  
外線番号 0 - - - - -

<初期設定>

外線番号01：鳴動なし

項目	内 容		設定値	
			数字表示	一表示
1	テナント1	外線番号01~20	鳴動あり	鳴動なし
2	テナント2	外線番号01~20		
4	テナント4	外線番号01~20		

⊙ を押すとテナント番号が変わります。  
発信を押すごとに表示の外線番号が、  
01番台 10番台 20番台 に変わります。

**保留** を押す

### P449 通報発信外線テナント指定

P449 通報発信外線テナント  
グループ B/A 1 1

グループA：テナント1

項目	内 容	初期値	設定値
1	グループA	1	1：テナント1 2：テナント2 3：テナント3 4：テナント4
2	グループB		

**保留** を押す

### P450 通報発信外線指定

P450 通報発信外線  
グループ A = 外線番号0 0

グループA：指定なし

項目	内 容	初期値	設定値
1	グループA	00	00：指定なし
2	グループB		01~20：外線番号

P402で1（外線）を設定した場合に限り指定可。  
発信を押すごとに表示のグループが変わります。

**保留** を押す

# 携帯ACR対応

## P501 キャリアアクセスコード指定

P501 キャリアアクセスコード  
—

< 初期設定 >

指定なし

初期設定	設定変更
指定なし	最大12桁で指定

⌘を押すと表示されている内容が消去されます。

**保留** を押す

## P502 キャリア選択識別番号指定

P502 キャリア選択識別番号  
識別番号 001  
090

< 初期設定 >

識別番号 : 090

項目	内 容	初期値	設定値
001	キャリア選択識別番号01	090	最大8桁のダイヤル番号
002	キャリア選択識別番号02	0801	
003	キャリア選択識別番号03	0802	
004	キャリア選択識別番号04	0803	
005	キャリア選択識別番号05	0804	
006	キャリア選択識別番号06	0805	
007	キャリア選択識別番号07	0806	
008	キャリア選択識別番号08	0807	
009	キャリア選択識別番号09	0808	
010	キャリア選択識別番号10	0809	
011	キャリア選択識別番号11	指定なし	
⋮	⋮	⋮	
120	キャリア選択識別番号120	指定なし	

⌚を押すと識別番号が変わります。  
最大8桁まで登録可能。  
ダイヤル1~9、0のみ登録可能とする。

**保留** を押す

## P503 キャリアアクセス表示指定

P503 キャリアアクセス表示  
携帯ACR アクセス  
入力開始 = 発信 入力終了 = 確定

< 初期設定 >

初期設定	設定値
指定なし	最大全角16桁

発信を押下すると、入力を開始します。  
設定方法は、電話帳登録と同じです。  
確定を押すと、入力終了です。

**保留** を押す

## P001 システム設定1に戻る

# 8 機能別プログラム設定

プログラム内容の詳細、プログラム設定については、プログラム設定方法の該当項目をご覧ください。

## ▶ (1) 機能編

各機能をご利用になる場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

### 基本編

  : 初期設定

主な機能名および概要		プログラム設定内容																																								
1	<p><b>外線発信優先モード</b> 受話器を上げるだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定 WS子機のクイック通話機能にも有効</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	<p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&amp;ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	<p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&amp;ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線&ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)	<p>【P313】 実装番号01～10 自動選局指定(発信)</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない	<p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </table> <p>・「外線優先モード」に設定 初期値は実装番号01～08が内線優先モード、実装番号09,10が外線優先モード。</p>	表示	内容	数字表示	内線優先モード	-表示	外線優先モード
表示	内容																																									
数字表示	老番から																																									
-表示	若番から																																									
表示	内容																																									
0	未使用																																									
1	局線&ISDN																																									
2	PBX内線																																									
表示	内容																																									
0	未収容																																									
1	局線&ISDN																																									
2	PBX内線																																									
3	VoIP(外付け)																																									
表示	内容																																									
数字表示	自動選局する																																									
-表示	自動選局しない																																									
表示	内容																																									
数字表示	内線優先モード																																									
-表示	外線優先モード																																									
2	<p><b>自動選局発信</b> <span style="border: 1px solid black; padding: 1px;">発信</span>を押すだけで空き外線を自動的に捕捉する。</p>	<p>【P001-9】 外線自動選局順位指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>老番から</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>若番から</td></tr> </table> <p>・自動捕捉時の外線の順位を設定</p>	表示	内容	数字表示	老番から	-表示	若番から	<p>【P010】 発信選局指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>0</td><td>未使用</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&amp;ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> </table> <p>・自動捕捉時の外線の種別を設定</p>	表示	内容	0	未使用	1	局線&ISDN	2	PBX内線	<p>【P101】 外線収容および外線種別指定</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>0</td><td>未収容</td></tr> <tr><td>1</td><td>局線&amp;ISDN</td></tr> <tr><td>2</td><td>PBX内線</td></tr> <tr><td>3</td><td>VoIP(外付け)</td></tr> </table> <p>・外線の種別を外線ごとに設定</p>	表示	内容	0	未収容	1	局線&ISDN	2	PBX内線	3	VoIP(外付け)	<p>【P313】 実装番号01～10 自動選局指定(発信)</p> <table border="1"> <tr><td>表示</td><td>内容</td></tr> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>-表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </table> <p>・「自動選局する」に設定</p>	表示	内容	数字表示	自動選局する	-表示	自動選局しない							
表示	内容																																									
数字表示	老番から																																									
-表示	若番から																																									
表示	内容																																									
0	未使用																																									
1	局線&ISDN																																									
2	PBX内線																																									
表示	内容																																									
0	未収容																																									
1	局線&ISDN																																									
2	PBX内線																																									
3	VoIP(外付け)																																									
表示	内容																																									
数字表示	自動選局する																																									
-表示	自動選局しない																																									



主な機能名および概要		プログラム設定内容													
6	<p><b>着信自動応答</b> 外線に着信があったとき、受話器を上げるだけで応答できる。</p>	<p>【P314】 実装番号1~8 自動選局指定(応答)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>応答可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>応答不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「応答可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	応答可	-表示	応答不可							
表示	内容														
数字表示	応答可														
-表示	応答不可														
7	<p><b>保留</b> 保留操作により外線通話中の相手に待ってもらうときに、保留音を流す。</p>	<p>【P004】 保留警報タイマ指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>1分</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>2分</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>3分</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4分</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>無制限</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	0	1分	1	2分	2	3分	3	4分	4	無制限	<p>保留操作後に、保留警告音が鳴るまでの時間を変更できる。</p>
表示	内容														
0	1分														
1	2分														
2	3分														
3	4分														
4	無制限														
8	<p><b>自動転送</b> 外線を保留し、内線通話後に外線通話を転送する。</p>	<p>【P001-5】 自動転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可	<p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>自動転送および強制転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
9	<p><b>強制転送</b> 外線を保留し、他の内線に外線通話を直接転送する。</p>	<p>【P001-4】 強制転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「可」に設定</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可	<p>【P001-6】 オンフック転送指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>-表示</td> <td>不可</td> </tr> </tbody> </table> <p>強制転送および自動転送の転送方法を変更できる。</p>	表示	内容	数字表示	可	-表示	不可
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
表示	内容														
数字表示	可														
-表示	不可														
10	<p><b>電話機グループ呼出</b> 電話機をグループ(A、B、C、D)に分け、グループごとに呼び出しができる。</p>	<p>【P203】 電話機グループ呼出指定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>無所属</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>グループA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>グループB</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>グループC</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>グループD</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	0	無所属	1	グループA	2	グループB	3	グループC	4	グループD	<p>実装番号ごとに、所属するグループを設定できる。</p>
表示	内容														
0	無所属														
1	グループA														
2	グループB														
3	グループC														
4	グループD														

## 応用編

□: 初期設定

	主な機能名および概要	プログラム設定内容																				
1	<p>内線代表番号での呼び出し設定されている電話機を呼び出す。</p>	<p>【P061】 内線番号桁数指定指定</p> <table border="1" data-bbox="719 356 984 441"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td>2桁(10～89)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3桁(100～899)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P201】 内線番号指定</p> <table border="1" data-bbox="719 512 1212 622"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号01～10を 内線番号10～19で表示</td> <td>_____</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号ごとに、内線番号を変更できる。</p> <p>【P202】 内線代表番号指定</p> <table border="1" data-bbox="719 692 1212 801"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実装番号01～10</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・実装番号毎に話中の場合、次に呼び出す内線番号を設定する。</p>	表示	内容	2	2桁(10～89)	3	3桁(100～899)	表示	内容	実装番号01～10を 内線番号10～19で表示	_____	設定変更	実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定	表示	内容	実装番号01～10	指定なし	設定変更	実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定		
表示	内容																					
2	2桁(10～89)																					
3	3桁(100～899)																					
表示	内容																					
実装番号01～10を 内線番号10～19で表示	_____																					
設定変更	実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定																					
表示	内容																					
実装番号01～10	指定なし																					
設定変更	実装番号01～10を内線番号10～89 (内線3桁モードは100～899)の範囲で指定																					
2	<p>通話時間表示 外線通話中にその通話時間を表示する。</p> <p>通話料金表示 デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示される。</p>	<p>【P012】 外線通話表示指定</p> <table border="1" data-bbox="719 875 946 985"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>料金</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>時間、料金</td> </tr> </tbody> </table> <p>時間：通話時間のみ表示 料金：通話料金を表示 時間、料金：通話時間と通話料金を表示</p> <p>・通話料金は、デジタル回線の料金情報通知サービスにより、発信通話終了後に表示します。</p> <p>【P002-0】 通話料金表示フォーマット指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1178 984 1263"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>小数点以下は表示しない</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>小数点第1位まで表示する</td> </tr> </tbody> </table> <p>・通話料金表示および通話料金集計表示時に料金を小数点第1位まで表示するか否かを指定。</p> <p>【P013】 課金係数指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1364 946 1449"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10</td> <td>1倍</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>01～99</td> </tr> </tbody> </table> <p>通話料金を表示すると、この1度数当たりの通話料金を変更できる。 01は0.1倍で99は9.9倍になる。</p>	表示	内容	0	時間	1	料金	2	時間、料金	表示	内容	数字表示	小数点以下は表示しない	一表示	小数点第1位まで表示する	表示	内容	10	1倍	設定変更	01～99
表示	内容																					
0	時間																					
1	料金																					
2	時間、料金																					
表示	内容																					
数字表示	小数点以下は表示しない																					
一表示	小数点第1位まで表示する																					
表示	内容																					
10	1倍																					
設定変更	01～99																					
3	<p>自動PB切替 ダイヤル回線からの外線発信後、相手の応答により、その後のダイヤルが自動的にPBダイヤルに切り替わる。</p>	<p>【P001-0】 自動PB信号切替指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1579 946 1664"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>有</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「有」に設定。</p>	表示	内容	数字表示	有	一表示	無														
表示	内容																					
数字表示	有																					
一表示	無																					
4	<p>外線通話割込 外線通話中の他の電話機に割り込むことができる。</p>	<p>【P206】 外線通話割込指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1758 946 1843"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>割込不可</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>割込可</td> </tr> </tbody> </table> <p>・外線通話中に他の電話機に割り込む電話機を実装番号ごとに「割込可」に設定変更。</p>	表示	内容	数字表示	割込不可	一表示	割込可														
表示	内容																					
数字表示	割込不可																					
一表示	割込可																					

## ▶(2) オプション編

オプションおよび接続機器を接続する場合は、下記のプログラム設定を行ってください。

印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

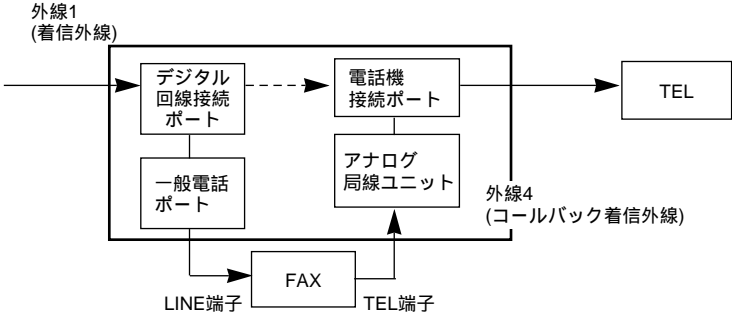
   : 初期設定

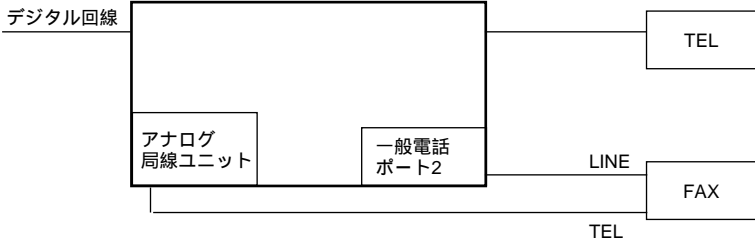
主な機能名および概要	プログラム設定内容																																										
<p>1</p> <p><b>電気錠</b> ドアページングユニット 【DRPG500(B)】が必要です。</p>	<p>【P035】 リレー制御指定 (リレー-1、2)</p> <table border="1" data-bbox="646 506 987 792"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>電気錠1(ドアホン1)</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電気錠2(ドアホン2)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>電気錠3(ドアホン3)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>外部スピーカ1</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>外部スピーカ2</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>外部保留音源&amp;BGM</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Webカメラ(セーフティAに連動)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Webカメラ(セーフティBに連動)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Webカメラ(セーフティA・Bの両方に連動)</td> </tr> </tbody> </table> <p>電気錠1(ドアホン1)～電気錠3(ドアホン3)に設定変更。 各ドアホンと通話中にドアロック解錠を行う場合は、同じ番号の電気錠に設定してください。</p>	表示	内容	0	未使用	1	電気錠1(ドアホン1)	2	電気錠2(ドアホン2)	3	電気錠3(ドアホン3)	4	外部スピーカ1	5	外部スピーカ2	6	外部保留音源&BGM	7	Webカメラ(セーフティAに連動)	8	Webカメラ(セーフティBに連動)	9	Webカメラ(セーフティA・Bの両方に連動)																				
表示	内容																																										
0	未使用																																										
1	電気錠1(ドアホン1)																																										
2	電気錠2(ドアホン2)																																										
3	電気錠3(ドアホン3)																																										
4	外部スピーカ1																																										
5	外部スピーカ2																																										
6	外部保留音源&BGM																																										
7	Webカメラ(セーフティAに連動)																																										
8	Webカメラ(セーフティBに連動)																																										
9	Webカメラ(セーフティA・Bの両方に連動)																																										
<p>2</p> <p><b>構内放送設備</b> ドアページングユニット 【DRPG500(B)】が必要です。</p>	<p>【P032】 ドアホン着信音および外部スピーカ呼出時の予告音種別指定</p> <table border="1" data-bbox="643 898 1059 1032"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>送出不しい</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ピンポーン・パンポーン</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ピンポーン・ピンポーン…</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ピン・ポーン・パン・ポーン</td> </tr> </tbody> </table> <p>構内放送時、予告音を出す場合は「0以外」に設定。</p> <p>【P035】 リレー制御指定 (リレー-1、2)</p> <table border="1" data-bbox="643 1164 984 1254"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>外部スピーカ1</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>外部スピーカ2</td> </tr> </tbody> </table> <p>「外部スピーカ1、2」に設定変更。</p> <p>【P065】 外部スピーカドアホン 着信鳴動テナント指定</p> <table border="1" data-bbox="643 1442 1059 1554"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>テナント1の夜間モードに従う</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テナント2の夜間モードに従う</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>テナント3の夜間モードに従う</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>テナント4の夜間モードに従う</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P441～446】 テナント1～4 外部スピーカ1,2着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" data-bbox="643 1688 984 1762"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>鳴動する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>鳴動しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P315～320】 外部スピーカ1,2 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" data-bbox="643 1888 984 1962"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>鳴動する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>鳴動しない</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	0	送出不しい	1	ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン	2	ピンポーン・パンポーン	3	ピンポーン・ピンポーン…	4	ピン・ポーン・パン・ポーン	表示	内容	0	未使用	4	外部スピーカ1	5	外部スピーカ2	表示	内容	1	テナント1の夜間モードに従う	2	テナント2の夜間モードに従う	3	テナント3の夜間モードに従う	4	テナント4の夜間モードに従う	表示	内容	数字表示	鳴動する	一表示	鳴動しない	表示	内容	数字表示	鳴動する	一表示	鳴動しない
表示	内容																																										
0	送出不しい																																										
1	ピンポーン・ピンポーン・ピンポーン																																										
2	ピンポーン・パンポーン																																										
3	ピンポーン・ピンポーン…																																										
4	ピン・ポーン・パン・ポーン																																										
表示	内容																																										
0	未使用																																										
4	外部スピーカ1																																										
5	外部スピーカ2																																										
表示	内容																																										
1	テナント1の夜間モードに従う																																										
2	テナント2の夜間モードに従う																																										
3	テナント3の夜間モードに従う																																										
4	テナント4の夜間モードに従う																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動する																																										
一表示	鳴動しない																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動する																																										
一表示	鳴動しない																																										

次ページへ➡

主な機能名および概要	プログラム設定内容																								
<p>2 構内放送設備 ドアページングユニット 【DRPG500(B)】が必要です。</p>	<p>【P322～327】 外部スピーカ1,2 ドアホン着信指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1" data-bbox="719 342 1059 416"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>鳴動あり</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>鳴動なし</td> </tr> </tbody> </table>	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし																		
表示	内容																								
数字表示	鳴動あり																								
一表示	鳴動なし																								
<p>3 外部保留音源装置 外部保留音源装置をリレー制御する場合は、ドアページングユニット【DRPG500(B)】が必要です。</p>	<p>【P003-3】 外部保留音指定</p> <table border="1" data-bbox="719 562 948 645"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>未接続</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>接続</td> </tr> </tbody> </table> <p>「接続」に設定。</p> <p>【P035】 リレー制御指定 (リレー1、2)</p> <table border="1" data-bbox="984 562 1324 645"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>外部保留音源&amp;BGM</td> </tr> </tbody> </table> <p>「外部保留音源&amp;BGM」に設定変更。</p>	表示	内容	数字表示	未接続	一表示	接続	表示	内容	0	未使用	6	外部保留音源&BGM												
表示	内容																								
数字表示	未接続																								
一表示	接続																								
表示	内容																								
0	未使用																								
6	外部保留音源&BGM																								
<p>4 BGM放送 電話機未使用の場合、電話機のスピーカや構内放送設備からBGMを流すことができる。 BGM音源装置が必要です。 BGM音源装置をリレー制御する場合は、ドアページングユニット【DRPG500(B)】が必要です。</p>	<p>【P003-4】 BGM指定</p> <table border="1" data-bbox="719 815 948 898"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>未接続</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>接続</td> </tr> </tbody> </table> <p>「接続」に設定。</p> <p>【P031-1】 外部スピーカ1へのBGM送出指定</p> <table border="1" data-bbox="719 994 948 1077"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>送出しない</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>送出する</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P031-2】 外部スピーカ2へのBGM送出指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1144 948 1227"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>送出しない</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>送出する</td> </tr> </tbody> </table> <p>【P035】 リレー制御指定 (リレー1、2)</p> <table border="1" data-bbox="1078 860 1422 943"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>外部保留音源&amp;BGM</td> </tr> </tbody> </table> <p>「外部保留音源&amp;BGM」に設定変更。</p> <p>電話機のスピーカからBGMを流すときは、下記の設定が必要です。</p> <div data-bbox="919 1290 1334 1653" style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">BGM放送の設定方法</p> <p style="text-align: center;">TD・PF電話機</p> <p style="text-align: center;">☎ → (機能) → 9 3 →</p> <p style="text-align: center;">→ (機能)</p> <p>本操作を繰り返すとBGM放送は解除されます。 電話機ごとに本操作を行ってください。</p> </div>	表示	内容	数字表示	未接続	一表示	接続	表示	内容	数字表示	送出しない	一表示	送出する	表示	内容	数字表示	送出しない	一表示	送出する	表示	内容	0	未使用	6	外部保留音源&BGM
表示	内容																								
数字表示	未接続																								
一表示	接続																								
表示	内容																								
数字表示	送出しない																								
一表示	送出する																								
表示	内容																								
数字表示	送出しない																								
一表示	送出する																								
表示	内容																								
0	未使用																								
6	外部保留音源&BGM																								
<p>5 一般電話機</p>	<p>内線優先モードのとき</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1" data-bbox="719 1794 948 1877"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>PB</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>DP</td> </tr> </tbody> </table> <p>・一般電話機の種別(DPまたはPB)に合わせる。</p> <p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1" data-bbox="984 1794 1212 1877"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>内線優先モード</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>外線優先モード</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「内線優先モード」に設定</p> <p>初期値の実装番号01～08は内線優先モード。実装番号09、10(単独)は外線優先モード。</p> <p>内線捕捉状態からの☐ダイヤルによる捕捉外線は「ダイヤル0選局発信」の設定(Std-170ページ)による。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ➡</p>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード												
表示	内容																								
数字表示	PB																								
一表示	DP																								
表示	内容																								
数字表示	内線優先モード																								
一表示	外線優先モード																								

主な機能名および概要	プログラム設定内容																																										
<p>5 一般電話機</p>	<p>外線優先モードのとき 外線優先モードのときは、一般電話機からの内線呼出はフッキング操作により、内線モードに切り替わります。</p> <p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </table> <p>・一般電話機の種別(DPまたはPB)に合わせる。</p> <p>外線発信時の捕捉外線は「自動選局発信」の設定(Std-169ページ)による。</p> <p>【P212】 発信優先モード指定</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>内線優先モード</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>外線優先モード</td></tr> </table> <p>・「外線優先モード」に設定</p> <p>初期値の実装番号01～08は内線優先モード。実装番号09、10(単独)は外線優先モード。</p>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	内線優先モード	一表示	外線優先モード																														
表示	内容																																										
数字表示	PB																																										
一表示	DP																																										
表示	内容																																										
数字表示	内線優先モード																																										
一表示	外線優先モード																																										
<p>6 FAX</p>	<p>【P213】 一般電話機の種別指定</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>PB</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>DP</td></tr> </table> <p>・FAXの種別(DP・PB)に合わせる。</p> <p>【P215～P217】 ドアホン1～3 着信音指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動しない</td></tr> </table> <p>・FAX収容の実装番号のみ「鳴動しない」に設定変更。P216(夜間A)、P217(夜間B)の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動です。</p> <p>【P301】 実装番号1～10 通常着信指定</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>指定する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定しない</td></tr> </table> <p>【P302～P304】 実装番号1～10 外線1～20 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </table> <p>P303、P304の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動します。</p> <p>【P305】 実装番号1～10 ダイヤルイン1～32着信 着信電話機指定</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>指定する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定しない</td></tr> </table> <p>【P306～P308】 実装番号1～10 ダイヤルイン1～32着信音鳴動 指定(昼、夜間A、夜間B)</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動あり</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動なし</td></tr> </table> <p>P307、P308の初期設定は、実装番号1、2のみ鳴動します。</p> <p>・FAX受信外線は「鳴動する」または「指定する」とし、それ以外の外線は「鳴動しない」または「指定しない」に設定。</p> <p>【P313】 外線1～20 自動選局指定(発信)</p> <table border="1"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>自動選局する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>自動選局しない</td></tr> </table> <p>・FAXで使用する外線は、「自動選局する」、それ以外の外線は「自動選局しない」に設定。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> FAX受信外線以外の外線を「鳴動しない」にしないと自動受信の場合、FAX受信外線以外に着信があった場合も受信します。</p> </div>	表示	内容	数字表示	PB	一表示	DP	表示	内容	数字表示	鳴動する	一表示	鳴動しない	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	指定する	一表示	指定しない	表示	内容	数字表示	鳴動あり	一表示	鳴動なし	表示	内容	数字表示	自動選局する	一表示	自動選局しない
表示	内容																																										
数字表示	PB																																										
一表示	DP																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動する																																										
一表示	鳴動しない																																										
表示	内容																																										
数字表示	指定する																																										
一表示	指定しない																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動あり																																										
一表示	鳴動なし																																										
表示	内容																																										
数字表示	指定する																																										
一表示	指定しない																																										
表示	内容																																										
数字表示	鳴動あり																																										
一表示	鳴動なし																																										
表示	内容																																										
数字表示	自動選局する																																										
一表示	自動選局しない																																										

主な機能名および概要	プログラム設定内容																		
<p>7 FAX自動切替 コールバック着信機能</p> <p>アナログ局線ユニット【4CO500(B)、2CO500(B)】が必要です。 アナログ回線では利用できません。 一般電話ポート2のみ対応。 一般電話ポート1には対応していません。</p>	<p>一般電話ポートに接続したFAXもしくはFAX自動切替装置の機能を利用して、外線着信をFAXが一次応答して、FAXの着信なのか電話の着信なのかを判断し、FAX着信の場合はそのまま自動受信し、電話の場合はFAXからのコールバックを受けて着信外線に着信させる。</p>  <p><b>[コールバック着信動作例]</b>          外線1に着信が入る。(外線1のランプは点灯)          個別着信(DIT)で指定したFAXが一次応答する。          FAXの着信の場合は、FAXが自動受信する。          電話の着信の場合は、コールバック指定外線に着信する。          電話機に着信する。          ・P002-9が「解放する」の場合          外線4のランプは消灯のまま、外線1を着信状態(ランプは点滅)にする。          (通話パスは、 の状態になる。)          ・P002-9が「解放しない」の場合          外線1のランプは点灯、外線4のランプを着信状態(ランプは点滅)にする。          (通話パスは、 の状態になる。)          コールバック着信時の着信電話機および着信鳴動電話機は着信を入れた外線の設定に従う。(ただし、DITの設定は無視される)</p> <p><b>【P002-9】</b>          FAXコールバック着信応答時のFAX解放指定</p> <table border="1" data-bbox="718 1164 949 1249"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>解放する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>解放しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>「解放する」に設定          コールバック着信時は、FAX自動切替装置が着信を受けた外線を着信状態にする。          コールバック着信を電話で応答した後、FAXは一定時間経過後解放する。</p> <p>「解放しない」に設定          コールバック着信時は、FAX自動切替装置が着信を受けた外線を使用中にし、FAXコールバック外線指定(P104)で指定された外線を着信状態にする。          コールバック着信応答時は、FAX自動切替装置は通話終了まで使用中の状態になる。</p> <p><b>【P003-1】</b>          個別着信(DIT)の着信拒否指定</p> <table border="1" data-bbox="718 1579 949 1664"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数字表示</td> <td>着信拒否する</td> </tr> <tr> <td>一表示</td> <td>一斉着信にする</td> </tr> </tbody> </table> <p>FAX自動切替装置が使用中のときに着信が入ったときの動作を指定する。          「着信拒否する」の場合は、相手側にビジートーンをかえす。</p> <p>一般電話ポートに接続したFAX自動切替装置に個別着信(DIT)が入るように設定している場合に適用される。</p> <p><b>【P104】</b>          FAXコールバック外線指定</p> <table border="1" data-bbox="718 1881 997 1966"> <thead> <tr> <th>表示</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>指定なし</td> </tr> <tr> <td>設定変更</td> <td>収容外線(1-4)を指定</td> </tr> </tbody> </table> <p>FAX自動切替装置のTEL端子と接続した外線を指定する。          P104で指定した外線をP101で未収容にしないでください。          コールバック外線からの発信はできない。          P002-9で「解放する」に指定されている場合、FAXコールバックに指定された外線はオートダイヤルボタンとして機能を割り付けることができます。</p> <p style="text-align: right;">次ページへ➡</p>	表示	内容	数字表示	解放する	一表示	解放しない	表示	内容	数字表示	着信拒否する	一表示	一斉着信にする	表示	内容	0	指定なし	設定変更	収容外線(1-4)を指定
表示	内容																		
数字表示	解放する																		
一表示	解放しない																		
表示	内容																		
数字表示	着信拒否する																		
一表示	一斉着信にする																		
表示	内容																		
0	指定なし																		
設定変更	収容外線(1-4)を指定																		

主な機能名および概要	プログラム設定内容																		
<p>7 FAX自動切替 コールバック着信機能</p>	<p>【P048】 グローバル個別着信(DIT)指定(昼) FAX自動切替装置に自動応答させる着信(グローバル、ダイヤルイン)は、個別着信(DIT)の指定をする。</p> <p>【P052】 ダイヤルイン 個別着信(DIT)指定(昼)</p> <table border="1" data-bbox="651 409 879 492"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>指定なし</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>指定する</td></tr> </table> <p>個別着信(DIT)で指定せず、グローバルやダイヤルインの着信電話機指定でFAX自動切替装置のみ指定する場合はコールバック着信機能はつかえません。</p> <p>【P302】 外線1～20着信音鳴動指定(昼)</p> <table border="1" data-bbox="651 589 879 669"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動しない</td></tr> </table> <p>着信外線の実装番号10(単独)の着信音鳴動を「鳴動しない」に設定する。</p> <p>【P306】 ダイヤルイン1～32着信音鳴動指定(昼)</p> <table border="1" data-bbox="651 736 879 817"> <tr><th>表示</th><th>内容</th></tr> <tr><td>数字表示</td><td>鳴動する</td></tr> <tr><td>一表示</td><td>鳴動しない</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> 一部のFAX自動切替装置では、本コールバック着信機能をご利用できない場合があります。</p> </div> <p>設定例 条件</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル回線1本収容で、グローバル番号で電話とFAXを使用する。</li> <li>グローバル番号は外線1、2に着信し、コールバック着信外線は外線4に設定。</li> <li>一般電話ポート2にFAX(自動切替機能付き)を接続。</li> </ul> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div> <p>【P002-9】 9を数字 【P003-1】 1を数字 【P104】 4(外線4を指定) 【P048】 10(一般電話ポート2を指定) 【P302】 実装番号10で1と2を -</p> <p>グローバル番号で着信すると、外線1のランプが点灯し、個別着信(DIT)で指定されたFAXが一次応答する。(電話機は鳴動しない)</p> <p>FAXの着信の場合 : FAXが自動応答する。 電話の着信の場合 : コールバックし外線1を着信状態にする。(外線1のランプは点滅、電話機は鳴動)</p> <p>2着信目が入ると FAXが一次応答時や通信状態のときは、相手にビジートーンをかえす。 コールバック着信に応答後は、外線2に着信する。</p>	表示	内容	数字表示	指定なし	一表示	指定する	表示	内容	数字表示	鳴動する	一表示	鳴動しない	表示	内容	数字表示	鳴動する	一表示	鳴動しない
表示	内容																		
数字表示	指定なし																		
一表示	指定する																		
表示	内容																		
数字表示	鳴動する																		
一表示	鳴動しない																		
表示	内容																		
数字表示	鳴動する																		
一表示	鳴動しない																		

## ▶ (3) ダイヤルイン編

### 1. ISDN回線

印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

: 初期設定

#### プログラム設定内容

##### 1. 【P039】

###### ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
表示	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を32個まで市内局番から指定する。  
ダイヤルイン契約をした場合に登録しないと着信が受けられません。  
その場合、発信側には「おかけになった電話番号には、あなたと通信のできる機器が接続されてません」のトーカーが流れます。

##### 2. 【P415～P418】

###### テナント1～4

###### ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。  
同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

##### 3. 【P305】

###### 実装番号1～10

###### ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。  
「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

##### 4. 【P306～P308】

###### 実装番号1～10

###### ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードで実装番号ごとに着信音の鳴るダイヤルインを指定する。  
ただし、3項のP305で指定された電話機に対してのみ有効です。  
P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

##### 5. 【P411～P414】

###### テナント1～4

###### グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・デジタル回線の収容外線に対するグローバル着信の着信する外線を指定する。  
2回線以上の代表ダイヤルインでグローバル着信利用の場合は、必ず収容している回線数分、同じ設定にしてください。

##### 6. 【P301】

###### 実装番号1～10

###### 通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに通常着信(グローバル着信も含む)時に着信する外線を指定する。  
「指定しない」に設定された電話機は、その通常着信(グローバル着信も含む)が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

##### 7. 【P302～P304】

###### 実装番号1～10

###### 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードで通常着信(グローバル着信も含む)時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。ただし、6項のP301で指定された電話機に対してのみ有効です。  
P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

##### 8. 【P040】

###### ダイヤルイン

###### 着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ1
11	着信メロディ2
12	着信メロディ3

・ダイヤルイン番号ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

次ページへ➡

## プログラム設定内容

### 9. 【P041】

#### ダイヤルイン 着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・ダイヤルイン番号ごとに着信音の種別を指定する。  
P040で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

### 10. 【P421】

#### 外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ1
11	着信メロディ2
12	着信メロディ3

- ・テナントごとに各外線番号の着信音の鳴動周期を指定する。

### 11. 【P422】

#### 着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

- ・外線番号ごとに着信音の種別を指定する。  
P421で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

### 12. 【P101】

#### 外線収容および 外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線&ISDN
2	PBX内線
3	VoIP (外付け)

- ・外線の種別を外線ごとに設定。

## 2. アナログ回線

印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。  
 アナログのダイヤルインは、モデムダイヤルインのみ対応です。

 : 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. 【P039】

##### ダイヤルイン番号指定

表示	内容
なし	指定なし
設定変更	ダイヤルイン番号を市内局番から指定

・ダイヤルイン番号を32個まで市内局番から指定する。

#### 2. 【P102】

##### アナログ外線ダイヤル種別指定

表示	内容
0	DP(10PPS)
1	DP(20PPS)
2	PB

・収容外線(アナログ回線)ごとにダイヤル種別を指定します。

#### 3. 【P105】

##### アナログ外線NTT付加サービス指定

表示	内容
数字表示	利用しない
一表示	利用する

・収容外線(アナログ回線)ごとにナンバー・ディスプレイ、ネーム・ディスプレイ、モデムダイヤルインを利用するか否かを指定する。

#### 4. 【P403～P406】

##### テナント1～4外線発信時の収容外線指定

表示	内容
数字表示	許可しない
一表示	許可する

・テナント1～4の外線番号ごとに、発信時に発信を許可する収容外線を指定する。

初期はテナント1で、外線番号01：収容外線1のみ許可する、外線番号02：収容外線2のみ許可する、外線番号03：収容外線3のみ許可する、外線番号04：収容外線4のみ許可する、外線番号05～20：全収容外線許可しない。

#### 5. 【P415～P428】

##### テナント1～4

##### ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン番号を、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。  
 同じ外線ボタンに対し、重複してダイヤルイン番号を指定することも可能。

#### 6. 【P305】

##### ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとに着信するダイヤルイン番号を指定する。  
 「指定しない」に設定された電話機は、そのダイヤルイン番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 7. 【P306～P308】

##### 実装番号1～10

##### ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードでダイヤルインの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。  
 P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

#### 8. 【P407～P410】

##### テナント1～4

##### アナログ着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・収容外線(アナログ回線)ごとに、その収容外線に着信したときのテナント1～4での着信外線番号を指定する。  
 初期はテナント1で、収容外線1：外線番号01のみ指定する、収容外線2：外線番号02のみ指定する、収容外線3：外線番号03のみ指定する、収容外線4：外線番号04のみ指定する、外線番号05～20：全外線指定しない。

#### 9. 【P302～P304】

##### 実装番号1～10

##### 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードでの着信に対し、着信音の鳴る電話機を指定する。  
 P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

## ▶(4) i・ナンバー編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

         : 初期設定

### プログラム設定内容

#### **ご注意** ISDN回線だけに有効です。

「i・ナンバー」を名称とするプログラムはありません。下記のとおり対応します。  
 ISDN回線1、2本目に対するi・ナンバーのポート番号1は、グローバル着信1、2に対応する。  
 ISDN回線1、2本目に対するi・ナンバーのポート番号2は、ダイヤルイン1、2に対応する。  
 ISDN回線1、2本目に対するi・ナンバーのポート番号3は、ダイヤルイン7、8に対応する。  
 ポート番号1は契約者番号、ポート番号2、3は追加番号の意味。

#### 1. 【P415～P418】

テナント1～4  
 ダイヤルイン着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・ダイヤルイン1、2は、ISDN回線1、2本目のi・ナンバーのポート番号2に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。  
 ダイヤルイン7、8は、ISDN回線1、2本目のi・ナンバーのポート番号3に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する  
 同じ外線ボタンに対し、重複してi・ナンバーのポート番号を指定することも可能。

#### 2. 【P305】

実装番号1～10  
 ダイヤルイン着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・ISDN回線1、2本目のi・ナンバーのポート番号2に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン1,2で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)  
 ISDN回線1、2本目のi・ナンバーのポート番号3に着信時に着信する電話機を実装番号ごとにダイヤルイン7,8で指定する。(どの電話機に着信させるかを指定)  
 「指定しない」に設定された電話機は、そのi・ナンバーのポート番号で着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 3. 【P306～P308】

実装番号1～10  
 ダイヤルイン着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・ISDN回線1、2本目の昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号2に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン1,2で指定する。  
 ISDN回線1、2本目の昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号3に着信時に着信音の鳴る電話機を実装番号ごとにダイヤルイン7,8で指定する。  
 ただし、2項のP305で指定された電話機に対してのみ有効です。  
 P307、P308の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

#### 4. 【P411～P414】

テナント1～4  
 グローバル着信着信外線指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

・i・ナンバーのポート番号1に着信時、どの外線ボタンに着信させるかを指定する。

#### 5. 【P301】

実装番号1～10  
 通常着信指定

表示	内容
数字表示	指定する
一表示	指定しない

・実装番号ごとにi・ナンバーのポート番号1に着信時に着信する外線を指定する。  
 「指定しない」に設定された電話機は、そのi・ナンバーのポート番号1に着信が入ると外線ボタンは赤点灯のまま着信音は鳴動しません。

#### 6. 【P302～P304】

実装番号1～10  
 着信音鳴動指定(昼、夜間A、夜間B)

表示	内容
数字表示	鳴動あり
一表示	鳴動なし

・昼モード、夜間A、Bモードでi・ナンバーのポート番号1に着信時に実装番号ごとに着信音の鳴る外線を指定する。  
 ただし、5項のP301で指定された電話機に対してのみ有効です。  
 P303、P304の初期は実装番号1、2のみ鳴動です。

次ページへ➡

## プログラム設定内容

## 7. 【P040】

ダイヤルイン  
着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ1
11	着信メロディ2
12	着信メロディ3

・ i・ナンバーのポート番号2または3ごとに着信音の鳴動周期を指定する。

## 8. 【P041】

ダイヤルイン  
着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ i・ナンバーのポート番号2または3ごとに着信音の種別を指定する。  
P402で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

## 9. 【P421】

外線着信音周期指定

表示	内容
01	着信音A
02	着信音B
03	着信音C
04	着信音D
05	着信音E
06	着信音F
07	着信音G
08	着信音H
09	保留メロディ
10	着信メロディ1
11	着信メロディ2
12	着信メロディ3

・ テナントごとに各i・ナンバーのポート番号1の着信音の鳴動周期を指定する。

## 10. 【P422】

着信音種別指定

表示	内容
0	低
1	中
2	高

・ テナントごとにi・ナンバーのポート番号1ごとに着信音の種別を指定する。  
P421で01～04（着信音A～D）を設定した場合にのみ有効です。

## 11. 【P101】

外線収容および  
外線種別指定

表示	内容
0	未収容
1	局線&ISDN
2	PBX内線
3	VoIP(外付け)

・ 収容外線ごとに種別を指定する。

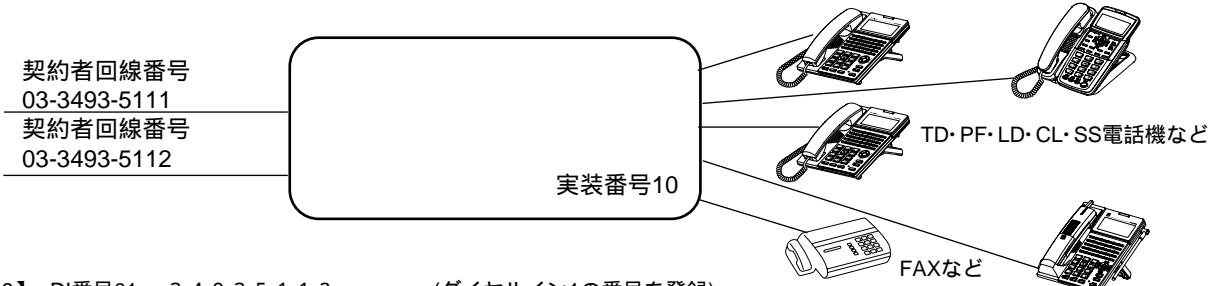
次ページへ➡

## 設定例

### 設定例 その1

条件

- ・デジタル2回線で、契約者番号03-3493-5111、03-3493-5112
- ・代表ダイヤルイン契約(追加番号なし)、グローバル着信利用、FAX番号を03-3493-5112とする。
- ・FAX着信共、テナント1の外線4固定、電話は発着信共、テナント1の外線1、2、3のみとする。
- ・FAXは単独(実装番号10)に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。



- 【P039】 DI番号01 : 3 4 9 3 5 1 1 2 (ダイヤルイン1の番号を登録)  
 【P415】 DI番号01 : 0 9 8 7 6 5 - 3 2 1 (ダイヤルイン1の着信はテナント1の外線4のみ着信するように設定)  
 【P411】 ISDN 1 : 0 9 8 7 6 5 4 - - - (収容外線1、2に入ったグローバル着信は外線1、2、3に着信するように設定)  
 ISDN 2 : 0 9 8 7 6 5 4 - - - (収容外線3、4に入ったグローバル着信は外線1、2、3に着信するように設定)  
 【P309】 実装番号10 (実装番号10のFAXは外線1～3の発信規制を設定)  
 外線番号0 9 8 7 6 5 4 - - -  
 【P309】 実装番号01～X X (外線4は実装番号10のFAX以外、すべて発信規制を設定)  
 外線番号0 9 8 7 6 5 - 3 2 1  
 【P305】 実装番号01～X X (ダイヤルイン1の着信は、実装番号10のFAX以外すべて着信しないように設定)  
 DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 -  
 実装番号10 (ダイヤルイン1の着信は、実装番号10のFAXにのみ着信するように設定)  
 DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 1  
 【P301】 実装番号10 (グローバル着信は、実装番号10のFAXに着信しないように設定)  
 外線番号0 9 8 7 6 5 4 - - -

### 設定例 その2

- ・デジタル2回線で、契約者番号03-3493-5111、03-3493-5112
- ・代表ダイヤルイン契約(追加番号なし)、グローバル着信利用しない、FAX番号を03-3493-5112とする。
- ・FAXの着信は外線4固定、電話の着信は外線1、2、3、4とする。
- ・FAXと電話の発信は共に外線1、2、3、4とする。
- ・FAXは単独(実装番号10)に接続、一般電話関連のプログラムは設定してあるものとする。

- 【P039】 DI番号01 3 4 9 3 5 1 1 1 (ダイヤルイン1の番号を登録)  
 DI番号02 3 4 9 5 1 1 1 2 (ダイヤルイン2の番号を登録)  
 【P415】 DI番号01 (ダイヤルイン1の着信は外線1、2、3、4に着信するように設定)  
 外線番号0 9 8 7 6 5 - - - -  
 DI番号02 (ダイヤルイン2の着信は外線4に着信するように設定)  
 外線番号0 9 8 7 6 5 - 3 2 1  
 【P305】 実装番号10 (ダイヤルイン1の着信は、実装番号10のFAX以外は着信するように設定)  
 DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 2 -  
 実装番号01～X X (ダイヤルイン2の着信は、実装番号10のFAXにのみ着信するように設定)  
 DI番号0 9 8 7 6 5 4 3 - 1

## ▶ (5) 外線転送編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

□ : 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. 【P425】

##### 外線転送テナント(自動/手動)指定

表示	内容
1	テナント1
2	テナント2
3	テナント3
4	テナント4

- ・外線転送を利用するテナントを  
外線転送ごとに指定する。

#### 2. 【P426】

##### 外線自動転送 (発信側)指定

表示	内容
00	指定なし
01	外線1
⋮	⋮
20	外線20

- ・外線自動転送の発信側外線を指定する。  
発信側外線に指定すると、着信側外線(P427)は自動的に「指定なし」になります。

#### 3. 【P427】

##### 外線自動転送(着信側)指定

表示	内容
0	指定なし
1	D-D直接で一次応答なし(外線転送1)
2	D-D直接で一次応答あり(外線転送1)
3	D-D直接で一次応答なし(外線転送2)
4	D-D直接で一次応答あり(外線転送2)
5	D-D直接で一次応答なし(外線転送3)
6	D-D直接で一次応答あり(外線転送3)
7	D-D直接で一次応答なし(外線転送4)
8	D-D直接で一次応答あり(外線転送4)

- ・外線自動転送の着信側外線と転送方法を指定する。  
発信側外線(P426)で指定された外線を着信側に指定することはできません。  
一次応答…RECを使用して一次応答メッセージを発信者に送出すること。  
D-D…デジタル回線を使用してダイレクト転送を行うこと。  
外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC1~4用途指定」  
で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。

#### 4. 【P021-1~4】

##### 外線転送システム設定

表示	内容
数字表示	鳴動なし
-表示	鳴動あり

- ・外線自動転送時、転送先に通知音を送出するか、しないかを指定する。  
転送1「ピピピピピピピピ」(高い音)、転送2「ピー」(中位の音)、転送3「ポー」(低い音)転送4  
「ピー」(高い音)が1.5秒間鳴動する。

#### 5. 【P019】

##### 外線転送自動応答時間指定

表示	内容
042	42秒で自動応答する
設定変更	000~180の範囲で指定する(000は自動応答しない)

- ・外線自動転送の発信側外線に着信が入った場合に外線転送のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。  
1 外線転送セット/解除には関わらない。  
2 暗証番号が未登録のときは応答しない。

#### 6. 【P025】

##### 外線転送最大 通話時間指定

表示	内容
0	30分
1	1時間
2	2時間
3	3時間

- ・外線手動/自動転送したときの最大通話時間を指定する。  
この時間になると、両方の相手に「ピー」音が入り30秒後に通話を自動的に終話します。

#### 7. 【P024】

##### 外線転送終話時 コールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1秒
2	2秒
3	3秒
4	4秒
5	5秒
6	6秒

- ・外線転送(手動/自動)の終話時に発信元が終話し、転送先が受話器を持ったまま待っているとき、コールバックするまでの時間を指定する。  
初期値は、手動転送：2、自動転送：0

次ページへ➡

## プログラム設定内容

### 8. 【P023】

#### 外線転送転送先不応答切断タイマ指定

表示	内容
0	20秒
1	40秒
2	60秒
3	80秒
4	100秒
5	120秒

- ・一次応答メッセージ送出後のダイレクト自動転送で、転送先が応答しない場合、外線を切断するまでの時間を指定する。

### 9. 【P045】

#### ダイヤルイン着信 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・ダイヤルイン番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 10. 【P044】

#### グローバル着信 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・グローバル番号に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 11. 【P106】

#### アナログ外線 ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
一表示	指定する

- ・アナログ外線に着信したときに、ダイレクトリモコンを利用するか、しないかを指定する。

### 12. 【P312】

#### コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり(実装番号01)
一表示	鳴動なし

- ・外線転送コールバックを行ったときに、実装番号01～10ごとに鳴動する外線を指定する。RECを使用時には、手動応答後のコールバックで、通常着信に切り替わったとき、着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。

### 13. 【P022】

#### 外線自動転送の起動時間指定

表示	内容
0	0秒
1	3秒
2	6秒
3	9秒
4	12秒
5	15秒
6	18秒
7	21秒
8	24秒
9	27秒

- ・何秒後に転送先に発信するかを指定する。

### 14. 【P026】

#### 外線自動転送中の着信音鳴動指定

表示	内容
0	すべての着信側外線の着信音を鳴動しない
1	自動転送起動対象外線の着信音のみ鳴動しない
2	鳴動する

- ・ダイレクト自動転送(一次応答なし)の発信中および転送通話中に着信側外線に着信が入った場合の着信を鳴動させるか否かを指定する。

### 15. 【P042】

#### グローバル着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・グローバル着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをグローバル着信ごとに指定する。

### 16. 【P043】

#### ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送可否指定

表示	内容
数字表示	転送可
一表示	転送不可

- ・ダイヤルイン着信時のダイレクト自動転送を可能にするか否かをグローバル着信ごとに指定する。

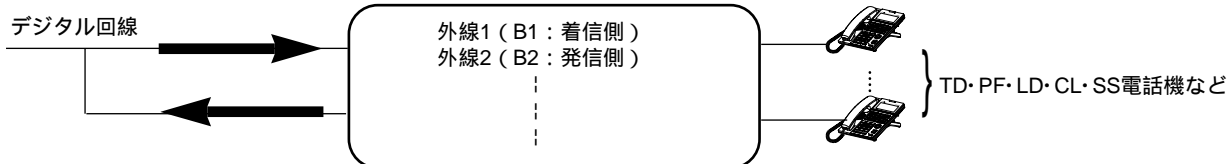
次ページへ➡

## 設 定 例

### 設定例 その1

条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。
- ・発信者への一次応答メッセージはなし。



- 【P426】外線転送1 = 外線番号02 (外線自動転送1の発信側を外線2に設定)  
 【P427】 0 0 0 0 0 0 0 0 1 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージなしに設定)

### 設定例 その2

条件

- ・デジタル1回線で、ダイレクト外線自動転送を行う。(設定例 その1に同じ)
- ・発信者への一次応答メッセージは送出する。
- ・外線転送コールバック時の鳴動子機は、実装番号01、02、08の電話機3台とする。(終話時コールバック時間を2秒とする)

- 【P426】外線転送1 = 外線番号02 (外線自動転送1の発信側を外線2に設定)  
 【P427】 0 0 0 0 0 0 0 0 2 (外線自動転送1の着信側を外線1とし、ダイレクト外線自動転送の一次応答メッセージありに設定)  
 外線転送一次応答メッセージを利用するには「P028 REC1~4使途指定」で留守/お待たせ/一次応答または留守拡張に設定する必要があります。  
 【P312】 (外線2のコールバック鳴動電話機を実装番号01、02、08に設定)  
 実装番号01,02,08以外の実装番号  
     外線番号 0 9 8 7 6 5 4 3 - 1 (実装番号01,02,08以外の電話機を外線2のコールバック鳴動しないに設定)  
 【P024】自動 / 手動 2 2 (外線自動転送終話時コールバック時間を2秒に設定)

## ▶ (6) REC(留守番機能)編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。  
 その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

: 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. 【P027】

##### RECシステム指定

項目	名称	表示	内容
1	用件自動消去指定	数字表示	自動消去あり
		-表示	自動消去なし
2	通話メモ再生指定	数字表示	REC1-4ごとに共通
		-表示	電話機個別

・用件自動消去をするか、しないか、通話メモの再生をREC1,3,4ごとに共通とするか、電話機個別とするかを指定する。

#### 2. 【P028】

##### REC1-4使途指定

表示	内容
0	未使用
1 1	留守
2	留守拡張(REC3のみ)
3	非通知拒否
4	迷惑電話拒否
5	通話メモ
6	通話メモ拡張(REC3のみ)
7	非通知拒否 / 迷惑電話拒否

・REC1,3,4ごとに使用する機能を指定する。  
 1 REC3,4の初期は未使用です。

#### 3. 【P029】

##### 留守番機能指定

表示	内容
0	応答録音のみ可
1	応答専用のみ可
2	両方可

・REC1,3,4ごとに留守番機能の応答録音と応答専用の使用可否を指定する。

#### 4. 【P210】

##### 留守番電話機指定(REC1,3,4)

表示	内容
1 2	実装番号1を指定
設定変更	実装番号(1-8)で指定

・REC1,3,4の留守番指定電話機を実装番号で指定する。  
 2 REC3,4の初期は「指定なし」です。  
 同一電話機に複数のRECを指定することはできない。

#### 5. 【P428】

##### 留守番自動応答指定

表示	内容
0	自動応答しない
1	REC1が自動応答
3	REC3が自動応答
4	REC4が自動応答

・外線(01-20)ごとにREC 1 が応答するのか、REC3が応答するのか、REC 4 が応答するのかを指定する。

#### 6. 【P018】

##### 留守番在宅自動応答時間指定

表示	内容
045	45秒で自動応答する
設定変更	000-180の範囲で指定する(000は自動応答しない)

・留守番未セット時に留守番のリモコンが自動応答するまでの時間を指定する。

#### 7. 【P056】

##### 識別グループ着信時の動作指定

表示	内容
数字表	指定する
-表示	指定しない

・識別グループ着信時に識別グループ(0-9)ごとに留守番応答/自動転送する、しないを指定する。

#### 8. 【P222】

##### 通話メモ使用REC指定

表示	内容
0	指定ない
1	REC1
3	REC3
4	REC4

・電話機ごとに通話メモ機能を使用するREC(1,3,4)を指定する。

#### 9. 【P312】

##### コールバック着信鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり(実装番号01-08のみ)
-表示	鳴動なし

・REC手動応答後のコールバックで通常着信に切り替わったとき、実装番号01-10ごとに着信鳴動する外線を指定する。  
 外線転送コールバック時に着信鳴動する電話機もこのプログラムで指定する。  
 SL1,SLI2を含む。

次ページへ➡

## プログラム設定内容

## 10. 【P030】

## RECお待たせコールバック時間指定

表示	内容
0	コールバックしない
1	1分
2	2分
3	3分
4	4分

・RECお待たせメッセージ送出完了後の外線に回答しない場合、その外線を再び着信状態にするまでの時間を指定する。

留守番指定電話機に指定された電話機には、次の留守番機能ボタンが自動的に割り付けられます。

電話機の種別	ボタン名称				
	レビュー	再生	スキップ	消去	留守
TD510電話機	オート14	オート15	オート16	オート17	オート18
TD520電話機	オート26	オート27	オート28	オート29	オート30
LD500電話機	オート6	オート9	オート7	オート8	オート10

PF500電話機はTD510電話機と同じです。

CL510電話機（親機）はTD520電話機と同じです。

SS520電話機はTD520電話機と同じです。

SS510電話機はTD510電話機と同じです。

## 留守番自動応答時間の指定方法

TD・PF電話機(留守番指定電話機)で操作



確定

5 2

0 0 1

~ 1 8 0

のいずれか

・留守番セット時に自動応答するまでの時間(1~180秒)を指定する。

初期設定は009(9秒)です。

## ▶ (7) セーフティ機能編

印のプログラムは、必ず設定変更してください。

その他のプログラムは、必要に応じて設定変更してください。

設置現場にて、センサ感度を調整する必要があります。調整方法の資料は、サクサ株式会社のホームページ (http://www.saxa.co.jp) よりダウンロードしてください。

センサ感度は、プログラム設定 (P079, P080, P081, P082) にてパラメータを調整することで、変更することができます。

□: 初期設定

### プログラム設定内容

#### 1. 【P072-1】

##### 威嚇警報音の音量指定

表示	内容
数字表示	大
—表示	小

・威嚇警報音を鳴動するときの音量を指定します。

#### 2. 【P072-2】

##### 通報先終話時の威嚇継続指定

表示	内容
数字表示	威嚇を継続する
—表示	威嚇を終了する

・通報先から音声威嚇後の終話時に威嚇状態を復帰 (継続) するか否かを指定します。

#### 3. 【P072-3】

##### リレー出力タイミング指定

表示	内容
数字表示	センサ検知時
—表示	威嚇開始時

・Webカメラに設定されたコントロール端子のリレー出力信号の送出タイミングを指定します。

#### 4. 【P072-4】

##### 外部スピーカ威嚇音鳴動指定

表示	内容
数字表示	鳴動あり
—表示	鳴動なし

・外部スピーカで威嚇音を鳴動するか否かを指定する。  
外部スピーカ1、2両方から鳴動する。  
セーフティA、B共通。

#### 5. 【P073】

##### モードセット遅延時間指定

表示	内容
060	60秒
設定変更	001 ~ 600の範囲で指定する

・セーフティモードセット操作をしてからセーフティモードになるまでの時間を指定します。

#### 6. 【P074】

##### 威嚇遅延時間指定

表示	内容
060	60秒
設定変更	001 ~ 600の範囲で指定する

・セーフティモード中にセンサ検知したときに威嚇を開始するまでの時間を指定します。

#### 7. 【P075】

##### 威嚇警報音鳴動時間指定

表示	内容
20	20分
設定変更	01 ~ 60の範囲で指定する

・威嚇警報音の鳴動時間を指定します。

#### 8. 【P076】

##### ドアホン3ポート接続指定

表示	内容
0	ドアホン
1	外部センサ (ブレーク)
2	外部センサ (メーク)
3	外部センサ (ワンショット:メーク)

・ドアホン3ポートにドアホン、外部センサのうち、どれを接続するのか指定します。

次ページへ➡

## プログラム設定内容

### 9. 【P077】

#### 外部センサ対応グループ指定

表示	内容
1	グループA
2	グループB

- 外部センサ反応時に威嚇 & 通知および通報を行うセーフティグループを指定します。

### 10. 【P078】

#### 通報発信外線強制切断指定

表示	内容
数字表示	強制切断しない
-表示	強制切断する

- セーフティグループごとに通報時に発信外線が通報以外の目的で使用中のときに、その通話を強制的に切断するか否かを指定します。

### 11. 【P079】

#### センサ入力信号ON確定時間指定

表示	内容	表示	内容
1	12.5ms	9	112.5ms
2	25.0ms	10	125.0ms
3	37.5ms	11	137.5ms
4	50.0ms	12	150.0ms
5	62.5ms	13	162.5ms
6	75.0ms	14	175.0ms
7	87.5ms	15	187.5ms
8	100.0ms	16	200.0ms

- センサからの入力信号について、システムが検出したと判断するのに最低限必要なON時間の長さを設定します。設定時間よりも短い検出信号は無視される。

設定値を大きくすることによって、ノイズ（温度ドリフトによる光学的なノイズや、強電界による電気的な外来ノイズ）による誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。  
推奨値：12.5ms～100.0ms

### 12. 【P080】

#### センサ入力信号OFF確定時間指定

表示	内容	表示	内容
1	12.5ms	9	112.5ms
2	25.0ms	10	125.0ms
3	37.5ms	11	137.5ms
4	50.0ms	12	150.0ms
5	62.5ms	13	162.5ms
6	75.0ms	14	175.0ms
7	87.5ms	15	187.5ms
8	100.0ms	16	200.0ms

- センサからの入力信号がONからOFFに変化してから、OFFと認めるまでの時間を設定します。

設定値を大きくすることによって、センサ間近の誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。  
推奨値：12.5ms～50.0ms

### 13. 【P081】

#### センサON連続検出回数指定

表示	内容
1	1回
設定変更	1～8の範囲で指定する

- システムが検出ありと判断するまでのセンサからの入力信号のカウント数を指定する。

設定値を大きくすることによって、単発ノイズによる誤検出を防止する効果があります。ただし、大きくしすぎると検知できなくなります。また、単純に検知範囲（距離）が短くなるととらえることもできます。

推奨値：1回～3回

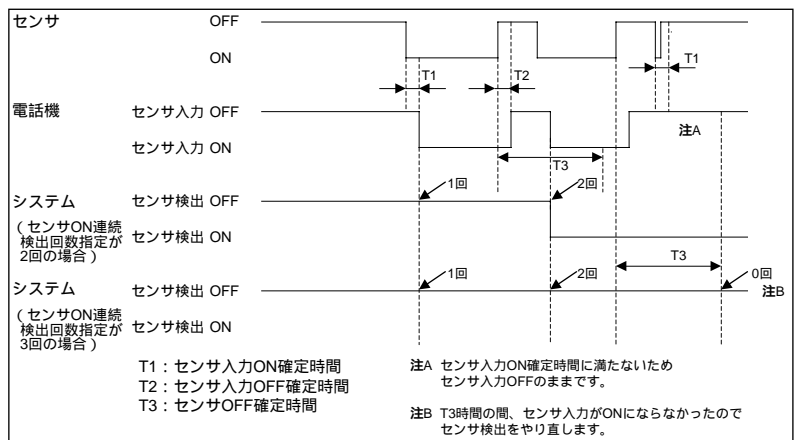
### 14. 【P082】

#### センサOFF確定時間指定

表示	内容	表示	内容
1	50.0ms	17	2600.0ms
2	75.0ms	18	2800.0ms
3	100.0ms	19	3000.0ms
4	150.0ms	20	3200.0ms
5	200.0ms	21	3400.0ms
6	400.0ms	22	3600.0ms
7	600.0ms	23	3800.0ms
8	800.0ms	24	4000.0ms
9	1000.0ms	25	4200.0ms
10	1200.0ms	26	4400.0ms
11	1400.0ms	27	4600.0ms
12	1600.0ms	28	4800.0ms
13	1800.0ms	29	5000.0ms
14	2000.0ms	30	5500.0ms
15	2200.0ms	31	6000.0ms
16	2400.0ms	32	6500.0ms

- センサからの入力信号がONからOFFに変化してから、センサ入力が無くなったと認めるまでの時間を設定します。

設定値を大きくすることによって、対象の横切り往復運動などを検知しやすくなります。ただし、大きくしすぎると単発ノイズによる誤検出が起こりやすくなります。  
推奨値：1000.0ms～4000.0ms



プログラム設定内容

15. 【P226】  
実装番号1～8  
セーフティグループ指定

・電話機ごとにセーフティグループを設定します。

表示	内容
0	指定なし
1	グループA
2	グループB

16. 【P228】  
音声威嚇電話機指定

・通知先から音声の威嚇を行うとき、ハンズフリー通知状態にする電話機を指定します。セーフティグループごとに最大3台指定します。(0は指定なし)

表示	内容
0	指定なし
設定変更	0～8の範囲で指定する(0は指定なし)

音声威嚇電話機に指定できるのは、TD・PF・LD・CL・SS電話機です。P226で同じグループに属する電話機のみ指定可。

17. 【P229】  
実装番号1～8  
センサ動作指定

・電話機(SS510/SS520電話機)ごとにセンサ検出を許可するか否かを指定します。

表示	内容
数字表示	許可する
ー表示	許可しない

18. 【P449】  
通報発信外線テナント指定

・通報時に外線発信をするテナントをセーフティグループごとに指定します。

表示	内容
1	テナント1
2	テナント2
3	テナント3
4	テナント4

19. 【P450】  
通報発信外線指定

・通報時に発信外線として使用する外線をセーフティグループごとに指定します。00は指定なし・P402で1(外線)を設定した場合に限り指定可。外線自動転送の発信側外線と同一外線も設定可。

表示	内容
00	指定なし
設定変更	00～20の範囲で指定する(00は指定なし)

20. 【P035】  
リレー制御指定(リレー1、2)

・各リレーにどの外部機器(電気錠、外部スピーカ、外部保留音源(BGM)、Webカメラ)を接続しているかを指定します。

表示	内容
0	未使用
1	電気錠1
2	電気錠2
3	電気錠3
4	外部スピーカ1
5	外部スピーカ2
6	外部保留音源&BGM
7	Webカメラ(セーフティAに連動)
8	Webカメラ(セーフティBに連動)
9	Webカメラ(セーフティA・Bの両方に連動)

21. 【P036】  
外部スピーカゲイン指定(外線着信音量、音声音量、BGM音量、威嚇音量)

・外部スピーカから送出する外線着信音の音量、音声の音量、BGMの音量、および威嚇音量(ゲイン)を指定します。

表示	内容
0	-12dB
1	-9dB
2	-6dB
3	-3dB
4	0dB
5	+3dB
6	+6dB
7	+9dB
8	+12dB

## プログラム設定内容

## 22. 【P044】

## グローバル着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
-表示	指定する

- ・グローバル着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かをISDN回線ごとに指定する。

## 23. 【P045】

## ダイヤルイン着信ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
-表示	指定する

- ・ダイヤルイン着信時、発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かをダイヤルイン番号ごとに指定する。

## 24. 【P106】

## アナログ外線ダイレクトリモコン指定

表示	内容
数字表示	指定しない
-表示	指定する

- ・収容外線（アナログ回線）ごとに発信者番号と転送先番号または通報先番号が一致した場合に、外線転送のリモコンまたはセーフティのリモコンを行うか否かを指定する。

